2026年度

学科別
カリキュラム表

帝京平成大学
TEIKYO

建学の精神

実学の精神を基とし
幅広い知識と
専門分野における
　実践能力を身につけ
創造力豊かな逞しい
人間愛にあふれた
人材を養成する

基本理念

1. 人文・社会科学と自然科学に均整のとれた教養教育を通して人間愛を培い、広聴心を涵養し、専門的能力を人類の幸福・福祉のために的確に適用できる健全な人格を養成する。
2. 自立と不撓不屈の精神を養い、実学的に幅広く高度な専門知識と学際的な問題解決能力を備え、創造性に富む人材を育成する。
3. 専門の学術を深く研究して成果を世界的に発信するとともに、大学の人材、施設を活用して地域社会との交流と貢献に努め、人類の発展に寄与する。

使命・目的

帝京平成大学学則第１条

帝京平成大学は建学の精神に則り、広く知識を授け人格の陶冶を図るとともに、深く専門の学術を教授・研究し、国際的視野に立って日本国の発展に貢献できる有為な人材を養成することを目的とする。

単位制度について・・・

単位制度について

１　単位制度

大学における授業科目の履修は、単位制度に基づいて行われます。

単位制度とは、授業科目ごとに一定の基準で定められている単位を修得する制度です。すなわち、個々の授業科目に定められた期間（例えば 90 分授業、週１回、半年間）の授業及び授業時間外学習の後、試験その他の方法によって、この科目の内容を理解したと認定されたときに、その科目に定められた単位数を修得したことになります。このようにして、修得した単位数を集積することによって、卒業要件を満たしていきます。したがって、単位制度は大学で授業を履修していく上で最も基本的事項ですから、単位制度についての正しい理解が必要です。

カリキュラム表の各授業科目の右に単位数の欄があり、ここに記載された数字がその授業科目に定められた単位数です。

２　単位数の算出基準

授業科目には、講義･演習･実験･実技･実習の種類があり、また、授業には１年間にわたる通年科目、前期または後期の半年間で終了する科目及び集中科目があります。こうした授業科目の性質によって次のような基準で単位数を定めています。

(帝京平成大学学則　第 35 条)

各授業科目の単位数は、1単位の授業時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

（１）講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし人文社会学部児童学科において、指定保育士養成施設の指定科目のうち、講義については、15時間の授業をもって1単位とする。演習については、30時間の授業をもって１単位とする。

（２）実験・実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし人文社会学部児童学科において、指定保育士養成施設の指定科目については、45時間の授業をもって1単位とする。

（３）一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

３　単位の修得

単位は、授業科目が終了し、試験に合格した学生に認定され、この場合、その学生は単位を修得したといいます。通年の授業科目については、途中で試験が実施され、その成績が発表されても、これはあくまで中間成績であって、その授業科目が終了するまで単位は認定されません。

なお、単位の修得には、いろいろな定めがありますので、十分に気をつけてください。

① 単位の修得は、原則としてそれぞれの学科に定められた授業科目の範囲内で修得しなければなりません。

② ただし他の学科の授業科目であっても、他学科履修申告をすれば、単位を修得することができる場合があります。

授業科目について

１　科目の必修、選択の別

授業科目には必修科目、選択必修科目および選択科目があります。

① **必修科目**　必修科目は、カリキュラム表で●印のついている科目です。これは必ず履修しなければならない科目で、この科目の単位を修得しなければ卒業することはできません。また、どの学科でも、定められた学年に単位を修得しておかないと、学年が上になってからでは、再履修のための時間と、その学年に開講される必修科目の時間が重なって、履修に支障が生じる場合もありますので、十分に注意してください。また、学科により、必修科目を当該学年で修得しなければ、進級できないことがあります。

② **選択必修科目**　指定された科目の中から選択しなければならない科目で、この科目の単位を修得しなければ卒業することはできません。また、学科により、選択必修科目を当該学年で修得しなければ進級できない場合があります。

③ **選択科目**　各学科とも学べる科目の分野は極めて幅が広く、多くの選択科目を用意しています。これらをすべて履修し単位を修得する必要はありません。各自が自分の適性や、将来の進路等を考えて、自由に選択して履修すればよい科目です。ただし、各学科で定められた単位数以上を修得しなければなりません。

④ **自由科目**　当該科目は、日本語能力向上を目的とする外国人留学生のために設置されたものです。ただし進級・卒業要件単位数には含まれません。

２　授業科目の学年別、学期別の割り当て

学科ごとの授業科目の学年別、学期別の割り当ては、カリキュラム表に示してあります。この割り当ては、基本的には基礎的な科目を低学年次に、専門科目を高学年次におくよう配慮してあります。したがって、各授業科目は、原則として各学科ともその学年、学期に履修するようにしてください。

8-6　進級と卒業

1　進級するためには

進級するためには、各学科に定められた以下の表の要件を満たさなければなりません。なお、自由科目（2022年度以前入学留学生指定科目）は、外国人留学生のみ履修可能です。ただし、進級・卒業要件単位数には含まれません。

進級要件

<table>
<tr><th colspan="2">学年
所属学部・学科</th><th>1年次修了時</th><th>2年次修了時</th><th>3年次修了時</th></tr>
<tr><td rowspan="9">人文社会学部</td><td>人間文化学科</td><td rowspan="9">20単位以上
修得</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語、情報リテラシー演習・ＤＳ概論
※4の全必修科目修得</td><td rowspan="9">進級要件なし</td></tr>
<tr><td>人間文化学科(留学生)　※3</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語および日本語(教養科目)、情報リテラシー演習・ＤＳ概論の全必修科目修得</td></tr>
<tr><td>経営学科　※1</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語もしくは中国語、
コンピュータ演習Ⅰの全必修科目修得</td></tr>
<tr><td>経営学科　※2</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語もしくは中国語、
情報リテラシー演習・ＤＳ概論　※4(コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱを除く)の全必修科目修得</td></tr>
<tr><td>経営学科(留学生)　※3</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語もしくは中国語および日本語(教養科目)、情報リテラシー演習・ＤＳ概論(コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱを除く)の全必修科目修得</td></tr>
<tr><td>教育学科</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語、情報リテラシー演習・ＤＳ概論
※4の全必修科目修得</td></tr>
<tr><td>観光経営学科</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語（観光英語Ａを除く）、情報リテラシー演習・ＤＳ概論　※4(コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱを除く)の全必修科目修得</td></tr>
<tr><td>観光経営学科(留学生)　※3</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語（観光英語Ａを除く）および日本語(教養科目)、情報リテラシー演習・ＤＳ概論(コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱを除く)の全必修科目修得</td></tr>
<tr><td rowspan="5">健康メディカル学部</td><td>理学療法学科</td><td colspan="3" rowspan="3">在籍する学年に配置された全必修科目を修得</td></tr>
<tr><td>作業療法学科</td></tr>
<tr><td>言語聴覚学科</td></tr>
<tr><td>心理学科</td><td>20単位以上
修得</td><td>・60単位以上修得
・セミナー、英語、情報リテラシー演習・ＤＳ概論
※4の全必修科目修得</td><td>進級要件なし</td></tr>
<tr><td>健康栄養学科</td><td colspan="3">在籍する学年に配置された全必修科目を修得</td></tr>
<tr><td colspan="2">医療科学科</td><td>20単位以上
修得</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語、情報リテラシー演習・ＤＳ概論
※4の全必修科目修得</td><td>進級要件なし</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ヒューマンケア学部</td><td>看護学科</td><td colspan="3" rowspan="3">在籍する学年に配置された全必修科目を修得</td></tr>
<tr><td>柔道整復学科</td></tr>
<tr><td>鍼灸学科</td></tr>
<tr><td>共創学部</td><td>デジタル共創学科</td><td>20単位以上修得</td><td>50単位以上修得</td><td>進級要件なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">健康医療スポーツ学部</td><td>リハビリテーション学科</td><td colspan="3" rowspan="2">在籍する学年に配置された全必修科目を修得</td></tr>
<tr><td>柔道整復学科</td></tr>
<tr><td>医療スポーツ学科</td><td>20単位以上
修得</td><td>・50単位以上修得
・セミナー、英語、情報リテラシー演習・ＤＳ概論
※4の全必修科目修得</td><td>進級要件なし</td></tr>
<tr><td>看護学科</td><td colspan="3">在籍する学年に配置された全必修科目を修得</td></tr>
<tr><td>薬学部</td><td>薬学科</td><td colspan="3">在籍する学年に配置された全必修科目を修得
上記に加え、4年次から5年次に進級するには、習熟度確認試験または実力試験・実力試験（総合）および薬学共用試験の合格
2023年度以降入学生は、在籍する学年に配置された一般教養系科目と語学科目を除く必修科目のGPAが、1.7以上であること。（ただし、5年次から6年次への進級は除く）以上を基本とするが、入学年度により追加事項があるため、薬学部履修要覧を確認すること。</td></tr>
</table>

※1　2020年度以前入学生　　※2　2021年度以降入学生（編入学生は除く）

※3　留学生および大学が日本語（教養科目）の受講が必要と認める者
（UNIPA「学科別カリキュラム表」に対象者の学籍番号を記載しておりますのでご確認ください。）

※4　2022年度以前入学生はコンピュータ演習またはコンピュータ演習Ⅰ

2　卒業するためには

卒業するためには、各学科とも卒業要件に記載されている必修科目、選択必修科目、選択科目の最低単位数を修得しなければなりません。卒業要件は「学科別カリキュラム表」をUNIPAにて確認してください。なお、教養科目の現代日本語ⅠA、現代日本語ⅠB、実用日本語Ⅰ、実用日本語Ⅱ及び日本語科目区分は、外国人留学生及び大学が日本語（教養科目）の受講が必要と認める者(※ 3)のみ履修する必修科目です。

人文社会学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部は、建学の精神及び大学の目的に則り、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を養成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（人間文化学・経営学・児童学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 各学科の教育課程において基礎的な知識と技能を身につけている。 ② 各学科の教育課程において身につけた専門的な知識と技術を活かすことができる。 ③ 持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして活躍する力を有している。 ３．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 ４．態度・姿勢 ① 人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部は、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する。 ② 語学、情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する。 ③ 各専門分野の学びの出発点となる基礎的な知識と技能を身につけるための科目を配置する。 ④ 現代社会の実践の場で求められる専門的な知識および行動力を身につけるための科目を配置する。 ⑤ 実習、現場体験、ボランティア活動などをとおして、高い倫理観と強い責任感を身につけるための科目を配置する。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　人間文化学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部人間文化学科は、建学の精神及び大学の目的に則り、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を養成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（人間文化学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ①　幅広い知識と教養を身につけている。 ②　現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③　語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ①　本学科の教育課程において基礎的な知識と技能を身につけている。 ②　本学科の教育課程において身につけた専門的な知識と技術を活かすことができる。 ③　持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして、あるいは学びを最大限に活かし、活躍する力を有している。 ３．汎用的能力 ①　現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ②　修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③　物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④　豊かな創造力と実践能力を有している。 ４．　態度・姿勢 ①　人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ②　社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部人間文化学科は、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ①　現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する。 ②　語学、情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する。 ③　各専門分野の学びの出発点となる基礎的な知識と技能を身につけるための科目を配置する。 ④　現代社会の実践の場で求められる専門的な知識および行動力を身につけるための科目を配置する。 ⑤　フィールドワークおよび実習、現場体験、ボランティア活動などをとおして、高い倫理観と強い責任感を身につけるための科目を配置する。 学修成果の評価方法 ①　知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ②　e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③　セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④　ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　人間文化学科　福祉コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部人間文化学科福祉コースは、建学の精神及び大学の目的に則り、社会の様々な分野で活躍できる人材を養成する。 所定の授業科目及び単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（人間文化学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 福祉の視点から幅広い知識と教養を修得している。 ② 現代社会における諸課題を福祉の視点から的確に理解し、社会的背景を考察できる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 福祉に関する基礎的な知識と技能を教育課程で身につけている。 ② 福祉分野での専門的な知識と技術をソーシャルワークの場面で活かすことができる。 ③ 社会の持続可能性を促進し、福祉のプロフェッショナルとして貢献する力を有している。 ３．汎用的能力 ① 現代社会における福祉的課題に対し、効果的な支援方法や解決策を見出す能力を有している。 ② 修得した福祉に関する知識や技術を、急速に多様化する社会の中で柔軟に適用し活用することができる。 ③ 福祉に関連する事象を論理的かつ客観的に考察する力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を持ち、福祉の現場での課題に柔軟に取り組むことができる。 ４．態度・姿勢 ① 他者への共感と人間愛に基づき、公共の福祉に貢献する使命感と高い倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に向けて、福祉分野で自立的かつ主体的に取り組む意欲とそれを実現する能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部人間文化学科福祉コースは、「教養科目」「人間文化専門基礎科目」「福祉専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「人間文化専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「福祉専門科目」では、福祉に関する専門知識と実践力を修得する。資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 現代社会における福祉課題を理解し、その解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるため、福祉に関連する社会課題に焦点を当てた科目を配置する。 ② 福祉の実践に必要な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を身につけるため、これらのスキルに特化した科目を配置する。 ③ 社会福祉・精神保健福祉の専門分野の学びを支える基礎的な知識と技能を身につけるため、社会福祉・精神保健福祉の基礎や関連法制度に関する科目を配置する。 ④ 現場で活躍できる福祉専門職としての知識や行動力を養うため、実践に応用できる専門的な科目を配置する。 ⑤ 実習、現場体験、ボランティア活動などを通して、利用者や地域社会への強い責任感と高い倫理観を養うための科目を配置する。 学修成果の評価方法 ① 社会福祉・精神保健福祉に関する知識・理解を評価する授業科目の最終評価は、客観試験を基本としつつ、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度など、多角的な評価方法を取り入れ、学修成果を総合的に評価する。 ② e-ポートフォリオを活用し、学生が自身の学修成果を可視化し、セミナーを通して学修目標の設定や振り返りを行うことで、学修成果の自己管理能力を育成する。 ③ セミナー科目においては、ルーブリック評価等を用いることで、教員と学生が評価基準を共有し、学修の進捗状況を分析、評価する。 ④ 福祉コースのディプロマポリシーへの到達状況は、各科目における学修の寄与度を１年次から４年次まで段階的に評価し、形成的評価を繰り返すことで学生の学修成果と課題が明確になるよう支援する。

人文学部　人間文化学科　メディア文化コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部人間文化学科メディア文化コースは、映像・視覚・情報デザイン、文字表象といったメディア文化領域のそれぞれの分野について能動的に理解し、かつそこで実践的に活躍できる人材の養成を目指す。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（人間文化学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① メディアの社会的な役割や影響力を自覚し、広く学際的な知識と教養に基づいて理解を深め、主体的に問題解決に取り組む力を有する。 ② 多様化する社会において、メディア文化に関わる上で必要な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を、適切な形で活用できる。 ③ メディア文化に深い関心を持ち、基礎的な知識と技術に基づいてメディアを通した素材の構成、編集、情報発信を行なう能力を有している。 ④ メディアの専門分野に関する知識・技術・感性を駆使し、高い提案力・表現力を発揮できる。 ⑤ 高度なメディア・リテラシーを身につけ、仕事での自己実現のビジョンを通して自ら得た知識やスキルを社会に還元することができる。 ３．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 ４．態度・姿勢 ① 人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部人間文化学科メディア文化コースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する。 ② 語学、情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する。 ③ 映像・視覚・情報デザイン、文字表象といったメディア文化の役割や特質について学修し、多様な意見や価値観、考え方を幅広く知るための機会を積極的に取り入れた科目を配置する。 ④ 個々のテーマを社会との繋がりにおいて認識し、作品制作のためのメソッドと必要な専門的スキルを修得するための科目を配置する。 ⑤ 自ら設定した高い目標に向けて知識・技術・感性を有機的に発展させ、集団のなかでのプレゼンテーション力、コミュニケーション力、企画マネージメント力を養うための科目を配置する。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　人間文化学科　グローバルコミュニケーションコース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部人間文化学科グローバルコミュニケーションコースは、建学の精神に則り、本コースの所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に学士（人間文化）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 世界の文化についての幅広い知識を身につけ、異文化を理解する能力を有している。 ② 高度な英語力を修得し、様々な場面で活用する能力を有している。 ③ 相手の文化的背景を理解したうえで、コミュニケーションを図る能力を有している。 ④ 持続可能性を追求するグローバル社会の問題・課題を把握し、解決に向けた提言・提案を作成する能力を有している。 ⑤ 持続可能性を追求するグローバル社会の問題・課題を把握し、解決に向けた提言・提案を作成する能力を有している。 ３．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 ４．態度・姿勢 ① 人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部人間文化学科グローバルコミュニケーションコースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 異文化理解を深め、それらを形成する様々な要素を理解し、現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する。 ② 情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する。 ③ 世界共通語としての英語を習得するため、英語学に関する専門科目を配置するとともに、英語圏出身の教員による科目を配置する。 ④ 我が国の「国際化した少子高齢化時代の到来」を念頭に、人文社会学部全体に開かれた英語以外の外国語を開講する。世界で使用される国連公用語、歴史的に我が国と緊密な関係を持つ国々の言語を中心とした第２外国語相当の科目群を配置する。 ⑤ 自ら設定した高い目標に向けて集団のなかでのプレゼンテーション力、コミュニケーション能力の向上を図るための科目を配置する。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　経営学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部経営学科は、建学の精神及び大学の目的に則り、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を養成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（経営学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ①　幅広い知識と教養を身につけている。 ②　現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③　語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ①　経営学科の教育課程において基礎的な知識と技能を身につけている。 ②　経営学科の教育課程において身につけた専門的な知識と技術を活かすことができる。 ③　持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして活躍する力を有している。 ３．汎用的能力 ①　現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ②　修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③　物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④　豊かな創造力と実践能力を有している。 ４．　態度・姿勢 ①　人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ②　社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部経営学科は、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ①　現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する。 ②　語学、情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する。 ③　各専門分野の学びの出発点となる基礎的な知識と技能を身につけるための科目を配置する。 ④　現代社会の実践の場で求められる専門的な知識および行動力を身につけるための科目を配置する。 ⑤　実習、現場体験、ボランティア活動などをとおして、高い倫理観と強い責任感を身につけるための科目を配置する。 学修成果の評価方法 ①　知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ②　e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③　セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④　ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　経営学科　経営コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部経営学科経営コースは、建学の精神及び大学の目的に則り、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を養成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（経営学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 経営学科経営コースの教育課程において基礎的な知識と技能を身につけている。 ② 経営学科経営コースの教育課程において身につけた専門的な知識と技術を活かすことができる。 ③ 持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして活躍する力を有している。 ３．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 ⑤ 上記の能力を身につけたうえで、物事を様々な角度から考え、総合力をもって課題解決を実践できるようになる。 ４．態度・姿勢 ① 人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に自立的･主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部経営学科経営コースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① ビジネスの世界のみならず現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する（日本国憲法、社会と法、SDGs 概論、SDGs 各論、就職支援等）。 ② 語学、情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する（実用英語、現代英語、情報リテラシー演習・DS 概論、国際コミュニケーション、プレゼンテーションスキル等）。 ③ 経営学に関連する各専門分野の学びの出発点となる基礎的な知識と技能を身につけるための科目を配置する（経営学、経済学、簿記、労働法、会社法、人材開発論、インターンシップ、ビジネスコミュニケーション等）。 ④ ビジネスの現場をはじめ、現代社会の実践の場で求められる専門的な知識および行動力を身につけるための科目を配置する（マーケティング論、会計学、経営戦略論、企業金融論等）。 ⑤ 実習、現場体験、ボランティア活動などをとおして、高い倫理観と強い責任感を身につけるための科目を配置する（海外インターンシップ、ボランティア論、ホリデー留学等）。 学修成果の評価方法 ① 知識･理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　経営学科　トレーナー・スポーツ経営コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部経営学科トレーナー・スポーツ経営コースは、建学の精神及び大学の目的に則り、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を養成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（経営学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 経営学科トレーナー・スポーツ経営コースの教育課程において基礎的な知識と技能を身につけている。 ② 経営学科トレーナー・スポーツ経営コースの教育課程において身につけた専門的な知識と技術を活かすことができる。 ③ 持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして活躍する力を有している。 ３．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 ⑤ 上記の能力を身につけた上で、リーダーシップを発揮しながら課題解決を実践できるようになる。 ４．　態度・姿勢 ① 人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部経営学科トレーナー・スポーツ経営コースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、トレーナー・スポーツ経営分野の専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、トレーナー・スポーツ経営分野の専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、4 年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する（健康とスポーツ、レクリエーション論、SDGs 概論、就職支援等）。 ② 語学、情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する（実用英語、情報リテラシー演習・DS 概論、データサイエンス入門、プレゼンテーションスキル等）。 ③ トレーナー・スポーツ経営分野の学びの出発点となる基礎的な知識と技能を身につけるための科目を配置する（スポーツトレーニング入門、スポーツ生理学、スポーツ心理学、検査・測定と評価、スポーツ産業論、体育実技等）。 ④ 現代社会の実践の場で求められるトレーナー・スポーツ経営分野の専門的な知識および行動力を身につけるための科目を配置する（ハイパフォーマンストレーニング演習、スポーツメンタルトレーニング、アスレティックトレーナー総論、スポーツマネジメント、アダプテッドスポーツ等）。 ⑤ 実習、現場体験、ボランティア活動などをとおして、高い倫理観と強い責任感を身につけるための科目を配置する（デンバー研修、アスレティックトレーナー現場実習、スポーツインターンシップ、スポーツマネジメント実習、キャンプ実習等）。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　経営学科　経営情報コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部経営学科経営情報コースは、建学の精神及び大学の目的に則り、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を養成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（経営学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 経営学科経営情報コースの教育課程において基礎的な知識と技能を身につけている。 ② 経営学科経営情報コースの教育課程において身につけた専門的な知識と技術を活かすことができる。 ③ 持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして活躍する力を有している。 ３．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 ４．態度・姿勢 ① 人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。 ③ ICT（情報通信技術）と AI（人工知能）の活用を通じ、社会課題の解決につなげる意欲を持っている。	カリキュラム編成 人文社会学部経営学科経営情報コースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、経営情報分野の専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、経営情報分野の専門知識と実践力を修得する。 資格取得に必要な科目は、4 年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 現代社会の諸課題の解決に役立つ幅広い知識と教養を身につけるための科目を配置する。（フレッシュセミナー、アドバンスセミナー、就職支援、SDGs 概論等） ② 語学、情報処理、コミュニケーションなどの基本的な能力を身につけるための科目を配置する。（実用英語、現代英語、情報リテラシー演習・DS 概論、コンピュータ概論等） ③ 経営情報分野の学びの出発点となる基礎的な知識と技能を身につけるための科目を配置する。（経営学、簿記、会計学、企業情報等） ④ ICT と AI の活用を武器に、変化する時代に適応し、多様なビジネス環境で活躍できるプロフェッショナル育成に向けて、経営情報分野の専門的な知識および行動力を身につけるための科目を配置する。（経営情報、プログラミング関係、情報処理、情報システム関係、数理・データサイエンス、経営情報各論、卒業論文等） ⑤ 実習、現場体験、ボランティア活動などをとおして、高い倫理観と強い責任感を身につけるための科目を配置する。（インターンシップ、海外インターンシップ等） 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　教育学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部教育学科は、建学の精神に則り、本学科ならびに各コースの教育課程を履修し、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（教育学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握することができる。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 2．当該分野固有の能力 ① 子どもに関する基礎的な知識と技能を身につけている。 ② 各教科において身につけた専門的な知識と技術を活かすことができる。 ③ 持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして活躍する力を有している。 3．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 4． 態度・姿勢 ① 人間愛に基づく公共的使命感や倫理観・責任感を有している。 ② 社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部教育学科は、建学の精神と卒業認定・学位授与の方針に掲げた目的を達成するため、以下のように教育課程を編成し、実施する。 学修内容・方法 ① 幅広い知識と教養を身につけ、現代社会の諸課題を的確に把握し、その対処方法を見いだすことのできるよう科目（「心理学」や「社会学」などの教養科目）を配置する。 ② 語学力、情報処理能力及びコミュニケーション能力等を磨き、多様化する社会において適切に活用することができるような科目（「語学」や「情報リテラシー演習・DS 概論」などの教養科目）を配置する。 ③ 子どもに関わる基礎的な知識と技能を身につけ、物事を論理的・客観的に考察できるような科目（「児童学」、「発達と教育の心理学」、「特別の支援を必要とする子どもの理解」などの児童専門基礎科目）を設置する。 ④ 子どもに関わる専門的な知識と技能を身につけ、持続可能性を追求する社会で、豊かな創造力と実践能力を持つプロフェッショナルとして活躍できるような科目（保育・幼稚園専門科目や小学校・特別支援専門科目、保育実習や教育実習などの実習科目、保育・教職実践演習などの演習科目）を配置する。 ⑤ 人間愛に基づく公共的使命感・倫理観をもとに、社会の発展に自立的・主体的に寄与できるようなセミナー科目（「フレッシュセミナー」及び「アドバンスセミナー」）を設置する。 ⑥ 各科目において、保育者や教育者として必要な基礎的・基本的な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を身につけるために、グループワーク（討論や発表）を組み合わせた授業手法を積極的に取り入れる。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して1年次から4年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

人文社会学部　教育学科　小学校・特別支援コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力）

人文社会学部教育学科小学校・特別支援コースは、建学の精神に則り、本学科ならびに各コースの教育課程を履修し、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（教育学）の学位を授与する。

プログラムの到達目標（目標としての学修成果）

1．知識・理解

① 教育全般に関する幅広い知識と教養を身につけている。

② 学校教育に関する問題を中心に、現代社会の諸問題に関する一般的な知識を身につけている。

③ 教育者として必要な基礎的・基本的な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。

2．当該分野固有の能力

① 適切な児童理解の姿勢・視点や方法等に関する基礎的な知識・技能を有している。

② 学校における教育課程の編成・実施・評価や各教科等の指導内容・方法に関する基礎的・基本的な知識・技能を有している。

③ 学修評価及びカリキュラム・マネジメントに関する基礎的・基本的な知識を有している。

3．汎用的能力

① 教育問題を中心とする現代社会の諸問題に対し、その核心を的確に把握し、解決に向けた対処法を見い出す能力を有している。

② 教育全般に関する教養と専門的な知識・技能に基づき、物事を論理的・客観的に考察し、持続可能性を追求するよりよい社会を構築するために積極的に行動する能力を有している。

③ 学校教育に関する幅広い教養と専門的な知識・技能に基づき、豊かな創造力と実践能力を持つプロフェッショナルとして活躍する能力を有している。

4．態度・姿勢

① 人間愛に基づく公的使命感と倫理感、責任感に基づき、常に子供のロールモデルとなれる能力を有している。

② 子供たちの明るい未来のために、平和で民主的な社会の発展に自立的・主体的に参画する意欲と能力を有している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム編成

人文社会学部教育学科小学校・特別支援コースは、建学の精神と卒業認定・学位授与の方針に掲げた目的を達成するため、以下のように教育課程を編成し、実施する。

学修内容・方法

① 幅広い知識と教養を身につけるために、「現代英語」や「心理学」、「社会学」などの一般教養科目を配置する。

② 教育に関する問題を中心に現代社会の諸問題に関する一般的な知識を身につけるために、「教育原理や教職概論」、「特別な支援を必要とする子どもの理解」などの児童専門基礎科目を配置する。

③ 学校における教育課程の編成・実施・評価や各教科等の指導内容・方法に関する基礎的・基本的な知識・技能を身につけるために、「教育課程・方法論」や「教科教育法」、「特別支援教育概論」や障害種に応じた「心理・生理・病理」及び「教育課程・指導法」などの小学校・特別支援専門科目を配置する。

④ 適切な児童理解に関することや、学習指導計画の作成及び教材・教具の研究・開発、基礎的・基本的な指導技能などを体験的に学ぶために、「学校インターンシップ」、「小学校教育実習」や「障害視児教育実習」などの実習科目や演習科目（「教職実践演習（小学校並びに特別支援）」）を配置する。

⑤ 物事を論理的・客観的に考察し、教育問題を中心とする現代社会の諸問題に対して、その核心を的確に把握して解決に向けた方策を見い出す能力を身につけるために、「児童研究」や「課題研究」などの共通専門科目（研究科目）を配置する。

⑥ 人間愛に基づき、持続可能性を追求するよりよい社会の構築に向けて積極的に行動する使命感や倫理感、責任感などを身につけるために、創造力と実践力を育てるセミナー科目（「フレッシュセミナー」及び「アドバンスセミナー」）を配置する。

⑦ 各科目において、教育者として必要な基礎的・基本的な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を身につけるために、グループワーク（討論や発表）を組み合わせた授業手法を積極的に取り入れる。

学修成果の評価方法

① 知識・理解の習得に関する評価は各期末の筆記試験もしくはレポート試験による客観的評価を行うことを基本とするほか、各科目の特性に応じて期間中の小テストの実施や学修課題の提出による評価、学修態度評価（観察評価）を加え、多角的・総合的に学修成果を評価する。

② 知識・理解を基盤とする当該分野固有の能力及び汎用的能力に関する評価は、実習科目や演習科目における技能評価を行ったり、実習や演習に取り組むプロセスを観察評価したりすることにより、多角的・総合的に学修成果を評価する。

③ 学修成果を可視化して自己管理できるように e-ポートフォリオを導入し、セミナー科目において学修目標の設定・管理・評価を行う。セミナー科目の評価はルーブリック評価等を用いて行い、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。

④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各科目の寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより学生自身が自己の学修成果と課題を明確に把握できるようにする。

人文社会学部　教育学科　保育・幼稚園コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部教育学科保育・幼稚園コースは、建学の精神に則り、本学科ならびに本コースの教育課程を履修し、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（教育学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 保育・幼児教育全般に関する幅広い知識と教養を身につけている。 ② 保育・幼児教育の問題を中心に保育や幼児教育並びに学校教育に関する一般的な知識を身につけている。 ③ 保育・幼児教育に携わる者として必要な基礎的・基本的な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を有している。 2．当該分野固有の能力 ① 適切な乳幼児理解の姿勢･視点や発達支援の方法等に関する基礎的な知識・技能を有している。 ② 保育所における保育計画及び幼稚園における教育課程や､指導計画等の作成に関する基礎的・基本的な知識・技能を有している。 ③ 乳幼児の心身の発達の基礎を培うために､遊びを通して総合的な保育や指導を行うための環境を整える知識・技能を有している。 3．汎用的能力 ① 保育･幼児教育を中心とする現代社会の諸課題に対し、その核心を的確に把握し、解決に向けた対処法を見い出す能力を有している。 ② 保育・幼児教育に関する教養と専門的な知識・技能に基づき、物事を論理的･客観的に考察し、持続可能性を追求するよりよい社会を構築するために積極的に行動できる。 ③ 保育・幼児教育に関する教養と専門的な知識・技能に基づき、豊かな創造力と実践力を持つプロフェッショナルとして活躍する能力を有している。 4. 態度・姿勢 ① 乳幼児が常に健康安全で情緒の安定した生活を送ることができる環境を整え、自己を存分に発揮しながら活動できるよう、人間愛や使命感に基づく信頼関係を構築できる能力を有している。 ② 子どもたちの明るい未来のために、平和で民主的な国家・社会の発展に自立的・主体的に参画する意欲と能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部教育学科保育・幼稚園コースは、建学の精神と卒業認定・学位授与の方針に掲げた目的を達成するため、以下のように教育課程を編成し、実施する。 学修内容・方法 ① 幅広い知識と教養を身につけるために､「現代英語」や「レクリエーション論」､「レクリエーション実技」などの一般教養科目を配置する。 ② 保育・幼児教育の内容を中心に保育や教育に関する一般的な知識を身につけるために､「児童学」や「発達と教育の心理学」､「児童文学」などの児童専門基礎科目を配置する。 ③ 保育所における保育計画及び幼稚園における教育課程や、指導計画の作成並びに保育・指導の内容・方法に関する基礎的・基本的な知識・技能を身につけるために､「保育原理」や「保育の計画と評価」､「保育内容総論」などの保育・幼稚園専門科目を配置する。 ④ 適切な乳幼児理解に関することや、保育・指導計画の作成及び教材・教具の研究・開発、基礎的・基本的な保育・指導技能などを体験的に学ぶための実習科目（「保育実習」並びに「幼稚園教育実習」）や、演習科目（保育・教職実践演習（幼稚園））を配置する。 ⑤ 物事を論理的・客観的に考察し、保育・幼児教育を中心とする現代社会の諸問題に対して、その核心を的確に把握して解決に向けた方策を見い出す能力を身につけるために､「児童研究」や「課題研究」などの共通専門科目（研究科目）を配置する。 ⑥ 人間愛に基づき、持続可能性を追求するよりよい社会の構築に向けて積極的に行動する使命感や倫理感、責任感などを身につけることができるよう､創造力と実践力を育てるセミナー科目（「フレッシュセミナー」及び「アドバンスセミナー」）を配置する。 ⑦ 各科目において、保育者や教育者として必要な基礎的・基本的な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力を身につけるために、グループワーク（討論や発表）を組み合わせた授業手法を積極的に取り入れる。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解の習得に関する評価は各期末の筆記試験もしくはレポート試験による客観的評価を行うことを基本とするほか、各科目の特性に応じて期間中の小テストの実施や学修課題の提出による評価、学修態度評価（観察評価）を加え、多角的・総合的に学修成果を評価する。 ② 知識・理解を基盤とする当該分野固有の能力及び汎用的能力に関する評価は、実習科目や演習科目における技能評価を行ったり、実習や演習に取り組むプロセスを観察評価したりすることにより、多角的・総合的に学修成果を評価する。 ③ 学修成果を可視化して自己管理できるようにe-ポートフォリオを導入し、セミナー科目において学修目標の設定・管理・評価を行う。セミナー科目の評価はルーブリック評価等を用いて行い、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各科目の寄与度を設定して1年次から4年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより学生自身が自己の学修成果と課題を明確に把握できるようにする。

人文社会学部　観光経営学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 人文社会学部観光経営学科は、建学の精神に則り、観光を中心とするサービス産業の分野で必要とされる専門知識と産業人としての素養と応用力、実践能力、英語力を身につけ、以下の知識・能力を修得した者に学位を授与する。学士（経営学） プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 人と文化交流を促進できる豊かな人間性と幅広い知識と教養を身につけている。 ② 現代社会の諸課題を的確に把握し、これに対応する基礎的な知識を身につけている。 ③ 語学力、情報処理能力、コミュニケーション力を磨き、国際交流に取り組む姿勢を身につけている。 ④ 国内、海外の地理・文化・歴史を学び豊かな社会実現に向けた能力を有している。 ⑤ 情報技術を活用する上での倫理観を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 観光および経営に関する基礎的な知識と技能を修得し、自分の考え方を的確に表現する能力を有している。 ② 持続可能性を追求する社会で、プロフェッショナルとして活躍する能力を有している。 ③ 観光経営に関する専門知識を活かし、産業人として実践する能力を有している。 ④ 国際交流やイベントなど観光事業の多様な分野で活躍できる能力を有している。 ３．汎用的能力 ① 現代社会の諸課題に対し、効果的な対処法を見出す能力を有している。 ② 修得した知識と能力を多様化する社会において適切に活用することができる。 ③ 物事を論理的・客観的に考察する能力を有している。 ④ 豊かな創造力と実践能力を有している。 ⑤ 社会人として規律を重んじる行動力を有している。 ⑥ 社会人として他者を思いやるホスピタリティマインドを有している。 ４．態度・姿勢 ① 高い倫理観と責任感を持ち、現代社会の諸問題に積極的に取り組む能力を有している。 ② 社会の発展に自立的・主体的に寄与する意欲と能力を有している。 ③ 他者を理解してから、次に自らを理解してもらう姿勢を身につけている。 ④ 困難な状況に直面しても粘り強く前向きに適応できる能力を有している。	カリキュラム編成 人文社会学部観光経営学科は、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、専門領域を学ぶ上で必要な知識・技術を修得する。 「専門科目」では、専門知識と実践能力を修得する。 資格取得に必要な科目は、４年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 社会の多様な分野で活躍できるように、幅広い教養科目を配置する。 ② 現代社会が直面する諸課題を理解できる科目を配置する。 ③ 情報処理およびコミュニケーション能力の基本的スキルを身につける科目を配置する。 ④ 英語を基本として、外国語能力を高める科目を配置する。 ⑤ 観光産業の基礎を成す国内、海外の地理・歴史・文化について理解を深める科目を配置する。 ⑥ 観光産業の経営課題を総合的に理解し、実践的な学びを通じてその解決方法を検討する科目を配置する。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価等を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより、自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康メディカル学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部は、建学の精神及び大学の目的に則り、医療・福祉・保健・スポーツなどの専門分野で活躍できる人材を育成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（理学療法学・作業療法学・言語聴覚学・心理学・栄養学・健康科学）の学位を授与する。 学部としての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② 各専門分野における高度な知識を修得している。 2．当該分野固有の能力 ① 各専門分野における技術を修得している。 ② 各専門分野における課題や問題を深く探求し解決しようとする姿勢を有している。 ③ 倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① コミュニケーション能力を有している。 ② 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている。 ③ 生涯にわたって自立（律）して学び、社会に貢献しようとする意欲を備えている。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 教養科目には、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のすべてと関連する幅広い科目を配置する。 ② 専門基礎科目には、専門科目を学ぶ上で基礎となる科目を、学修の順序性を考慮し、学年に応じて配置する。 ③ 専門科目には、学科・コースに応じた国家試験受験資格取得、または認定資格取得のための内容を有する科目を配置する。 学修の方法 ① 科目の到達目標の達成及び学修内容の修得のために、最も適した授業形態（講義・演習・実習等）を用いて授業を行う。 ② 「実学」を重視し、講義等で得た知識を更に研鑽するための実践の場を用意すると共に、アクティブ・ラーニング等の学修者の能動性を育てる学修方法を導入する。 ③ 学修者の利便性及び効率性の向上を図るため、ICT 技術を積極的に取り入れる。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

健康メディカル学部　理学療法学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部理学療法学科は、建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、幅広い教養と高度な専門知識を有し、小児から高齢者までの対象者に対応できる人間性を備えた理学療法士を養成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士(理学療法学)の学位を授与する。 学科としての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② 理学療法学における専門的知識を修得している。 2．当該分野固有の能力 ① 理学療法学における技術を修得している。 ② 理学療法学における課題や問題を深く探求し解決しようとする姿勢を有している。 ③ 倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① コミュニケーション能力を有している。 ② 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている。 ③ 生涯にわたって自立（律）して学び、わが国と世界の持続・発展に貢献しようとする意欲を備えている。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部理学療法学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 小児から高齢者までの対象者に対応できる医療従事者としての人間性と社会性を育てるための幅広い教養科目を配置する。 ② 実学・臨床に強い学生を養成するために、見学実習を 1 年次・2 年次に、本格的な臨床実習を 3 年次・4 年次にそれぞれ配置する。 ③ 全学年を通し、幅広い領域にわたる医科学と理学療法専門領域を学修し、標準的な理学療法学の理論と技術を身につける。 学修の方法 ① 各担任によるきめ細かい学習指導を行い、自ら調べ、学習する態度と、コミュニケーション能力を養成する。 ② 講義等で得た知識を更に研鑽するための実習授業を多く提供すると共に、学修者の能動性を育てる学修方法を導入する。 ③ 実習・演習は複数の教員における実習指導を行う。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

健康メディカル学部　作業療法学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力）

健康メディカル学部作業療法学科は、建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、他職種とも連携しながら作業療法対象者のニーズに応え、社会貢献できる作業療法士を養成することを目的としている。

本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（作業療法学）の学位を授与する。

学科としての到達目標（目標としての学修成果）

1．知識・理解

① 作業療法に関する専門知識を幅広く修得している。

② 地域特性や社会情勢に応じた作業療法実践を理解している。

2．当該分野固有の能力

① 作業療法に関する知識と技術を統合し、対象者の多様性を尊重してそのニーズに誠実に応えることができる。

② 国内外の多様な文化・生活背景に興味関心を持ち、対象者にとっての意味ある作業を治療・支援の手段として活用し、生活の質や心身の健康の向上に貢献できる。

③ 地域特性や社会情勢に即した作業療法の実践基盤を持ち、多職種と協働して健康な社会づくりに貢献できる。

3．汎用的能力

① 幅広い教養とコミュニケーション力を発揮し、他者と良好な人間関係を構築することができる。

② 語学力・情報リテラシー・ICT スキルを修得し、適切に活用することができる。

4．態度・姿勢

① 作業療法士として豊かな人間性と倫理観を備えている。

② 主体的に業務に取り組むことができる。

③ 社会情勢の変化に対応しつつ、作業療法の専門性発展に貢献し、自己研鑽を継続できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教育課程編成の基本方針

健康メディカル学部作業療法学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。

学修内容

① 教養科目には、現代社会における問題を理解する力や幅広いものの見方を身につけるための科目を配置する。

② 初年次から臨地・臨床実習に向けて、キャリア教育やマナーを初めとするプレ社会人教育を通して汎用的能力を修得するためのセミナー科目を配置する。

③ 専門基礎科目および専門科目には、初年次から 4 年次にかけて、作業療法士として必要な専門知識、技術、態度を段階的に修得し、かつ国家資格試験に必要な科目を体系的に学修するための科目を配置する。

④ 臨地・臨床実習の科目には、初年次から 4 年次にかけて段階的に学外での作業療法実践を体験でき、作業療法士として働くために必要な実践的な臨地・臨床能力を身につけるための科目を配置する。

学修の方法

① 各学年において学内での講義・実習と学外実習を対応させ、知識・技術および態度と実際の作業療法実践を結びつけた学修を行う。

② グループワークやディスカッション及び問題解決型学習（PBL）等により、批判的思考力と実践力を育成する能動的学修を行う。

③ 他学科との合同授業や演習を通して、チームアプローチと多職種連携・協働の基本を実践的に学修する。

④ 初年次から 4 年次にかけて段階的に配置された学外実習を通じて、作業療法士として必要な臨床実践力を身につける。

⑤ 1 年次から地域活動・地域実習に積極的に取り組み、地域での作業療法実践力を育成し、地域課題への理解と対応能力を養う。

⑥ 担任を中心とした個別面談・学修指導のもと、各自の学習進度に応じたサポートを受けて主体的に学修成果の向上に取り組む。

学修成果の評価方法に係る方針

各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、筆記試験、実技試験、レポート課題、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

健康メディカル学部　言語聴覚学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部言語聴覚学科は、建学の精神および健康メディカル学部の目的に則り、主に医療・福祉・保健などの専門分野で活躍できる人材を育成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（言語聴覚学）の学位を授与する。 学科としての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 人文・社会科学と自然科学に均整のとれた教養を有している。 ② 言語聴覚障害学に関連する基礎科目ならびに専門科目についての高度な知識を習得している。 2．当該分野固有の能力 ① 言語聴覚障害の臨床実践に必要な各種技能（観察、記録、検査、評価・診断、訓練・指導、考察などの能力）を習得している。 ② 言語聴覚障害分野における課題や問題を深く探求する姿勢と、問題解決能力、創造性を有している。 ③ 言語聴覚障害分野に必要な倫理観に基づき、行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① 適切なコミュニケーション能力を有している。 ② 語学・情報リテラシー、ICT スキルを習得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人々の幸福と福祉に貢献できる、人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて、地域社会との交流と貢献に努める姿勢を備えている。 ③ 生涯にわたって自立（律）して学び、成果を国内外へ発信してわが国と世界の持続・発展に尽くす意欲を備えている。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部言語聴覚学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 教養科目には、卒業認定・学位授与の方針のすべてと関連する幅広い科目を配置し、さまざまな年代の人と意思の疎通が図れる能力と均整の取れた教養の獲得を目指す。また広く文化や社会の動向への関心を高め、言語聴覚士の職務に必要な日本語能力および自己の学習の計画・管理ができる能力を身につける。 ② 専門基礎科目には、言語聴覚障害学を専門的に学ぶ上で基礎となる、言語聴覚士国家試験受験資格取得に必要な内容を有する科目を配置する。 ③ 専門科目には、言語聴覚障害学の各専門分野に、言語聴覚士国家試験受験資格取得に必要な内容を有する科目を配置する。これらの履修を通して、言語聴覚士の業務遂行に必要な総合的知識と臨床技能を身につける。 学修の方法 ① 科目の到達目標の達成および学修内容の修得のために、講義と演習・実習を学生の学修進度に応じて系統的に配置して授業を行う。授業では、アクティブ・ラーニングを取り入れた能動的学修を促進し、各担当によるきめ細やかな学修指導を行う。 ② 学修の順序性を考慮し、専門基礎科目は１・２年次に、専門科目は３・４年次に配置する。また学内演習科目・学内実習科目を２・３年次に段階的に配置するとともに、学外施設における臨床実習を２・３・４年次に段階的に配置する。 ③ ICT を積極的に活用して理解力を深め、学修の効率化を図る。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を的確に評価するため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリックなどの多様な評価手法を活用する。科目に応じた適切な評価方法を選択し、必要に応じて複合的に用いることで、学生の知識・臨床技能および態度・コミュニケーション能力などを多面的かつ総合的に評価する。

健康メディカル学部　心理学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部心理学科は、建学の精神および健康メディカル学部の目的に則り、心理学の専門を活かして社会で活躍できる人材を育成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（心理学）の学位を授与する。 学科としての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② 人間を理解する心理学の知識と方法を修得している。 2．当該分野固有の能力 ① 心理に関する支援方法を修得している。 ② 心理学を用いて社会における課題や問題を深く探求し解決しようとする姿勢を有している。 ③ 倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① 適切なコミュニケーションスキルを持ち、他者とチームを組んで能力を発揮する力を修得している。 ② 困難な状況にあっても、問題に取り組み続ける力を修得している。 ③ 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 自立した社会人として主体的に学ぶ意欲を備えている。 ③ 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている ④ 多角的な視点を持って, 社会に貢献しようとする意欲を備えている。 ⑤ 責任ある社会人としての倫理的態度を備えている。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部心理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 社会人としてのマナーを身につけるための初年度教育の充実を図る科目を配置する。 ② 人間理解を深める心理学の基礎を学び、臨床実践の基盤となる知識・技術を修得できる科目を配置する。 ③ 学生自らの人間性や将来のキャリアについて考える機会を持てる授業科目を配置する。 ④ 心理学を社会生活に役立てていくための実学的な専門科目を配置する。 ⑤ 心理に関する支援を要する人々を深く理解し、医療・福祉・教育・産業・司法領域で適切に支援するための科目を配置する。 学修の方法 ① 実学を重視し、基礎的な臨床力や高い倫理観を身につける授業を通して、資格取得のための実践的な準備を行う。 ② 現代社会の実践の場で求められる専門的な知識や技能、人材開発やマーケティング、組織づくりに活かす知識を身につけるための授業を行う。 ③ データを分析する力、論理的に考えていく力などを養う授業を通して、学問への興味・関心を研究につなげていく。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に図るため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的に評価を実施する。

健康メディカル学部　健康栄養学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部健康栄養学科は、建学の精神および健康メディカル学部の目的に則り、主に食・栄養学の専門分野で活躍できる人材を育成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（栄養学）の学位を授与する。 学科としての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② 食・栄養学を中心に高度な知識を修得している。 2．当該分野固有の能力 ① 食・栄養学における技術を修得している。 ② 食・栄養学における課題や問題を深く探求し解決しようとする姿勢を有している。 ③ 管理栄養士に必要な高度専門職としての資質・使命感を修得し、社会で活躍できる能力を有している。 ④ 倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① コミュニケーション能力を有している。 ② 問題発見と提起および問題解決能力を有している。 ③ 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている。 ③ 生涯にわたって自立（律）して学び、社会に貢献しようとする意欲を備えている。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部健康栄養学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 教養科目には、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のすべてと関連する幅広い科目を配置する。 ② 教養科目のうちフレッシュセミナー、アドバンスセミナー、英語、コンピュータ演習などは必修する。 ③ 専門基礎科目には、食・栄養に関する専門科目を学ぶ上で基礎となる科目を、学修の順序性を考慮し、学年に応じて配置する。 ④ 専門科目には、食・栄養に関する専門職としての知識・技能を修得し、管理栄養士国家試験受験資格取得、栄養士認定資格取得のための内容を有する科目を配置する。 ⑤ フードスペシャリスト受験資格、栄養教諭一種免許状を取得する場合に必要な科目は、4 年間にわたり系統的に配置する。 学修の方法 ① 科目の到達目標の達成及び学修内容の修得のために、最も適した授業形態（講義・演習・実習等）を用いて授業を行う。 ② 「実学」を重視し、講義等で得た知識を更に研鑽するための実践の場を用意すると共に、アクティブ・ラーニング等の学修者の能動性を育てる学修方法を導入する。 ③ 学修者の利便性及び効率性の向上を図るため、ICT 技術を積極的に取り入れる。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

健康メディカル学部　医療科学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部医療科学科は、建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、医療・工学・福祉・保健・スポーツなどの専門分野で活躍できる人材を育成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（健康科学）の学位を授与する。 学科としての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② 各専門分野における高度な知識を修得している。 2．当該分野固有の能力 ① 各専門分野における技術を修得している。 ② 各専門分野における課題や問題を深く探求し解決しようとする姿勢を有している。 ③ 倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① コミュニケーション能力を有している。 ② 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている。 ③ 生涯にわたって自立（律）して学び、社会に貢献しようとする意欲を備えている。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部医療科学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 教養科目には、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のすべてと関連する幅広い科目を配置する。 ② 専門基礎科目には、専門科目を学ぶ上で基礎となる科目を、学修の順序性を考慮し、学年に応じて配置する。 ③ 専門科目には、各コースに応じた国家試験受験資格取得、または認定資格取得のための内容を有する科目を配置する。 学修の方法 ① 科目の到達目標の達成及び学修内容の修得のために、最も適した授業形態（講義・演習・実習等）を用いて授業を行う。 ② 「実学」を重視し、講義等で得た知識を更に研鑽するための実践の場を用意すると共に、アクティブ・ラーニング等の学修者の能動性を育てる学修方法を導入する。 ③ 学修者の利便性及び効率性の向上を図るため、ICT 技術を積極的に取り入れる。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

健康メディカル学部　医療科学科　救急救命士コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部医療科学科救急救命士コースは、建学の精神及び健康メディカル学部医療科学科の目的に則り、幅広い教養と高度な専門知識を有し、病院前救急医療における医療専門職である救急救命士を養成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（健康科学）の学位を授与する。 コースとしての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② 救急救命士となるために必要な知識を修得している。 ③ 救急救命士としての知識を基に、傷病者に適切な医療の補助を行う能力を修得している。 2．当該分野固有の能力 ① 救急救命士となるために必要な技術を修得している。 ② 救急救命士としての技術を基に、傷病者に適切な医療の補助を行う能力を修得している。 ③ 病院前救急医療に関連する多職種と協調して活動できる能力を有している。 ④ 救急救命士としての倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① コミュニケーション能力を有している。 ② 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている。 ③ 継続的研鑽・学修に励み、専門的知識と技術水準を維持し、病院前救急医療の発展に寄与することのできる能力を有している。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部医療科学科救急救命士コースは、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 教養科目には、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のすべてと関連する幅広い科目を配置する。 ② 医療専門職としての専門基礎分野、特に人体の構造と機能、疾患の成り立ちと回復の過程、健康と社会保障の仕組みについて修得する科目を配置する。 ③ 救急救命士の専門分野として、救急医学概論、救急症候・病態生理学、疾病救急医学、外傷救急医学及び環境障害・急性中毒学についての知識を修得する科目を配置する。 学修の方法 ① 講義・実習・演習・研究科目において自ら継続して学修する態度と、倫理観、コミュニケーション能力を養成する。 ② 救急救命のための心肺蘇生、救急疾患や外傷を想定したシミュレーション実習と、応急手当指導法の演習を通して実践能力を修得する。 ③ 救急医療の実際を学修するため、「臨床実習」や「救急用自動車同乗実習」において、救急救命センターや消防機関等で一定期間の実習を行う。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

健康メディカル学部　医療科学科　臨床工学コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部医療科学科臨床工学コースは、建学の精神及び健康メディカル学部医療科学科の目的に則り、医学・工学・情報などの分野で活躍できる人材を育成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者で、かつ以下の知識・能力・態度を有すると認められる者に、学士（健康科学）の学位を授与する。 コースとしての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② 臨床工学技士となるために必要な知識を有している。 ③ 臨床工学技士としての知識を基に、患者のために適切な医療の補助を行う能力を有している。 2．当該分野固有の能力 ① 臨床工学技士となるために必要な技術を修得している。 ② 臨床工学技士としての技術を基に、傷病者に適切な医療の補助を行う能力を修得している。 ③ 医療施設において関連する他職種と協調して活動できる能力を有している。 ④ 臨床工学技士としての倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① チーム医療における円滑なコミュニケーションを図る能力を有している。 ② 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し、医療現場において活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている。 ③ 医療人としての責任感を持ち、継続的研鑽・学修に励み、専門的知識と技術水準を維持し、臨床工学の発展に寄与することのできる能力を有している。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部医療科学科臨床工学コースは、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 生体を理解するための医学系科目と、工学技術者の基礎となる理数系科目および電気・機械系科目を専門基礎科目として、機器・装置・情報学を専門科目として体系的に配置する。 ② 医療機器で重要な役割を果たしている電気・電子工学に関して、実践的知識を身につけるため、専門基礎科目の中に実験科目を配置する。 ③ 医療機器が有するリスクを十分に理解し、医療における安全と質の維持に対して常にその責を担えるように、専門科目の中に機器の構成とその安全管理に関する科目を配置する。 ④ 臨床工学技士（国家資格）を目指す学生に対しては、医療現場で必要な高度医療機器の原理と実機操作を目的とした学内での実習科目を配置する。また、4 年次には医療技術者となるべく医療機関において 6 週間の「臨床実習」を配置する。 学修の方法 ① 科目の到達目標の達成及び学修内容の修得のために、最も適した授業形態（講義・演習・実習等）を用いて授業を行う。 ② 「実学」を重視し、講義等で得た知識を更に研鑽するための実践の場を用意すると共に、アクティブ・ラーニング等の学修者の能動性を育てる学修方法を導入する。 ③ 学修者の利便性及び効率性の向上を図るため、ICT 技術を積極的に取り入れる。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

健康メディカル学部　医療科学科　スポーツサイエンスコース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康メディカル学部医療科学科スポーツサイエンスコースは、建学の精神及び健康メディカル学部医療科学科の目的に則り、幅広い教養と高度な専門知識を有し、スポーツ医・科学の分野で活躍できる人材を育成する。 本学学則が定める期間在学し、所定の授業科目及び単位を修得した者でかつ以下の資質と能力を有すると認められる者に、学士（健康科学）の学位を授与する。 コースとしての到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い教養を有している。 ② スポーツ医・科学の専門家として活躍するための高度な知識を修得している。 2．当該分野固有の能力 ① スポーツ医・科学の専門家として活躍するための高度な技術を修得している。 ② スポーツ医・科学の分野における課題や問題を深く探求し解決しようとする姿勢を有している。 ③ スポーツ医・科学の専門家として、倫理観に基づき行動できる能力を有している。 3．汎用的能力 ① コミュニケーション能力を有している。 ② 語学、情報リテラシー、ICT スキルを修得し活用することができる。 4．態度・姿勢 ① 人間愛にあふれた人格を備えている。 ② 他者の意見を広く聴いて協働しようとする姿勢を備えている。 ③ 生涯にわたって自立（律）して学び、社会に貢献しようとする意欲を備えている。	教育課程編成の基本方針 健康メディカル学部医療科学科スポーツサイエンスコースは、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定められた人材育成目標を達成するために、科目を教養科目・専門基礎科目・専門科目に区分し、それぞれを体系的かつ順次性をもって配置して教育課程を編成する。 学修内容 ① 教養科目には、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のすべてと関連する幅広い科目を配置する（医療の歴史、社会福祉原論、こころと体の健康、レクリエーション論等）。 ② 専門基礎科目には、専門科目を学ぶ上で基礎となる科目を、学修の順序性を考慮し、学年に応じて配置する（栄養学、解剖学、生理学、運動学等）。 ③ 専門科目には、認定資格取得のための内容を有する科目を配置する（スポーツ医学入門、コンディショニング演習、トレーニング科学演習、検査・測定と評価等）。 学修の方法 ① 科目の到達目標の達成及び学修内容の修得のために、最も適した授業形態（講義・演習・実習等）を用いて授業を行う。 ② 「実学」を重視し、講義等で得た知識を更に研鑽するための実践の場を用意すると共に、アクティブ・ラーニング等の学修者の能動性を育てる学修方法を導入する。 ③ 学修者の利便性及び効率性の向上を図るため、ICT 技術を積極的に取り入れる。 学修成果の評価方法に係る方針 各科目が定める到達目標の達成度を適切に測るため、筆記試験、実技試験、レポート、ポートフォリオ、ルーブリック等の多様な評価方法から適切な方法を用いると共に、必要に応じて複合的にこれらを用いて、多角的な評価を実施する。

ヒューマンケア学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身に付けるべき資質・能力）

ヒューマンケア学部では、建学の精神及び大学の目的に則り、豊かな人間性と高い倫理観を備え、医療にかかわる幅広い知識・技能を修得し、専門領域や地域社会に関する課題を解決する能力を備え、医療・保健・福祉などの分野で活躍することのできる人材を育成する。

所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（保健科学）もしくは学士（看護学）の学位を授与する。

プログラムの到達目標（目標としての学修成果）

1．知識・理解

① 社会人としての幅広い教養を修得している。
② 人体の構造や機能、病態、治療にかかわる基礎的な知識を修得している。
③ 専門領域の理論を学び、その基盤となる知識を修得している。
④ 専門領域についての体系的な知識と技能・態度を修得している。
⑤ 医療・保健・福祉に関する健康支援や社会保障制度の基礎的な知識を修得している。
⑥ 専門領域の探求のための研究方法や計画立案・実施評価にかかる一連の過程を理解している。

2．当該分野固有の能力

① 対象の人権を尊重した上で適切な治療の実践ができる。
② 科学的根拠に基づく治療計画を立案し、その成果を評価できる。
③ 地域、病院、施設等の多様な場における医療分野のさまざまな課題を発見し、解決する能力を備えている。

3．汎用的能力

① 自ら問題を見つけ、様々な知識や手段を駆使して対策を立案し、解決のための行動がとれる。
② 社会人としてのコミュニケーション能力を修得している。
③ 学修や社会生活を送るうえでのルールやマナーを守り、規律ある行動がとれる。

4．態度・姿勢

① 学修や課題に対し、主体的、客観的、創造的に取り組む姿勢を備えている。
② 医療専門職としての自覚をもち、専門領域を探求し続ける姿勢を備えている。
③ 生涯にわたり知識や能力を高めてゆく意欲を備えている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム編成

カリキュラムは「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みで構成されている。主に 1～2 年次に学修する「教養科目」は、幅広い知識と教養、豊かな人間性や倫理観を身につけるための基盤となる人文・社会・科学・語学系の科目からなる。

専門領域を修めるために必要な「専門基礎科目」および「専門科目」を、段階的かつ体系的に全学年に配置する。

「専門基礎科目」は、専門領域を学ぶための基盤となる科目で、基礎医学、臨床医学、関係法規等の科目も含まれる。

「専門科目」には、講義科目、演習科目、実習科目が配置されている

卒業研究を配置し、問題発見・解決能力、研究内容を論理的にまとめる能力、発表する能力、コミュニケーション能力などを醸成している。

国家試験の受験資格に係る科目は必修としている。

学修内容・方法

① 授業の方法は、講義、実習、グループ学習によるアクティブラーニング形式の演習があり、学修内容に適した授業形態を組み合わせて実施する。
② 「教養科目」では、人間、生活、社会の理解を深め、科学的な思考の基盤となる知識を学び、豊かな人間性や倫理観、社会人としての教養を身につけていく。
③ 「教養科目」の中のセミナー科目は本学共通の必修科目で、1 年次～4 年次まで少人数クラスでの担任制により実施し、幅広い教養、常識、マナー等を身につけ、医療専門職をめざす大学生として学業や学生生活の定着からライセンスの取得、将来のキャリア設計まで、多岐にわたる学修を積み重ねていく。
④ 「専門基礎科目」では、人体の構造と機能、疾病や障害の病態や治療、健康支援や社会保障制度に関連する科目など、科学的根拠に基づいた専門領域が展開できるための基盤となる知識を修得する。
⑤ 「専門科目」やセミナー科目での講義、演習、実習を通して、医療専門職としての思考力・倫理的判断力・問題解決力・コミュニケーション能力を醸成していく。
⑥ 卒業研究は、希望する専門領域での少人数ゼミ形式で行い、研究計画から発表まで一貫した指導により、専門領域内の新たな課題を発見・解決する力を学修する。

学修成果の評価方法

① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学習態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。
② e-ポートフォリオを導入し、学習成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。
③ セミナー科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。
④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

ヒューマンケア学部　看護学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身に付けるべき資質・能力） ヒューマンケア学部看護学科では、建学の精神及び学部の目的に則り、変化する社会の中で、看護専門職としての自覚と倫理観を備え、科学的根拠に基づく課題解決力を身につけ、関係する人々と連携・協働しながら、対象を全人的にとらえ、個別性のある看護を実践できる能力を有する人材の育成を目標としている。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記のプログラムの到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（看護学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 人間、生活、社会の理解、科学的な思考の基盤や社会人としての教養にかかわる知識を深めている。 ② 看護の基盤となる人体の構造や機能、病態、治療にかかわる基礎的・系統的な知識を修得している。 ③ 保健医療福祉にかかわる健康支援や社会保障制度の基礎的な知識を修得している。 ④ 看護を実践するうえでの看護学の基礎的知識を修得している。 ⑤ さまざまな発達段階や健康レベル、看護提供の場において看護に必要な基礎的知識を修得している。 ⑥ 看護を統合的、発展的にとらえ探求していくうえでの基礎的知識を修得している。 ２．当該分野固有の能力 ① 地域、在宅、病院、施設等の多様な場において、さまざまな発達段階、健康レベルの人々に応じた看護が実践できる。 ② 対象の人権を尊重し倫理的判断をもって接することができる。 ③ 対象を身体的・精神的および社会的側面から全人的にとらえ、健康上の課題を抽出し、科学的根拠に基づき個別性のある看護計画を立案、実施し、その成果を評価できる。 ④ 対象への看護実践を通し、多職種との連携・協働に必要な行動をとることができる。 ３．汎用的能力 ① 自ら問題を見つけ、様々な知識や手段を駆使して対策を立案し、解決のための行動がとれる。 ② チームの中で、自己の役割を果たすためのリーダーシップやメンバーシップを発揮できる。 ③ 日本語や英語を用いて、口頭や記述により効果的なコミュニケーションを行なえる。 ④ 他者とのかかわりの中で、報告・連絡・相談が自発的にできる。 ⑤ 学修や社会生活を送るうえでのルールやマナーを守り、規律ある行動がとれる。 ４．態度・姿勢 ① 他者を思いやり権利を守りながら、自分の思いや考えを伝え、良好な人間関係を築く姿勢を備えている。 ② 学修や課題に対し、主体的、客観的、創造的に取り組む姿勢を備え	カリキュラム編成 ディプロマポリシーに達する人材を育成するために、カリキュラムは「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の 3 つの枠組みで構成している。主に 1～2 年次に学修する「教養科目」は、幅広い知識と教養、豊かな人間性や倫理観を身につけるための基盤となる人文・社会・科学系の科目からなり、「専門基礎科目」は、看護学を学ぶための基盤となる保健、医療、社会福祉関連の科目から構成されている。「専門科目」である看護学は、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践の各科目から構成され、1 年次～4 年次に渡り、看護の理論と実践について、基礎的な内容から専門的・発展的な内容へと継続的に学修を深化させていく。臨地実習は、1、2 年次に基礎看護学実習、3 年次は領域別看護学実習、4 年次は統合実習と学内での学修進度に合わせて段階的に配置している。看護師国家試験の受験資格に係る科目は必修としている。 保健師課程および助産師課程については、1 年次末に選考を行う。選抜者は 2 年次から順序性を考慮した学修を開始し、臨地実習は 4 年次に配置する。 学修内容・方法 ① 授業の方法は、講義、グループ学習によるアクティブラーニング形式の演習、そして看護の現場で学ぶ臨地実習があり、学修内容に適した授業形態を組み合わせて実施する。 ② 「教養科目」では、人間、生活、社会の理解を深め、科学的な思考の基盤となる知識を学び、豊かな人間性や倫理観、社会人としての教養を身につけていく。 ③ 「教養科目」の中のセミナー科目は本学共通の必修科目で、1 年次～4 年次まで少人数クラスでの担任制により実施し、幅広い教養、常識、マナー等を身につけ、看護専門職をめざす大学生として学業や学生生活の定着からライセンスの取得、将来のキャリア設計まで、多岐にわたる学修を積み重ねていく。 ④ 「専門基礎科目」では、人体の構造と機能、疾病や障害の病態や治療、健康支援や社会保障制度に関連する科目など、科学的根拠に基づいた看護が展開できるための基盤となる知識を修得する。 ⑤ 看護を実践するうえでの看護学の基礎的知識や技術は、主に 1～2 年次に基礎看護学の講義・演習・臨地実習で学ぶ。 ⑥ さまざまな発達段階、健康レベルの人々、看護提供の場における看護実践に必要な理論や実践は、主に 2～3 年次に領域別看護学の講義や演習、臨地実習で学ぶ。 ⑦ 臨地実習は、基本的には一人の対象を受け持ち、対象を全人的にとらえ、倫理観を持って、科学的根拠に基づいた個別性のある看護を展開することを学ぶ。 ⑧ 主にセミナー科目や専門科目の講義、演習、臨地実習を通して、看護専門職としての思考力・倫理的判断力・問題解決力・コミュニケーション能力を醸成していく。 ⑨ 看護を統合的、発展的にとらえ、探求していくうえでの理論や実践は、主に 4 年次の看護の統合と実践にかかわる科目で学ぶ。 ⑩ 卒業研究は、希望する看護学領域での少人数ゼミ形式で行い、研究計画から発表まで一貫した指導を行う。さらに、研究指導教員

ている。 ③ 常に自己省察を行い、困難な状況にあっても柔軟で粘り強く対応しようとする姿勢を備えている。 ④ 看護専門職としての自覚をもち、未来に向かって看護を探求し続ける姿勢を備えている。	が進路や国家試験に向けてのチューターとなり、セミナー科目の担任と連携して、継続的に学習支援をしていく。 ⑪ チーム医療に資する人材を育成するため、薬学科との“IPE（連携教育）”の一貫としての「応用看護論」では、臨床現場での事例をもとに薬学科の学生と合同ディスカッションを行い、協力して課題解決を行うことを学ぶ。 ⑫ 学内での授業や臨地実習において、障害や疾患を有する当事者の語りを聴いたり、様々な看護分野で活躍しているスペシャリストの講義や活動を見学したりする機会を多く取り入れる。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学習態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学習成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目と臨地実習科目は、ルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ 2 年生の「基礎看護学実習Ⅱ」前と 4 年生の「統合実習」前に OSCE（臨床能力試験）を実施し、知識、判断力、看護実践力の確認を行い、自己の課題が明確になるようにする。 ⑤ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

ヒューマンケア学部　柔道整復学科　トレーナー・柔道整復コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身に付けるべき資質・能力） ヒューマンケア学部柔道整復学科では、建学の精神及び学部の目的に則り、柔道整復学に係る広い知識と技術を習得し、患者の健康や生活の向上に役立つ人材を育成することを目標としている。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、以下の知識・能力・態度を有するに至った者に、学士（保健科学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 社会人に求められる汎用的知識と問題解決能力を有している。 ② 柔道整復師に必要な基礎柔道整復学の知識を修得している。 ③ 健康増進や生活向上を目的とした医療の知識を修得している。 ④ 高齢者及び競技者の外傷予防について知識を修得している。 ⑤ 柔道整復師に関する倫理や法制度を理解している。 ２．当該分野固有の能力 ① 様々な外傷・障害における問題点を解析し評価できる。 ② 患者にとって最も適切な施術法を提案できる。 ③ 柔道整復学の知見に基づき国民の健康を支援することができる。 ３．汎用的能力 ① 多数の資料や論文などから必要な情報をまとめることができる。 ② 自らの考えと他者の意見を集約し論理的かつ簡潔に提言することができる。 ③ 修得した知識を基に新たな問題の発見と解決手段を提案することができる。 ④ 自らのもつ知識を技術として生かすことができる。 ４．態度・姿勢 ① 医療関連分野の専門的職業人としての自覚と責任感を身につけている。 ② 柔道整復師に必要なコミュニケーション能力と職業倫理を身につけている。 ③ 地域社会に貢献し、次世代を担うリーダーとしての資質を身につけている。	カリキュラム編成 ヒューマンケア学部柔道整復学科では本学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に適合した人材を育成するために、基礎科目、基礎専門科目、専門科目を体系的に編成している。４年間で基礎から応用まで無理なく学修できるように授業が設定され、その間に実習科目や演習科目などを配置することにより技術の向上や知識のまとめ等を可能にしている。さらにセミナー科目では医療人、社会人としての常識や倫理観などを学び人格の陶冶に努める。 学修内容・方法 ① 基礎科目には一般教養としての語学や情報系科目などを配置し、社会に必要な知識と技能を学ぶ。 ② 基礎専門科目では４年間を通じて解剖学や生理学などの基礎医学を学ぶ。 ③ 専門科目においては４年間を通じて基礎柔道整復学から臨床柔道整復学まで学ぶ。 ④ 専門科目で学んだ知識に基づき基礎整復技術実習から臨床整復技術実習まで実技授業を行う。 ⑤ セミナー科目や卒業研究などにおいて学生が研究活動に参加できる過程を準備している。 ⑥ また教職課程やスポーツトレーナー育成過程を選択することができ、教育者や指導者としての知識や技術を学ぶことができる。 学修成果の評価方法 ① 知識と理解の評価は主に筆記試験により行う。 ② 実技科目については筆記試験に加えルーブリックを用いた実技試験を行い評価する。 ③ セミナー科目においては筆記試験に加えレポート課題評価や授業内評価を行う。 ④ 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の達成度は、各科目の寄与度を設定し、１年次より形成的に評価を行う。

ヒューマンケア学部　鍼灸学科　トレーナー・鍼灸コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身に付けるべき資質・能力） ヒューマンケア学部鍼灸学科では、建学の精神及び学部の目的に則り、豊かな人間性と高い倫理観を備え、鍼灸医学にかかわる幅広い知識・技能を修得し、専門分野や地域社会に関する課題を解決する能力を備え、医療・保健・福祉などの分野で活躍することのできる人材を育成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（保健科学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 社会人としての幅広い教養を修得している。 ② 人体の構造や機能、病態、治療にかかわる基礎的な知識を修得している。 ③ 東洋医学の理論を学び、鍼灸医学の基盤となる知識を修得している。 ④ 鍼灸医学についての体系的な知識と技能・態度を修得している。 ⑤ 医療・保健・福祉に関する健康支援や社会保障制度の基礎的な知識を修得している。 ⑥ 鍼灸医学の探求のための研究方法や計画立案・実施評価にかかる一連の過程を理解している。 ２．当該分野固有の能力 ① 対象の人権を尊重した上で適切な鍼灸治療の実践ができる。 ② 科学的根拠に基づく鍼灸治療計画を立案し、その成果を評価できる。 ③ 地域、病院、スポーツ施設等の多様な場における鍼灸医学分野のさまざまな課題を発見し、解決する能力を備えている。 ３．汎用的能力 ① 自ら問題を見つけ、様々な知識や手段を駆使して対策を立案し、解決のための行動がとれる。 ② 社会人としてのコミュニケーション能力を修得している。 ③ 学修や社会生活を送るうえでのルールやマナーを守り、規律ある行動がとれる。 ４．態度・姿勢 ① 学修や課題に対し、主体的、客観的、創造的に取り組む姿勢を備えている。 ② 専門職としての自覚をもち、鍼灸医学を探求し続ける姿勢を備えている ③ 生涯にわたり知識や能力を高めてゆく意欲を備えている。	カリキュラム編成 カリキュラムは「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みで構成されている。主に 1～2 年次に学修する「教養科目」は、幅広い知識と教養、豊かな人間性や倫理観を身につけるための基盤となる人文・社会・科学・語学系の科目からなる。 鍼灸医学を修めるために必要な「専門基礎科目」および「専門科目」を、段階的かつ体系的に全学年に配置する。 「専門基礎科目」は、鍼灸医学を学ぶための基盤となる科目で、基礎医学、臨床医学、運動学、リハビリテーション学、関係法規等の科目から構成されている。 「専門科目」には、講義科目として、形態機能学、体表解剖学、東洋医学概論、鍼灸理論、臨床医学診断、経絡経穴、臨床鍼灸、社会鍼灸等がある。実習科目としては、基礎鍼灸セラピー実習、臨床診断実習、鍼灸実習、臨床鍼灸実習がある。演習科目としては、鍼灸セラピー総合演習、特別総合演習がある。1 年次～4 年次にわたり、鍼灸医学の理論と実践について、基礎的な内容から専門的・発展的な内容へと継続的に学修を深化させていく。また、臨床実習として、1 年次に臨床見学実習、4 年次に臨床鍼灸総合実習を行い、鍼灸臨床における実践的能力を身につける。 ３年次と 4 年次には卒業研究を配置し、問題発見・解決能力、研究内容を論理的にまとめる能力、発表する能力、コミュニケーション能力などを醸成する。 はり師きゅう師の国家試験の受験資格に係る科目は必修としている。 学修内容・方法 ① 授業の方法は、講義、実習、グループ学習によるアクティブラーニング形式の演習があり、学修内容に適した授業形態を組み合わせて実施する。 ② 「教養科目」では、人間、生活、社会の理解を深め、科学的な思考の基盤となる知識を学び、豊かな人間性や倫理観、社会人としての教養を身につけていく。 ③ 「教養科目」の中のセミナー科目は本学共通の必修科目で、1 年次～4 年次まで少人数クラスでの担任制により実施し、幅広い教養、常識、マナー等を身につけ、医療専門職をめざす大学生として学業や学生生活の定着からライセンスの取得、将来のキャリア設計まで、多岐にわたる学修を積み重ねていく。 ④ 「専門基礎科目」では、人体の構造と機能、疾病や障害の病態や治療、健康支援や社会保障制度に関連する科目など、科学的根拠に基づいた鍼灸医学が展開できるための基盤となる知識を修得する。 ⑤ 「専門科目」やセミナー科目での講義、演習、実習を通して、医療専門職としての思考力・倫理的判断力・問題解決力・コミュニケーション能力を醸成していく。 ⑥ 卒業研究は、希望する鍼灸医学領域での少人数ゼミ形式で行い、研究計画から発表まで一貫した指導により、専門領域内の新たな課題を発見・解決する力を学修する。

	学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学習態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学習成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目と卒業研究は、ルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

薬学部　薬学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力）

薬学部薬学科は、建学の精神及び大学の目的に則り、豊かな人間性と高い倫理観を備え、薬学にかかわる幅広い知識・技能を修得し、健康に係る問題を解決するため、患者・生活者中心という視点から、薬物療法の専門職として連携・協働できる人材を育成する。

所定の授業科目および 192 単位以上を修得した者で、下記のプログラムの到達目標に示された能力を有すると認められた者に、学士(薬学)の学位を授与する。

プログラムの到達目標（目標としての学修成果）

1．知識・理解

① 自然並びに人間社会・文化に対する理解を深めている。
② 医療や健康の維持増進に必要な基礎薬学の知識を修得している。
③ 薬物治療に必要な医療薬学の知識を修得している。
④ 健康の維持増進に必要な衛生薬学の知識を修得している。
⑤ 医療の実践に必要な臨床薬学の知識を修得している。
⑥ 医療・介護・福祉に関する倫理や法制度を理解している。
⑦ 情報・科学技術に関する倫理や法制度を理解している。

2．当該分野固有の能力

① 代表的な症例を解析し、評価するとともに、問題点を挙げ適切な薬物治療を提案できる。
② 調剤、医薬品情報の収集及び服薬指導を実践できる。
③ 薬学的知見に基づいて、地域住民の健康を支援することができる。
④ セルフメディケーションを支援することができる。

3．汎用的能力

① 自ら様々な問題を発見し、専門的知識や調査・研究技術を駆使して分析、考察した上で、問題解決の手段を提案できる。
② 他者の主張を理解することに努め、自分の考えを論理的に説明することや発表することができ、かつ他者と討論ができる。
③ 日本語による論理的な記述ができる。
④ 英文資料を活用できる。

4．態度・姿勢

① 生涯にわたって情報収集や研鑽を継続し、最良の薬物治療や地域住民の健康の維持増進に貢献する姿勢を備えている。
② 医療人として必要とされる責任感と高い倫理観を有し、地域住民の健康に貢献する態度を備えている。
③ 患者や医療スタッフと適切なコミュニケーションを取り、多職種連携を実践する姿勢を備えている。
④ 常に患者の QOL 向上を意識する姿勢を備えている。
⑤ 薬物治療において、有効性の判断や、重篤な副作用を回避するために、自ら患者の状態や検査を経時的に評価する姿勢を有している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム編成

薬学部薬学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に適合した人材を育成するために、教養系科目、語学科目、薬学専門科目、演習科目、実習科目、薬学研究を順次性に配慮して、体系的にカリキュラムを編成する。1 年前期には薬学準備教育を配置して、1 年後期からの薬学専門科目を無理なく学修することができるように配慮している。また、薬学専門領域の知識・理解の修得に合わせて症例解析演習などの演習科目を配置し、修得した知識・理解を活用できる能力を醸成していく。さらに、1 年次から各学年にセミナー科目を配置し、関連科目と合わせて薬剤師としての人間性・社会性を育むとともに、医療現場や地域における薬剤師の活動の基盤を修得していく。セミナー科目では、同時に傾聴、自分の考えを説明する能力、発表する能力、コミュニケーション能力なども醸成していく。1 年次から各学年には薬学研究も配置し、問題発見・解決能力、研究内容を論理的にまとめる能力、発表する能力、コミュニケーション能力などを醸成する。

学修内容・方法

① 自然・人間社会・文化への広い視野と理解を深めるために、一般教養系科目を配置する。
② 薬学専門科目へと無理なく学修を進めることができるように、1 年前期に薬学準備教育を配置する。
③ 確かな専門知識と技能を修得するために、講義科目に加えて、演習科目や実習科目を配置する。
④ 医療・介護・福祉に関する倫理や法制度の理解を深めるために、授業科目を配置する。
⑤ 先端技術、情報・科学技術に関する倫理や法制度の理解を深めるために、授業科目を配置する。
⑥ コミュニケーション能力を身に付けるために、演習科目や実習科目を配置する。
⑦ 健康の維持増進に貢献する能力を身に付けるために、講義科目に加えて、演習科目や実習科目を配置する。
⑧ 多職種連携を実践する能力や薬物治療の実践的能力を身に付けるために、講義科目に加えて、演習科目や実習科目を配置する。
⑨ 地域医療の重要性を理解するために、講義科目に加えて、演習科目を配置する。
⑩ 生涯にわたって情報収集や研鑽をする習慣を身に付け、かつ自ら様々な問題を発見し、調査・分析して問題解決の手段を提案できる能力を醸成するために、1 年次からすべての学年に薬学研究を配置する。
⑪ 演習科目、実習科目及び薬学研究以外の知識・理解を深めるための科目は、主に講義形式で行う。
⑫ 主体性、姿勢、傾聴力、協働性を醸成する演習科目は、自己学習や少人数の討論に発表を組み合せた能動学習で行う。

学修成果の評価方法

① 知識・理解の評価は、主に筆記試験により行う。
② 当該分野固有の能力に関しては、筆記試験、観察評価、技能評価により行う。
③ 汎用的能力に関しては、観察評価、技能評価により行う。
④ 態度・姿勢に関しては、観察評価、技能評価により行う。
⑤ 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の達成度は、各科目の寄与度を設定し、1 年次より総合的に評価する。

共創学部　デジタル共創学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身に付けるべき資質・能力） 共創学部デジタル共創学科では、デジタル技術の基本的な知識と実践的な応用力を身につけ、健康医療、スポーツ、ビジネス、メディアの各分野の専門家と連携しながらデジタル技術を活用して新しい価値を創出する能力を有する人材を養成する。 所定の単位を修得し、下記のプログラムの到達目標に示された能力を有すると認められた者に、学士（学術）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① デジタル技術の基礎知識と、それを応用する際の戦略・方法に関する知識を修得している。 ② 健康医療、ビジネス、スポーツ、メディアの各分野に関する基礎知識を有し、それらの分野におけるデジタルスキルの実践的な応用を理解している。 2．当該分野固有の能力 ① 健康医療、ビジネス、スポーツ、メディアの各分野の課題やニーズを理解し、デジタル技術を活用して効果的な解決策を設計・提案できる。 ② 各分野の専門家と協力し、デジタルスキルを活用したプロジェクトを推進できる。 3．汎用的能力 ① チームでのプロジェクト遂行のためのコミュニケーション能力と協調性を備えている。 ② AI を活用し、英語による技術的な文書の読解・作成能力を有している。 4．態度・姿勢 ① 専門が異なる分野の人々の知識や背景を理解し、協働して課題や問題に取り組むことができる。 ② デジタル技術の利用に伴う倫理観や社会的影響を考慮した実践活動ができる。 ③ 未来のデジタル技術やトレンド、各分野の変化に柔軟に対応し、持続的に学び続ける姿勢を有している。	カリキュラム編成 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に適合した人材を養成するために、「デジタル共創」をテーマに幅広いデジタルスキルと専門的知識を体系的に修得し、現代社会において実践的な能力を発揮できるように、「幅広い教養の修得」、「専門的知識とスキルの体系的修得」、「社会実装を意識した実学教育」の 3 つの柱に基づいて教育課程を編成する。 セミナー系科目、キャリアデザイン系科目、語学系科目、コンピュータリテラシー系科目、共創リテラシー系科目を含む一般教養科目を配置する。セミナー系科目は 1 年次から 4 年次にわたって各学期に配置され、学生は継続的に学びの基礎を強化し、デジタル共創の理念を深く理解することができる。専門科目は、専門的な知識とスキルを体系的に修得するためにデータサイエンス、AI、情報システムなどの科目を設置している。 学修内容・方法 ① 学修面や生活面の助言・指導のほか、幅広い教養や社会常識、マナー等を身につけて多様なキャリアパスの構築を支援する場として、必修科目のセミナー系科目を 1 年次から 4 年次にかけて配置する。 ② 自らのキャリアパスを計画し、社会での役割を理解するための基礎を築くことができるよう、必修科目としてキャリアデザイン系科目を 1 年次から 3 年次にかけて配置する。 ③ デジタルツールや生成系 AI を活用した英語教育を重視し、グローバルな情報交換のための実践的な英語力を段階的に高めるため、必修科目として語学系科目を 1 年次から 2 年次にわたって配置する。 ④ 現代社会で必要な基本的なデジタルスキルを修得するために、必修科目としてコンピュータリテラシー系科目を配置する。 ⑤ 健康医療、ビジネス、スポーツ、メディアの各分野における課題等を理解するための基礎知識を修得するために、共創リテラシー系科目を配置する。 ⑥ 多様な視点から知識を深めることを目的として、興味やキャリア目標に応じて選択できるよう、人文科学、社会科学、自然科学などの多様な分野にわたる一般教養系科目を配置する。 ⑦ 専門的知識とスキルを体系的に修得するために、以下の科目群に分けて専門科目を配置する。 i. 主要授業科目群： デジタル共創に必要な基礎知識から応用までを段階的に学びつつ、健康医療、ビジネス、スポーツ、メディアの各分野における学術的基盤を深め、自ら選択した分野の実践的スキルを修得するため、オムニバス形式の講義と演習、ゼミナールを各学年・学期に体系的に配置する。 ii. 自然科学系科目群： デジタル技術を理解し、応用するために必要な自然科学の基本知識を修得するための科目を配置する。 iii. データサイエンス・AI 関連科目群： データサイエンスおよび AI の高度な知識と技術を段階的に修得するため、データサイエンス、AI、プログラミング、情

	報システム演習、統計学を学ぶ科目を配置する。 iv. 実践的スキルを修得するための科目群： MOS Excel や基本情報技術者試験対策、IT パスポート試験対策など、実務に直結した資格取得を目指す科目。 ⑧ 理論と実践を統合した学びを通じて実社会で応用できる力を身につけることができるよう、実習や卒業研究、インターンシップ等の科目を配置する。 学修成果の評価方法 学修成果は科目の到達目標に基づき、最終試験、最終レポート、授業内課題、授業内発表などを通じて総合的に評価する。また、卒業生が身につけるべき資質・能力を確認するため、デジタル共創ゼミナールの発表や卒業研究の成果をもとに、多面的に評価する。

健康医療スポーツ学部

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康医療スポーツ学部は、建学の精神及び学部の目的に則り、幅広い視野に立った教養を基礎とし、「健康・医療・スポーツ」分野における専門的な知識と実践的な技能を身につけ、指導者として地域の健康づくりを推進できる人材を育成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（理学療法学・作業療法学・リハビリテーション学・柔道整復学・保健科学・看護学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い視野に立った教養を修得している。 ② 各専門領域の理論と基礎的な知識を修得している。 ③ 地域の多様性に対応するための社会、文化とその背景を理解している。 2．当該分野固有の能力 ① 各専門領域で必要となる技能を修得し、これらを実践的に活用できる。 ② 健康に関する情報を収集・分析して、課題を発見し解決することができる。 ③ 社会や障がいのある人に対して、「健康・医療・スポーツ」を介して地域に貢献することができる。 3．汎用的能力 ① 一般常識を大切に考えた社会生活を送ることができる。 ② 異なる背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションをとることができる。 ③ 多角的な視点から課題にアプローチし、自らの考えをまとめ、他者にプレゼンテーションすることができる。 4．態度・姿勢 ① 健康管理・医療・スポーツなどを介して社会に積極的に貢献する姿勢を有している。 ② 各専門領域での研究や実践において、法令を遵守し、倫理的な視点をもって行動する姿勢を有している。 ③ 生涯にわたって、各専門領域の知識・技能を高め、専門性を探求する姿勢を有している。	カリキュラム編成 健康医療スポーツ学部は、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の3つの枠組みでカリキュラムを構成する。 主に1〜2年次で学修する「教養科目」には、幅広い知識と教養、高い倫理性を身につけ、社会に貢献しようとする姿勢を育成するための科目を配置する。 「専門基礎科目」には、健康・医療・スポーツ分野における理論と基礎的な知識や技能を修得するための講義科目・演習科目・実習科目を段階的・体系的に配置する。 「専門科目」には、より専門性の高い知識や実践的な技能を修得するための科目を配置する。 1年次から4年次にかけて配置するセミナー科目では、リベラルアーツ教育を段階的に行う。 学修内容・方法 ① セミナー科目では、学年進行に合わせながら経時的に1年次から4年次までリベラルアーツ教育を行う。具体的には、1〜2年次に大学生活や社会生活への順応と、コミュニケーション能力の向上を目指し、3〜4年次に卒業後の社会生活に対応した責任感、倫理観、自己管理能力を身につける。 ② 「実学」を基本とした学内実習や臨床実習を取り入れながら、学部のモットーである「健康・医療・スポーツ」を三本柱として、地域に密着した医療職を養成する科目を配置する。 ③ 専門職として自覚を高めるために、入学後早期から理学療法学、作業療法学、柔道整復学、医療スポーツ学、障がい者スポーツ学、救急救命医療学、動物医療学、看護学などの各専門分野に関わる科目を配置する。 ④ 地域社会における「健康・医療・スポーツ」の実践に資する専門科目を適切に配置し、ステップアップしながら専門性を高めていく。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマ・ポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して1年次から4年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康医療スポーツ学部　リハビリテーション学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力）

健康医療ポーツ学部リハビリテーション学科は、建学の精神及び大学の目的に則り、幅広い視野に立った教養を基礎とし、専門分野における知識・技術を身につけ、国際的視野に立って活躍できる人間愛にあふれた人材を育成する。

所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（リハビリテーション学）の学位を授与する。

プログラムの到達目標（目標としての学修成果）

1．知識・理解

① 社会人として、幅広い視野に立った教養を修得している。
② 人体の機能や構造等、治療に必要となる基礎的な知識を有している。
③ 理学療法及び作業療法についての体系的な知識と技能・態度を修得している。
④ 医療・保健・福祉に関する基礎的な知識を修得している。
⑤ 多様性を理解し国際的な視野を持って臨床に臨む姿勢を有している。
⑥ 多職種連携を実践できるコミュニケーション技能を修得している。
⑦ 理学療法及び作業療法理論を追求し、発展させるために必要な専門的知識を有している。

2．当該分野固有の能力

① 対象者の状況に応じた評価項目を選択・実施する能力を有している。
② 理学療法及び作業療法領域において医療・福祉分野で必要とされる技術を有している。
③ 理学療法及び作業療法領域の技術を適切に活用できる実践能力を有している。
④ 様々な状況に適応し、自身を管理する能力を有している。
⑤ 身体的・精神的な健康情報を把握し、適切な理学及び作業療法を提供する能力を有している。

3．汎用的能力

① 一般常識を有し、医療従事者として模範的な生活を送ることができる。
② 多様性を尊重し、積極的なコミュニケーションを図ることができる。
③ 自身の考えを整理し、様々な手段を用い相手に伝えることができる。
④ 広い視野を持ち、グローバルな社会における対応力を有している。

4．態度・姿勢

① 理学療法及び作業療法士としての自覚と責任感を有している。
② 理学療法及び作業療法士に必要な職業倫理観を有している。
③ 多職種と連携する態度・姿勢を有している。
④ 対象者の治療・援助のため、自己研鑽に励む姿勢を有している。
⑤ 国際的な視野を持ち、多様性を理解する姿勢を有している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム編成

健康医療ポーツ学部リハビリテーション学科は、本学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に適合した人材を育成するために、カリキュラムを「教養科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」の 3 つの枠組みで構成し、体系的に編成する。

1～2 年次は「教養科目」や「専門基礎科目」を中心に一般教養や医学的な基礎学力固めを行うとともに、フレッシュセミナーを通して大学生活や社会生活への順応と、コミュニケーション能力の向上を目指す。

また 3～4 年次は「専門科目」を中心とした治療学や演習を中心とした学修を行うとともに、アドバンスセミナーを通して卒業後の社会生活に対応した責任感、倫理観、自己管理能力を身につけることを目指す。

また 1 年～4 年次まで当該学年の力量に応じた臨床実習をバランス良く配置し、これまでの学修で身につけた知識を実際の臨床で実践出来る「実学」へと昇華することを目指す。

また国際交流研修を実施し、多様な価値観を理解し国際感覚の涵養を目指す。

学修内容・方法

① 講義は、適宜、個人作業や小グループによる PBL（問題発見解決型 or 課題解決型）方式による学修方法を取り入れて実施する。
② 「教養科目」では、医学的な視点にとらわれず、多様な学問に触れることで幅広い教養を身につけていく。
③ 「教養科目」におけるセミナーでは、大学生活や社会生活への順応を図るとともに、関連する職種と連携して働くための協調性、責任感、基礎知識、コミュニケーション能力を身につける。
④ 「専門基礎科目」では、医学としての基礎となる人体の機能や構造、運動の仕組みなどを中心に学修する。また医学的な知識をもとに対象者を正しく評価する方法や手技を学び、演習を行うことで身につけていく。
⑤ 「専門科目」では、治療学などを中心に学修し、実際の臨床で対象者を治療する方法や手技を学び、演習を行うことで身につけていく。
⑥ 「専門科目」の臨床実習では、医療・福祉の現場において診療参加型方式による学修で臨床経験を重ね、現場で得た知識を学内で再統合することで臨床的思考を身につけていく。

学修成果の評価方法

① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は、客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。
② 実技に関わる授業科目については、実技試験を実施し、知識や実技面で総合的に判断する。
③ 臨床実習に取り組む前に客観的臨床能力試験を行い、学科専任教員および外部評価者がルーブリック評価にて評価を行う。
④ 臨床実習においては、臨床教育者と学科専任教員が協力しながら教育にあたり、臨床教育者による評価と学内での発表、実習課題内容などを精査し総合的に評価を行う。

健康医療スポーツ学部　リハビリテーション学科　理学療法コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力）

健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科理学療法コースは、建学の精神（実学の精神）に則り、基礎知識、理論の修得、幅広い専門知識や技術を身につけ、対象となる方が住み慣れた場所で暮らすことができるための理学療法を展開できる人材養成を教育目標に挙げている。さらに「健康・医療・スポーツ」の３本柱による国際的視野を培うことを目的としている。

所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（リハビリテーション学）の学位を授与する。

プログラムの到達目標（目標としての学修成果）

１．知識・理解

① 社会人として、幅広い視野に立った教養を修得している。
② 人体の機能や構造等、治療に必要となる基礎的な知識を有している。
③ 理学療法についての体系的な知識と技能・態度を修得している。
④ 医療・保健・福祉に関する基礎的な知識を修得している。
⑤ 多様性を理解し国際的な視野を持って臨床に臨む姿勢を有している。
⑥ 多職種連携を実践できるコミュニケーション技能を修得している。
⑦ 理学療法理論を追求し、発展させるために必要な専門的知識を有している。

２．当該分野固有の能力

① 対象者の状況に応じた評価項目を選択・実施する能力を有している。
② 理学療法領域において医療･福祉分野で必要とされる技術を有している。
③ 理学療法領域の技術を適切に活用できる実践能力を有している。
④ 様々な状況に適応し、自身を管理する能力を有している。
⑤ 身体的･精神的な健康情報を把握し、適切な理学療法を提供する能力を有している。

３．汎用的能力

① 一般常識を有し、医療従事者として模範的な生活を送ることができる。
② 多様性を尊重し、積極的なコミュニケーションを図ることができる。
③ 自身の考えを整理し、様々な手段を用い相手に伝えることができる。
④ 広い視野を持ち、グローバルな社会における対応力を有している。

４．態度・姿勢

① 理学療法士としての自覚と責任を有している。
② 理学療法領域における知識と技術を基に積極的に社会に貢献し発信する姿勢を有している。
③ 理学療法領域における知識と技術を基に健康管理・医療・スポーツ分野へ貢献する姿勢を有している。
④ 多職種と連携する態度・姿勢を有している。
⑤ 国際的な視野を持ち、多様性を理解する姿勢を有している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム編成

健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科理学療法コースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。「教養科目」では、セミナー科目、医療英語、および情報リテラシー演習･DS 概論を開講し、社会生活を営む上で必要な教養とコミュニケーション能力を養成する。「専門基礎科目」では、「健康・医療・スポーツ」の３本柱において地域住民と密着した医療人を養成する目的を達成できるように、基礎学力や基礎教養の向上を目指す教養科目、および人体や医学全般に関して学ぶ。「専門科目」では、医学及び理学療法学の学問内容と技術を理解するとともに、地域社会における健康・医療の実践を養い、学生同士が明晰かつ批判的に思考できるようになることを目指す。

学修内容・方法

① 「教養科目」では、基礎学力・幅広い知識・医療英語を学修することで、多様な社会のニーズや国際的な視点を養う。
② セミナー科目では、1～2 年次において、コミュニケーション能力と社会生活を送る上で必要な知識を身につける。また医療従事者としての責任感と倫理観を身につける。3～4 年次では、社会に対応できる自己管理能力と社会に発信する能力を身につける。
③ 「専門基礎科目」の解剖学・運動学・生理学を１年次より開講し、医学の基礎部分を学修し、「専門科目」を意識した学修を早期より身につける。
④ 3･4 年次で、予防理学療法学・地域理学療法学を開講し地域における幅広いニーズに対応する能力を身につけ、チーム医療論、多職種連携の学修内容に厚みをつける。
⑤ 「専門科目」は理学療法治療学、臨床技能演習、臨床実習により、「専門基礎科目」で学修した体系的な理学療法の実技を通して実践し、多様な障害に対応する能力を身につける。

学修成果の評価方法

① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。
② 実技に関わる授業科目については実技試験を実施し知識面、実技面とで総合的に判断する。
③ 臨床実習に取り組む前後に客観的臨床能力試験を行い、コース専任教員および外部評価者がルーブリック評価にて評価を行う。
④ 臨床実習においては臨床教育者とコース専任教員が協力しながら教育にあたり、臨床教育者による評価と学内での発表、実習課題内容などを精査し総合的に評価を行う。

健康医療スポーツ学部　リハビリテーション学科　作業療法コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力）

健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科作業療法コースは、建学の精神及び大学の目的に則り、幅広い視野に立った教養を基礎とし、専門分野における知識・技術を身につけ、国際的視野に立って活躍できる人間愛にあふれた人材を育成する。

所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（リハビリテーション学）の学位を授与する。

プログラムの到達目標（目標としての学修成果）

1．知識・理解

① 社会人として、幅広い視野に立った教養を修得している。
② 人体の機能や構造等、治療に必要となる基礎的な知識を有している。
③ 作業療法についての体系的な知識と技能・態度を修得している。
④ 医療・保健・福祉に関する基礎的な知識を修得している。
⑤ 多様性を理解し国際的な視野を持って臨床に臨む姿勢を有している。
⑥ 多職種連携を実践できるコミュニケーション技能を修得している。
⑦ 作業療法理論を追求し、発展させるために必要な専門的知識を有している。

2．当該分野固有の能力

① 対象者を多面的に評価し、必要となる治療・援助を実施できる。
② 作業療法領域において、対象者の「生活行為」を理解し、向上させるためのマネジメントができる。
③ 作業療法領域において、対象者にとって「意味のある作業」を理解し、援助できる。
④ 医療や福祉、在宅など多様な場面において必要となる作業療法を実践できる。
⑤ 多職種と連係しながら必要となる作業療法を実践できる。

3．汎用的能力

① ICF の観点から対象者の制限・制約を理解し、必要となる治療・援助が説明できる。
② 他者とコミュニケーションを図り、多様な意見を持つ人と連携することができる。
③ 自身の考えを整理し、様々な手段を用い相手に伝えることができる。
④ 相手の言葉に耳を傾け、傾聴することができる。

4．態度・姿勢

① 作業療法士としての自覚と責任感を有している。
② 作業療法士に必要な職業倫理観を有している。
③ 多職種と連携する態度・姿勢を有している。
④ 対象者の治療・援助のため、自己研鑽に励む姿勢を有している。
⑤ 国際的な視野を持ち、多様性を理解する姿勢を有している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム編成

リハビリテーション学科作業療法コースは、本学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に適合した人材を育成するために、カリキュラムを「教養科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」の 3 つの枠組みで構成し、体系的に編成する。

1～2 年次は「教養科目」や「専門基礎科目」を中心に一般教養や医学的な基礎学力固めを行うとともに、フレッシュセミナーを通して大学生活や社会生活への順応と、コミュニケーション能力の向上を目指す。

また 3～4 年次は「専門科目」を中心とした作業療法の治療学や演習を中心とした学修を行うとともに、アドバンスセミナーを通して卒業後の社会生活に対応した責任感、倫理観、自己管理能力を身につけることを目指す。

また 1 年次では 4 領域の見学実習、2 年次では地域実習、3～4 年次では長期の臨床実習をバランス良く配置し、これまでの学修で身につけた知識を実際の臨床で実践出来る「実学」へと昇華することを目指す。

また国際交流研修を実施し、多様な価値観を理解し国際感覚の涵養を目指す。

学修内容・方法

① 講義は、適宜、個人作業や小グループによる PBL（問題発見解決型 or 課題解決型）方式による学修方法を取り入れて実施する。
② 「教養科目」では、医学的な視点にとらわれず、多様な学問に触れることで幅広い教養を身につけていく。
③ 「教養科目」におけるセミナーでは、大学生活や社会生活への順応を図るとともに、関連する職種と連携して働くための協調性、責任感、基礎知識、コミュニケーション能力を身につける。
④ 「専門基礎科目」では、医学としての基礎となる解剖学・運動学・生理学などを中心に学修する。また医学的な知識をもとに対象者を正しく評価する方法や手技を学び、演習を行うことで身につけていく。
⑤ 「専門科目」では、身体障害作業療法治療学や精神障害作業療法治療学など、作業療法の治療学を中心に学修し、実際の臨床で対象者を治療する方法や手技を学び、演習を行うことで身につけていく。
⑥ 「専門科目」の臨床実習Ⅲ・ⅣおよびⅤ・Ⅵでは、医療・福祉の現場において診療参加型方式による学修で臨床経験を重ね、現場で得た知識を学内で再統合することで臨床的思考を身につけていく。

学修成果の評価方法

① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。
② 実技に関わる授業科目については、実技試験を実施し知識面、実技面とで総合的に判断する。
③ 臨床実習に取り組む前に客観的臨床能力試験を行い、コース専任教員および外部評価者がルーブリック評価にて評価を行う。
④ 臨床実習においては、臨床教育者とコース専任教員が協力しながら教育にあたり、臨床教育者による評価と学内での発表、実習課題内容などを精査し総合的に評価を行う。

健康医療スポーツ学部　柔道整復学科　トレーナー・柔道整復コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康医療スポーツ学部柔道整復学科 トレーナー・柔道整復コースは、建学の精神（実学の精神）及び大学の目的に則り、幅広い視野に立った教養を基礎とする専門分野における知識・技術を身につけ、国際的視野に立って活躍できる人間愛あふれた人材の養成を教育目的に掲げ育成している。所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到 達目標に示された能力を有する者に、学士（柔道整復学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 社会人としての幅広い教養を修得し、国際的な視野を持ちコミュニケーション能力を養っている。 ② 人体の構造や機能、病態、疾病、治療にかかわる基礎知識を習得している。 ③ 専門領域の理論的な実際の問題解決や実践的スキルを習得している。 ④ 専門領域に関する体系的な知識と技能、および適切な態度を十分修得している。 ⑤ 医療・保健・福祉に関する健康支援や社会保障制度について、基礎的な知識をしっかり習得している。 ⑥ 専門領域の探求のために研究方法や適応範囲を把握し、計画を策定する能力・研究を実施し結果や過程を評価し、目的達成の判断能力を持っている。 2．当該分野固有の能力 ① 対象の人権を尊重した上で注意深く観察し適切な施術の実践ができる。 ② 科学的根拠に基づき、適切な施術方法立案し、その成果を正しく評価できる。 ③ 地域、病院、施設等のさまざまな場所において、医療分野の様々な課題を発見し、それらの課題に対して適切な解決策を見出す能力を備えている。 3．汎用的能力 ① 自ら課題を見つけ、様々な知識や手段を駆使して解決策を模索し、解決のための具体的な行動計画がとれ、その結果を評価できる。 ② 社会人としての言葉遣いや相手の立場を考えることができるような、コミュニケーション能力を習得している。 ③ 学修や社会生活を送るうえでのルールやマナーを守り、規則正しい行動がとれる。 4．態度・姿勢 ① 学修や課題に対し、主体的な姿勢、客観的な姿勢、創造的な姿勢で取り組み独自の成果を生み出す力を備えている。 ② 医療専門職としての責任感と使命感をもち、専門領域を探求し続け、自己研鑽 を怠らない姿勢を備えている。 ③ 生涯を通じて学び続け、知識や能力を向上させる意欲を備えている。	カリキュラム編成 健康医療スポーツ学部柔道整復学科 トレーナー・柔道整復コースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の3つの枠組みでカリキュラムを構成する。これは主に1～2年次に学修する「教養科目」は、幅広い知識と教養を身につけることを目指している。この科目群には人文科学・社会科学・語学系の科目などが含まれており、学生が豊かな人間性や倫理観を育むための基盤を形成する。 専門領域を修めるために必要な「専門基礎」は基礎的な理論や概念を学び専門領域における基本的な理解を深め「専門科目」を、段階的かつ体系的に配置することで確かな知識とスキルを全学年で習得することができる。「専門基礎科目」は、専門領域を学ぶための基礎となる科目で、基礎医学（解剖学、生理学）等、臨床医学（病理学、整形外科学）等、そして関係法規（医療関連の法規や 規則）等の科目も含まれ専門分野で深い理解を築くための土台となる。 「専門科目」には、講義科目、演習科目、実習科目が含まれている。これらの科目群に卒業研究を加えることで、問題発見・解決能力、研究内容を論理的に整理し結果を他者にわかりやすく伝える能力、研究の過程で得られる知識や成果を他者と効果的に共有 するコミュニケーション能力などを醸成している。 国家試験の受験資格に係る科目は必修科目としている。 学修内容・方法 ① 授業の方法は、講義、実習、グループ学習によるアクティブラーニング形式の演習や、学修内容に適した授業形態を組合せて実施す、教員によるチューター制度も取り入れている。 ② 「教養科目」では、人間、生活、社会の理解を深め、科学的な思考の基礎なる知識を学ぶことを目的に、豊かな人間性や倫理観、社会人としての教養を身につけていく。 ③ 「教養科目」の中のセミナー科目は本学共通の必修科目で、1 年次から4年次まで少人数クラスで担任制を採用しきめ細やかな指導により、幅広い教養、常識、マナー等を身につけ、医療専門職をめざす大学生として学業や学生生活の定着からライセンスの取得、将来のキャリア設計まで、多岐にわたる学修を積み重ねていく。 ④ 「専門基礎科目」では、人体の構造と機能、疾病や障害の病態や診断方法、治療法、健康維持、予防の知識や社会保障制度に関連する科目など、科学的根拠に基づいた専門領域が展開できるための基礎となる知識及び実践を習得する。 ⑤ 「専門科目」やセミナー科目での講義、演習、実習を通して、医療専門職としてのクリティカルな思考力・具体的な倫理的判断力・医療現場で発生する問題解決力・効果的なコミュニケーション能力を醸成していく。 ⑥ 卒業研究は、学生が希望する専門領域での少人数ゼミ形式で進められ、研究の計画から発表まで一貫した指導を受けながら、専門領域内の新たな課題を発見・解決する力を学修する。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は基本的には客観試験とするが、科目の特性や内容に応じて課題、授業中の小テス

	ト、レポート、学修態度等で、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己評価や管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を明確に共有し、学修状況を客観的に分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して1年次から4年次までの継続的に形成的評価を繰り返すことにより行い。それにより自己学修の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康医療スポーツ学部　医療スポーツ学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科は、建学の精神及び大学の目的に則り、幅広い視野に立った教養を基礎とし、専門分野における知識・技術を身につけ、国際的視野に立って活躍できる人間愛にあふれた人材を育成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（保健科学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い視野に立った教養を修得している。 ② 医療スポーツ学、障がい者スポーツ学、救急救命医療学、動物看護学の知識を有している。 ③ 多様な文化とその背景を理解している。 ２．当該分野固有の能力 ① 医療スポーツ学、障がい者スポーツ学、救急救命医療学、動物看護学で必要とされる技術を有している。 ② 医療スポーツ学、障がい者スポーツ学、救急救命医療学、動物看護学の技術を適切に活用できる実践能力を有している。 ③ 状況に応じて必要な自己管理能力を有している。 ④ 人および動物の健康情報を把握することができる。 ３．汎用的能力 ① 一般常識を大切に考えた社会生活を送ることができる。 ② 多様な人々とコミュニケーションを行う能力を有している。 ③ グローバル社会での対応力を有している。 ４．態度・姿勢 ① 積極的に社会貢献する姿勢を有している。 ② 障がいのある人・動物や生命の危機に瀕している人・動物なども含めた、地域の全ての人・動物に対して、積極的に健康管理・健康増進、救命医療・スポーツの実践などを働きかけることができる。 ③ 医療スポーツ学、障がい者スポーツ学、救急救命医療学、動物看護学に必要な態度・責任感及び倫理観を有している。	カリキュラム編成 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科は、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、基礎学力や教養知識の向上を目指す。 「専門基礎科目」では、人体、医学医療、スポーツ、動物看護全般に関して学ぶ。 「専門科目」では、専門知識と実践力を修得する。 学修内容・方法 ① 大学での学修の基礎となる全学共通科目（必修）として、セミナー科目、英語、および情報リテラシー演習・DS 概論を開講し、社会生活を営む上で必要な教養とコミュニケーション能力を養成するとともに、卒業後の社会生活に対応した責任感、倫理観、自己管理能力を身につける。 ② 基礎教養の向上を目指す教養科目、人体、医学医療、スポーツ全般、動物の形態機能や行動に関して学ぶ専門基礎科目を配置し、その上位に救命医学、スポーツ理論、動物看護の専門知識の修得と実践に向けた専門科目を配置する。 ③ 学内での実習、体育実技、様々な学外（現場）実習など、「実学」を基本とした実習を多く取り入れ、地域住民に密着した人材を養成する。 ④ 専門科目は、将来の専門職としての自覚を高めるために、入学後早期から、学年毎にステップアップしながら専門性を高められるように配置する。 ⑤ 国家試験受験資格、その他の資格取得に必要な科目を４年間で系統的に配置する。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康医療スポーツ学部　医療スポーツ学科　救急救命士コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科救急救命士コースは、建学の精神及び大学の目的に則り、幅広い視野に立った教養を基礎とし、専門分野における知識・技術を身につけ、国際的視野に立って活躍できる人間愛にあふれた人材を育成する。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（保健科学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 社会人として、幅広い視野に立った教養を修得している。 ② 人体の機能や構造等、救急救命処置に必要となる基礎的な知識を有している。 ③ 救急救命医療についての体系的な知識と技能・態度を修得している。 ④ 医療・保健・福祉に関する基礎的な知識を修得している。 ⑤ 多様性を理解し国際的な視野を持って臨床に臨む姿勢を有している。 ⑥ 多職種連携を実践できるコミュニケーション技能を修得している。 ⑦ 救急救命学を追求し、発展させるために必要な専門的知識を有している ２．当該分野固有の能力 ① 傷病者の状況に応じた観察・判断・処置・評価を実施する能力を有している。 ② 救急救命医療領域と連携する医療・福祉分野で必要とされる医療技術を有している。 ③ 救急救命領域の技術を適切に活用できる実践能力を有している。 ④ 様々な状況に適応し、自身を管理する能力を有している。 ⑤ 身体的・精神的な健康情報を把握し、適切な救急医療を提供する能力を有している。 ３．汎用的能力 ① 一般常識を有し、医療従事者として模範的な生活を送ることができる。 ② 多様性を尊重し、積極的なコミュニケーションを図ることができる。 ③ 自身の考えを整理し、様々な手段を用い相手に伝えることができる。 ④ 広い視野を持ち、グローバルな社会における対応力を有している。 ４．態度・姿勢 ① 救急救命士としての自覚と責任を有している。 ② 救急救命医療における知識と技術を基に積極的に社会に貢献し発信する姿勢を有している。 ③ 救急救命医療における知識と技術を基に健康・医療・スポーツ分野へ貢献する姿勢を有している。 ④ 医療・福祉分野等の多職種と連携する態度・姿勢を有している。 ⑤ 国際的な視野を持ち、多様性を理解する姿勢を有している。	カリキュラム編成 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科救急救命士コースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 「教養科目」では、セミナー科目、医療英語、および情報リテラシー演習・DS 概論を開講し、社会生活を営む上で必要な教養とコミュニケーション能力を養成する 「専門基礎科目」では、人体の構造や機能、救急救命医療領域における基礎医学を中心に学修する。 「専門科目」では、症候学・疾病救急医学をはじめ、病院前救急医療に必要な知識と技術を学修し、その成果として臨地実習にて実務を経験して救急救命領域について理解を深める。 資格取得に必要な科目は、4 年間で系統的に配置する。 学修内容・方法 ① 「教養科目」に、健康・医療・スポーツに関連する科目を配置し、地域住民の健康の維持・増進にむけた活動を幅広くアプローチできるための基礎能力を身につけるとともに、人間、生活、社会の理解を深め、科学的な思考の基盤となる知識を修得し、豊かな人間性や倫理観、社会人としての教養を身につけていく。 ② セミナー科目は本学共通の必修科目で、1 年次から 4 年次まで少人数クラスで担任制により実施し、幅広い教養、常識、マナー等を身につけ、救急救命士をめざす大学生として学業や学生生活の定着からライセンスの取得、将来のキャリア設計まで、多岐にわたる学修を積み重ねていく。 ③ 「専門基礎科目」では、人体の構造と機能、疾病や外傷の病態や処置、健康支援や社会保障制度に関する科目など、科学的根拠に基づいた救急救命処置を実施する際に基盤となる必要な知識を修得する。 ④ 「専門科目」では、専門基礎科目の講義・実習を通して、救急救命士としての思考力・倫理的判断力・問題解決力・コミュニケーション能力を醸成していく。 ⑤ 「実学」を基本とした学内実習や臨床実習を取り入れながら、学部のモットーである「健康・医療・スポーツ」を三本柱として、地域住民と密着した医療人を養成する科目を配置する。 ⑥ チーム医療に資する人材を育成するため、学部共通科目の「チーム医療論」、「チーム医療演習」では、健康医療スポーツ学部全学科の学生と講義を受け、ディスカッションを行い、協力して課題解決を行うことを学ぶ。 ⑦ 地域社会における救急医療の実践に資する専門科目を適切に配置し、ステップアップしながら専門性を高めていく。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② 実習科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ③ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康医療スポーツ学部　医療スポーツ学科　トレーナー・スポーツコース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科トレーナー・スポーツコースは、建学の精神（実学の精神）に則り、体育・スポーツ現場で活躍する知識と実践能力を兼ね備えた、国際的視野で活躍できる人材を育成することを目指している。所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（保健科学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 幅広い視野に立った教養やコミュニケーション能力を修得している。 ② 体育・スポーツに関する基本的な理論や概念を理解し、幅広い知識を修得している。 ③ 学んだ知識を実際の体育・スポーツの現場で応用し、問題解決に役立てる能力を修得している。 ④ 絶えず変化する体育・スポーツの分野に対応するため、自己学修を続ける姿勢を修得している。 ２．当該分野固有の能力 ① 体育・スポーツの現場で必要とされる様々な専門的な技術を習得し、実践できる能力を修得している。 ② 個々のニーズや体育・スポーツ現場の課題に応じたプログラムを立案し、効果的に指導できる能力を修得している。 ③ 指導者としてスポーツ医科学分野における多職種と連携し、チームの一員として効果的に働くためのコミュニケーション能力と協力姿勢を修得している。 ３．汎用的能力 ① 社会のルールやマナーを理解し、日常生活や職業生活において適切に行動する能力を修得している。 ② 異なる背景や価値観を持つ人々と効果的にコミュニケーションを取る能力を修得している。 ③ 国際的な視野を持ち、グローバルな課題に対して柔軟に対応し、国際社会で活躍できる能力を修得している。 ４．態度・姿勢 ① 積極的に社会貢献活動に参加し、地域社会や国際社会に対してポジティブな影響を与える姿勢を修得している。 ②体育・スポーツ・健康管理を通じて社会に貢献する意識を持ち、実際の活動に取り組む姿勢を修得している。 ③ 各専門領域で求められる高い態度、責任感、倫理観を持ち、プロフェッショナルとしての行動を実践できる。	カリキュラム編成 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科トレーナー・スポーツコースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みでカリキュラムを構成する。 体育・スポーツ現場で活躍する知識と実践能力を兼ね備えた人材養成の観点から、４年間で基礎から応用・実践へ展開する編成とする。 また、以下の資格取得課程を配置する。資格取得に必要な科目は、4年間で系統的に配置されており、学生が計画的に学修を進められるように編成する。 ① 教員養成課程：中学校・高等学校の保健体育教員を目指す学生に必要な知識とスキルを提供し、高い指導力を兼ね備えた体育教員を養成する。 ② アスレティックトレーナー資格取得課程：スポーツ現場で医科学の立場から競技者をサポートする専門知識と技術を学ぶ。学内や外部の実習を通じて、理論的理解と実践力を深める。 学修内容・方法 ① 授業は、講義、実習、グループ学習によるアクティブラーニング形式の演習や、学修内容に適した授業形態を組み合わせて実施する。 ② 教養科目は、人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い分野の科目を履修し、幅広い視野と教養を学ぶ。 ③ 専門基礎科目は、スポーツ生理学、スポーツ社会学、体育実技など、体育・スポーツに関する基本的な知識や技術を学ぶ。 ④ 専門科目は、スポーツ医学、トレーニング科学演習、救急対応などの専門的知識をはじめ、実習授業や現場実習において実践能力を養う。 ⑤ セミナー科目では 1～4 年次まで少人数クラスの担任制で実施し、社会人としての常識・マナーから、体育・スポーツの専門職としての心構え、キャリア教育など幅広い知識を学ぶ。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は、客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し学修成果を可視化する。セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して１年次から４年次まで形成的評価を繰り返すことにより、自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康医療スポーツ学部　医療スポーツ学科　アスリートコース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科アスリートコースは、建学の精神（実学の精神）に則り、第一線で活躍するアスリートや体力向上・疾病予防・健康づくり等の指導者を養成し、国際的視野で活躍できる人材を育成することを目指している。所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（保健科学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） 1．知識・理解 ① 幅広い視野に立った教養やコミュニケーション能力を修得している。 ② スポーツ医科学の基本的な概念と理論を理解し、幅広い知識を修得している。 ③ 学んだ知識を他者のみならず自らの競技活動で応用し、問題解決に役立てる能力を修得している。 ④ スポーツ医科学の最新の知識や技術を継続的に学び続ける姿勢を修得している 2．当該分野固有の能力 ① スポーツ医科学の基本原理を理解し、競技力向上のためのトレーニング法などを自ら実践するとともに他者へ指導できる能力を修得している。 ② 正確な健康状態および体力の把握方法を理解し、他者や自らに適した各種プログラムを作成するとともに指導できる能力を修得している。 ③ アスリートや指導者としてスポーツ医科学分野における多職種と連携するコミュニケーション能力と協力姿勢を修得している。 3．汎用的能力 ① 社会のルールやマナーを理解し、日常生活や職業生活において適切に行動する能力を修得している。 ② 異なる背景や価値観を持つ人々と効果的にコミュニケーションを取る能力を修得している。 ③ 国際的な視野を持ち、グローバルな課題に対して柔軟に対応し、国際社会で活躍できる能力を修得している。 4．態度・姿勢 ① 地域社会やスポーツコミュニティに積極的に関与し、健康増進やスポーツ振興に貢献する。 ② スポーツを通じた健康増進に寄与し社会に貢献する意識を持ち、実際の活動に取り組む姿勢を修得している。 ③ 競技者、体育・スポーツの専門家としての自覚を持ち、常に高い専門性とプロフェッショナリズムを維持する。	カリキュラム編成 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科アスリートコースは、「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の 3 つの枠組みでカリキュラムを構成する。 競技力向上と指導者養成の観点から、4 年間で基礎から実践まで競技活動との両立ができる編成とする。 また、以下の資格取得課程を配置する。資格取得に必要な科目は、4 年間で系統的に配置されており、学生が計画的に学修を進められるように編成する。 ① 教員養成課程：中学校・高等学校の保健体育教員を目指す学生に必要な知識とスキルを提供し、競技力と実技力を兼ね備えた体育教員を養成する。 ② アスレティックトレーナー資格取得課程：スポーツ現場で医科学の立場から競技者をサポートする専門知識と技術を学ぶ。学内や外部の実習を通じて、実践力と理論的理解を深める。 学修内容・方法 ① 授業は、講義、実習、グループ学習によるアクティブラーニング形式の演習や、学修内容に適した授業形態を組み合わせて実施する。 ② 教養科目は、人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い分野の科目を履修し、幅広い視野と教養を学ぶ。 ③ 専門基礎科目は、スポーツ心理や栄養など、スポーツ医科学の基礎を学びアスリートや指導者としての教養を学ぶ。 ④ 専門科目は、実習授業が軸となり、トレーニング実技やコンディショニング技術を学び競技力向上に役立てる。また、様々な現場実習において実践能力を学ぶ。 ⑤ セミナー科目では 1～4 年次まで少人数クラスの担任制で実施し、社会人としての常識・マナーから、体育・スポーツの専門職としての心構え、キャリア教育など幅広い知識を学ぶ。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は、客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し学修成果を可視化する。セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより、自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康医療スポーツ学部　医療スポーツ学科　動物医療コース

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力）

健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科動物医療コースは、建学の精神（実学の精神）に則り、幅広い視野に立った教養、動物と動物医療（獣医療）に関する専門知識と技術を身につけ、人と動物の良好な関係性を構築し、チーム動物医療の現場のみならず、医療・介護・福祉など社会の広い範囲で国際的視野に立って活躍できる人材の養成を教育目標に掲げ、以下の知識・理解、思考力・判断力・表現力・実践力、積極的な社会貢献姿勢を有するに至った者に学士（保健科学）の学位を授与する。

① 多様な文化や背景をもつ人々と意見を交わし、他者の立場を尊重できる知識とコミュニケーション能力を有している。
② 国内外から動物や動物医療に関する情報を入手し、多様化する人と動物の関係において、良好な関係性を実現する能力を有している。
③ 動物や動物医療における専門知識や技術を修得し、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している。
④ 動物とその適正な飼養に関する専門知識を普及啓発し、人と動物の良好な関係に基づく良好な地域環境の構築に貢献できる能力を有している。

プログラムの到達目標（目標としての学修成果）

1．知識・理解
① 幅広い視野に立った教養を修得している。
② 動物医療従事者に必要な知識を有している。
③ 多様な文化とその背景を理解している。

2．当該分野固有の能力
① 愛玩動物看護師に必要とされる技術を有している。
② 愛玩動物看護師としての技術を適切に活用できる実践能力を有している。
③ 状況に応じ、必要な自己管理能力を有している。
④ 自身の身体的・精神的な健康情報を把握することができる。

3．汎用的能力
① 一般常識を大切に考えた社会生活を送ることができる。
② 多様な人々とコミュニケーションを行う能力を有している。
③ グローバル社会での対応力を有している。

4．態度・姿勢
① 積極的に社会貢献する姿勢を有している。
② 社会に対して、動物医療を介して貢献する姿勢を有している。
③ 愛玩動物看護師に必要な態度・責任感および倫理観を有している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

カリキュラム編成

健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科動物医療コースは、建学の精神と卒業認定・学位授与の方針に掲げた目的を達成するため、学内での実習、体育実技、様々な学外（現場）実習など、「実学」を基本とした実習を多く取り入れ、地域住民に密着した人材を養成する。

そのために、基礎教養や体力の向上を目指す基礎科目、動物の形態機能や行動などに関して学ぶ専門基礎科目を配置し、さらに動物医療の実践に向けた専門科目を配置する。

① 教養科目は、セミナー科目、英語、コンピュータ演習を全学共通科目（必修）として設け、社会生活に必要な教養とコミュニケーション能力を養成し、卒業後の社会生活に対応した責任感、倫理観、自己管理能力、国際的視野を身につける。
② 専門基礎科目は、人と動物の関係学や、動物形態機能学や動物行動学等の動物看護に関する科目、学内実習、動物病院での臨床実習の時間として設け、得られた知識に基づき、人と動物の良好な関係性を構築し、臨床現場や地域社会におけるチーム動物医療に寄与できる人材を養成する。
③ 専門科目は、適正飼養指導論、動物内科看護学、動物外科看護学、動物看護総合実習等を設け、愛玩動物看護師としての自覚を高めるために、入学後早期から学年毎にステップアップしながら専門性を高められるように配置する。また 2026 年度より新たに発展的な新規の科目を導入し、愛玩動物看護士として将来役立つ知識を上積みする。

学修内容・方法

① セミナー科目では、学年進行に合わせながら経時的に 1 年生から 4 年生までリベラルアーツ教育を行う。具体的には、1～2 年次に大学生活や社会生活への順応と、コミュニケーション能力の向上を目指し、3～4 年次に卒業後の社会生活に対応した責任感、倫理観、自己管理能力を身につける。
② 「実学」を基本とした学内実習や臨床実習を取り入れながら、学部のモットーである「健康・医療・スポーツ」を三本柱として、地域住民と密着した医療人を養成する科目を配置する。
③ 地域社会における動物医療の実践に資する専門科目を適切に配置し、ステップアップしながら専門性を高めていく。

学修成果の評価方法

① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、グループワーク発表などの学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。
② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。
③ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

健康医療スポーツ学部　看護学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
人材育成目標（卒業生が身につけるべき資質・能力） 健康医療スポーツ学部看護学科は、建学の精神及び学部の目的に則り、看護専門職に必要な知識・理解力、思考力・判断力・表現力、実践力、積極的な社会貢献への姿勢を有する人材の育成を目標としている。 所定の授業科目および単位を修得のうえ、下記の到達目標に示された能力を有すると認められる者に、学士（看護学）の学位を授与する。 プログラムの到達目標（目標としての学修成果） １．知識・理解 ① 社会人に求められる幅広い教養を修得し、他者と意見を交わすことの重要性が理解できている。 ② 看護学を学ぶ上で基礎となる人体の構造および機能、病態、治療に関わる系統的な知識を有している。 ③ 看護専門職に必要な、健康支援や社会保障制度に関する基礎的な知識を有している。 ④ 看護を実践する際に必要な、看護学の基礎的知識を有している。 ⑤ 看護学領域の新たな知識の探求に必要な研究方法や適応範囲に関する知識を有している。 ⑥ さまざまな状況にある対象に対して、看護提供の際に必要な知識を有している。 ２．当該分野固有の能力 ① 看護学領域において必要とされる技術を有している。 ② 個人・家族・集団・社会のニーズに応じた看護が実践できる。 ③ 対象の人権を尊重した上で看護が実践できる。 ④ 看護を実践する上で必要となる自己管理能力を有している。 ⑤ 対象を身体的・精神的側面から把握し、健康上の課題を抽出し、科学的根拠に基づいた個別性のある看護計画の立案、実施、評価ができる。 ３．汎用的能力 ① 自ら問題を見つけ、解決策を立案し、解決のための行動がとれる。 ② 社会生活を送る上で守るべきルールやマナーを理解し実践できる。 ③ チームの目標に沿った各構成員の役割を理解し、自己の役割を理解し、行動できる。 ④ 相手の立場を理解しながらコミュニケーションを行える。 ⑤ 日本語や英語により、口頭や記述により有効なコミュニケーションを行うことができる。 ４．態度・姿勢 ① 地域活動に関して積極的に取り組む姿勢を備えている。 ② 課題に対して主体的、科学的、創造的に取り組む姿勢を備えている。 ③ 看護専門職として高い倫理観と豊かな人間性を備え、あたたかい人間関係を構築しようとする姿勢を備えている。 ④ 看護専門職としての自覚を持ち、新しい知識や技術を学び、看護を探求し続ける姿勢を備えている。	カリキュラム編成 健康医療スポーツ学部看護学科は、ディプロマポリシーに達する人材を育成するために、カリキュラムを「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」の３つの枠組みで構成する。主に 1～2 年次に学修する「教養科目」は、幅広い知識と教養、豊かな人間性と倫理観を身につけるための基盤となる人文科学・社会科学・語学系の科目で構成されている。「専門基礎科目」は、看護学を学ぶための基盤となる人体や医学全般、保健・医療・社会福祉関連の科目で構成されている。「専門科目」である看護学は、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践の各科目から構成され、講義科目、演習科目、実習科目が含まれている。1 年次～4 年次に渡り、看護の理論及び実践について、基礎的内容から発展的内容まで継続的に学修を深める。臨地実習は学内における学修進度に合わせ、1、2 年次に基礎看護学実習、3 年次に領域別看護学実習、4 年次に統合実習が行われる。看護師国家試験の受験資格に係る科目は必修科目としている。 保健師課程および助産師課程については定員制とし、希望者に対して選抜試験を実施し、選抜後に各課程の授業を開始している。 学修内容・方法 ① 授業の方法は、講義、演習、グループ学習やシミュレーターを使用したアクティブラーニング形式の演習、看護の現場で学ぶ臨地実習があり、学修内容に適した授業形態を組み合わせて実施する。 ② 「教養科目」に、健康・医療・スポーツに関連する科目を配置し、地域住民の健康の維持・増進にむけた活動を幅広くアプローチできるための基礎能力を身につけるとともに、人間、生活、社会の理解を深め、科学的な思考の基盤となる知識を修得し、豊かな人間性や倫理観、社会人としての教養を身につけていく。 ③ 「教養科目」の中のセミナー科目は本学共通の必修科目で、1 年次から 4 年次まで少人数クラスで担任制により実施し、幅広い教養、常識、マナー等を身につけ、看護専門職をめざす大学生として学業や学生生活の定着からライセンスの取得、将来のキャリア設計まで、多岐にわたる学修を積み重ねていく。 ④ 「専門基礎科目」では、人体の構造と機能、疾病や障害の病態や治療、健康支援や社会保障制度に関する科目など、科学的根拠に基づいた看護を展開する際に基盤となる必要な知識を修得する。 ⑤ 看護を実践する際に必要とされる看護学の基礎的知識及び技術は、主に 1～2 年次に基礎看護学の講義・演習・臨地実習で学ぶ。 ⑥ 多様な発達段階、健康レベルの人々、看護提供の場における看護実践に必要とされる知識及び技術は、主に 2～3 年次に領域別看護学の講義・演習・臨地実習で学ぶ。 ⑦ 臨地実習では、基本的に一人の対象を受け持ち、対象を全人的にとらえ、倫理観をもって、科学的根拠に基づいた個別性のある看護を展開することを学ぶ。 ⑧ 「専門科目」やセミナー科目での講義・演習・実習を通して、看護専門職としての思考力・倫理的判断力・問題解決力・コミュニケーション能力を醸成していく。 ⑨ 看護を統合的、発展的にとらえ、探求していくうえで必要とされる知識や技術は、主に 4 年次の看護の統合と実践にかかわる科目

	で学ぶ。 ⑩ 卒業研究は、学生が希望する看護学領域での少人数ゼミ形式で進められ、研究計画から発表まで一貫した指導を受けながら、課題探求力、研究計画立案・遂行能力、倫理的配慮の視点を醸成する。さらに研究指導教員が進路や国家試験に向けてのチューターとなり、セミナー科目の担当教員と連携して、継続的に学修支援をしていく。 ⑪ チーム医療に資する人材を育成するため、学部共通科目の「チーム医療論」、「チーム医療演習」では、健康医療スポーツ学部全学科の学生と講義を受け、ディスカッションを行い、協力して課題解決を行うことを学ぶ。 ⑫ 学内での授業または臨地実習において障害や疾患を有する当事者の語りを聞く機会や、様々な看護分野で活躍しているスペシャリストの講義や活動見学の機会を多く取り入れる。 ⑬ 保健師課程・助産師課程として、公衆衛生看護にかかわる種々の課題あるいは女性のライフステージにおける保健及び健康課題について、科学的根拠に基づいて判断し、問題解決に向けて論理的に考え行動できる能力を育成する科目を配置する。 学修成果の評価方法 ① 知識・理解にかかわる授業科目の最終的な評価は客観試験を基本とするが、科目の特性に応じて課題、授業中の小テスト、レポート、学修態度等、様々な評価形態を取り入れ、多角的に学修成果を評価する。 ② e-ポートフォリオを導入し、学修成果を可視化し、セミナーにて学修目標の設定や振り返りを行い、学修成果を自己管理できるようにする。 ③ セミナー科目と臨地実習科目はルーブリック評価を用いることで、教員と学生間で評価基準を共有し、学修状況を分析的に評価する。 ④ ディプロマポリシーへの到達状況の把握は、各授業科目における寄与度を設定して 1 年次から 4 年次まで形成的評価を繰り返すことにより行い、それにより自己の学修成果と課題が明確になるようにする。

学科別カリキュラム表

人文社会学部

人間文化学科　人間文化専攻

2023年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　323～326　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	14単位		100単位	124単位
人間文化専門基礎科目		10単位		
福祉専門科目				
メディア文化専門科目				
国際文化専門科目				
共通専門科目				
日本語科目 （留学生指定科目）				
合計	14単位	10単位	100単位	124単位

◎選択必修について

「人間文化専門基礎科目 」から、10単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部

人間文化学科　人間文化専攻（留学生）

2023年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　323～326　対象）
●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

<table>
<tr><th>科目分類</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>卒業単位（合計）</th></tr>
<tr><td>教養科目</td><td>18単位</td><td></td><td rowspan="6">92単位</td><td rowspan="7">124単位</td></tr>
<tr><td>人間文化専門基礎科目</td><td></td><td>10単位</td></tr>
<tr><td>福祉専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>メディア文化専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>国際文化専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>共通専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>日本語科目
（留学生指定科目）</td><td>4単位</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td>22単位</td><td>10単位</td><td>92単位</td><td>124単位</td></tr>
</table>

◎選択必修について
「人間文化専門基礎科目 」から、10単位以上修得すること。

◎日本語科目について
2023年度入学生：学籍番号上3桁323以降、4桁目以降 D17～、D18～、D19～が対象。
2024年度入学生：学籍番号上3桁324以降、4桁目以降 D17～、D18～、D19～、
D14501～、D15501～、D16501～が対象。
2025年度入学生：学籍番号上3桁325以降、4桁目以降 D17～、D18～、D19～、
D14501～、D15501～、D16501～が対象。
2026年度入学生：学籍番号上3桁326以降、4桁目以降 D17～、D18～、D19～、
D14501～、D15501～、D16501～が対象。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　人間文化学科 人間文化専攻　（2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

323～326

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
「人間文化専門基礎科目」から、10単位以上修得すること。
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目		単位数	履修年次								備考 （*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	▲	現代日本語ＩＡ	1	○								
	▲	現代日本語ＩＢ	1		○							
	▲	実用日本語Ⅰ	1	○								
	▲	実用日本語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		簿記入門	2	○								
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
人間文化専門基礎科目		人間文化概論	2	○								
		歴史文化概論	2		○							
		日本文学概論	2				○					
		国際情報(政治)	2		○							
		国際情報(経済)	2			○						
		インターネット基礎理論	2			○						
		福祉入門	2	○								
		精神保健福祉入門	2	○								
		障害者福祉入門Ⅰ	2	○								
		高齢者福祉入門	2	○								
		障害者スポーツ指導論	4					□	□			
		美術史	2	○								
		近代美術史	2		○							
		コミュニケーションⅠ	2	○								
		コミュニケーションⅡ	2		○							
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
福祉専門科目		児童福祉入門	2	○								
		高齢者福祉	2			○						
		障害者福祉入門Ⅱ	2		○							
		福祉施設実習指導Ⅰ	1		○							
		福祉施設実習指導Ⅱ	1			○						
		福祉施設実習	2	□	□							*
		教育制度論	2			○						
		発達心理学	2		○							
		医学概論	2		○							
		心理学と心理的支援	2		○							
		社会学と社会システム	2		○							
		地域福祉と包括的支援体制	4			□	□					
		社会保障論	4			□	□					
		障害者福祉	2			○						
		貧困に対する支援	2					○				
		権利擁護を支える法制度	2					○				
		保健医療と福祉	2					○				
		社会福祉の原理と政策	4					□	□			
		児童・家庭福祉	2				○					
		刑事司法と福祉	2						○			
		福祉サービスの組織と経営	2					○				
		社会福祉調査の基礎	2				○					
		精神医学と精神医療Ⅰ	2			○						
		精神医学と精神医療Ⅱ	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
		現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2			○						
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2				○					
		精神保健福祉の原理	4			□	□					
		精神保健福祉制度論	2				○					
		ソーシャルワークの基盤と専門職	2		○							
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門・社会福祉)	2			○						
		ソーシャルワークの理論と方法	4			□	□					
		ソーシャルワークの理論と方法(専門・社会福祉)	4					□	□			
		ソーシャルワークの理論と方法(専門・精神保健福祉)	4					□	□			
		ソーシャルワーク演習	1		○							
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅰ	1			○						
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅱ	1				○					
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅲ	1					○				
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅳ	1						○			
		ソーシャルワーク実習指導(社会福祉)Ⅰ	1				○					
		ソーシャルワーク実習指導(社会福祉)Ⅱ	1					○				
		ソーシャルワーク実習指導(社会福祉)Ⅲ	1						○			
		ソーシャルワーク実習(社会福祉)Ⅰ	2				▽					*
		ソーシャルワーク実習(社会福祉)Ⅱ	4					▽	▽			*
		精神障害者リハビリテーション論	2					○				
		ソーシャルワーク演習(専門・精神保健福祉)Ⅰ	1					○				
		ソーシャルワーク演習(専門・精神保健福祉)Ⅱ	1						○			
		ソーシャルワーク演習(専門・精神保健福祉)Ⅲ	1							○		
		ソーシャルワーク実習指導(専門・精神保健福祉)Ⅰ	1						○			
		ソーシャルワーク実習指導(専門・精神保健福祉)Ⅱ	1							○		
		ソーシャルワーク実習指導(専門・精神保健福祉)Ⅲ	1								○	
		ソーシャルワーク実習(専門・精神保健福祉)Ⅰ	2						○			*
		ソーシャルワーク実習(専門・精神保健福祉)Ⅱ	2							○		*
		福祉研究Ⅰ	2					□	□			
		福祉研究Ⅱ	2					□	□			
		福祉研究Ⅲ	2					□	□			
		福祉研究Ⅳ	2					□	□			
		福祉研究Ⅴ	2					□	□			
		福祉研究Ⅵ	2					□	□			
		福祉研究Ⅶ	2							□	□	
		福祉研究Ⅷ	2							□	□	
		福祉研究Ⅸ	2							□	□	
		福祉研究Ⅹ	2							□	□	
		スクールソーシャルワーク論	2			○						
		スクールソーシャルワーク演習	1						○			
		スクールソーシャルワーク実習指導	1							○		
		スクールソーシャルワーク実習Ⅰ	1						▽			*
		スクールソーシャルワーク実習Ⅱ	1							▽		*
		エンパワメント演習	1								○	
メディア文化専門科目		造形基礎演習Ⅰ	2	◎								
		造形基礎演習Ⅱ	2		◎							
		デジタルデザイン基礎演習Ⅰ	2	◎								
		デジタルデザイン基礎演習Ⅱ	2		◎							
		グラフィックデザイン演習Ⅰ	2			◎						
		グラフィックデザイン演習Ⅱ	2				◎					
		グラフィックデザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		グラフィックデザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		グラフィックデザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		映像デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		映像デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		映像デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		映像デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		映像デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		造形デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		造形デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		造形デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		造形デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		造形デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		情報デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		情報デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		情報デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		情報デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		情報デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		描写絵画演習	2	○								
		デジタルカメラ撮影演習	2		○							
		イメージクリエイティブ演習	2			○						
		サウンドデザイン演習	2			○						
		映像シナリオ演習	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
メディア文化専門科目		現代アートリテラシー	2			○						
		メディア論	2			○						
		メディアリテラシー	2					○				
		デザイン入門	2	○								
		デザイン理論	2		○							
		出版と編集	2					○				
		日本文学史(近現代)	2			○						
		映像メディア	2	○								
		映像リテラシー	2	○								
		映像史	2		○							
		カルチュラルスタディーズ	2			○						
		コマーシャル表現論	2				○					
		デジタルマーケティング	2						○			
		メディア文化論Ⅰ	2	○								
		メディア文化論Ⅱ	2		○							
		メディア文化論Ⅲ	2			○						
		メディア文化論Ⅳ	2				○					
		メディア文化論Ⅴ	2					○				
		メディア文化論Ⅵ	2						○			
		メディア表現Ⅰ	2	○								
		メディア表現Ⅱ	2		○							
		メディア表現Ⅲ	2			○						
		メディア表現Ⅳ	2				○					
		メディア表現Ⅴ	2					○				
		メディア表現Ⅵ	2						○			
		メディア情報Ⅰ	2			○						
		メディア情報Ⅱ	2				○					
		メディア情報Ⅲ	2					○				
		メディア情報Ⅳ	2						○			
		メディア文化研究	4					▽	▽			
		メディア文化表現Ⅰ	1					▽				
		メディア文化表現Ⅱ	1						▽			
国際文化専門科目		国際文化論	2	○								
		国際関係論	2		○							
		安全保障	2						○			
		情報と近代	2			○						
		文化人類学	2	○								
		比較文化論	2			○						
		国際法	2		○							
		国際機構論	2			○						
		国際協力論	2				○					
		国際交流論	2					○				
		英語学	2		○							
		英語史	2			○						
		ビジネス英語Ⅰ	2			○						
		ビジネス英語Ⅱ	2				○					
		英語学研究Ⅰ	2			○						
		英語学研究Ⅱ	2				○					
		アカデミック・ライティング	2			○						
		異文化論	2				○					
		スピーチ・コミュニケーションⅠ	2					○				
		スピーチ・コミュニケーションⅡ	2						○			
		多文化研究	2			○						
		外国文献講読Ⅰ	2					○				
		外国文献講読Ⅱ	2						○			
		国際コミュニケーション演習Ⅰ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅱ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅲ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅳ	4			□	□					
		グローバル研究Ⅰ	2					○				
		グローバル研究Ⅱ	2						○			
		グローバル研究Ⅲ	2							○		
		グローバル研究Ⅳ	2								○	
		イングリッシュコミュニケーションⅠ	2			○						
		イングリッシュコミュニケーションⅡ	2				○					
		イングリッシュコミュニケーションⅢ	2					○				
		イングリッシュコミュニケーションⅣ	2						○			
共通専門科目		卒業論文	4							▽	▽	
日本語科目	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	1		○							外国人留学生のみ履修可
	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	1			○						外国人留学生のみ履修可
	▲	キャリアジャパニーズ	1				○					外国人留学生のみ履修可
	▲	アカデミックキャリアジャパニーズ	1					○				外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

人間文化学科　人間文化専攻

2021年度～2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　321～322　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	14単位		100単位	124単位
人間文化専門基礎科目		10単位		
福祉専門科目				
メディア文化専門科目				
国際文化専門科目				
共通専門科目				
自由科目（2022年度以降入学生より） （留学生指定科目）				
合計	14単位	10単位	100単位	124単位

◎選択必修について

「人間文化専門基礎科目 」から、10単位以上修得すること。

※自由科目区分の科目については2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修が可能です。
　ただし、進級・卒業単位数には含まれません。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　人間文化学科 人間文化専攻　（2021年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

321～322

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

「人間文化専門基礎科目」から、10単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		簿記入門	2	○								
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
人間文化専門基礎科目		人間文化概論	2	○								
		歴史文化概論	2		○							
		日本文学概論	2				○					
		国際情報(政治)	2		○							
		国際情報(経済)	2			○						
		インターネット基礎理論	2			○						
		福祉入門	2	○								
		精神保健福祉入門	2	○								
		障害者福祉入門Ⅰ	2	○								
		高齢者福祉入門	2	○								
		障害者スポーツ指導論	4					□	□			
		美術史	2	○								
		近代美術史	2		○							
		コミュニケーションⅠ	2	○								
		コミュニケーションⅡ	2		○							
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
福祉専門科目		児童福祉入門	2	○								
		高齢者福祉	2			○						
		障害者福祉入門Ⅱ	2		○							
		福祉施設実習指導Ⅰ	1		○							
		福祉施設実習指導Ⅱ	1			○						
		福祉施設実習	2	□	□							*
		教育制度論	2			○						
		発達心理学	2		○							
		医学概論	2		○							
		心理学と心理的支援	2		○							
		社会学と社会システム	2		○							
		地域福祉と包括的支援体制	4			□	□					
		社会保障論	4			□	□					
		障害者福祉	2			○						
		貧困に対する支援	2					○				
		権利擁護を支える法制度	2					○				
		保健医療と福祉	2					○				
		社会福祉の原理と政策	4					□	□			
		児童・家庭福祉	2				○					
		刑事司法と福祉	2						○			
		福祉サービスの組織と経営	2					○				
		社会福祉調査の基礎	2				○					
		精神医学と精神医療Ⅰ	2			○						
		精神医学と精神医療Ⅱ	2				○					
		現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2			○						
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
福祉専門科目		精神保健福祉の原理	4			□	□					
		精神保健福祉制度論	2				○					
		ソーシャルワークの基盤と専門職	2		○							
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門・社会福祉)	2			○						
		ソーシャルワークの理論と方法	4			□	□					
		ソーシャルワークの理論と方法(専門・社会福祉)	4					□	□			
		ソーシャルワークの理論と方法(専門・精神保健福祉)	4					□	□			
		ソーシャルワーク演習	1		○							
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅰ	1			○						
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅱ	1				○					
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅲ	1					○				
		ソーシャルワーク演習(社会福祉)Ⅳ	1						○			
		ソーシャルワーク実習指導(社会福祉)Ⅰ	1				○					
		ソーシャルワーク実習指導(社会福祉)Ⅱ	1					○				
		ソーシャルワーク実習指導(社会福祉)Ⅲ	1						○			
		ソーシャルワーク実習(社会福祉)Ⅰ	2				▽					*
		ソーシャルワーク実習(社会福祉)Ⅱ	4					▽	▽			*
		精神障害者リハビリテーション論	2					○				
		ソーシャルワーク演習(専門・精神保健福祉)Ⅰ	1					○				
		ソーシャルワーク演習(専門・精神保健福祉)Ⅱ	1						○			
		ソーシャルワーク演習(専門・精神保健福祉)Ⅲ	1							○		
		ソーシャルワーク実習指導(専門・精神保健福祉)Ⅰ	1						○			
		ソーシャルワーク実習指導(専門・精神保健福祉)Ⅱ	1							○		
		ソーシャルワーク実習指導(専門・精神保健福祉)Ⅲ	1								○	
		ソーシャルワーク実習(専門・精神保健福祉)Ⅰ	2						○			*
		ソーシャルワーク実習(専門・精神保健福祉)Ⅱ	2							○		*
		福祉研究Ⅰ	2					□	□			
		福祉研究Ⅱ	2					□	□			
		福祉研究Ⅲ	2					□	□			
		福祉研究Ⅳ	2					□	□			
		福祉研究Ⅴ	2					□	□			
		福祉研究Ⅵ	2					□	□			
		福祉研究Ⅶ	2							□	□	
		福祉研究Ⅷ	2							□	□	
		福祉研究Ⅸ	2							□	□	
		福祉研究Ⅹ	2							□	□	
		スクールソーシャルワーク論	2			○						
		スクールソーシャルワーク演習	1						○			
		スクールソーシャルワーク実習指導	1							○		
		スクールソーシャルワーク実習Ⅰ	1						▽			*
		スクールソーシャルワーク実習Ⅱ	1							▽		*
		エンパワメント演習	1								○	
メディア文化専門科目		造形基礎演習Ⅰ	2	◎								
		造形基礎演習Ⅱ	2		◎							
		デジタルデザイン基礎演習Ⅰ	2	◎								
		デジタルデザイン基礎演習Ⅱ	2		◎							
		グラフィックデザイン演習Ⅰ	2			◎						
		グラフィックデザイン演習Ⅱ	2				◎					
		グラフィックデザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		グラフィックデザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		グラフィックデザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		映像デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		映像デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		映像デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		映像デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		映像デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		造形デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		造形デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		造形デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		造形デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		造形デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		情報デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		情報デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		情報デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		情報デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		情報デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		描写絵画演習	2	○								
		デジタルカメラ撮影演習	2		○							
		イメージクリエイティブ演習	2			○						
		サウンドデザイン演習	2			○						
		映像シナリオ演習	2				○					
		現代アートリテラシー	2			○						
		メディア論	2			○						
		メディアリテラシー	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
メディア文化専門科目		デザイン入門	2	○								
		デザイン理論	2		○							
		出版と編集	2					○				
		日本文学史(近現代)	2			○						
		映像メディア	2	○								
		映像リテラシー	2	○								
		映像史	2		○							
		カルチュラルスタディーズ	2			○						
		コマーシャル表現論	2				○					
		デジタルマーケティング	2						○			
		メディア文化論Ⅰ	2	○								
		メディア文化論Ⅱ	2		○							
		メディア文化論Ⅲ	2			○						
		メディア文化論Ⅳ	2				○					
		メディア文化論Ⅴ	2					○				
		メディア文化論Ⅵ	2						○			
		メディア表現Ⅰ	2	○								
		メディア表現Ⅱ	2		○							
		メディア表現Ⅲ	2			○						
		メディア表現Ⅳ	2				○					
		メディア表現Ⅴ	2					○				
		メディア表現Ⅵ	2						○			
		メディア情報Ⅰ	2			○						
		メディア情報Ⅱ	2				○					
		メディア情報Ⅲ	2					○				
		メディア情報Ⅳ	2						○			
		メディア文化研究	4					▽	▽			
		メディア文化表現Ⅰ	1					▽				
		メディア文化表現Ⅱ	1						▽			
国際文化専門科目		国際文化論	2	○								
		国際関係論	2		○							
		安全保障	2						○			
		情報と近代	2			○						
		文化人類学	2	○								
		比較文化論	2			○						
		国際法	2		○							
		国際機構論	2			○						
		国際協力論	2				○					
		国際交流論	2					○				
		英語学	2		○							
		英語史	2			○						
		ビジネス英語Ⅰ	2			○						
		ビジネス英語Ⅱ	2				○					
		英語学研究Ⅰ	2			○						
		英語学研究Ⅱ	2				○					
		アカデミック・ライティング	2			○						
		異文化論	2				○					
		スピーチ・コミュニケーションⅠ	2					○				
		スピーチ・コミュニケーションⅡ	2						○			
		多文化研究	2			○						
		外国文献講読Ⅰ	2					○				
		外国文献講読Ⅱ	2						○			
		国際コミュニケーション演習Ⅰ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅱ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅲ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅳ	4			□	□					
		グローバル研究Ⅰ	2					○				
		グローバル研究Ⅱ	2						○			
		グローバル研究Ⅲ	2							○		
		グローバル研究Ⅳ	2								○	
		イングリッシュコミュニケーションⅠ	2			○						
		イングリッシュコミュニケーションⅡ	2				○					
		イングリッシュコミュニケーションⅢ	2					○				
		イングリッシュコミュニケーションⅣ	2						○			
共通専門科目		卒業論文	4							▽	▽	
自由科目		アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	2	○								2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可
		アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	2		○							2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可
		キャリアジャパニーズ	2			○						2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可
		アカデミックキャリアジャパニーズ	2				○					2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

人間文化学科　人間文化専攻

2018年度～2020年度入学生（学籍番号上3ケタ　318～320　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類		必修	選択	卒業単位（合計）
現代ライフ基礎		8単位	110単位	124単位
学習の基本とスキル		6単位		
学科共通科目	人文科学			
	社会科学			
	環境情報			
	情報科学			
	スポーツ科学			
	卒業論文			
福祉				
メディア文化				
国際文化				
キャリア形成				
合 計		14単位	110単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　人間文化学科 人間文化専攻　（2018年度～2020年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

318～320

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
現代ライフ基礎			人間とバイオサイエンス	2		○							
			生命倫理	2	○								
			自己啓発	2	○								
			人間･思想･生活	2		○							
			命とこころ	2		○							
			人間社会と法	2	○								
			生活倫理	2		○							
			福祉と法	2				○					
			仕事と法律	2	○								
			労働法	2				○					
			生活科学	2				○					
			健康とスポーツ	2		○							
			都市デザイン論	2			○						
			生物学	2	○								
		●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
		●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
		●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
		●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
学習の基本とスキル		●	現代英語ＩＡ	1	○								
		●	現代英語ＩＢ	1		○							
			現代英語ⅡＡ	1			○						
			現代英語ⅡＢ	1				○					
		●	実用英語ＩＡ	1	○								
		●	実用英語ＩＢ	1		○							
			実用英語ⅡＡ	1					○				
			実用英語ⅡＢ	1						○			
			英文法入門Ⅰ	2	○								
			英文法入門Ⅱ	2		○							
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
			日本語表現Ⅰ	2	○								
			日本語表現Ⅱ	2		○							
			異文化コミュニケーション	2		○							
			コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2		◎							
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
			ソフトウェア演習Ⅰ	2			◎						
			ソフトウェア演習Ⅱ	2				◎					
			数的処理入門Ⅰ	1			○						
			数的処理入門Ⅱ	1				○					
学科共通科目	人文科学		人間文化概論	2	○								
			歴史文化概論	2		○							
			日本文学史(近現代)	2			○						
			日本文学史(古典)	2				○					
			日本文学概論	2				○					
			英語学	2		○							
			英語史	2			○						
			アメリカ文学	2	○								
			イギリス文学	2				○					
			文学	2		○							
			児童文学	2		○							

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
学科共通科目	人文科学		日本史Ⅰ	2	○								
			日本史Ⅱ	2		○							
			世界史Ⅰ	2	○								
			世界史Ⅱ	2		○							
			生涯学習論	2	○								
			地域生涯学習論	2		○							
			メディアと教育	2		○							
			教育制度論	2			○						
			食の文化	2	○								
			発達心理学	2		○							
	社会科学		法学概論	2	○								
			日本国憲法	2		○							
			民法・商法	2			○						
			経営・経済法	2				○					
			行政法	2				○					
			経済学	2		○							
			会計学	2				○					
			簿記Ⅰ	2	○								
			簿記Ⅱ	2		○							
			簿記Ⅲ	4			□	□					
			企業情報Ⅰ	2			○						
			企業情報Ⅱ	2				○					
			人材開発論	2			○						
			販売管理	2			○						
			物流	2				○					
			企業とOJT	2				○					
			企業金融論	2						○			
			現代社会と広告Ⅰ	2	○								
			現代社会と広告Ⅱ	2		○							
			マーケティング入門	2			○						
			マーケティング管理論	2				○					
			未来環境デザイン	2		○							
			エネルギー論	2			○						
			エネルギー経済	2			○						
			産業環境論	2				○					
			国際情報(政治)	2		○							
			国際情報(経済)	2			○						
			社会情報概論	2		○							
			危機管理	2			○						
			アジア共同体論	2				○					
			アジア共同体論(海外研修)	2				▽					
			安全保障	2						○			
			人間関係論	2		○							
			ボランティア論	2		○							
	環境情報		環境情報	2		○							
			都市環境情報	2	○								
			地球環境情報	2	○								
			自然環境情報	2	○								
			自然地理学概論	2	○								
			人文地理学概論	2		○							
	情報科学		情報科学論	2	○								
			情報理論基礎	2		○							
			情報社会	2			○						
			情報と施策	2			○						
			情報と近代	2			○						
			画像情報処理	2				○					
			データベース	2					○				
			システムデザイン基礎	2						○			
			ネットワーク工学	2						○			
			インターネット基礎理論	2			○						
			インターネット工学	2				○					
			情報とマルチメディア	2					○				
			マルチメディア演習	2						○			
	スポーツ科学		スポーツ文化論	2	○								
			スポーツ社会学	2		○							
			レクリエーション論	2	○								
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
			キャンプ実習	1	▽								
	卒業論文		卒業論文	4							▽	▽	

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
福祉		福祉入門	2	○								
		精神保健福祉入門	2	○								
		児童福祉入門	2	○								
		高齢者福祉入門	2	○								
		障害者福祉入門Ⅰ	2	○								
		障害者福祉入門Ⅱ	2		○							
		福祉施設実習指導	2			□	□					
		福祉施設実習	1			▽	▽					*
		人体の構造と機能及び疾病	2		○							
		心理学理論と心理的支援	2		○							
		社会理論と社会システム	2		○							
		地域福祉の理論と方法	4			□	□					
		社会保障論	4			□	□					
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2			○						
		低所得者に対する支援と生活保護制度	2					○				
		権利擁護と成年後見制度	2					○				
		保健医療サービス	2					○				
		現代社会と福祉	4					□	□			
		福祉行財政と福祉計画	2							○		
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2				○					
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2			○						
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2				○					
		更生保護制度	2						○			
		就労支援サービス	2					○				
		福祉運営管理	2							○		
		社会福祉調査	2							○		
		精神疾患とその治療Ⅰ	2			○						
		精神疾患とその治療Ⅱ	2				○					
		精神保健の課題と支援Ⅰ	2			○						
		精神保健の課題と支援Ⅱ	2				○					
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	2			○						
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2				○					
		精神障害者の生活支援システム	2					○				
		相談援助の基盤と専門職	4	□	□							
		相談援助の理論と方法Ⅰ	4			□	□					
		相談援助の理論と方法Ⅱ	4					□	□			
		社会福祉演習Ⅰ	1		○							
		社会福祉演習Ⅱ	1			○						
		社会福祉演習Ⅲ	1				○					
		社会福祉演習Ⅳ	1					○				
		社会福祉演習Ⅴ	1						○			
		社会福祉実習指導Ⅰ	1				○					
		社会福祉実習指導Ⅱ	1					○				
		社会福祉実習指導Ⅲ	1						○			
		社会福祉実習	4					▽	▽			*
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2		○							
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	2			○						
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	2				○					
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	2					○				
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	2						○			
		精神保健福祉援助演習(基礎)	1						○			
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ	1							○		
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	1								○	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1						○			
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1							○		
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1								○	
		精神保健福祉援助実習	4						▽	▽		*
		福祉研究Ⅰ	2					□	□			
		福祉研究Ⅱ	2					□	□			
		福祉研究Ⅲ	2					□	□			
		福祉研究Ⅳ	2					□	□			
		福祉研究Ⅴ	2					□	□			
		福祉研究Ⅵ	2					□	□			
		福祉研究Ⅶ	2							□	□	
		福祉研究Ⅷ	2							□	□	
		福祉研究Ⅸ	2							□	□	
		福祉研究Ⅹ	2							□	□	
		障害者スポーツ指導論	4					□	□			
		スクールソーシャルワーク論	2					○				
		スクールソーシャルワーク演習	1						○			
		スクールソーシャルワーク実習指導	1							○		
		スクールソーシャルワーク実習Ⅰ	1						▽			*
		スクールソーシャルワーク実習Ⅱ	1							▽		*
		エンパワメント演習	1								○	

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
メディア文化		造形基礎演習Ⅰ	2	◎								
		造形基礎演習Ⅱ	2		◎							
		デジタルデザイン基礎演習Ⅰ	2	◎								
		デジタルデザイン基礎演習Ⅱ	2		◎							
		グラフィックデザイン演習Ⅰ	2			◎						
		グラフィックデザイン演習Ⅱ	2				◎					
		グラフィックデザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		グラフィックデザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		グラフィックデザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		映像デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		映像デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		映像デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		映像デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		映像デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		造形デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		造形デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		造形デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		造形デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		造形デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		情報デザイン演習Ⅰ	2			◎						
		情報デザイン演習Ⅱ	2				◎					
		情報デザイン応用演習Ⅰ	2					◎				
		情報デザイン応用演習Ⅱ	2						◎			
		情報デザイン応用演習Ⅲ	2							◎		
		描写絵画演習	2	○								
		デジタルカメラ撮影演習	2		○							
		イメージクリエイティブ演習	2			○						
		サウンドデザイン演習	2			○						
		映像シナリオ演習	2				○					
		美術史	2	○								
		近代美術史	2		○							
		現代アートリテラシー	2			○						
		メディア論	2			○						
		メディアリテラシー	2					○				
		デザイン入門	2	○								
		デザイン理論	2		○							
		出版と編集	2					○				
		映像メディア	2	○								
		映像リテラシー	2	○								
		映像史	2		○							
		カルチュラルスタディーズ	2			○						
		コマーシャル表現論	2				○					
		デジタルマーケティング	2						○			
		メディア文化論Ⅰ	2	○								
		メディア文化論Ⅱ	2		○							
		メディア文化論Ⅲ	2			○						
		メディア文化論Ⅳ	2				○					
		メディア文化論Ⅴ	2					○				
		メディア文化論Ⅵ	2						○			
		メディア表現Ⅰ	2	○								
		メディア表現Ⅱ	2		○							
		メディア表現Ⅲ	2			○						
		メディア表現Ⅳ	2				○					
		メディア表現Ⅴ	2					○				
		メディア表現Ⅵ	2						○			
		メディア情報Ⅰ	2			○						
		メディア情報Ⅱ	2				○					
		メディア情報Ⅲ	2					○				
		メディア情報Ⅳ	2						○			
		メディア文化研究	4					▽	▽			
国際文化		国際文化論	2	○								
		国際関係論	2		○							
		文化人類学	2	○								
		比較文化論	2			○						
		国際法	2		○							
		国際機構論	2			○						
		国際協力論	2				○					
		国際交流論	2					○				
		ビジネス英語Ⅰ	2			○						
		ビジネス英語Ⅱ	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
国際文化		スピーチ・コミュニケーションⅠ	2					○				
		スピーチ・コミュニケーションⅡ	2						○			
		外国文献講読Ⅰ	2					○				
		外国文献講読Ⅱ	2						○			
		国際コミュニケーション演習Ⅰ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅱ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅲ	4			□	□					
		国際コミュニケーション演習Ⅳ	4			□	□					
		グローバル研究Ⅰ	2					○				
		グローバル研究Ⅱ	2						○			
		グローバル研究Ⅲ	2							○		
		グローバル研究Ⅳ	2								○	
		イングリッシュコミュニケーションⅠ	2			○						
		イングリッシュコミュニケーションⅡ	2				○					
		イングリッシュコミュニケーションⅢ	2					○				
		イングリッシュコミュニケーションⅣ	2						○			
キャリア形成		キャリア入門Ⅰ	2	○								
		キャリア入門Ⅱ	2		○							
		コミュニケーションⅠ	2	○								
		コミュニケーションⅡ	2		○							
		ビジネスコミュニケーションⅠ	2			○						
		ビジネスコミュニケーションⅡ	2				○					
		プレゼンテーションスキル	2					○				
		一般教養Ⅰ	2	○								
		一般教養Ⅱ	2		○							
		オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
		オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
		ビジネスシステム	2			○						
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		よしもとクリエイティブ学	2			○						
		よしもと式社会人クリエイター力育成	2				○					
		特別セミナーⅠ	4	□	□							
		特別セミナーⅡ	4	□	□							

人文社会学部

経営学科

2025年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　325～326　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	4単位	92単位	124単位
経営専門基礎科目	4単位	6単位		
経営専門科目				
トレーナー・スポーツ経営専門科目				
経営情報専門科目				
共通専門科目				
日本語科目 （留学生指定科目）				
合 計	22単位	10単位	92単位	124単位

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語Ⅰ」・「実用英語Ⅱ」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語Ⅰ」・「実用中国語Ⅱ」）の
いずれか4科目4単位を修得すること。

※「経営専門基礎科目」の選択必修科目（※）から、6単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部

経営学科（留学生）

2025年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　325～326　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

<table>
<tr><th>科目分類</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>卒業単位（合計）</th></tr>
<tr><td>教養科目</td><td>22単位</td><td>4単位</td><td rowspan="7">84単位</td><td rowspan="8">124単位</td></tr>
<tr><td>経営専門基礎科目</td><td>4単位</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td>経営専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>トレーナー・スポーツ経営専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>経営情報専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>共通専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>日本語科目
（留学生指定科目）</td><td>4単位</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合 計</td><td>30単位</td><td>10単位</td><td>84単位</td><td>124単位</td></tr>
</table>

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語Ⅰ」・「実用英語Ⅱ」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語Ⅰ」・「実用中国語Ⅱ」）の
いずれか4科目4単位を修得すること。（母国語は選択できません）

※「経営専門基礎科目」の選択必修科目（※）から、6単位以上修得すること。

◎日本語科目について

2025年度入学生：学籍番号上3桁325以降、4桁目以降 D25～、D26～、D27～
325D22501～、325D23501～、325D24501～が対象。

2026年度入学生：学籍番号上3桁326以降、4桁目以降 D25～、D26～、D27～
326D22501～、326D23501～、326D24501～が対象。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　経営学科 （2025年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

325～326

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)。
ただし、「☆選択必修」または「★選択必修」のいずれか4科目4単位を修得すること。
『経営専門基礎』の選択必修科目(※)から6単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
		現代英語ＩＡ	1	○								☆選択必修
		現代英語ＩＢ	1		○							
		実用英語Ⅰ	1	○								
		実用英語Ⅱ	1		○							
		現代中国語ＩＡ	1	○								★選択必修
		現代中国語ＩＢ	1		○							
		実用中国語Ⅰ	1	○								
		実用中国語Ⅱ	1		○							
	▲	現代日本語ＩＡ	1	○								
	▲	現代日本語ＩＢ	1		○							
	▲	実用日本語Ⅰ	1	○								
	▲	実用日本語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
	●	コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
	●	就職支援ⅡA	2			○						
	●	就職支援ⅡB	2				○					
	●	就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
経営専門基礎科目	※	経営学Ⅰ	2	○								
	※	経済学Ⅰ	2	○								
	●	経営学Ⅱ	2		○							
	※	経済学Ⅱ	2		○							
	●	会計学	2				○					
	※	民法・商法	2			○						
	※	経営・経済法	2				○					
	※	行政法	2				○					
	※	労働法	2				○					
	※	会社法	2				○					
	※	ビジネスコミュニケーションⅠ	2			○						
	※	ビジネスコミュニケーションⅡ	2				○					
	※	簿記Ⅰ	2	○								
	※	現代社会と広告	2				○					
	※	物流	2				○					
	※	人材開発論	2			○						
	※	社会情報概論	2		○							
	※	企業倫理	2				○					
	※	企業情報Ⅰ	2			○						
	※	企業情報Ⅱ	2				○					
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営専門科目		経営戦略論	2			○						
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		財務管理	2						○			
		企業金融論	2						○			
		企業経営と情報	2			○						
		経営管理	2				○					
		経営分析Ⅰ	2					○				
		経営分析Ⅱ	2						○			
		企業とOJT	2				○					
		マーケティング論Ⅰ	2			○						
		マーケティング論Ⅱ	2				○					
		販売管理	2			○						
		産業環境論	2				○					
		危機管理	2					○				
		安全保障	2						○			
		国際情報(政治)	2		○							
		国際情報(経済)	2			○						
		金融リテラシー	2		○							
		証券投資論	2						○			
		中小企業論	2					○				
		財政政策論	2					○				
トレーナー・スポーツ経営専門科目		スポーツ産業論	2	○								
		スポーツマネジメント	2					○				
		スポーツマネジメント実習	2					□	□			
		スポーツマーケティング	2						○			
		スポーツファイナンス	2						○			
		スポーツファシリティマネジメント	2				○					
		スポーツツーリズム	2					○				
		スポーツイベントプロデュース	2					▽	▽			
		スポーツインターンシップ	2					▽	▽			
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツ栄養学	2			○						
		スポーツと食事	2							○		
		スポーツ心理学	2			○						
		健康心理学	2					○				
		スポーツ社会学	2					○				
		スポーツ政策論	2			○						
		運動学	2					○				
		運動処方	2						○			
		アダプテッドスポーツ	2						○			
		発育・発達論	2						○			
		介護予防	2						○			
		スポーツ医科学研究	2						○			
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		トレーニング科学	2		○							
		トレーニング科学演習	2			○						
		ストレングス＆コンディショニング実習Ⅰ	1		○							
		ストレングス＆コンディショニング実習Ⅱ	1							○		
		スポーツ医学入門	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
トレーナー・スポーツ経営専門科目		スポーツ医学(内科系)	1			○						
		スポーツメンタルトレーニング	2							○		
		スポーツ指導論	2					○				
		アスレティックトレーナー概論	1		○							
		スポーツ生理学Ⅰ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅱ	2			○						
		バイオメカニクス	2			○						
		運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ医学(外科系)Ⅰ	1			○						
		スポーツ医学(外科系)Ⅱ	1				○					
		検査・測定と評価	2			○						
		スポーツ現場における救急対応Ⅰ	2		○							
		スポーツ現場における救急対応Ⅱ	2					○				
		スポーツトレーナー現場実習	1					▽	▽			*
		ハイパフォーマンストレーニング演習Ⅰ	1							○		
		ハイパフォーマンストレーニング演習Ⅱ	1							○		
		スポーツ外傷・障害評価演習	1							○		
		スポーツ現場における安全・健康管理	1				○					
		スポーツ外傷・障害予防演習Ⅰ	1		○							
		スポーツ外傷・障害予防演習Ⅱ	1				○					
		コンディショニング演習Ⅰ	1			○						
		コンディショニング演習Ⅱ	1				○					
		リコンディショニング演習Ⅰ	2				◎					
		リコンディショニング演習Ⅱ	1					○				
		アスレティックトレーナー現場実習	1			○						
		アスレティックトレーナー総論Ⅰ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅱ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅲ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅳ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅴ	2							○		
		アスレティックトレーナー総論Ⅵ	2								○	
		ヘルスプロモーション	2						○			
		スポーツデータサイエンス	1						○			
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							*
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		体育実技(武道)	1	▽	▽							
		健康運動指導特講Ⅰ	1			○						
		健康運動指導特講Ⅱ	1				○					
		トレーニング指導特講Ⅰ	1					○				
		トレーニング指導特講Ⅱ	1						○			
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
経営情報専門科目		経営情報Ⅰ	2	○								
		経営情報Ⅱ	2		○							
		経営情報Ⅲ	2			○						
		経営情報Ⅳ	2				○					
		経営情報Ⅴ	2					○				
		経営情報Ⅵ	2						○			
		情報処理入門Ⅰ	2	○								
		情報処理入門Ⅱ	2		○							
		情報処理Ⅰ	2			◎						
		情報処理Ⅱ	2				◎					
		情報処理Ⅲ	2					◎				
		情報処理Ⅳ	2						◎			
		情報システムⅠ	2	○								
		情報システムⅡ	2		○							
		情報システムⅢ	2			○						
		情報システムⅣ	2				○					
		プログラミングⅠ	2	◎								
		プログラミングⅡ	2		◎							
		ソフトウェア設計Ⅰ	2			○						
		ソフトウェア設計Ⅱ	2				○					
		数理・データサイエンスⅠ	2	○								

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営情報専門科目		数理・データサイエンスⅡ	2		○							
		数理・データサイエンスⅢ	2			○						
		数理・データサイエンスⅣ	2				○					
		基礎数学Ⅰ	2	○								
		基礎数学Ⅱ	2		○							
		システム設計Ⅰ	2			○						
		システム設計Ⅱ	2				○					
		マルチメディアⅠ	2			○						
		マルチメディアⅡ	2				○					
		経営情報各論AⅠ	2					○				
		経営情報各論AⅡ	2						○			
		経営情報各論BⅠ	2					○				
		経営情報各論BⅡ	2						○			
		経営情報各論CⅠ	2					○				
		経営情報各論CⅡ	2						○			
		経営情報各論DⅠ	2					○				
		経営情報各論DⅡ	2						○			
		経営情報各論EⅠ	2					○				
		経営情報各論EⅡ	2						○			
		経営情報各論FⅠ	2					○				
		経営情報各論FⅡ	2						○			
		経営情報各論GⅠ	2					○				
		経営情報各論GⅡ	2						○			
共通専門科目		マネジメント研究Ⅰ	2					○				
		マネジメント研究Ⅱ	2						○			
		マネジメント演習	4					▽	▽			
		卒業論文	4							▽	▽	
日本語科目	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	1		○							外国人留学生のみ履修可
	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	1			○						外国人留学生のみ履修可
	▲	キャリアジャパニーズ	1				○					外国人留学生のみ履修可
	▲	アカデミックキャリアジャパニーズ	1					○				外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

経営学科

2024年度入学生（学籍番号上3ケタ　324　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	4単位	92単位	124単位
経営専門基礎科目	4単位	6単位		
経営専門科目				
トレーナー・スポーツ経営専門科目				
経営情報専門科目				
共通専門科目				
日本語科目 （留学生指定科目）				
合 計	22単位	10単位	92単位	124単位

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語Ⅰ」・「実用英語Ⅱ」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語Ⅰ」・「実用中国語Ⅱ」）の
いずれか4科目4単位を修得すること。

※「経営専門基礎科目」の選択必修科目（※）から、6単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部

経営学科（留学生）

2024年度入学生（学籍番号上3ケタ　324　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	22単位	4単位	84単位	124単位
経営専門基礎科目	4単位	6単位		
経営専門科目				
トレーナー・スポーツ経営専門科目				
経営情報専門科目				
共通専門科目				
日本語科目 （留学生指定科目）	4単位			
合 計	30単位	10単位	84単位	124単位

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語Ⅰ」・「実用英語Ⅱ」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語Ⅰ」・「実用中国語Ⅱ」）の
いずれか4科目4単位を修得すること。（母国語は選択できません）

※「経営専門基礎科目」の選択必修科目（※）から、6単位以上修得すること。

◎日本語科目について

2024年度入学生：学籍番号上3桁324以降、4桁目以降 D25～、D26～、D27～、D23501～が対象。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　経営学科 （2024年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

324

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)。
ただし、「☆選択必修」または「★選択必修」のいずれか4科目4単位を修得すること。
『経営専門基礎』の選択必修科目(※)から6単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
		現代英語ＩＡ	1	○								☆選択必修
		現代英語ＩＢ	1		○							
		実用英語Ⅰ	1	○								
		実用英語Ⅱ	1		○							
		現代中国語ＩＡ	1	○								★選択必修
		現代中国語ＩＢ	1		○							
		実用中国語Ⅰ	1	○								
		実用中国語Ⅱ	1		○							
	▲	現代日本語ＩＡ	1	○								
	▲	現代日本語ＩＢ	1		○							
	▲	実用日本語Ⅰ	1	○								
	▲	実用日本語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
	●	コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
	●	就職支援ⅡA	2			○						
	●	就職支援ⅡB	2				○					
	●	就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
経営専門基礎科目	※	経営学Ⅰ	2	○								
	※	経済学Ⅰ	2	○								
	●	経営学Ⅱ	2		○							
	※	経済学Ⅱ	2		○							
	●	会計学	2				○					
	※	民法・商法	2			○						
	※	経営・経済法	2				○					
	※	行政法	2				○					
	※	労働法	2				○					
	※	会社法	2				○					
	※	ビジネスコミュニケーションⅠ	2			○						
	※	ビジネスコミュニケーションⅡ	2				○					
	※	簿記Ⅰ	2	○								
	※	現代社会と広告	2				○					
	※	物流	2				○					
	※	人材開発論	2			○						
	※	社会情報概論	2		○							
	※	企業倫理	2				○					
	※	企業情報Ⅰ	2			○						
	※	企業情報Ⅱ	2				○					
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営専門科目		経営戦略論	2			○						
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		財務管理	2						○			
		企業金融論	2						○			
		企業経営と情報	2			○						
		経営管理	2				○					
		経営分析Ⅰ	2					○				
		経営分析Ⅱ	2						○			
		企業とOJT	2				○					
		マーケティング論Ⅰ	2			○						
		マーケティング論Ⅱ	2				○					
		販売管理	2			○						
		産業環境論	2				○					
		危機管理	2					○				
		安全保障	2						○			
		国際情報(政治)	2		○							
		国際情報(経済)	2			○						
		金融リテラシー	2		○							
		証券投資論	2						○			
		中小企業論	2					○				
		財政政策論	2					○				
		医療概論	4		◎							
		臨床医学Ⅰ	4			◎						
		臨床医学Ⅱ	4				◎					
		臨床医学Ⅲ	4					◎				
		医療管理Ⅰ	4	◎								
		医療管理Ⅱ	2		○							
		医療情報・統計学	4			□	□					
		診療情報管理学	4	□	□							
		国際統計分類	4			□	□					
		診療情報管理実習	1			▽	▽					*
		診療情報管理総合演習Ⅰ	2	□	□							
		診療情報管理総合演習Ⅱ	2			□	□					
		診療情報管理総合演習Ⅲ	2					□	□			
トレーナー・スポーツ経営専門科目		スポーツ産業論	2	○								
		スポーツマネジメント	2					○				
		スポーツマネジメント実習	2					□	□			
		スポーツマーケティング	2						○			
		スポーツファイナンス	2						○			
		スポーツファシリティマネジメント	2				○					
		スポーツツーリズム	2					○				
		スポーツイベントプロデュース	2					▽	▽			
		スポーツインターンシップ	2					▽	▽			
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツ栄養学	2			○						
		スポーツと食事	2							○		
		スポーツ心理学	2			○						
		健康心理学	2					○				
		スポーツ社会学	2					○				
		スポーツ政策論	2			○						
		運動学	2					○				
		運動処方	2						○			
		アダプテッドスポーツ	2						○			
		発育・発達論	2						○			
		介護予防	2						○			
		スポーツ医科学研究	2						○			
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		トレーニング科学	2		○							
		トレーニング科学演習	2			○						
		ストレングス＆コンディショニング実習Ⅰ	1		○							
		ストレングス＆コンディショニング実習Ⅱ	1							○		
		スポーツ医学入門	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
トレーナー・スポーツ経営専門科目		スポーツ医学(内科系)	1			○						
		スポーツメンタルトレーニング	2							○		
		スポーツ指導論	2					○				
		アスレティックトレーナー概論	1		○							
		スポーツ生理学Ⅰ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅱ	2			○						
		バイオメカニクス	2			○						
		運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ医学(外科系)Ⅰ	1			○						
		スポーツ医学(外科系)Ⅱ	1				○					
		検査・測定と評価	2			○						
		スポーツ現場における救急対応Ⅰ	2		○							
		スポーツ現場における救急対応Ⅱ	2					○				
		スポーツトレーナー現場実習	1					▽	▽			*
		ハイパフォーマンストレーニング演習Ⅰ	1							○		
		ハイパフォーマンストレーニング演習Ⅱ	1							○		
		スポーツ外傷・障害評価演習	1							○		
		スポーツ現場における安全・健康管理	1				○					
		スポーツ外傷・障害予防演習Ⅰ	1		○							
		スポーツ外傷・障害予防演習Ⅱ	1				○					
		コンディショニング演習Ⅰ	1			○						
		コンディショニング演習Ⅱ	1				○					
		リコンディショニング演習Ⅰ	2				◎					
		リコンディショニング演習Ⅱ	1					○				
		アスレティックトレーナー現場実習	1			○						
		アスレティックトレーナー総論Ⅰ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅱ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅲ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅳ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅴ	2							○		
		アスレティックトレーナー総論Ⅵ	2								○	
		ヘルスプロモーション	2						○			
		スポーツデータサイエンス	1						○			
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							*
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		体育実技(武道)	1	▽	▽							
		健康運動指導特講Ⅰ	1			○						
		健康運動指導特講Ⅱ	1				○					
		トレーニング指導特講Ⅰ	1					○				
		トレーニング指導特講Ⅱ	1						○			
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
経営情報専門科目		経営情報Ⅰ	2	○								
		経営情報Ⅱ	2		○							
		経営情報Ⅲ	2			○						
		経営情報Ⅳ	2				○					
		経営情報Ⅴ	2					○				
		経営情報Ⅵ	2						○			
		情報処理入門Ⅰ	2	○								
		情報処理入門Ⅱ	2		○							
		情報処理Ⅰ	2			◎						
		情報処理Ⅱ	2				◎					
		情報処理Ⅲ	2					◎				
		情報処理Ⅳ	2						◎			
		情報システムⅠ	2	○								
		情報システムⅡ	2		○							
		情報システムⅢ	2			○						
		情報システムⅣ	2				○					
		プログラミングⅠ	2	◎								
		プログラミングⅡ	2		◎							
		ソフトウェア設計Ⅰ	2			○						
		ソフトウェア設計Ⅱ	2				○					
		数理・データサイエンスⅠ	2	○								

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営情報専門科目		数理・データサイエンスⅡ	2		○							
		数理・データサイエンスⅢ	2			○						
		数理・データサイエンスⅣ	2				○					
		基礎数学Ⅰ	2	○								
		基礎数学Ⅱ	2		○							
		システム設計Ⅰ	2			○						
		システム設計Ⅱ	2				○					
		マルチメディアⅠ	2			○						
		マルチメディアⅡ	2				○					
		経営情報各論AⅠ	2					○				
		経営情報各論AⅡ	2						○			
		経営情報各論BⅠ	2					○				
		経営情報各論BⅡ	2						○			
		経営情報各論CⅠ	2					○				
		経営情報各論CⅡ	2						○			
		経営情報各論DⅠ	2					○				
		経営情報各論DⅡ	2						○			
		経営情報各論EⅠ	2					○				
		経営情報各論EⅡ	2						○			
		経営情報各論FⅠ	2					○				
		経営情報各論FⅡ	2						○			
		経営情報各論GⅠ	2					○				
		経営情報各論GⅡ	2						○			
共通専門科目		マネジメント研究Ⅰ	2					○				
		マネジメント研究Ⅱ	2						○			
		マネジメント演習	4					▽	▽			
		卒業論文	4							▽	▽	
日本語科目	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	1		○							外国人留学生のみ履修可
	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	1			○						外国人留学生のみ履修可
	▲	キャリアジャパニーズ	1				○					外国人留学生のみ履修可
	▲	アカデミックキャリアジャパニーズ	1					○				外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

経営学科

2023年度入学生（学籍番号上3ケタ　323　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	4単位	92単位	124単位
経営専門基礎科目	4単位	6単位		
経営専門科目				
トレーナー・スポーツ経営専門科目				
経営情報専門科目				
共通専門科目				
日本語科目 （留学生指定科目）				
合 計	22単位	10単位	92単位	124単位

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語Ⅰ」・「実用英語Ⅱ」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語Ⅰ」・「実用中国語Ⅱ」）の
いずれか4科目4単位を修得すること。

※「経営専門基礎科目」の選択必修科目（※）から、6単位以上修得すること。

※自由科目区分の科目については外国人留学生のみ履修が可能です。
ただし、進級・卒業単位数には含まれません。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部

経営学科（留学生）

2023年度入学生（学籍番号上3ケタ　323　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

<table>
<tr><th>科目分類</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>卒業単位（合計）</th></tr>
<tr><td>教養科目</td><td>22単位</td><td>4単位</td><td rowspan="6">84単位</td><td rowspan="7">124単位</td></tr>
<tr><td>経営専門基礎科目</td><td>4単位</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td>経営専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>トレーナー・スポーツ経営専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>経営情報専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>共通専門科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>日本語科目
（留学生指定科目）</td><td>4単位</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合 計</td><td>30単位</td><td>10単位</td><td>84単位</td><td>124単位</td></tr>
</table>

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語Ⅰ」・「実用英語Ⅱ」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語Ⅰ」・「実用中国語Ⅱ」）の
　いずれか4科目4単位を修得すること。（母国語は選択できません）

※「経営専門基礎科目」の選択必修科目（※）から、6単位以上修得すること。

◎日本語科目について

学籍番号上3桁323以降、4桁目以降 D25～、D26～、D27～が対象。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　経営学科 （2023年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

323

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)。
ただし、「☆選択必修」または「★選択必修」のいずれか4科目4単位を修得すること。
『経営専門基礎』の選択必修科目(※)から6単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
		現代英語ＩＡ	1	○								☆選択必修
		現代英語ＩＢ	1		○							
		実用英語Ⅰ	1	○								
		実用英語Ⅱ	1		○							
		現代中国語ＩＡ	1	○								★選択必修
		現代中国語ＩＢ	1		○							
		実用中国語Ⅰ	1	○								
		実用中国語Ⅱ	1		○							
	▲	現代日本語ＩＡ	1	○								
	▲	現代日本語ＩＢ	1		○							
	▲	実用日本語Ⅰ	1	○								
	▲	実用日本語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
	●	コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
	●	就職支援ⅡA	2			○						
	●	就職支援ⅡB	2				○					
	●	就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
経営専門基礎科目	※	経営学Ⅰ	2	○								
	※	経済学Ⅰ	2	○								
	●	経営学Ⅱ	2		○							
	※	経済学Ⅱ	2		○							
	●	会計学	2				○					
	※	民法・商法	2			○						
	※	経営・経済法	2				○					
	※	行政法	2				○					
	※	労働法	2				○					
	※	会社法	2				○					
	※	ビジネスコミュニケーションⅠ	2			○						
	※	ビジネスコミュニケーションⅡ	2				○					
	※	簿記Ⅰ	2	○								
	※	現代社会と広告	2				○					
	※	物流	2				○					
	※	人材開発論	2			○						
	※	社会情報概論	2		○							
	※	企業倫理	2				○					
	※	企業情報Ⅰ	2			○						
	※	企業情報Ⅱ	2				○					
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営専門科目		経営戦略論	2			○						
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		財務管理	2						○			
		企業金融論	2						○			
		企業経営と情報	2			○						
		経営管理	2				○					
		経営分析Ⅰ	2					○				
		経営分析Ⅱ	2						○			
		企業とOJT	2				○					
		マーケティング論Ⅰ	2			○						
		マーケティング論Ⅱ	2				○					
		販売管理	2			○						
		産業環境論	2				○					
		危機管理	2					○				
		安全保障	2						○			
		国際情報(政治)	2		○							
		国際情報(経済)	2			○						
		金融リテラシー	2		○							
		証券投資論	2						○			
		中小企業論	2					○				
		財政政策論	2					○				
		医療概論	4		◎							
		臨床医学Ⅰ	4			◎						
		臨床医学Ⅱ	4				◎					
		臨床医学Ⅲ	4					◎				
		医療管理Ⅰ	4	◎								
		医療管理Ⅱ	2		○							
		医療情報・統計学	4			□	□					
		診療情報管理学	4	□	□							
		国際統計分類	4			□	□					
		診療情報管理実習	1			▽	▽					*
		診療情報管理総合演習Ⅰ	2	□	□							
		診療情報管理総合演習Ⅱ	2			□	□					
		診療情報管理総合演習Ⅲ	2					□	□			
トレーナー・スポーツ経営専門科目		スポーツ産業論	2	○								
		スポーツマネジメント	2					○				
		スポーツマネジメント実習	2					□	□			
		スポーツマーケティング	2						○			
		スポーツファイナンス	2						○			
		スポーツファシリティマネジメント	2				○					
		スポーツツーリズム	2					○				
		スポーツイベントプロデュース	2					▽	▽			
		スポーツインターンシップ	2					▽	▽			
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツ栄養学	2				○					
		スポーツと食事	2					○				
		スポーツ心理学	2				○					
		健康心理学	2					○				
		スポーツ社会学	2						○			
		スポーツ政策論	2			○						
		運動学	2					○				
		運動処方	2					○				
		アダプテッドスポーツ	2					○				
		発育・発達論	2						○			
		介護予防	2						○			
		スポーツ医科学研究	2						○			
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		トレーニング科学	2			○						
		トレーニング科学演習	2				○					
		トレーニング指導実習Ⅰ	1		○							
		トレーニング指導実習Ⅱ	1							○		
		スポーツ医学入門	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
トレーナー・スポーツ経営専門科目		健康管理とスポーツ医学	2			○						
		スポーツメンタルトレーニング	2					○				
		スポーツ指導論	2						○			
		アスレティックトレーナーの役割	2		○							
		スポーツ生理学Ⅰ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅱ	2			○						
		バイオメカニクス	2				○					
		運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ	2			○						
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ	2				○					
		検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
		検査・測定と評価Ⅱ	2					○				
		テーピング・ストレッチ演習	1			○						
		コンディショニング演習	1			○						
		アスレティックトレーニング演習	2						○			
		アスレティックリハビリテーションⅠ	3						◎			
		アスレティックリハビリテーションⅡ	2							○		
		スポーツ現場における救急対応Ⅰ	2		○							
		スポーツ現場における救急対応Ⅱ	2						○			
		スポーツトレーナー現場実習	1					▽	▽			*
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1			◇	◇					
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	2					□	□			
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	2							□	□	
		アスレティックトレーニング特講Ⅰ	1							○		
		アスレティックトレーニング特講Ⅱ	1								○	
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							*
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		体育実技(武道)	1	▽	▽							
		健康運動指導特講Ⅰ	1			○						
		健康運動指導特講Ⅱ	1				○					
		トレーニング指導特講Ⅰ	1					○				
		トレーニング指導特講Ⅱ	1						○			
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
経営情報専門科目		経営情報Ⅰ	2	○								
		経営情報Ⅱ	2		○							
		経営情報Ⅲ	2			○						
		経営情報Ⅳ	2				○					
		経営情報Ⅴ	2					○				
		経営情報Ⅵ	2						○			
		情報処理入門Ⅰ	2	○								
		情報処理入門Ⅱ	2		○							
		情報処理Ⅰ	2			◎						
		情報処理Ⅱ	2				◎					
		情報処理Ⅲ	2					◎				
		情報処理Ⅳ	2						◎			
		情報システムⅠ	2	○								
		情報システムⅡ	2		○							
		情報システムⅢ	2			○						
		情報システムⅣ	2				○					
		プログラミングⅠ	2	◎								
		プログラミングⅡ	2		◎							
		ソフトウェア設計Ⅰ	2			○						
		ソフトウェア設計Ⅱ	2				○					
		数理・データサイエンスⅠ	2	○								
		数理・データサイエンスⅡ	2		○							
		数理・データサイエンスⅢ	2			○						
		数理・データサイエンスⅣ	2				○					
		基礎数学Ⅰ	2	○								

区分		授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営情報専門科目		基礎数学Ⅱ	2		○							
		システム設計Ⅰ	2			○						
		システム設計Ⅱ	2				○					
		マルチメディアⅠ	2			○						
		マルチメディアⅡ	2				○					
		経営情報各論AⅠ	2					○				
		経営情報各論AⅡ	2						○			
		経営情報各論BⅠ	2					○				
		経営情報各論BⅡ	2						○			
		経営情報各論CⅠ	2					○				
		経営情報各論CⅡ	2						○			
		経営情報各論DⅠ	2					○				
		経営情報各論DⅡ	2						○			
		経営情報各論EⅠ	2					○				
		経営情報各論EⅡ	2						○			
		経営情報各論FⅠ	2					○				
		経営情報各論FⅡ	2						○			
		経営情報各論GⅠ	2					○				
		経営情報各論GⅡ	2						○			
共通専門科目		マネジメント研究Ⅰ	2					○				
		マネジメント研究Ⅱ	2						○			
		マネジメント演習	4					▽	▽			
		卒業論文	4							▽	▽	
日本語科目	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	1		○							外国人留学生のみ履修可
	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	1			○						外国人留学生のみ履修可
	▲	キャリアジャパニーズ	1				○					外国人留学生のみ履修可
	▲	アカデミックキャリアジャパニーズ	1					○				外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

経営学科

2021年度～2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　321～322　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	4単位	92単位	124単位
経営専門基礎科目	4単位	6単位		
経営専門科目				
トレーナー・スポーツ経営専門科目				
経営情報専門科目				
共通専門科目				
自由科目 （留学生指定科目）				
合 計	22単位	10単位	92単位	124単位

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語Ⅰ」・「実用英語Ⅱ」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語Ⅰ」・「実用中国語Ⅱ」）の
いずれか4科目4単位を修得すること。

※「経営専門基礎科目」の選択必修科目（※）から、6単位以上修得すること。

※自由科目区分の科目については外国人留学生のみ履修が可能です。
ただし、進級・卒業単位数には含まれません。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　経営学科 （2021年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

321～322

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)。
ただし、「☆選択必修」または「★選択必修」のいずれか4科目4単位を修得すること。
『経営専門基礎』の選択必修科目(※)から6単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
		現代英語ＩＡ	1	○								☆選択必修
		現代英語ＩＢ	1		○							
		実用英語Ⅰ	1	○								
		実用英語Ⅱ	1		○							
		現代中国語ＩＡ	1	○								★選択必修
		現代中国語ＩＢ	1		○							
		実用中国語Ⅰ	1	○								
		実用中国語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
	●	コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
	●	就職支援ⅡA	2			○						
	●	就職支援ⅡB	2				○					
	●	就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
経営専門基礎科目	※	経営学Ⅰ	2	○								
	※	経済学Ⅰ	2	○								
	●	経営学Ⅱ	2		○							
	※	経済学Ⅱ	2		○							
	●	会計学	2				○					
	※	民法・商法	2			○						
	※	経営・経済法	2				○					
	※	行政法	2				○					
	※	労働法	2				○					
	※	会社法	2				○					
	※	ビジネスコミュニケーションⅠ	2			○						
	※	ビジネスコミュニケーションⅡ	2				○					
	※	簿記Ⅰ	2	○								
	※	現代社会と広告	2				○					
	※	物流	2				○					
	※	人材開発論	2			○						
	※	社会情報概論	2		○							
	※	企業倫理	2				○					
	※	企業情報Ⅰ	2			○						
	※	企業情報Ⅱ	2				○					
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営専門科目		経営戦略論	2			○						
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		財務管理	2						○			
		企業金融論	2						○			
		企業経営と情報	2			○						
		経営管理	2				○					
		経営分析Ⅰ	2					○				
		経営分析Ⅱ	2						○			
		企業とOJT	2				○					
		マーケティング論Ⅰ	2			○						
		マーケティング論Ⅱ	2				○					
		販売管理	2			○						
		産業環境論	2				○					
		危機管理	2					○				
		安全保障	2						○			
		国際情報(政治)	2		○							
		国際情報(経済)	2			○						
		金融リテラシー	2		○							
		証券投資論	2						○			
		中小企業論	2					○				
		財政政策論	2					○				
		医療概論	4		◎							
		臨床医学Ⅰ	4			◎						
		臨床医学Ⅱ	4				◎					
		臨床医学Ⅲ	4					◎				
		医療管理Ⅰ	4	◎								
		医療管理Ⅱ	2		○							
		医療情報・統計学	4			□	□					
		診療情報管理学	4	□	□							
		国際統計分類	4			□	□					
		診療情報管理実習	1			▽	▽					*
		診療情報管理総合演習Ⅰ	2	□	□							
		診療情報管理総合演習Ⅱ	2			□	□					
		診療情報管理総合演習Ⅲ	2					□	□			
トレーナー・スポーツ経営専門科目		スポーツ産業論	2	○								
		スポーツマネジメント	2					○				
		スポーツマネジメント実習	2					□	□			
		スポーツマーケティング	2						○			
		スポーツファイナンス	2						○			
		スポーツファシリティマネジメント	2				○					
		スポーツツーリズム	2					○				
		スポーツイベントプロデュース	2					▽	▽			
		スポーツインターンシップ	2					▽	▽			
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツ栄養学	2				○					
		スポーツと食事	2					○				
		スポーツ心理学	2				○					
		健康心理学	2					○				
		スポーツ社会学	2						○			
		スポーツ政策論	2			○						
		運動学	2					○				
		運動処方	2					○				
		アダプテッドスポーツ	2					○				
		発育・発達論	2						○			
		介護予防	2						○			
		スポーツ医科学研究	2						○			
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		トレーニング科学	2			○						
		トレーニング科学演習	2				○					
		トレーニング指導実習Ⅰ	1		○							
		トレーニング指導実習Ⅱ	1							○		
		スポーツ医学入門	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
トレーナー・スポーツ経営専門科目		健康管理とスポーツ医学	2			○						
		スポーツメンタルトレーニング	2					○				
		スポーツ指導論	2						○			
		アスレティックトレーナーの役割	2		○							
		スポーツ生理学Ⅰ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅱ	2			○						
		バイオメカニクス	2				○					
		運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ	2			○						
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ	2				○					
		検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
		検査・測定と評価Ⅱ	2					○				
		テーピング・ストレッチ演習	1			○						
		コンディショニング演習	1			○						
		アスレティックトレーニング演習	2						○			
		アスレティックリハビリテーションⅠ	3						◎			
		アスレティックリハビリテーションⅡ	2							○		
		スポーツ現場における救急対応Ⅰ	2		○							
		スポーツ現場における救急対応Ⅱ	2						○			
		スポーツトレーナー現場実習	1					▽	▽			*
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1			◇	◇					
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	2					□	□			
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	2							□	□	
		アスレティックトレーニング特講Ⅰ	1							○		
		アスレティックトレーニング特講Ⅱ	1								○	
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							*
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		体育実技(武道)	1	▽	▽							
		健康運動指導特講Ⅰ	1			○						
		健康運動指導特講Ⅱ	1				○					
		トレーニング指導特講Ⅰ	1					○				
		トレーニング指導特講Ⅱ	1						○			
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
経営情報専門科目		経営情報Ⅰ	2	○								
		経営情報Ⅱ	2		○							
		経営情報Ⅲ	2			○						
		経営情報Ⅳ	2				○					
		経営情報Ⅴ	2					○				
		経営情報Ⅵ	2						○			
		情報処理入門Ⅰ	2	○								
		情報処理入門Ⅱ	2		○							
		情報処理Ⅰ	2			◎						
		情報処理Ⅱ	2				◎					
		情報処理Ⅲ	2					◎				
		情報処理Ⅳ	2						◎			
		情報システムⅠ	2	○								
		情報システムⅡ	2		○							
		情報システムⅢ	2			○						
		情報システムⅣ	2				○					
		プログラミングⅠ	2	◎								
		プログラミングⅡ	2		◎							
		ソフトウェア設計Ⅰ	2			○						
		ソフトウェア設計Ⅱ	2				○					
		数理・データサイエンスⅠ	2	○								
		数理・データサイエンスⅡ	2		○							
		数理・データサイエンスⅢ	2			○						
		数理・データサイエンスⅣ	2				○					
		基礎数学Ⅰ	2	○								

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
経営情報専門科目		基礎数学Ⅱ	2		○							
		システム設計Ⅰ	2			○						
		システム設計Ⅱ	2				○					
		マルチメディアⅠ	2			○						
		マルチメディアⅡ	2				○					
		経営情報各論AⅠ	2					○				
		経営情報各論AⅡ	2						○			
		経営情報各論BⅠ	2					○				
		経営情報各論BⅡ	2						○			
		経営情報各論CⅠ	2					○				
		経営情報各論CⅡ	2						○			
		経営情報各論DⅠ	2					○				
		経営情報各論DⅡ	2						○			
		経営情報各論EⅠ	2					○				
		経営情報各論EⅡ	2						○			
		経営情報各論FⅠ	2					○				
		経営情報各論FⅡ	2						○			
		経営情報各論GⅠ	2					○				
		経営情報各論GⅡ	2						○			
共通専門科目		マネジメント研究Ⅰ	2					○				
		マネジメント研究Ⅱ	2						○			
		マネジメント演習	4					▽	▽			
		卒業論文	4							▽	▽	
自由科目		アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	2	○								外国人留学生のみ履修可
		アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	2		○							外国人留学生のみ履修可
		キャリアジャパニーズ	2			○						外国人留学生のみ履修可
		アカデミックキャリアジャパニーズ	2				○					外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

経営学科

2016年度～2020年度（学籍番号上3ケタ　316～320　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
現代ライフ基礎	8単位		92単位	124単位
学習の基本とスキル	4単位	4単位		
マネージメント基礎	16単位			
マネージメント理論と実務				
社会生活環境				
教育とライフデザイン				
メディアと情報				
健康とスポーツ				
国際社会と歴史				
情報サイエンス基礎				
情報システム基礎				
情報応用				
医療管理				
特別科目				
合 計	28単位	4単位	92単位	124単位

◎選択必修について

☆選択必修（「現代英語ＩA」・「現代英語ＩB」・「実用英語ＩA」・「実用英語ＩB」）または

★選択必修（「現代中国語ＩA」・「現代中国語ＩB」・「実用中国語ＩA」・「実用中国語ＩB」）の
いずれか4科目4単位を修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　経営学科 （2016年度～2020年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

316～320

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)。
ただし、「☆選択必修」または「★選択必修」のいずれか4科目4単位を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
現代ライフ基礎		人間とバイオサイエンス	2		○							
		生命倫理	2	○								
		自己啓発	2	○								
		人間･思想･生活	2		○							
		命とこころ	2		○							
		人間社会と法	2	○								
		生活倫理	2		○							
		福祉と法	2				○					
		仕事と法律	2	○								
		生活科学	2				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		都市デザイン論	2			○						
		生物学	2	○								
	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
学習の基本とスキル		現代英語ⅠA	1	○								☆選択必修
		現代英語ⅠB	1		○							☆選択必修
		実用英語ⅠA	1	○								☆選択必修
		実用英語ⅠB	1		○							☆選択必修
		現代中国語ⅠA	1	○								★選択必修
		現代中国語ⅠB	1		○							★選択必修
		実用中国語ⅠA	1	○								★選択必修
		実用中国語ⅠB	1		○							★選択必修
		現代英語ⅡA	1			○						
		現代英語ⅡB	1				○					
		実用英語ⅡA	1					○				
		実用英語ⅡB	1						○			
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化コミュニケーション	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ演習Ⅰ	2		◎							
	●	コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
		数的処理入門Ⅰ	1			○						
		数的処理入門Ⅱ	1				○					
マネージメント基礎		経営学入門	2	○								
		経済学入門	2	○								
		経済学	2		○							
	●	経営学	2		○							
	●	会計学	2				○					
		日本国憲法	2		○							
		法学概論	2	○								
		民法･商法	2			○						
		経営･経済法	2				○					
		行政法	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
マネージメント基礎		社会学	2		○							
		労働法	2				○					
		会社法	2				○					
		コミュニケーションⅠ	2	○								
		コミュニケーションⅡ	2		○							
		ビジネスコミュニケーションⅠ	2			○						
		ビジネスコミュニケーションⅡ	2				○					
		ビジネスシステム	2			○						
	●	就職支援ⅠA	2	○								
	●	就職支援ⅠB	2		○							
	●	就職支援ⅡA	2			○						
	●	就職支援ⅡB	2				○					
	●	就職支援ⅢA	2					○				
	●	就職支援ⅢB	2						○			
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
マネージメント理論と実務		簿記Ⅰ	2	○								
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		財務管理	2						○			
		企業金融論	2						○			
		経営情報	2			○						
		経営管理	2				○					
		経営分析Ⅰ	2					○				
		経営分析Ⅱ	2						○			
		現代社会と広告Ⅰ	2			○						
		現代社会と広告Ⅱ	2				○					
		スポーツ文化論	2	○								
		企業とOJT	2				○					
		マーケティング入門	2			○						
		マーケティング管理論	2				○					
		販売管理	2			○						
		物流	2				○					
		人材開発論	2			○						
社会生活環境		社会保障	2						○			
		環境情報	2		○							
		都市環境情報	2	○								
		地球環境情報	2	○								
		自然環境情報	2	○								
		人文地理学概論	2		○							
		自然地理学概論	2	○								
		産業環境論	2				○					
		エネルギー論	2			○						
		エネルギー経済	2			○						
		危機管理	2					○				
		安全保障	2						○			
		社会情報概論	2		○							
		国際情報(政治)	2		○							
		国際情報(経済)	2			○						
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		企業倫理	2				○					
		企業情報Ⅰ	2			○						
		企業情報Ⅱ	2				○					
教育とライフデザイン		ボランティア論	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		メディアと教育	2		○							
		文学	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		プレゼンテーション技法	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
メディアと情報		情報科学論	2	○								
		情報と近代	2			○						
		情報社会	2			○						
		情報と施策	2			○						
健康とスポーツ		スポーツトレーニング入門	2	○								
		トレーニング科学	2			○						
		トレーニング科学演習	2				○					
		トレーニング指導実習Ⅰ	1			○						
		トレーニング指導実習Ⅱ	1					○				
		スポーツ医学入門	2		○							
		健康管理とスポーツ医学	2			○						
		スポーツ栄養学	2				○					
		スポーツと食事	2					○				
		スポーツ心理学	2				○					
		アスリートのメンタルマネジメント	2					○				
		健康心理学	2					○				
		スポーツ指導論	2						○			
		アスレティックトレーナーの役割	2		○							
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ政策論	2			○						
		施設管理論	2				○					
		スポーツビジネス学Ⅰ	2					○				
		スポーツビジネス学Ⅱ	2						○			
		運動学	2					○				
		運動処方	2					○				
		スポーツ生理学Ⅰ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅱ	2			○						
		バイオメカニクス	2				○					
		運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ	2			○						
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ	2				○					
		検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
		検査・測定と評価Ⅱ	2					○				
		予防とコンディショニングⅠ	3			◎						
		予防とコンディショニングⅡ	2						○			
		アスレティックリハビリテーションⅠ	3						◎			
		アスレティックリハビリテーションⅡ	2							○		
		救急処置Ⅰ	2				○					
		救急処置Ⅱ	2						○			
		アダプテッドスポーツ	2					○				
		発育・発達論	2						○			
		介護予防	2						○			
		スポーツトレーナー現場実習	1					▽	▽			*
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1			◇	◇					
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	2					□	□			
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	2							□	□	
		アスレティックトレーナー特講Ⅰ	2							○		
		アスレティックトレーナー特講Ⅱ	2								○	
		スポーツ医科学研究Ⅰ	2					○				
		スポーツ医科学研究Ⅱ	2						○			
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		体育実技(武道)	1	▽	▽							
国際社会と歴史		歴史文化概論	2		○							
		世界史Ⅰ	2	○								
		世界史Ⅱ	2		○							
		日本史Ⅰ	2	○								
		日本史Ⅱ	2		○							
		人間文化概論	2	○								
		アメリカ文学	2	○								
		英語史	2			○						
		イギリス文学	2				○					
		英語学	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
情報サイエンス基礎		基礎数学	2	○								
		基礎解析学	2	○								
		解析学	2		○							
		代数学	2		○							
		情報数学	2		○							
		統計基礎	2		○							
		統計学	2			○						
情報システム基礎		情報システム概論Ⅰ	2	○								
		情報システム概論Ⅱ	2		○							
		プログラミング言語Ⅰ	2		○							
		プログラミング言語Ⅱ	2			○						
		プログラミング言語Ⅲ	2				○					
		電子デバイス基礎	2			○						
		ディジタル回路	2			○						
		ディジタル回路設計	2			○						
		マイコン応用基礎	2				○					
		数値解析法	2				○					
		情報理論基礎	2		○							
		アルゴリズム	2				○					
		データベース	2					○				
		マルチメディア演習	2						○			
		情報とマルチメディア	2					○				
		ソフトウェア工学	2					○				
		システムデザイン基礎	2						○			
		オペレーティングシステム	2				○					
		情報セキュリティ	2			○						
		プログラム演習Ⅰ	2		◎							
		プログラム演習Ⅱ	2			◎						
		プログラム演習Ⅲ	2				◎					
		ソフトウェア演習Ⅰ	2			◎						
		ソフトウェア演習Ⅱ	2				◎					
		情報システム演習Ⅰ	2					◎				
		情報システム演習Ⅱ	2						◎			
		ディジタル信号処理基礎	2			○						
情報応用		画像情報処理	2				○					
		幾何とグラフィックス	2					○				
		未来環境デザイン	2				○					
		インターネット工学	2				○					
		ロボット・システム	2						○			
		ネットワーク工学	2						○			
		基本情報処理A	2			○						
		基本情報処理B	2				○					
		基本情報処理C	2					○				
		基本情報処理D	2						○			
		知識情報処理	2					○				
		オペレーションズリサーチ	2						○			
医療管理		医学入門	4		◎							
		臨床医学Ⅰ	4			◎						
		臨床医学Ⅱ	4			□	□					
		臨床医学Ⅲ	4					◎				
		医療管理Ⅰ	4	◎								
		医療管理Ⅱ	2		○							
		医療情報・統計学	4			□	□					
		診療情報管理学	4	□	□							
		国際統計分類	4			□	□					
		診療情報管理実習	1			▽	▽					*
特別科目		一般教養Ⅰ	2	○								
		一般教養Ⅱ	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
		特別セミナーⅠ	4	□	□							
		特別セミナーⅡ	4	□	□							
		キャンプ実習	1	▽								*
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		経営マネージメント研究Ⅰ	2					○				
		経営マネージメント研究Ⅱ	2						○			
		経営マネージメント演習	4					▽	▽			
		卒業論文	4							▽	▽	

人文社会学部

教育学科

2025年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　325～326　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	14単位	108単位	124単位
児童専門基礎科目	2単位		
小学校・特別支援専門科目			
保育・幼稚園専門科目			
共通専門科目			
合 計	16単位	108単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　教育学科（2025年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

325～326

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションA	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションB	4	□	□							中国語
		国際コミュニケーションC	4	□	□							韓国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		簿記入門	2	○								
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		特別セミナー	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
児童専門基礎科目		児童学	2	○								
		発達と教育の心理学	2	○								
	●	教育原理	2		○							
		教職概論	2		○							
		児童文学	2		○							
		教育相談	2			○						
		特別の支援を必要とする子どもの理解	2			○						
		教育方法・ICT活用論	2			○						
		教育制度論	2				○					
		教育心理	2					○				
		音楽概論	2						○			
		日本文化論	2						○			
		生活デザイン論	2						○			
		スポーツリテラシー	2						○			
小学校・特別支援専門科目		国語	2	○								
		算数	2		○							
		社会科	2		○							
		理科	2		○							
		生活科	2			○						
		音楽	2					○				
		図画工作	2			○						
		家庭科	2					○				
		体育	2		○							
		外国語	2			○						
		数学演習A	1			○						
		数学演習B	1				○					
		教育課程・方法論	2			○						
		教科教育法(国語)	2				○					
		教科教育法(社会)	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
小学校・特別支援専門科目		教科教育法(算数)	2				○					
		教科教育法(理科)	2				○					
		教科教育法(生活)	2					○				
		教科教育法(音楽)	2								○	
		教科教育法(図画工作)	2						○			
		教科教育法(家庭)	2								○	
		教科教育法(体育)	2					○				
		教科教育法(外国語)	2						○			
		道徳教育の指導法	2				○					
		特別活動の指導法	2					○				
		生徒・進路指導法	2						○			
		総合的な学習の時間の指導法	2						○			
		教育評価	2					○				
		学校インターンシップ	1	▽	▽							*
		特別支援教育概論	2		○							
		知的障害の心理・生理・病理	2				○					
		肢体不自由の心理・生理・病理	2				○					
		病弱の心理・生理・病理	2			○						
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅱ	2					○				
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2			○						
		知的障害測定・評価演習	2							○		
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅰ	2				○					
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		発達障害教育総論	2	○								
		自閉症教育・情緒障害教育総論	2		○							
		重複障害等教育総論	2		○							
		障害児教育総論	2							○		
		言語障害教育総論	2							○		
		介護等体験Ⅰ	1					▽	▽			*
		介護等体験Ⅱ	1					▽	▽			*
		小学校教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		小学校教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		小学校教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		障害児教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		障害児教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		教職実践演習(小学校)	2								○	
		教職実践演習(特別支援)	1								◇	
		障害児教育課程論	2								○	
保育・幼稚園専門科目		保育原理	2	○								保育士指定科目
		社会福祉総論	2	○								保育士指定科目
		教育課程論	2			○						
		保育の計画と評価	2			○						保育士指定科目
		保育内容総論	2	□	□							保育士指定科目
		保育内容(健康)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(人間関係)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(環境)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(言葉)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(表現A)	2			○						保育士指定科目
		保育内容(表現B)	2				○					保育士指定科目
		保育内容の指導法	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保育・幼稚園専門科目		保育の心理学	2			○						保育士指定科目
		保育者論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭福祉	2		○							保育士指定科目
		子育て支援	1							○		保育士指定科目
		子育て支援演習	4					□	□			
		子どもの保健	4			□	□					保育士指定科目
		子どもの食と栄養	2			□	□					保育士指定科目
		子どもの理解と援助	1				○					保育士指定科目
		子どもの健康と安全	1					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援の心理学	2					○				保育士指定科目
		乳児保育Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		乳児保育Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		障害児保育	2			□	□					保育士指定科目
		社会的養護Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		社会的養護Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅰ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅰ	2	□	□							保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅱ	2			□	□					保育士指定科目
		こどもと造形Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと造形Ⅱ	2			○						保育士指定科目
		こどもと運動Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと運動Ⅱ	2					○				保育士指定科目
		こどもの理解	2		○							保育士指定科目
		こどもとあそび	2			○						保育士指定科目
		こどもと算数	2					○				保育士指定科目
		こどもと生活	2						○			保育士指定科目
		こども文化	2						○			保育士指定科目
		こどもとことば	2						○			保育士指定科目
		保育・教職実践演習(幼稚園)	2							□	□	保育士指定科目
		保育実習指導ＩＡ	1				○					保育士指定科目
		保育実習指導ＩＢ	1					○				保育士指定科目
		保育実習ＩＡ	2					▽				*保育士指定科目
		保育実習ＩＢ	2						▽			*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅱ	2							▽		*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅲ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅲ	2								▽	*保育士指定科目
		幼稚園教育実習Ⅰ	1						○			事前指導
		幼稚園教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		幼稚園教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
共通専門科目		児童研究Ⅰ	2					○				
		児童研究Ⅱ	2						○			
		課題研究A	2							○		
		課題研究B	2								○	
		卒業論文	4							▽	▽	

人文社会学部

教育学科

2023年度～2024年度入学生（学籍番号上3ケタ　323～324　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	14単位	108単位	124単位
児童専門基礎科目	2単位		
小学校・特別支援専門科目			
保育・幼稚園専門科目			
共通専門科目			
合 計	16単位	108単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　教育学科（2023年度～2024年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

323～324

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		簿記入門	2	○								
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
児童専門基礎科目		児童学	2	○								
		発達と教育の心理学	2	○								
	●	教育原理	2		○							
		教職概論	2		○							
		児童文学	2		○							
		教育相談	2			○						
		特別の支援を必要とする子どもの理解	2			○						
		教育方法・ICT活用論	2			○						
		教育制度論	2				○					
		教育心理	2					○				
		音楽概論	2						○			
		日本文化論	2						○			
		生活デザイン論	2						○			
		スポーツリテラシー	2						○			
小学校・特別支援専門科目		国語	2	○								
		算数	2		○							
		社会科	2		○							
		理科	2		○							
		生活科	2			○						
		音楽	2					○				
		図画工作	2			○						
		家庭科	2					○				
		体育	2		○							
		外国語	2			○						
		数学演習A	1			○						
		数学演習B	1				○					
		教育課程・方法論	2			○						
		教科教育法(国語)	2				○					
		教科教育法(社会)	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
小学校・特別支援専門科目		教科教育法(算数)	2				○					
		教科教育法(理科)	2				○					
		教科教育法(生活)	2					○				
		教科教育法(音楽)	2								○	
		教科教育法(図画工作)	2						○			
		教科教育法(家庭)	2								○	
		教科教育法(体育)	2					○				
		教科教育法(外国語)	2						○			
		道徳教育の指導法	2				○					
		特別活動の指導法	2					○				
		生徒・進路指導法	2						○			
		総合的な学習の時間の指導法	2						○			
		教育評価	2					○				
		学校インターンシップ	1	▽	▽							*
		特別支援教育概論	2		○							
		視覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		聴覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		知的障害の心理・生理・病理	2				○					
		肢体不自由の心理・生理・病理	2				○					
		病弱の心理・生理・病理	2			○						
		視覚障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2			○						
		視覚障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		点字と歩行指導	2					○				
		聴覚障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2			○						
		聴覚障害児者のコミュニケーション	2					○				
		聴覚障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅱ	2					○				
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2			○						
		知的障害測定・評価演習	2							○		
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅰ	2				○					
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		発達障害教育総論	2	○								
		自閉症教育・情緒障害教育総論	2		○							
		重複障害等教育総論	2		○							
		障害児教育総論	2							○		
		言語障害教育総論	2							○		
		介護等体験Ⅰ	1					▽	▽			*
		介護等体験Ⅱ	1					▽	▽			*
		小学校教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		小学校教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		小学校教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		障害児教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		障害児教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		教職実践演習(小学校)	2								○	
		教職実践演習(特別支援)	1								◇	
		障害児教育課程論	2								○	
保育・幼稚園専門科目		保育原理	2	○								保育士指定科目
		社会福祉総論	2	○								保育士指定科目
		教育課程論	2			○						
		保育の計画と評価	2			○						保育士指定科目
		保育内容総論	2	□	□							保育士指定科目
		保育内容(健康)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(人間関係)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(環境)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(言葉)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(表現A)	2			○						保育士指定科目
		保育内容(表現B)	2				○					保育士指定科目
		保育内容の指導法	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保育・幼稚園専門科目		保育の心理学	2			○						保育士指定科目
		保育者論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭福祉	2		○							保育士指定科目
		子育て支援	1							○		保育士指定科目
		子育て支援演習	4					□	□			
		子どもの保健	4			□	□					保育士指定科目
		子どもの食と栄養	2			□	□					保育士指定科目
		子どもの理解と援助	1				○					保育士指定科目
		子どもの健康と安全	1					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援の心理学	2					○				保育士指定科目
		乳児保育Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		乳児保育Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		障害児保育	2			□	□					保育士指定科目
		社会的養護Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		社会的養護Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅰ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅰ	2	□	□							保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅱ	2			□	□					保育士指定科目
		こどもと造形Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと造形Ⅱ	2			○						保育士指定科目
		こどもと運動Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと運動Ⅱ	2					○				保育士指定科目
		こどもの理解	2		○							保育士指定科目
		こどもとあそび	2			○						保育士指定科目
		こどもと算数	2					○				保育士指定科目
		こどもと生活	2						○			保育士指定科目
		こども文化	2						○			保育士指定科目
		こどもとことば	2						○			保育士指定科目
		保育・教職実践演習(幼稚園)	2							□	□	保育士指定科目
		保育実習指導ⅠA	1				○					保育士指定科目
		保育実習指導ⅠB	1					○				保育士指定科目
		保育実習ⅠA	2					▽				*保育士指定科目
		保育実習ⅠB	2						▽			*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅱ	2							▽		*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅲ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅲ	2								▽	*保育士指定科目
		幼稚園教育実習Ⅰ	1						○			事前指導
		幼稚園教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		幼稚園教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
共通専門科目		児童研究Ⅰ	2					○				
		児童研究Ⅱ	2						○			
		課題研究A	2							○		
		課題研究B	2								○	
		卒業論文	4							▽	▽	

人文社会学部

教育学科

2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　322　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	14単位	108単位	124単位
児童専門基礎科目	2単位		
小学校・特別支援専門科目			
保育・幼稚園専門科目			
共通専門科目			
合 計	16単位	108単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　教育学科（2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

322

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		簿記入門	2	○								
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
児童専門基礎科目		児童学	2	○								
		発達と教育の心理学	2	○								
	●	教育原理	2		○							
		教職概論	2		○							
		児童文学	2		○							
		教育相談	2			○						
		特別の支援を必要とする子どもの理解	2			○						
		教育方法・ICT活用論	2			○						
		教育制度論	2				○					
		教育心理	2					○				
		音楽概論	2						○			
		日本文化論	2						○			
		生活デザイン論	2						○			
		スポーツリテラシー	2						○			
小学校・特別支援専門科目		国語	2	○								
		算数	2		○							
		社会科	2		○							
		理科	2		○							
		生活科	2			○						
		音楽	2					○				
		図画工作	2			○						
		家庭科	2					○				
		体育	2		○							
		外国語	2			○						
		数学演習A	1			○						
		数学演習B	1				○					
		教育課程・方法論	2			○						
		教科教育法(国語)	2				○					
		教科教育法(社会)	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
小学校・特別支援専門科目		教科教育法(算数)	2				○					
		教科教育法(理科)	2				○					
		教科教育法(生活)	2					○				
		教科教育法(音楽)	2								○	
		教科教育法(図画工作)	2						○			
		教科教育法(家庭)	2								○	
		教科教育法(体育)	2					○				
		教科教育法(外国語)	2						○			
		道徳教育の指導法	2				○					
		特別活動の指導法	2					○				
		生徒・進路指導法	2						○			
		総合的な学習の時間の指導法	2						○			
		教育評価	2					○				
		学校インターンシップ	1	▽	▽							*
		特別支援教育概論	2		○							
		視覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		聴覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		知的障害の心理・生理・病理	2				○					
		肢体不自由の心理・生理・病理	2				○					
		病弱の心理・生理・病理	2			○						
		視覚障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2			○						
		視覚障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		点字と歩行指導	2					○				
		聴覚障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2			○						
		聴覚障害児者のコミュニケーション	2					○				
		聴覚障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅱ	2					○				
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2			○						
		知的障害測定・評価演習	2							○		
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅰ	2				○					
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		発達障害教育総論	2	○								
		自閉症教育・情緒障害教育総論	2		○							
		重複障害等教育総論	2		○							
		障害児教育総論	2							○		
		言語障害教育総論	2							○		
		介護等体験Ⅰ	1					▽	▽			*
		介護等体験Ⅱ	1					▽	▽			*
		小学校教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		小学校教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		小学校教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		障害児教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		障害児教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		教職実践演習(小学校)	2								○	
		教職実践演習(特別支援)	1								◇	
		障害児教育課程論	2								○	
保育・幼稚園専門科目		保育原理	2	○								保育士指定科目
		社会福祉総論	2	○								保育士指定科目
		教育課程論	2			○						
		保育の計画と評価	2			○						保育士指定科目
		保育内容総論	2	□	□							保育士指定科目
		保育内容(健康)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(人間関係)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(環境)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(言葉)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(表現A)	2			○						保育士指定科目
		保育内容(表現B)	2				○					保育士指定科目
		保育内容の指導法	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保育・幼稚園専門科目		保育の心理学	2			○						保育士指定科目
		保育者論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭福祉	2		○							保育士指定科目
		子育て支援	1							○		保育士指定科目
		子育て支援演習	4					□	□			
		子どもの保健	4			□	□					保育士指定科目
		子どもの食と栄養	2			□	□					保育士指定科目
		子どもの理解と援助	1				○					保育士指定科目
		子どもの健康と安全	1					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援の心理学	2					○				保育士指定科目
		乳児保育Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		乳児保育Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		障害児保育	2			□	□					保育士指定科目
		社会的養護Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		社会的養護Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅰ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅰ	2	□	□							保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅱ	2			□	□					保育士指定科目
		こどもと造形Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと造形Ⅱ	2			○						保育士指定科目
		こどもと運動Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと運動Ⅱ	2					○				保育士指定科目
		こどもの理解	2		○							保育士指定科目
		こどもとあそび	2			○						保育士指定科目
		こどもと算数	2					○				保育士指定科目
		こどもと生活	2						○			保育士指定科目
		こども文化	2						○			保育士指定科目
		こどもとことば	2						○			保育士指定科目
		保育・教職実践演習(幼稚園)	2							□	□	保育士指定科目
		保育実習指導ＩＡ	1				○					保育士指定科目
		保育実習指導ＩＢ	1					○				保育士指定科目
		保育実習ＩＡ	2					▽				*保育士指定科目
		保育実習ＩＢ	2						▽			*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅱ	2							▽		*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅲ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅲ	2								▽	*保育士指定科目
		幼稚園教育実習Ⅰ	1						○			事前指導
		幼稚園教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		幼稚園教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
共通専門科目		児童研究Ⅰ	2					○				
		児童研究Ⅱ	2						○			
		課題研究A	2							○		
		課題研究B	2								○	
		卒業論文	4							▽	▽	

人文社会学部

教育学科

2021年度入学生（学籍番号上3ケタ　321対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	14単位	108単位	124単位
児童専門基礎科目	2単位		
小学校・特別支援専門科目			
保育・幼稚園専門科目			
共通専門科目			
合 計	16単位	108単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　教育学科（2021年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

321

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								
		ボランティア論	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		簿記入門	2	○								
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
児童専門基礎科目		児童学	2	○								
		発達と教育の心理学	2	○								
	●	教育原理	2		○							
		教職概論	2		○							
		児童文学	2		○							
		教育相談	2			○						
		特別の支援を必要とする子どもの理解	2			○						
		教育方法・技術論	2			○						
		教育制度論	2				○					
		教育心理	2					○				
		音楽概論	2						○			
		日本文化論	2						○			
		生活デザイン論	2						○			
		スポーツリテラシー	2						○			
小学校・特別支援専門科目		国語	2	○								
		算数	2		○							
		社会科	2		○							
		理科	2		○							
		生活科	2			○						
		音楽	2					○				
		図画工作	2			○						
		家庭科	2					○				
		体育	2		○							
		外国語	2			○						
		数学演習A	1			○						
		数学演習B	1				○					
		教育課程・方法論	2			○						
		教科教育法(国語)	2				○					
		教科教育法(社会)	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
小学校・特別支援専門科目		教科教育法(算数)	2				○					
		教科教育法(理科)	2				○					
		教科教育法(生活)	2					○				
		教科教育法(音楽)	2								○	
		教科教育法(図画工作)	2						○			
		教科教育法(家庭)	2								○	
		教科教育法(体育)	2					○				
		教科教育法(外国語)	2						○			
		道徳教育の指導法	2				○					
		特別活動の指導法	2					○				
		生徒・進路指導法	2						○			
		総合的な学習の時間の指導法	2						○			
		教育評価	2					○				
		学校インターンシップ	1	▽	▽							*
		特別支援教育概論	2		○							
		視覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		聴覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		知的障害の心理・生理・病理	2				○					
		肢体不自由の心理・生理・病理	2				○					
		病弱の心理・生理・病理	2			○						
		視覚障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2			○						
		視覚障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		点字と歩行指導	2					○				
		聴覚障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2			○						
		聴覚障害児者のコミュニケーション	2					○				
		聴覚障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		肢体不自由教育の教育課程・指導法Ⅱ	2					○				
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅰ	2	○								
		知的障害教育の教育課程・指導法Ⅱ	2			○						
		知的障害測定・評価演習	2							○		
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅰ	2				○					
		病弱教育の教育課程・指導法Ⅱ	2						○			
		発達障害教育総論	2	○								
		自閉症教育・情緒障害教育総論	2		○							
		重複障害等教育総論	2		○							
		障害児教育総論	2							○		
		言語障害教育総論	2							○		
		介護等体験Ⅰ	1					▽	▽			*
		介護等体験Ⅱ	1					▽	▽			*
		小学校教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		小学校教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		小学校教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		障害児教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		障害児教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		教職実践演習(小学校)	2								○	
		教職実践演習(特別支援)	1								◇	
		障害児教育課程論	2								○	
保育・幼稚園専門科目		保育原理	2	○								保育士指定科目
		社会福祉総論	2	○								保育士指定科目
		教育課程論	2			○						
		保育の計画と評価	2			○						保育士指定科目
		保育内容総論	2	□	□							保育士指定科目
		保育内容(健康)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(人間関係)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(環境)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(言葉)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(表現A)	2			○						保育士指定科目
		保育内容(表現B)	2				○					保育士指定科目
		保育内容の指導法	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保育・幼稚園専門科目		保育の心理学	2			○						保育士指定科目
		保育者論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭福祉	2		○							保育士指定科目
		子育て支援	1							○		保育士指定科目
		子育て支援演習	4					□	□			
		子どもの保健	4			□	□					保育士指定科目
		子どもの食と栄養	2			□	□					保育士指定科目
		子どもの理解と援助	1				○					保育士指定科目
		子どもの健康と安全	1					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援論	2					○				保育士指定科目
		子ども家庭支援の心理学	2					○				保育士指定科目
		乳児保育Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		乳児保育Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		障害児保育	2			□	□					保育士指定科目
		社会的養護Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		社会的養護Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅰ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅰ	2	□	□							保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅱ	2			□	□					保育士指定科目
		こどもと造形Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと造形Ⅱ	2			○						保育士指定科目
		こどもと運動Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと運動Ⅱ	2					○				保育士指定科目
		こどもの理解	2		○							保育士指定科目
		こどもとあそび	2			○						保育士指定科目
		こどもと算数	2					○				保育士指定科目
		こどもと生活	2						○			保育士指定科目
		こども文化	2						○			保育士指定科目
		こどもとことば	2						○			保育士指定科目
		保育・教職実践演習(幼稚園)	2							□	□	保育士指定科目
		保育実習指導ⅠA	1				○					保育士指定科目
		保育実習指導ⅠB	1					○				保育士指定科目
		保育実習ⅠA	2					▽				*保育士指定科目
		保育実習ⅠB	2						▽			*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅱ	2							▽		*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅲ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅲ	2								▽	*保育士指定科目
		幼稚園教育実習Ⅰ	1						○			事前指導
		幼稚園教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		幼稚園教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
共通専門科目		児童研究Ⅰ	2					○				
		児童研究Ⅱ	2						○			
		課題研究A	2							○		
		課題研究B	2								○	
		卒業論文	4							▽	▽	

人文社会学部

教育学科

2020年度入学生(学籍番号上3ケタ 320 対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位(合計)
現代ライフ基礎	8単位	108単位	124単位
学習の基本とスキル	6単位		
現代社会の基礎			
児童基礎	2単位		
保育の基礎			
保育内容と保育応用			
こどもの理解			
こどもと小学校			
こどもとまなび			
こどもと障害			
社会福祉			
キャリアと現代社会			
合 計	16単位	108単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　教育学科（2020年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

320

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目	単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
		●は必修科目		前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
現代ライフ基礎		人間とバイオサイエンス	2		○							
		生命倫理	2	○								
		自己啓発	2	○								
		人間･思想･生活	2		○							
		命とこころ	2		○							
		人間社会と法	2	○								
		生活倫理	2		○							
		生活科学	2				○					
		健康とスポーツ	2		○							
	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
学習の基本とスキル	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
		現代英語ⅡＡ	1			○						
		現代英語ⅡＢ	1				○					
	●	実用英語ＩＡ	1	○								
	●	実用英語ＩＢ	1		○							
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
	●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎								
		コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
		ソフトウェア演習Ⅰ	2			◎						
		ソフトウェア演習Ⅱ	2				◎					
		数的処理入門Ⅰ	1			○						
		数的処理入門Ⅱ	1				○					
現代社会の基礎		人間文化概論	2	○								
		歴史文化概論	2		○							
		社会情報概論	2		○							
児童基礎		児童学	2	○								
	●	教育原理	2		○							
		教職概論	2		○							
		教育制度論	2				○					
		教育相談	2			○						
		教育評価	2					○				
		メディアと教育	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		ボランティア論	2		○							
		環境情報	2		○							
		美術史	2	○								
		近代美術史	2		○							
		教育課程論	2			○						
		教育方法･技術論	2			○						

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
基礎		プレゼンテーション技法	2	○								
児童		児童文学	2		○							
保育の基礎		保育原理	2	○								保育士指定科目
		子ども家庭福祉	2		○							保育士指定科目
		子育て支援	1							○		保育士指定科目
		社会的養護Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		保育者論	2					○				保育士指定科目
		保育の心理学	2			○						保育士指定科目
		子ども家庭支援の心理学	2					○				保育士指定科目
		子どもの理解と援助	1				○					保育士指定科目
		子どもの保健	4			□	□					保育士指定科目
		子どもの健康と安全	1					○				保育士指定科目
		子どもの食と栄養	2			□	□					保育士指定科目
		子ども家庭支援論	2					○				保育士指定科目
		教育心理	2					○				
保育内容と保育応用		保育の計画と評価	2			○						保育士指定科目
		保育内容総論	2	□	□							保育士指定科目
		保育内容(健康)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(人間関係)	2	○								保育士指定科目
		保育内容(環境)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(言葉)	2		○							保育士指定科目
		保育内容(表現A)	2			○						保育士指定科目
		保育内容(表現B)	2				○					保育士指定科目
		乳児保育Ⅰ	2				○					保育士指定科目
		乳児保育Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		障害児保育	2			□	□					保育士指定科目
		社会的養護Ⅱ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅰ	1					○				保育士指定科目
		音楽演習Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		保育・教職実践演習(幼稚園)	2							□	□	保育士指定科目
		保育実習指導ⅠA	1				○					保育士指定科目
		保育実習指導ⅠB	1					○				保育士指定科目
		保育実習ⅠA	2					▽				*保育士指定科目
		保育実習ⅠB	2						▽			*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅱ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅱ	2							▽		*保育士指定科目
		保育実習指導Ⅲ	1						○			保育士指定科目
		保育実習Ⅲ	2								▽	*保育士指定科目
		幼稚園教育実習Ⅰ	1						○			事前指導
		幼稚園教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		幼稚園教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
こどもの理解		発達と教育の心理学	2	○								
		こどもの理解	2		○							保育士指定科目
		こども文化	2						○			保育士指定科目
		こどもとことば	2						○			保育士指定科目
		こどもとあそび	2			○						保育士指定科目
		こどもと算数	2					○				保育士指定科目
		こどもと生活	2						○			保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅰ	2	□	□							保育士指定科目
		こどもと音楽Ⅱ	2			□	□					保育士指定科目
		こどもと造形Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと造形Ⅱ	2			○						保育士指定科目
		こどもと運動Ⅰ	2		○							保育士指定科目
		こどもと運動Ⅱ	2					○				保育士指定科目
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
こどもと小学校		教職実践演習(小学校)	2								○	
		教育課程・方法論	2			○						
		教科教育法(国語)	2				○					
		教科教育法(社会)	2				○					
		教科教育法(算数)	2				○					
		教科教育法(理科)	2				○					
		教科教育法(生活)	2					○				
		教科教育法(音楽)	2					○				
		教科教育法(図画工作)	2				○					
		教科教育法(家庭)	2						○			
		教科教育法(体育)	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
こどもと小学校		教科教育法(外国語)	2						○			
		道徳教育の指導法	2				○					
		特別活動の指導法	2					○				
		生徒・進路指導法	2						○			
		総合的な学習の時間の指導法	2						○			
		介護等体験Ⅰ	1					▽	▽			*
		介護等体験Ⅱ	1					▽	▽			*
		小学校教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		小学校教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		小学校教育実習Ⅲ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		学校インターンシップ	1	▽	▽							*
こどもとまなび		国語	2	○								
		算数	2		○							
		社会科	2		○							
		理科	2		○							
		生活科	2			○						
		音楽Ⅰ	2			○						
		音楽Ⅱ	2						○			
		図画工作Ⅰ	2	○								
		図画工作Ⅱ	2						○			
		家庭科Ⅰ	2					○				
		家庭科Ⅱ	2						○			
		体育Ⅰ	2		○							
		体育Ⅱ	2						○			
		外国語	2			○						
		数学演習A	1			○						
		数学演習B	1				○					
		児童研究Ⅰ	2					○				
		児童研究Ⅱ	2						○			
		課題研究A	2							○		
		課題研究B	2								○	
		卒業論文	4							▽	▽	
こどもと障害		特別支援教育概論	2		○							
		特別の支援を必要とする子どもの理解	2			○						
		視覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		聴覚障害の心理・生理・病理	2				○					
		知的障害の心理	2		○							
		知的障害の生理・病理	2				○					
		肢体不自由の心理・生理・病理	2				○					
		病弱の心理・生理・病理	2			○						
		視覚障害教育の教育課程	2			○						
		視覚障害教育の指導法	2					○				
		点字と歩行指導	2	○								
		聴覚障害教育の教育課程	2	○								
		聴覚障害教育の指導法	2						○			
		聴覚障害児者のコミュニケーション	2		○							
		肢体不自由教育の教育課程	2			○						
		肢体不自由教育の指導法	2					○				
		知的障害教育の教育課程	2	○								
		知的障害教育の指導法	2					○				
		知的障害測定・評価演習	2							○		
		病弱教育の教育課程	2		○							
		病弱教育の指導法	2						○			
		重複障害教育総論	2						○			
		発達障害教育総論	2	○								
		障害児教育総論	2					○				
		言語障害教育総論	2							○		
		自閉症教育・情緒障害教育総論	2			○						
		障害児教育実習Ⅰ	1					▽	▽			事前指導
		障害児教育実習Ⅱ	2							▽	▽	*事後指導を含む
		教職実践演習(特別支援)	1								◇	
		障害児教育課程論	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
福祉社会		社会福祉総論	2	○								保育士指定科目
		公的扶助	2			○						
キャリアと現代社会		キャリア入門Ⅰ	2	○								
		キャリア入門Ⅱ	2		○							
		ビジネスコミュニケーションⅠ	2	○								
		ビジネスコミュニケーションⅡ	2		○							
		オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
		オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2					○				
		公務員試験対策Ⅱ	2						○			
		日本国憲法	2		○							
		法学概論	2	○								
		社会学	2		○							
		都市環境情報	2	○								
		地球環境情報	2	○								
		自然環境情報	2	○								

人文社会学部

観光経営学科

2023年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　323～326　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	16単位		84単位	124単位
観光経営専門基礎科目	16単位			
観光経営専門科目	2単位	6単位		
日本語科目 （留学生指定科目）				
合計	34単位	6単位	84単位	124単位

◎選択必修について

「観光経営専門科目」の必修科目以外から、6単位以上修得すること。

※自由科目区分の科目については2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修が可能です。
　ただし、進級・卒業単位数には含まれません。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部

観光経営学科（留学生）

2023年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　323～326　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	20単位		76単位	124単位
観光経営専門基礎科目	16単位			
観光経営専門科目	2単位	6単位		
日本語科目 （留学生指定科目）	4単位			
合計	42単位	6単位	76単位	124単位

◎選択必修について

「観光経営専門科目」の必修科目以外から、6単位以上修得すること。

◎日本語科目について

2023年度入学生：学籍番号上3桁323以降、4桁目以降 D62～が対象。

2024年度入学生：学生番号上3桁324以降、4桁目以降 D62～、D61501～が対象。

2025年度入学生：学生番号上3桁325以降、4桁目以降 D62～、D61501～が対象。

2026年度入学生：学生番号上3桁326以降、4桁目以降 D62～、D61501～が対象。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　観光経営学科（2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

323～326

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

ただし『観光経営専門科目』の必修科目以外から、6単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。

□は通年で30回行う授業。

◇は半期で8回行う授業。

▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目 ▲は外国人留学生のみ必修		単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
	●	現代英語ⅠA	1	○								
	●	現代英語ⅠB	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	▲	現代日本語ⅠA	1	○								
	▲	現代日本語ⅠB	1		○							
	▲	実用日本語Ⅰ	1	○								
	▲	実用日本語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	□	□							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡA	1			○						
		現代英語ⅡB	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
教養科目		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
	●	コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
観光経営専門基礎科目	●	経済学Ⅰ	2	○								
	●	経営学Ⅰ	2	○								
		経済学Ⅱ	2		○							
		経営学Ⅱ	2		○							
	●	会計学	2				○					
		民法・商法	2			○						
		経営・経済法	2				○					
		行政法	2				○					
		労働法	2				○					
		企業情報Ⅰ	2			○						
		企業情報Ⅱ	2				○					
		簿記Ⅰ	2	○								
	●	マーケティング論Ⅰ	2		○							
	●	観光学概論	2	○								
	●	ホスピタリティ論	2		○							
	●	観光産業体験演習Ⅰ	2	○								
		観光産業体験演習Ⅱ	2		○							
		インターンシップⅠ	2				○					
		観光社会学	2	○								
		国内観光地理	2	○								
		海外観光地理	2		○							
	●	観光英語A	1				○					
	●	観光英語B	1					○				
		旅行業法・約款	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
観光経営専門科目	●	観光産業論Ⅰ	2			○						旅行業
		観光産業論Ⅱ	2				○					宿泊産業
		観光産業論Ⅲ	2				○					ニューツーリズム
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		人事管理	2					○				
		企業金融論	2		○							
		現代社会と広告	2	○								
		企業とOJT	2						○			
		マーケティング論Ⅱ	2			○						
		販売管理	2			○						
		物流	2				○					
		人材開発論	2					○				
		観光交通論	2					○				
		観光企業研究	2						○			
		観光政策論	2				○					
		地域振興と観光	2				○					
		観光資源論	2			○						
		世界遺産Ⅰ	2			○						
		世界遺産Ⅱ	2				○					
		MICEビジネス	2						○			
		観光マーケティング	2				○					
		観光CS論	2					○				
		観光行動論	2						○			
		フードビジネス	2					○				
		国内旅行実務	2			○						
		海外旅行実務	2				○					
		航空ビジネス論	2					○				
		ブライダル産業論	2					○				
		観光立国論	2						○			
		観光と環境	2						○			
		観光経営Ⅰ	2				○					
		観光経営Ⅱ	2					○				
		観光都市デザイン論	2			○						
		外国研究	2		○							
		卒業研究	4							▽	▽	
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
		旅行業務演習	2					○				
		ホテル業務演習	2						○			
		旅行企画演習	2			○						
		イベントプロデュース	2			○						
日本語科目	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	1		○							外国人留学生のみ履修可
	▲	アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	1			○						外国人留学生のみ履修可
	▲	キャリアジャパニーズ	1				○					外国人留学生のみ履修可
	▲	アカデミックキャリアジャパニーズ	1					○				外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

観光経営学科

2021年度～2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　321～322　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	16単位		84単位	124単位
観光経営専門基礎科目	16単位			
観光経営専門科目	2単位	6単位		
自由科目（2022年度以降入学生より） （留学生指定科目）				
合計	34単位	6単位	84単位	124単位

◎選択必修について

「観光経営専門科目」の必修科目以外から、6単位以上修得すること。

※自由科目区分の科目については2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修が可能です。
　ただし、進級・卒業単位数には含まれません。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　観光経営学科（2021年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

321～322

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

ただし『観光経営専門科目』の必修科目以外から、6単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。

□は通年で30回行う授業。

◇は半期で8回行う授業。

▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
	●	現代英語ⅠA	1	○								
	●	現代英語ⅠB	1		○							
	●	実用英語Ⅰ	1	○								
	●	実用英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	○	○							
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		現代英語ⅡA	1			○						
		現代英語ⅡB	1				○					
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英語
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化理解	2		○							
		文学	2		○							
		哲学	2		○							
		命とこころ	2	○								
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		日本史	2	○								
		世界史	2		○							
		旅と科学	2	○								
		食の文化	2	○								
		くらしとメディア	2	○								
		くらしと経済	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		社会と法	2	○								
		社会学	2		○							
		くらしと福祉	2	○								

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目		ボランティア論	2		○							
		生物学	2	○								
		環境学	2	○								
		地球環境と防災	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
	●	コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		プレゼンテーションスキル	2		○							
		就職支援ⅠA	2	○								
		就職支援ⅠB	2		○							
		就職支援ⅡA	2			○						
		就職支援ⅡB	2				○					
		就職支援ⅢA	2					○				
		就職支援ⅢB	2						○			
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2				○					
		公務員試験対策Ⅱ	2					○				
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論(海外研修)	2				▽					*
		特別セミナー	2		○							
観光経営専門基礎科目	●	経済学Ⅰ	2	○								
	●	経営学Ⅰ	2	○								
		経済学Ⅱ	2		○							
		経営学Ⅱ	2		○							
	●	会計学	2				○					
		民法・商法	2			○						
		経営・経済法	2				○					
		行政法	2				○					
		労働法	2				○					
		企業情報Ⅰ	2			○						
		企業情報Ⅱ	2				○					
		簿記Ⅰ	2	○								
	●	マーケティング論Ⅰ	2		○							
	●	観光学概論	2	○								
	●	ホスピタリティ論	2		○							
	●	観光産業体験演習Ⅰ	2	○								
		観光産業体験演習Ⅱ	2		○							
		インターンシップⅠ	2				○					
		観光社会学	2	○								
		国内観光地理	2	○								
		海外観光地理	2		○							
	●	観光英語A	1				○					
	●	観光英語B	1					○				
		旅行業法・約款	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
観光経営専門科目	●	観光産業論Ⅰ	2			○						旅行業
		観光産業論Ⅱ	2				○					宿泊産業
		観光産業論Ⅲ	2				○					ニューツーリズム
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		人事管理	2					○				
		企業金融論	2		○							
		現代社会と広告	2	○								
		企業とOJT	2						○			
		マーケティング論Ⅱ	2			○						
		販売管理	2			○						
		物流	2				○					
		人材開発論	2					○				
		観光交通論	2					○				
		観光企業研究	2						○			
		観光政策論	2				○					
		地域振興と観光	2				○					
		観光資源論	2			○						
		世界遺産Ⅰ	2			○						
		世界遺産Ⅱ	2				○					
		MICEビジネス	2						○			
		観光マーケティング	2				○					
		観光CS論	2					○				
		観光行動論	2						○			
		フードビジネス	2					○				
		国内旅行実務	2			○						
		海外旅行実務	2				○					
		航空ビジネス論	2					○				
		ブライダル産業論	2					○				
		観光立国論	2						○			
		観光と環境	2						○			
		観光経営Ⅰ	2				○					
		観光経営Ⅱ	2					○				
		観光都市デザイン論	2			○						
		外国研究	2		○							
		卒業研究	4							▽	▽	
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
		旅行業務演習	2					○				
		ホテル業務演習	2						○			
		旅行企画演習	2			○						
		イベントプロデュース	2			○						
自由科目		アドバンスジャパニーズスタディーズⅠ	2	○								2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可
		アドバンスジャパニーズスタディーズⅡ	2		○							2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可
		キャリアジャパニーズ	2			○						2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可
		アカデミックキャリアジャパニーズ	2				○					2022年度以降入学の外国人留学生のみ履修可

人文社会学部

観光経営学科

2020年度入学生（学籍番号上3ケタ　320　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
現代ライフ基礎	8単位		86単位	124単位
学習の基本とスキル	6単位			
人間と文化				
人間と社会				
人間と環境				
マネージメント基礎	6単位			
マネージメント理論と実務	2単位			
専門基礎科目	6単位			
専門科目	4単位	6単位		
キャリア形成				
特別科目				
合 計	32単位	6単位	86単位	124単位

◎選択必修について

「専門科目」の必修科目以外の科目から、合計6単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

人文社会学部　観光経営学科（2020年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

320

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『専門科目』のなかから、必修科目4単位を含めて最低10単位を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
現代ライフ基礎		人間とバイオサイエンス	2		○							
		生命倫理	2	○								
		自己啓発	2	○								
		人間･思想･生活	2		○							
		命とこころ	2		○							
		人間社会と法	2	○								
		生活倫理	2		○							
		福祉と法	2				○					
		仕事と法律	2	○								
		労働法	2		○							
		生活科学	2				○					
		健康とスポーツ	2		○							
		都市デザイン論	2			○						
		生物学	2	○								
	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
学習の基本とスキル	●	現代英語ⅠA	1	○								
	●	現代英語ⅠB	1		○							
		現代英語ⅡA	1			○						
		現代英語ⅡB	1				○					
	●	実用英語ⅠA	1	○								
	●	実用英語ⅠB	1		○							
		実用英語ⅡA	1			○						
		実用英語ⅡB	1				○					
		英文法入門Ⅰ	2	○								
		英文法入門Ⅱ	2		○							
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		国際コミュニケーションⅣ	4	□	□							中国語
		日本語表現Ⅰ	2	○								
		日本語表現Ⅱ	2		○							
		異文化コミュニケーション	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
	●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎								
		コンピュータ演習Ⅱ	2		◎							
		数的処理入門Ⅰ	2			○						
		数的処理入門Ⅱ	2				○					
人間と文化		人間文化概論	2	○								
		アメリカ文学	2	○								
		イギリス文学	2				○					
		歴史文化概論	2		○							
		世界史Ⅰ	2	○								
		世界史Ⅱ	2		○							
		日本史Ⅰ	2	○								
		日本史Ⅱ	2		○							
		美術史	2	○								
		近代美術史	2		○							
		現代アート史	2			○						
		食の文化	2	○								
		英語学	2		○							
		英語史	2			○						
		アジア共同体論	2				○					
		アジア共同体論（海外研修）	2				▽					*

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
人間と社会		社会学	2		○							
		心理学	2	○								
		日本国憲法	2		○							
		法学概論	2	○								
		コミュニケーションⅠ	2	○								
		コミュニケーションⅡ	2		○							
		人間関係論	2		○							
		ボランティア論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		社会保障	2	○								
人間と環境		環境情報	2		○							
		都市環境情報	2	○								
		地球環境情報	2	○								
		自然環境情報	2	○								
		人文地理学概論	2		○							
		自然地理学概論	2	○								
		エネルギー論	2	○								
		エネルギー経済	2	○								
マネージメント基礎	●	経済学入門	2	○								
	●	経営学入門	2	○								
		経済学	2		○							
		経営学	2		○							
	●	会計学	2		○							
		民法・商法	2	○								
		経営・経済法	2		○							
		行政法	2		○							
		企業倫理	2				○					
		企業情報Ⅰ	2			○						
		企業情報Ⅱ	2				○					
マネージメント理論と実務		簿記Ⅰ	2	○								
		簿記Ⅱ	2		○							
		簿記Ⅲ	4			□	□					
		財務管理	2				○					
		人事管理	2					○				
		企業金融論	2		○							
		現代社会と広告Ⅰ	2	○								
		現代社会と広告Ⅱ	2		○							
		企業とOJT	2						○			
	●	マーケティング入門	2		○							
		マーケティング管理論	2			○						
		販売管理	2			○						
		物流	2				○					
		人材開発論	2					○				
専門基礎科目	●	観光学概論	2	○								
	●	ホスピタリティ論	2		○							
		観光社会学	2	○								
		国内観光地理	2	○								
		海外観光地理	2		○							
	●	観光産業体験演習Ⅰ	2	○								
		観光産業体験演習Ⅱ	2		○							
		旅行業法・約款	2		○							
専門科目	●	観光産業論Ⅰ	2			○						旅行業
		観光産業論Ⅱ	2				○					宿泊産業
		観光産業論Ⅲ	2				○					ニューツーリズム
		観光交通論	2					○				
		観光企業研究	2						○			
		観光政策論	2				○					
		地域振興と観光	2				○					
		観光資源論	2			○						
		世界遺産Ⅰ	2			○						
		世界遺産Ⅱ	2				○					
		イベントプロデュース	2			○						*
		MICEビジネス	2						○			
		観光マーケティング	2				○					
		観光CS論	2					○				
		観光行動論	2						○			
		旅行業務演習	2					○				
		ホテル業務演習	2						○			
		旅行企画演習	2			○						
		フードビジネス	2					○				
		国内旅行実務	2			○						

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目		海外旅行実務	2				○					
		航空ビジネス論	2					○				
		ブライダル産業論	2					○				
		観光立国論	2						○			世界の観光大国と日本
		観光と環境	2						○			
		観光経営Ⅰ	2				○					
		観光経営Ⅱ	2					○				
	●	観光英語A	1				○					
	●	観光英語B	1					○				
キャリア形成		キャリア入門Ⅰ	2	○								
		キャリア入門Ⅱ	2		○							
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
		ベトナム・インターンシップ	2			▽	▽					*
		オーストラリア・インターンシップ	2			▽	▽					*
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		ビジネスコミュニケーションⅠ	2	○								
		ビジネスコミュニケーションⅡ	2		○							
		オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
		オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
		TOEIC初級Ⅰ	2	○								
		TOEIC初級Ⅱ	2		○							
		TOEIC中級Ⅰ	2	○								
		TOEIC中級Ⅱ	2		○							
		TOEIC上級Ⅰ	2			○						
		TOEIC上級Ⅱ	2				○					
		公務員試験基礎Ⅰ	2		○							
		公務員試験基礎Ⅱ	2			○						
		公務員試験対策Ⅰ	2					○				
		公務員試験対策Ⅱ	2						○			
特別科目		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		外国研究	2		○							
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		キャンプ実習	1	▽								*
		一般教養Ⅰ	2	○								
		一般教養Ⅱ	2		○							
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

理学療法学科

2023年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　123～126　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	15単位	6単位	1単位	124単位
専門基礎科目	34単位			
専門科目	66単位	2単位		
合計	115単位	9単位		124単位

◎選択必修について

「教養科目」から6単位以上修得すること。

「専門科目」の選択必修科目（※）から、2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　理学療法学科（2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123～126

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『教養科目』から6単位以上、
『専門』の選択必修科目（※）から2単位以上修得すること。
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
	●	教育原理	2		○							
	●	教育方法・ICT活用論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能	2		○							
		ライフサイエンス	2		○							
	●	人体の構造・機能（実習）	2			◎						
	●	運動学Ⅰ	2	○								
	●	運動学Ⅱ	2		○							
	●	運動学実習	1			○						
	●	病因病態学	1	◇								
	●	臨床医学Ⅰ（内科系）	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	2		○							
	●	臨床医学Ⅲ（神経系）	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2			○						
	●	リハビリテーション概論	2		○							
	●	精神医学	2			○						

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	人間発達学	1				◇					
	●	多職種連携論入門	1		◇							
	●	リハビリテーションと薬	1						◇			
	●	リハビリテーションと栄養	1						◇			
	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	臨床心理学	2	○								
専門科目	●	基礎理学療法学	2	○								
	●	職業倫理職場管理学	2					○				
	●	理学療法評価学Ⅰ	2		○							
	●	理学療法評価学Ⅱ	2			○						
	●	表面解剖と触診入門	2	○								
	●	理学療法評価学実習Ⅰ	1		○							
	●	理学療法評価学実習Ⅱ	1			○						
	●	理学療法治療学Ⅰ(運動系)	2			○						
	●	理学療法治療学Ⅰ実習(運動系)	1			○						
	●	理学療法治療学Ⅱ(中枢神経系)	2				○					
	●	理学療法治療学Ⅱ実習(中枢神経系)	1				○					
	●	理学療法治療学Ⅲ(内部障害系)	2					○				
	●	理学療法治療学Ⅲ実習(内部障害系)	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅳ(小児・神経系)	2					○				
	●	理学療法治療学Ⅳ実習(小児・神経系)	1					○				
	●	予防理学療法学	1						◇			
	●	物理療法学	2				○					
	●	物理療法学実習	1				○					
	●	日常生活活動技術学	2				○					
	●	日常生活活動技術学実習	1				○					
	●	義肢装具学	2					○				
	●	義肢装具学実習	1					○				
	※	運動療法技術学	1						◇			
	●	徒手療法学	1				◇					
	※	スポーツ理学療法学	1						◇			
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	生活環境学	2					○				
	●	地域理学療法学Ⅰ	1				◇					
	●	地域理学療法学Ⅱ	1					◇				
	●	臨床実習Ⅰ	1		▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	1				▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	9						▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	9							▽	▽	*
	●	理学療法研究方法論	2					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅰ	1					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅱ	1						○			
	※	デンバー研修	1			▽	▽	▽	▽			*
	※	ランシット大学理学療法研修	1					▽		▽		*
	※	国際理学療法学	1						◇			
		障害者スポーツⅠ	1	▽								
	※	障害者スポーツⅡ	2				▽					
	※	多職種連携論	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1						○			
	●	特別総合演習	2							□	□	

健康メディカル学部

理学療法学科

2021年度～2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　121～122　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	15単位	6単位	1単位	124単位
専門基礎科目	34単位			
専門科目	66単位	2単位		
合計	115単位	9単位		124単位

◎選択必修について

「教養科目」から6単位以上修得すること。

「専門科目」の選択必修科目（※）から、2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　理学療法学科（2021年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

121～122

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『教養科目』から6単位以上、
『専門』の選択必修科目（※）から2単位以上修得すること。
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
	●	教育原理	2		○							
	●	教育方法・技術論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能	2		○							
		ライフサイエンス	2		○							
	●	人体の構造・機能（実習）	2			◎						
	●	運動学Ⅰ	2	○								
	●	運動学Ⅱ	2		○							
	●	運動学実習	1			○						
	●	病因病態学	1	◇								
	●	臨床医学Ⅰ（内科系）	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	2		○							
	●	臨床医学Ⅲ（神経系）	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2			○						
	●	リハビリテーション概論	2		○							
	●	精神医学	2			○						

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	人間発達学	1				◇					
	●	多職種連携論入門	1		◇							
	●	リハビリテーションと薬	1						◇			
	●	リハビリテーションと栄養	1						◇			
	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	臨床心理学	2	○								
専門科目	●	基礎理学療法学	2	○								
	●	職業倫理職場管理学	2					○				
	●	理学療法評価学Ⅰ	2		○							
	●	理学療法評価学Ⅱ	2			○						
	●	表面解剖と触診入門	2	○								
	●	理学療法評価学実習Ⅰ	1		○							
	●	理学療法評価学実習Ⅱ	1			○						
	●	理学療法治療学Ⅰ(運動系)	2			○						
	●	理学療法治療学Ⅰ実習(運動系)	1			○						
	●	理学療法治療学Ⅱ(中枢神経系)	2				○					
	●	理学療法治療学Ⅱ実習(中枢神経系)	1				○					
	●	理学療法治療学Ⅲ(内部障害系)	2					○				
	●	理学療法治療学Ⅲ実習(内部障害系)	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅳ(小児・神経系)	2					○				
	●	理学療法治療学Ⅳ実習(小児・神経系)	1					○				
	●	予防理学療法学	1						◇			
	●	物理療法学	2				○					
	●	物理療法学実習	1				○					
	●	日常生活活動技術学	2				○					
	●	日常生活活動技術学実習	1				○					
	●	義肢装具学	2					○				
	●	義肢装具学実習	1					○				
	※	運動療法技術学	1						◇			
	●	徒手療法学	1				◇					
	※	スポーツ理学療法学	1						◇			
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	生活環境学	2					○				
	●	地域理学療法学Ⅰ	1				◇					
	●	地域理学療法学Ⅱ	1					◇				
	●	臨床実習Ⅰ	1		▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	1				▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	9						▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	9							▽	▽	*
	●	理学療法研究方法論	2					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅰ	1					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅱ	1						○			
	※	デンバー研修	1			▽	▽	▽	▽			*
	※	ランシット大学理学療法研修	1					▽		▽		*
	※	国際理学療法学	1						◇			
		障害者スポーツⅠ	1	▽								
	※	障害者スポーツⅡ	2				▽					
	※	多職種連携論	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1						○			
	●	特別総合演習	2							□	□	

健康メディカル学部

作業療法学科

2025年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　125～126　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	15単位	4単位	1単位	124単位
専門基礎科目	36単位			
専門科目	68単位			
合計	119単位	5単位		124単位

◎選択必修について

「教養科目」から、4単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　作業療法学科（2025年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

125～126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『教養科目』から4単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
	●	教育原理	2		○							
	●	教育方法・ICT活用論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能	2		○							
	●	ライフサイエンス	2	○								
	●	人体の構造・機能(実習)	2			◎						
	●	運動学	2		○							
		臨床運動学(実習)	1					○				
	●	運動学(実習)	2			◎						
	●	病因病態学	1	◇								
	●	臨床医学Ⅰ(内科系)	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ(外科系)	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ(神経系)	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2					○				
	●	リハビリテーション概論	1		◇							
	●	リハビリテーションと薬	1						◇			
	●	リハビリテーションと栄養	1						◇			

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	精神医学	2	○								
	●	精神障害論	2		○							
	●	人間発達学実習	1				○					
	●	多職種連携論入門	1		◇							
	●	臨床心理学	2			○						
		子どもの保健福祉	2					○				
専門科目	●	基礎作業療法学	1	◇								
	●	基礎作業療法学実習Ⅰ	1	○								
	●	基礎作業療法学実習Ⅱ	2	▽	▽							
	●	作業療法と健康論	1					◇				
		総合作業療法学	2								○	
	●	職業倫理職場管理学	2						○			
	●	作業療法評価学総論	1		◇							
	●	作業療法評価学各論	2			○						
	●	作業療法評価学実習	2				◎					
	●	作業療法治療学総論	1		◇							
	●	身体障害作業療法治療学	2			○						
	●	身体障害作業療法治療学実習	1				○					
	●	精神障害作業療法治療学	2				○					
	●	精神障害作業療法治療学実習	1					○				
	●	発達障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	老年期作業療法治療学実習	2			□	□					
	●	高次脳機能障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	職業関連技術学実習	1						○			
	●	生活支援機器学実習	1						○			
	●	日常生活活動技術学	2				○					
	●	日常生活活動技術学実習	1					○				
	●	義肢装具学実習	1						○			
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	装いと作業療法	1					◇				
	●	動物と作業療法	1					◇				
	●	音楽と作業療法	1					◇				
	●	生活環境学実習	1						○			
	●	地域リハビリテーション学実習	1	◇	◇							
	●	地域作業療法学概論	1				◇					
	●	地域作業療法学	1					◇				
	●	地域作業療法学実習	1					◇	◇			
		多職種連携論	1					○				
	●	臨床実習Ⅰ	2	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	3			▽	▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	1					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	9							▽	▽	*
	●	臨床実習Ⅴ	9							▽	▽	*
	●	作業療法研究演習	1					○				
		アーカンソー州立大学作業療法研修	1			▽	▽	▽	▽			*
		卒業研究	4						▽	▽	▽	
	●	臨床技能演習	1						○			
	●	特別総合演習Ⅰ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅱ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅲ	1							▽	▽	

健康メディカル学部

作業療法学科

2024年度入学生（学籍番号上3ケタ　124　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	15単位	4単位	1単位	124単位
専門基礎科目	36単位			
専門科目	68単位			
合計	119単位	5単位		124単位

◎選択必修について

「教養科目」から、4単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　作業療法学科（2024年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

124

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『教養科目』から4単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
	●	教育原理	2		○							
	●	教育方法・ICT活用論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能	2		○							
	●	ライフサイエンス	2	○								
	●	人体の構造・機能(実習)	2			◎						
	●	運動学	2		○							
		臨床運動学(実習)	1					○				
	●	運動学(実習)	2			◎						
	●	病因病態学	1	◇								
	●	臨床医学Ⅰ(内科系)	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ(外科系)	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ(神経系)	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2					○				
	●	リハビリテーション概論	1		◇							
	●	リハビリテーションと薬	1						◇			
	●	リハビリテーションと栄養	1						◇			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	精神医学	2	○								
	●	精神障害論	2		○							
	●	人間発達学実習	1				○					
	●	多職種連携論入門	1		◇							
	●	臨床心理学	2			○						
		子どもの保健福祉	2					○				
専門科目	●	基礎作業療法学	1	◇								
	●	基礎作業療法学実習Ⅰ	1	○								
	●	基礎作業療法学実習Ⅱ	2	▽	▽							
	●	作業療法と健康論	1					◇				
		総合作業療法学	2								○	
	●	職業倫理職場管理学	2						○			
	●	作業療法評価学総論	1		◇							
	●	作業療法評価学各論	2			○						
	●	作業療法評価学実習	2				◎					
	●	作業療法治療学総論	1		◇							
	●	身体障害作業療法治療学	2			○						
	●	身体障害作業療法治療学実習	1				○					
	●	精神障害作業療法治療学	2				○					
	●	精神障害作業療法治療学実習	1					○				
	●	発達障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	老年期作業療法治療学実習	2			□	□					
	●	高次脳機能障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	職業関連技術学実習	1						○			
	●	生活支援機器学実習	1						○			
	●	日常生活活動技術学	2				○					
	●	日常生活活動技術学実習	1					○				
	●	義肢装具学実習	1						○			
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	装いと作業療法	1					◇				
	●	動物と作業療法	1					◇				
	●	音楽と作業療法	1					◇				
	●	生活環境学実習	1						○			
	●	地域リハビリテーション学実習	1	◇	◇							
	●	地域作業療法学概論	1				◇					
	●	地域作業療法学	1					◇				
	●	地域作業療法学実習	1					◇	◇			
		多職種連携論	1					○				
	●	臨床実習Ⅰ	2	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	3			▽	▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	1					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	9							▽	▽	*
	●	臨床実習Ⅴ	9							▽	▽	*
	●	作業療法研究演習	1					○				
		国際作業療法研修	1			▽	▽	▽	▽			*
		卒業研究	4						▽	▽	▽	
	●	臨床技能演習	1						○			
	●	特別総合演習Ⅰ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅱ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅲ	1							▽	▽	

健康メディカル学部

作業療法学科

2023年度年度入学生(学籍番号上3ケタ　123　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	15単位	4単位	1単位	124単位
専門基礎科目	36単位			
専門科目	68単位			
合計	119単位	5単位		124単位

◎選択必修について

「教養科目」から、4単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　作業療法学科（2023年度）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『教養科目』から4単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
	●	教育原理	2		○							
	●	教育方法・ICT活用論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能	2		○							
	●	ライフサイエンス	2	○								
	●	人体の構造・機能(実習)	2			◎						
	●	運動学	2		○							
		臨床運動学(実習)	1					○				
	●	運動学(実習)	2			◎						
	●	病因病態学	1	◇								
	●	臨床医学Ⅰ(内科系)	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ(外科系)	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ(神経系)	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2					○				
	●	リハビリテーション概論	1		◇							
	●	リハビリテーションと薬	1						◇			
	●	リハビリテーションと栄養	1						◇			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	精神医学	2	○								
	●	精神障害論	2		○							
	●	人間発達学	1				◇					
	●	多職種連携論入門	1		◇							
	●	臨床心理学	2			○						
専門科目	●	基礎作業療法学	1	◇								
	●	基礎作業療法学実習Ⅰ	1	○								
	●	基礎作業療法学実習Ⅱ	2	▽	▽							
	●	作業療法と健康論	1					◇				
		総合作業療法学	2								○	
	●	職業倫理職場管理学	2						○			
	●	作業療法評価学総論	1		◇							
	●	作業療法評価学各論	2			○						
	●	作業療法評価学実習	2				◎					
	●	作業療法治療学総論	1		◇							
	●	身体障害作業療法治療学	2			○						
	●	身体障害作業療法治療学実習	1				○					
	●	精神障害作業療法治療学	2				○					
	●	精神障害作業療法治療学実習	1					○				
	●	発達障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	老年期作業療法治療学実習	2			□	□					
	●	高次脳機能障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	職業関連技術学実習	1						○			
	●	生活支援機器学実習	1						○			
	●	日常生活活動技術学	2				○					
	●	日常生活活動技術学実習	1					○				
	●	義肢装具学実習	1						○			
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	装いと作業療法	1						◇			
	●	動物と作業療法	1						◇			
	●	音楽と作業療法	1						◇			
	●	生活環境学実習	1						○			
	●	地域リハビリテーション学実習	1	◇	◇							
	●	地域作業療法学概論	1				◇					
	●	地域作業療法学	1					◇				
	●	地域作業療法学実習	1					◇	◇			
		多職種連携論	1					○				
	●	臨床実習Ⅰ	2	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	3			▽	▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	1					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	9							▽	▽	*
	●	臨床実習Ⅴ	9							▽	▽	*
	●	作業療法研究演習	1					◇	◇			
		国際作業療法研修	1			▽	▽	▽	▽			*
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1						○			
	●	特別総合演習Ⅰ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅱ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅲ	1							▽	▽	

健康メディカル学部

作業療法学科

2020年度～2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　120～122　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	15単位	4単位	1単位	124単位
専門基礎科目	36単位			
専門科目	68単位			
合計	119単位	5単位		124単位

◎選択必修について

「教養科目」から、4単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　作業療法学科（2020年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

120～122

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『教養科目』から4単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
	●	教育原理	2		○							
	●	教育方法・技術論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能	2		○							
	●	ライフサイエンス	2	○								
	●	人体の構造・機能(実習)	2			◎						
	●	運動学	2		○							
		臨床運動学(実習)	1					○				
	●	運動学(実習)	2			◎						
	●	病因病態学	1	◇								
	●	臨床医学Ⅰ(内科系)	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ(外科系)	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ(神経系)	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2					○				
	●	リハビリテーション概論	1		◇							
	●	リハビリテーションと薬	1						◇			
	●	リハビリテーションと栄養	1						◇			

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
専門基礎科目	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	精神医学	2	○								
	●	精神障害論	2		○							
	●	人間発達学	1				◇					
	●	多職種連携論入門	1		◇							
	●	臨床心理学	2			○						
専門科目	●	基礎作業療法学	1	◇								
	●	基礎作業療法学実習Ⅰ	1	○								
	●	基礎作業療法学実習Ⅱ	2	▽	▽							
	●	作業療法と健康論	1					◇				
		総合作業療法学	2								○	
	●	職業倫理職場管理学	2						○			
	●	作業療法評価学総論	1		◇							
	●	作業療法評価学各論	2			○						
	●	作業療法評価学実習	2				◎					
	●	作業療法治療学総論	1		◇							
	●	身体障害作業療法治療学	2			○						
	●	身体障害作業療法治療学実習	1				○					
	●	精神障害作業療法治療学	2				○					
	●	精神障害作業療法治療学実習	1					○				
	●	発達障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	老年期作業療法治療学実習	2			□	□					
	●	高次脳機能障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	職業関連技術学実習	1						○			
	●	生活支援機器学実習	1						○			
	●	日常生活活動技術学	2				○					
	●	日常生活活動技術学実習	1					○				
	●	義肢装具学実習	1						○			
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	装いと作業療法	1						◇			
	●	動物と作業療法	1						◇			
	●	音楽と作業療法	1						◇			
	●	生活環境学実習	1						○			
	●	地域リハビリテーション学実習	1	◇	◇							
	●	地域作業療法学概論	1				◇					
	●	地域作業療法学	1					◇				
	●	地域作業療法学実習	1					◇	◇			
		多職種連携論	1					○				
	●	臨床実習Ⅰ	2	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	3			▽	▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	1					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	9							▽	▽	*
	●	臨床実習Ⅴ	9							▽	▽	*
	●	作業療法研究演習	1					◇	◇			
		国際作業療法研修	1			▽	▽	▽	▽			*
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1						○			
	●	特別総合演習Ⅰ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅱ	1							▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅲ	1							▽	▽	

健康メディカル学部

言語聴覚学科

2025年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　125～126　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	20単位	11単位	124単位
専門基礎科目	32単位		
専門科目	61単位		
合計	113単位	11単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　言語聴覚学科 （2025年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

125～126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							▽		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								▽	
	●	現代英語ＩＡ	2	○								
	●	現代英語ＩＢ	2		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
	●	社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		教育原理	2		○							
		教育方法・ICT活用論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
	●	こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
	●	統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	人体の構造・機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造・機能Ⅱ	1		◇							
	●	人体の構造・機能Ⅲ	1		◇							
	●	臨床医学(内科系)	2		○							
	●	臨床医学(神経系)	2			○						
	●	臨床医学(耳鼻咽喉系)	2			○						
	●	リハビリテーション概論	1	◇								
	●	リハビリテーションと形成外科疾患	1				◇					
	●	リハビリテーションと歯科疾患	1			◇						
	●	臨床心理学	2	○								
	●	認知・学習心理学	2	○								
	●	生涯発達心理学	2	○								
	●	心理測定法	1		◇							
	●	言語とコミュニケーション	2			○						
	●	音声とコミュニケーション	2		○							
	●	音の物理とコミュニケーションⅠ	1		◇							
	●	音の物理とコミュニケーションⅡ	1			◇						
	●	言語とコミュニケーションの発達	2		○							
	●	言語コミュニケーション演習	1		○							
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	リハビリテーションと精神疾患	1	◇								
	●	社会福祉・学校教育制度	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
専門科目	●	地域言語聴覚療法学	2						○			
	●	言語聴覚障害概論	2	○								
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅰ	1			○						
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅱ	2				○					
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅲ	2					○				
		失語症・高次脳機能障害Ⅳ	1						○			
	●	失語症・高次脳機能障害演習	1				○					
	●	失語症・高次脳機能障害実習	2					□	□			
	●	摂食嚥下障害Ⅰ	2				○					
	●	摂食嚥下障害Ⅱ	1						○			
	●	摂食嚥下障害演習	1					○				
	●	発声発語障害Ⅰ	2			○						
	●	発声発語障害Ⅱ	2			○						
	●	発声発語障害Ⅲ	1					○				
	●	発声発語障害Ⅳ	1					○				
	●	発声発語障害演習Ⅰ	1				○					
	●	発声発語障害演習Ⅱ	1				○					
	●	言語発達障害Ⅰ	1			○						
	●	言語発達障害Ⅱ	2				○					
	●	言語発達障害Ⅲ	2					○				
		言語発達障害Ⅳ	1						○			
		重度コミュニケーション障害	1					◇				
	●	言語発達障害演習	1				○					
	●	言語発達障害実習	2					□	□			
	●	聴覚障害Ⅰ	2			○						
	●	聴覚障害Ⅱ	1				○					
	●	聴覚障害Ⅲ	2					○				
		聴覚障害Ⅳ	1						○			
	●	聴覚障害演習	1				○					
	●	聴覚障害実習	2					□	□			
	●	流暢性障害	1						○			
		言語聴覚障害臨床概論	1		○							
	●	言語聴覚障害臨床演習	1						○			
	●	言語聴覚療法管理学	2						○			
	●	臨床実習Ⅰ	1				▽					*
	●	臨床実習Ⅱ	1					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅲ	4						▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	8							▽	▽	*
	●	臨床実習総論	1							▽	▽	
		言語聴覚研究Ⅰ演習	2							□	□	
		言語聴覚研究Ⅱ演習	2							□	□	
		言語聴覚研究Ⅲ演習	2							□	□	
		国際言語聴覚療法研修	1			▽	▽	▽	▽			
		言語聴覚障害研究法	1						◇			
	●	特別総合演習	2							□	□	
		多職種連携論	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

言語聴覚学科

2023年度～2024年度入学生（学籍番号上3ケタ　123～124　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	4単位	124単位
専門基礎科目	35単位	8単位	
専門科目	59単位		
合計	112単位	12単位	124単位

◎選択必修について

教養科目…※印より4単位以上修得すること

専門基礎科目および専門科目…8単位以上修得すること

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　言語聴覚学科 （2023年度～2024年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123～124

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし『教養科目』の必修科目以外から2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							▽		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								▽	
	●	現代英語ＩＡ	2	○								
	●	現代英語ＩＢ	2		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
	※	社会学	2		○							
	※	暮らしと法律	2	○								
	※	経営・経済学	2		○							
	※	簿記学	2	○								
	※	社会保障	2	○								
	※	キャリアプラン	2					◇	◇			
		教育原理	2		○							
		教育方法・ICT活用論	2	○								
	※	医療の歴史	2	○								
	●	こころと体の健康	2		○							
	※	人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
	※	国際リハビリテーション	2	○								
	●	統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
専門基礎科目	●	基礎医学Ⅰ	1	◇								
	●	基礎医学Ⅱ	2	○								
	●	内科学	2		○							
	●	臨床神経学	2			○						
	●	耳鼻咽喉科学	2			○						
	●	リハビリテーション学	2	○								
	●	形成外科学	1				◇					
	●	臨床歯科学	1			◇						
	●	聴覚・音声医学	2		○							
	●	言語医学	1		◇							
	●	臨床心理学	2	○								
	●	認知・学習心理学	2		○							
	●	生涯発達心理学	2		○							
	●	心理測定法	2		○							
	●	言語学	2			○						
	●	音声学	2		○							
	●	音響学	2			○						
	●	言語発達学	2		○							
		リハビリテーション工学	2				○					
	●	精神医学	2	○								
	●	関係法規	1					◇				
		リハビリテーション画像診断学	1					◇				
専門科目	●	言語聴覚障害概論	2	○								
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅰ	2			○						
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅱ	1				○					
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅲ	2					○				
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅳ	1						○			
	●	失語症・高次脳機能障害演習	1				○					
	●	失語症・高次脳機能障害実習	2					□	□			
	●	摂食嚥下障害Ⅰ	2				○					
	●	摂食嚥下障害Ⅱ	1						○			
	●	摂食嚥下障害演習	1					○				
	●	発声発語障害Ⅰ	2			○						
	●	発声発語障害Ⅱ	2			○						
	●	発声発語障害Ⅲ	1					○				
	●	発声発語障害Ⅳ	1					○				
	●	発声発語障害演習Ⅰ	1				○					
	●	発声発語障害演習Ⅱ	1				○					
	●	発声発語障害演習Ⅲ	1					○				
	●	発声発語障害演習Ⅳ	1					○				
	●	言語発達障害Ⅰ	2			○						
	●	言語発達障害Ⅱ	1				○					
	●	言語発達障害Ⅲ	2					○				
	●	言語発達障害Ⅳ	1						○			
		重度コミュニケーション障害	2					○				
	●	言語発達障害演習	1				○					
	●	言語発達障害実習	2					□	□			
	●	聴覚障害Ⅰ	2			○						
	●	聴覚障害Ⅱ	1				○					
	●	聴覚障害Ⅲ	2					○				
	●	聴覚障害Ⅳ	1						○			
	●	聴覚障害演習	1				○					
	●	聴覚障害実習	2					□	□			
	●	流暢性障害	1						▽			
		言語聴覚障害評価指導	1				○					
		言語聴覚障害総論	1					○				
	●	言語聴覚障害臨床演習	1						○			
	●	臨床実習Ⅰ	4						▽			*
	●	臨床実習Ⅱ	8							▽	▽	*
		言語聴覚研究Ⅰ演習	2							□	□	
		言語聴覚研究Ⅱ演習	2							□	□	
		言語聴覚研究Ⅲ演習	2							□	□	
		国際言語聴覚療法研修	1			▽	▽	▽	▽			
	●	特別総合演習	2							□	□	
		多職種連携論	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

言語聴覚学科

2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　122　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	4単位	124単位
専門基礎科目	35単位	8単位	
専門科目	59単位		
合計	112単位	12単位	124単位

◎選択必修について

教養科目…※印より4単位以上修得すること

専門基礎科目および専門科目…8単位以上修得すること

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　言語聴覚学科 （2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

122

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし『教養科目』の必修科目以外から2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							▽		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								▽	
	●	現代英語ＩＡ	2	○								
	●	現代英語ＩＢ	2		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
	※	社会学	2		○							
	※	暮らしと法律	2	○								
	※	経営・経済学	2		○							
	※	簿記学	2	○								
	※	社会保障	2	○								
	※	キャリアプラン	2					◇	◇			
		教育原理	2		○							
		教育方法・技術論	2	○								
	※	医療の歴史	2	○								
	●	こころと体の健康	2		○							
	※	人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
	※	国際リハビリテーション	2	○								
	●	統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
専門基礎科目	●	基礎医学Ⅰ	1	◇								
	●	基礎医学Ⅱ	2	○								
	●	内科学	2		○							
	●	臨床神経学	2			○						
	●	耳鼻咽喉科学	2			○						
	●	リハビリテーション学	2	○								
	●	形成外科学	1				◇					
	●	臨床歯科学	1			◇						
	●	聴覚・音声医学	2		○							
	●	言語医学	1		◇							
	●	臨床心理学	2	○								
	●	認知・学習心理学	2		○							
	●	生涯発達心理学	2		○							
	●	心理測定法	2		○							
	●	言語学	2			○						
	●	音声学	2		○							
	●	音響学	2			○						
	●	言語発達学	2		○							
		リハビリテーション工学	2				○					

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
専門基礎科目	●	精神医学	2	○								
	●	関係法規	1					◇				
		リハビリテーション画像診断学	1					◇				
専門科目	●	言語聴覚障害概論	2	○								
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅰ	2			○						
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅱ	1				○					
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅲ	2					○				
	●	失語症・高次脳機能障害Ⅳ	1						○			
	●	失語症・高次脳機能障害演習	1				○					
	●	失語症・高次脳機能障害実習	2					□	□			
	●	摂食嚥下障害Ⅰ	2				○					
	●	摂食嚥下障害Ⅱ	1						○			
	●	摂食嚥下障害演習	1					○				
	●	発声発語障害Ⅰ	2			○						
	●	発声発語障害Ⅱ	2			○						
	●	発声発語障害Ⅲ	1					○				
	●	発声発語障害Ⅳ	1					○				
	●	発声発語障害演習Ⅰ	1				○					
	●	発声発語障害演習Ⅱ	1				○					
	●	発声発語障害演習Ⅲ	1					○				
	●	発声発語障害演習Ⅳ	1					○				
	●	言語発達障害Ⅰ	2			○						
	●	言語発達障害Ⅱ	1				○					
	●	言語発達障害Ⅲ	2					○				
	●	言語発達障害Ⅳ	1						○			
		重度コミュニケーション障害	2					○				
	●	言語発達障害演習	1				○					
	●	言語発達障害実習	2					□	□			
	●	聴覚障害Ⅰ	2			○						
	●	聴覚障害Ⅱ	1				○					
	●	聴覚障害Ⅲ	2					○				
	●	聴覚障害Ⅳ	1						○			
	●	聴覚障害演習	1				○					
	●	聴覚障害実習	2					□	□			
	●	流暢性障害	1						▽			
		言語聴覚障害評価指導	1				○					
		言語聴覚障害総論	1					○				
	●	言語聴覚障害臨床演習	1						○			
	●	臨床実習Ⅰ	4						▽			*
	●	臨床実習Ⅱ	8							▽	▽	*
		言語聴覚研究Ⅰ演習	2							□	□	
		言語聴覚研究Ⅱ演習	2							□	□	
		言語聴覚研究Ⅲ演習	2							□	□	
		国際言語聴覚療法研修	1			▽	▽	▽	▽			
	●	特別総合演習	2							□	□	
		多職種連携論	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

言語聴覚学科

2020年度～2021年度入学生(学籍番号上3ケタ　120～121　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

<table>
<tr><th>科目分類</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>卒業単位(合計)</th></tr>
<tr><td>Ⅰ群</td><td></td><td>4単位</td><td rowspan="10">7単位</td><td rowspan="10">124単位</td></tr>
<tr><td>Ⅱ群</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅲ群</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅳ群</td><td>2単位</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅴ群</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅵ群</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅶ群</td><td>12単位</td><td></td></tr>
<tr><td>専門基礎</td><td>42単位</td><td rowspan="2">8単位</td></tr>
<tr><td>専門</td><td>49単位</td></tr>
<tr><td>合 計</td><td>105単位</td><td colspan="2">19単位</td><td>124単位</td></tr>
</table>

◎選択必修について

Ⅰ群　…　4単位以上修得すること

専門基礎および専門　…　8単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　言語聴覚学科　（2020年度～2021年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

120～121

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『Ⅰ群』のなかから4単位以上を修得すること。
また、『専門基礎』及び『専門』のなかの選択科目から8単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
学部共通科目	Ⅰ群		会計学	2				○					
			簿記入門	2	○								
			法学	2		○							
			民法・商法	2	○								
			経済学	2	○								
			経営・経済法	2		○							
			心理学	2	○								
			社会学	2		○							
	Ⅱ群		自然環境情報	2	○								
			都市環境情報	2	○								
			地球環境情報	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			地域生涯学習論	2		○							
	Ⅲ群		人間･思想･生活	2		○							
			人間社会と法	2	○								
			日本国憲法	2		○							
			企業と倫理	2		○							
			生活と倫理	2		○							
			人間関係論	2		○							
			自己啓発	2	○								
			ボランティア論	2		○							
			ライフサイエンス	2	○								
			キャリアプラン	2					◇	◇			
	Ⅳ群		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎								
			コンピュータ演習Ⅱ	2		◎							
	Ⅴ群		国際情報（政治）	2		○							
			国際情報（経済）	2		○							
	Ⅵ群		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
			社会福祉原論Ⅱ	2		○							
			社会保障	2	○								
			公的扶助	2			○						
			地域福祉	2		○							
			児童福祉	2		○							
			老人福祉	2	○								
			障害福祉	2		○							
			多職種連携論	1					○				
	Ⅶ群	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							▽		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								▽	
		●	現代英語ⅠA	2	○								
		●	現代英語ⅠB	2		○							
			TOEICⅠ	2		○							
			TOEICⅡ	2				○					
			TOEICⅢ	2						○			
			TOEICⅣ	2								○	
			TOEIC基礎Ⅰ	2	○								

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
学部共通科目	Ⅷ群		TOEIC基礎Ⅱ	2			○						
			TOEIC基礎Ⅲ	2					○				
			TOEIC基礎Ⅳ	2							○		
			異文化コミュニケーション	2		○							
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
言語聴覚学科専門科目	専門基礎	●	基礎医学Ⅰ	2	○								
		●	基礎医学Ⅱ	2	○								
		●	小児科学	2		○							
		●	内科学	2		○							
			外科学	2		○							
		●	臨床神経学	2			○						
		●	耳鼻咽喉科学	2			○						
		●	リハビリテーション医学	2			○						
		●	形成外科学	1				○					
		●	臨床歯科学	1			○						
		●	聴覚・音声医学	2		○							
		●	言語医学	1		○							
			心理学基礎論	2		○							
		●	臨床心理学入門Ⅰ	2	○								
			臨床心理学入門Ⅱ	2		○							
		●	認知心理学	2		○							
		●	発達心理学	2		○							
		●	心理測定法	2			○						
		●	統計基礎	1	○								
		●	言語学	2			○						
		●	音声学	2		○							
		●	音響学	2			○						
		●	言語発達学	1		○							
		●	リハビリテーション概論	2	○								
			リハビリテーション工学	2				○					
			精神保健学Ⅰ	2	○								
			精神保健学Ⅱ	2		○							
		●	精神医学Ⅰ	2	○								
			精神医学Ⅱ	2		○							
			精神科リハビリテーション学Ⅰ	2	○								
			精神科リハビリテーション学Ⅱ	2		○							
			精神保健福祉論Ⅰ	2	○								
			精神保健福祉論Ⅱ	2		○							
			精神保健福祉論Ⅲ	2			○						
		●	関係法規	1					○				
			老年学	1						○			
		●	レクリエーション論	2		○							
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
	専門	●	言語聴覚障害概論	1	○								
		●	失語症・高次脳機能障害Ⅰ	1			○						
		●	失語症・高次脳機能障害Ⅱ	1				○					
		●	失語症・高次脳機能障害Ⅲ	1					○				
		●	失語症・高次脳機能障害Ⅳ	1						○			
		●	失語症・高次脳機能障害演習	1				○					
		●	失語症・高次脳機能障害実習	2					□	□			
		●	摂食嚥下障害Ⅰ	1				○					
		●	摂食嚥下障害Ⅱ	1						○			
		●	摂食嚥下障害演習	1					○				
		●	発声発語障害Ⅰ	1			○						
		●	発声発語障害Ⅱ	1			○						
		●	発声発語障害Ⅲ	1					○				
		●	発声発語障害Ⅳ	1					○				
		●	発声発語障害演習Ⅰ	1				○					
		●	発声発語障害演習Ⅱ	1				○					
		●	発声発語障害演習Ⅲ	1					○				

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
言語聴覚学科専門科目	専門	●	発声発語障害演習Ⅳ	1					○				
		●	言語発達障害Ⅰ	1			○						
		●	言語発達障害Ⅱ	1				○					
		●	言語発達障害Ⅲ	1					○				
		●	言語発達障害Ⅳ	1						○			
			重度コミュニケーション障害	1					○				
		●	言語発達障害演習	1				○					
		●	言語発達障害実習	2					□	□			
		●	聴覚障害Ⅰ	1			○						
		●	聴覚障害Ⅱ	1				○					
		●	聴覚障害Ⅲ	1					○				
		●	聴覚障害Ⅳ	1						○			
		●	聴覚障害演習	1				○					
		●	聴覚障害実習	2					□	□			
			リハビリテーション画像診断学	1					○				
		●	流暢性障害	1						▽			
			言語聴覚障害総論Ⅰ	1					○				
			言語聴覚障害総論Ⅱ	1						▽			
		●	言語聴覚障害総合演習	1						○			
		●	臨床実習Ⅰ	4						▽			*
		●	臨床実習Ⅱ	8							▽	▽	*
			言語聴覚研究Ⅰ演習	2							□	□	
			言語聴覚研究Ⅱ演習	2							□	□	
			言語聴覚研究Ⅲ演習	2							□	□	
			卒業研究	4							▽	▽	
		●	特別総合演習	2							□	□	

健康メディカル学部

心理学科

2023年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　123～126　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

<table>
<tr><th>科目分類</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>卒業単位(合計)</th></tr>
<tr><td>教養科目</td><td>14単位</td><td></td><td rowspan="4">86単位</td><td rowspan="4">124単位</td></tr>
<tr><td>専門基礎科目</td><td>8単位</td><td>8単位</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td></td><td>8単位</td></tr>
<tr><td>特別科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td>22単位</td><td colspan="2">102単位</td><td>124単位</td></tr>
</table>

◎選択必修について

「専門基礎科目」の必修科目以外の科目から、合計8単位以上修得すること。

「専門科目」の科目から、合計8単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　心理学科（2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123～126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を選択必修（必修科目を含む）
ただし、『専門基礎科目』のなかから、必修科目8単位を含めて最低16単位を修得すること。
また、『専門』のなかから、最低8単位を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目		単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2		◎							
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
	●	心理学	2	○								
		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
		社会福祉原論Ⅱ	2		○							
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2		○							
		自己啓発	2	○								
		人間関係論	2		○							
		国際情報	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	2	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		ボランティア論	2		○							
		会計学	2				○					
		コンピュータ概論	2		○							
		地域福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		多職種連携論	1					○				
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分	●は必修科目		単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
専門基礎科目		生命倫理	2	○								
		公認心理師の職責	2						○			
		人体の構造と機能及び疾病	2	○								
	●	心理学統計法	2		○							
		心理学データ解析演習	2						○			
		心理学概論	2		○							
		心理学実験	2			□	□					
	●	臨床心理学概論Ⅰ	2	○								
	●	臨床心理学概論Ⅱ	2		○							
		心理学研究法	2			○						
		心理測定法	2			○						
		心理的アセスメント	2					○				
	●	発達心理学	2	○								
		健康・医療心理学Ⅰ	2	○								
		健康・医療心理学Ⅱ	2		○							
		精神疾患とその治療	2	○								
		医療とこころ	2		○							
		関係行政論	2					○				
		精神保健福祉論Ⅰ	2			○						
		精神保健福祉論Ⅱ	2				○					
		精神保健福祉論Ⅲ	2					○				
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
専門科目		臨床心理学	2			○						
		心理学的支援法	2			○						
		心理療法Ⅰ	2				○					
		心理療法Ⅱ	2					○				
		心理療法Ⅲ	2						○			
		感情・人格心理学	2			○						
		学習・言語心理学	2				○					
		教育心理学	2				○					
		教育・学校心理学	2				○					
		ジェンダー心理学	2			○						
		社会・集団・家族心理学Ⅰ	2			○						
		社会・集団・家族心理学Ⅱ	2				○					
		司法・犯罪心理学	2						○			
		神経・生理心理学	2			○						
		知覚・認知心理学	2				○					
		青年心理学	2		○							
		障害者・障害児心理学	2			○						
		中高年期の心理学	2			○						
		福祉心理学	2						○			
		コミュニティ心理学	2					○				
		産業・組織心理学	2					○				
		心理学研究Ⅰ	2					○				
		心理学研究Ⅱ	2						○			
		心理演習	4							□	□	
		心理実習	2					□	□			*
		心理アセスメント演習	2						○			
		グループ・アプローチ演習	2					○				
		地域援助演習Ⅰ	1			○						*
		地域援助演習Ⅱ	1				○					*
		特別総合演習Ⅰ	1					○				
		特別総合演習Ⅱ	1						○			
		特別総合演習Ⅲ	1							○		
		特別総合演習Ⅳ	1								○	
		アートセラピー	2			○						
		卒業研究	4							▽	▽	
特別科目		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽				*
		ビジネス心理学	2		○							
		キャリアの心理学	2			○						
		産業メンタルヘルス論	2					○				
		マーケティング論	2						○			

健康メディカル学部

心理学科

2019年度～2022年度入学生(学籍番号上3ケタ 119～122 対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
Ⅰ群	2単位		84単位	124単位
Ⅱ群				
Ⅲ群				
Ⅳ群	2単位			
Ⅴ群				
Ⅵ群				
Ⅶ群	10単位			
専門基礎	8単位	8単位		
専門	2単位	8単位		
特別科目				
合計	24単位	100単位		124単位

◎選択必修について

「専門基礎」の必修科目以外の科目から、合計8単位以上修得すること。

「専門」の必修科目以外の科目から、合計8単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　心理学科（2019年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

119～122

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『専門基礎』のなかから、必修科目8単位を含めて最低16単位を修得すること。
また、『専門』のなかから必修科目2単位を含めて最低10単位を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分			●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
学部共通科目	Ⅰ群		会計学	2				○					
			簿記入門	2	○								
			法学	2		○							
			民法・商法	2	○								
			経済学	2	○								
			経営・経済法	2		○							
		●	心理学	2	○								
			社会学	2		○							
	Ⅱ群		自然環境情報	2	○								
			都市環境情報	2	○								
			地球環境情報	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			地域生涯学習論	2		○							
	Ⅲ群		人間･思想･生活	2		○							
			人間社会と法	2	○								
			日本国憲法	2		○							
			企業と倫理	2		○							
			生活と倫理	2		○							
			人間関係論	2		○							
			自己啓発	2	○								
			ボランティア論	2		○							
			ライフサイエンス	2	○								
			キャリアプラン	2					◇	◇			
	Ⅳ群		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2		◎							
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
	Ⅴ群		国際情報（政治）	2		○							
			国際情報（経済）	2		○							
	Ⅵ群		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
			社会福祉原論Ⅱ	2		○							
			社会保障	2	○								
			公的扶助	2			○						
			地域福祉	2		○							
			児童福祉	2		○							
			老人福祉	2	○								
			障害福祉	2		○							
			多職種連携論	1					○				
	Ⅶ群	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	現代英語ⅠA	1	○								
		●	現代英語ⅠB	1		○							
			TOEICⅠ	2		○							
			TOEICⅡ	2				○					
			TOEICⅢ	2						○			
			TOEICⅣ	2								○	
			TOEIC基礎Ⅰ	2	○								
			TOEIC基礎Ⅱ	2			○						
			TOEIC基礎Ⅲ	2					○				
			TOEIC基礎Ⅳ	2							○		
			異文化コミュニケーション	2		○							
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*

区分		●は必修科目		単位数	履修年次								備考
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
臨床心理学科専門科目	専門基礎		生命倫理	2	○								
			公認心理師の職責	2						○			
			人体の構造と機能及び疾病	2	○								
		●	心理学統計法	2		○							
			心理学研究演習	2						○			
			心理学概論	2		○							
			心理学実験	2			□	□					
		●	臨床心理学概論Ⅰ	2	○								
		●	臨床心理学概論Ⅱ	2		○							
			心理学研究法	2			○						
			心理測定法	2			○						
			心理的アセスメント	2					○				
		●	発達心理学	2	○								
			健康・医療心理学Ⅰ	2	○								
			健康・医療心理学Ⅱ	2		○							
			精神疾患とその治療	2	○								
			医療とこころ	2		○							
			関係行政論	2							○		
			精神科リハビリテーション学Ⅰ	2			○						
			精神科リハビリテーション学Ⅱ	2				○					
			精神保健福祉論Ⅰ	2			○						
			精神保健福祉論Ⅱ	2				○					
			精神保健福祉論Ⅲ	2					○				
			レクリエーション論	2		○							
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
	専門	●	臨床心理学	2			○						
			心理学的支援法	2			○						
			心理療法Ⅰ	2				○					
			心理療法Ⅱ	2					○				
			心理療法Ⅲ	2						○			
			感情・人格心理学	2			○						
			学習・言語心理学	2				○					
			教育心理学	2				○					
			教育・学校心理学	2				○					
			ジェンダー心理学	2			○						
			社会・集団・家族心理学Ⅰ	2			○						
			社会・集団・家族心理学Ⅱ	2				○					
			司法・犯罪心理学	2						○			
			神経・生理心理学	2			○						
			知覚・認知心理学	2				○					
			青年心理学	2		○							
			障害者・障害児心理学	2			○						
			老年心理学	2					○				
			福祉心理学	2						○			
			コミュニティ心理学	2					○				
			産業・組織心理学	2					○				
			臨床心理学研究Ⅰ	2					○				
			臨床心理学研究Ⅱ	2						○			
			心理演習	4							□	□	
			心理実習	2					□	□			*
			心理アセスメント演習	2						○			
			グループ・アプローチ演習	2					○				
			地域援助演習Ⅰ	1			○						*
			地域援助演習Ⅱ	1				○					*
			特別総合演習Ⅰ	1							○		
			特別総合演習Ⅱ	1								○	
			アートセラピー	2			○						
			卒業研究	4							▽	▽	
	特別科目		インターンシップⅠ	2				○					
			インターンシップⅡ	2					▽				*
			ビジネス心理学	2		○							
			ビジネス戦略論	2			○						
			産業メンタルヘルス論	2					○				
			ビジネスコミュニケーション	2						○			

健康メディカル学部

健康栄養学科

2023年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　123～126　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	12単位	13単位	124単位
専門基礎科目	43単位		
専門科目	56単位		
合計	111単位	13単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　健康栄養学科（2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123～126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		心理学	2	○								
		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
		社会福祉原論Ⅱ	2		○							
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2		○							
		自己啓発	2	○								
		人間関係論	2		○							
		国際情報	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	基礎数学演習	1	○								
		生物学	2	○								
	●	化学	1	◇								
	●	健康管理概論	2	○								
	●	公衆衛生	2			○						
	●	地域保健	2					○				
	●	社会環境と健康(実習)	1						◎			
	●	人体の構造・機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造・機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造(実習)	1		◎							
	●	人体の機能(実習)	1						◎			
	●	生化学Ⅰ	2	○								
	●	生化学Ⅱ	2		○							
	●	生化学実験	1					◎				
	●	栄養生化学実験	1						◎			
	●	疾病の成り立ちⅠ	2			○						
	●	疾病の成り立ちⅡ	2				○					
	●	微生物・免疫	2					○				
	●	病態生理学演習	1						○			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	食品学Ⅰ	2	○								
	●	食品学Ⅱ	2		○							
	●	食品学実験	1		◎							
	●	食品衛生学	2		○							
	●	食品衛生学実験	1			◎						
		食品機能学	1				◇					
	●	調理学	2	○								
	●	基礎調理学実習Ⅰ	1	◎								
	●	基礎調理学実習Ⅱ	1		◎							
	●	調理科学	2		○							
	●	調理科学実験	1			◎						
		食材の生産	2	○								
		統計基礎	2	○								
		食の文化	2	○								
		食の科学	2		○							
		献立作成演習	1			○						
		薬の科学	2				○					
		環境化学	2				○					
		フードマーケティング論	2					○				
		フードスペシャリスト論	2						○			
		フードコーディネート論	2						○			
		食品分析	2						○			
専門科目	●	基礎栄養学Ⅰ	2		○							
	●	基礎栄養学Ⅱ	2			○						
	●	基礎栄養学実習	1			◎						
	●	応用栄養学Ⅰ	2		○							
	●	応用栄養学Ⅱ	2			○						
	●	応用栄養学Ⅲ	2				○					
	●	応用栄養学実習	1				◎					
	●	栄養教育論Ⅰ	2			○						
	●	栄養教育論Ⅱ	2				○					
	●	栄養教育論Ⅲ	2					○				
	●	栄養教育論実習	1					◎				
	●	臨床栄養学Ⅰ	2			○						
	●	臨床栄養学Ⅱ	2				○					
	●	臨床栄養学Ⅲ	2					○				
	●	臨床栄養学Ⅳ	2						○			
	●	臨床栄養学実習Ⅰ	1				◎					
	●	臨床栄養学実習Ⅱ	1					◎				
	●	公衆栄養学Ⅰ	2				○					
	●	公衆栄養学Ⅱ	2					○				
		栄養疫学	1						◇			
	●	公衆栄養学実習	1						◎			
	●	給食経営管理論Ⅰ	2			○						
	●	給食経営管理論Ⅱ	2				○					
	●	給食経営管理実習Ⅰ	1				◎					
	●	給食経営管理実習Ⅱ	1					◎				
	●	総合演習Ⅰ	1					○				
	●	総合演習Ⅱ	1						○			
	●	栄養学特別演習	1						○			
		多職種連携論	1					○				
		実践栄養学A	1						◇			
		実践栄養学B	1						◇			
	●	臨地実習Ⅰ	1					▽	▽	▽	▽	*
	●	臨地実習Ⅱ	3					▽	▽	▽	▽	*
	●	実践演習	1							○		
	●	健康栄養学演習Ⅰ	1							○		
	●	健康栄養学演習Ⅱ	1							○		
	●	健康栄養学演習Ⅲ	1								○	
	●	健康栄養学演習Ⅳ	1								○	
	●	特別演習Ⅰ	1							○		
	●	特別演習Ⅱ	1							○		
	●	特別演習Ⅲ	1								○	
	●	特別演習Ⅳ	1								○	
		栄養学演習Ⅰ	1							○		
		栄養学演習Ⅱ	1								○	
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

健康栄養学科

2021年度～2022年度入学生(学籍番号上3ケタ　121～122　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	12単位	13単位	124単位
専門基礎科目	43単位		
専門科目	56単位		
合計	111単位	13単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　健康栄養学科（2021年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

121～122

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		心理学	2	○								
		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
		社会福祉原論Ⅱ	2		○							
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2		○							
		自己啓発	2	○								
		人間関係論	2		○							
		国際情報	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
専門基礎科目	●	基礎数学演習	1	○								
		生物学	2	○								
	●	化学	1	◇								
	●	健康管理概論	2	○								
	●	公衆衛生	2			○						
	●	地域保健	2					○				
	●	社会環境と健康(実習)	1						◎			
	●	人体の構造・機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造・機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造(実習)	1		◎							
	●	人体の機能(実習)	1						◎			
	●	生化学Ⅰ	2	○								
	●	生化学Ⅱ	2		○							
	●	生化学実験	1					◎				
	●	栄養生化学実験	1						◎			
	●	疾病の成り立ちⅠ	2			○						
	●	疾病の成り立ちⅡ	2				○					
	●	微生物・免疫	2					○				
	●	病態生理学演習	1						○			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	食品学Ⅰ	2	○								
	●	食品学Ⅱ	2		○							
	●	食品学実験	1		◎							
	●	食品衛生学	2		○							
	●	食品衛生学実験	1			◎						
		食品機能学	1				◇					
	●	調理学	2	○								
	●	基礎調理学実習Ⅰ	1	◎								
	●	基礎調理学実習Ⅱ	1		◎							
	●	調理科学	2		○							
	●	調理科学実験	1			◎						
		食材の生産	2	○								
		統計基礎	2	○								
		食の文化	2	○								
		食の科学	2		○							
		献立作成演習	1			○						
		薬の科学	2				○					
		環境化学	2				○					
		フードマーケティング論	2					○				
		フードスペシャリスト論	2						○			
		フードコーディネート論	2						○			
		食品分析	2						○			
専門科目	●	基礎栄養学Ⅰ	2		○							
	●	基礎栄養学Ⅱ	2			○						
	●	基礎栄養学実習	1			◎						
	●	応用栄養学Ⅰ	2		○							
	●	応用栄養学Ⅱ	2			○						
	●	応用栄養学Ⅲ	2				○					
	●	応用栄養学実習	1				◎					
	●	栄養教育論Ⅰ	2			○						
	●	栄養教育論Ⅱ	2				○					
	●	栄養教育論Ⅲ	2					○				
	●	栄養教育論実習	1					◎				
	●	臨床栄養学Ⅰ	2			○						
	●	臨床栄養学Ⅱ	2				○					
	●	臨床栄養学Ⅲ	2					○				
	●	臨床栄養学Ⅳ	2						○			
	●	臨床栄養学実習Ⅰ	1				◎					
	●	臨床栄養学実習Ⅱ	1					◎				
	●	公衆栄養学Ⅰ	2				○					
	●	公衆栄養学Ⅱ	2					○				
		栄養疫学	1						◇			
	●	公衆栄養学実習	1						◎			
	●	給食経営管理論Ⅰ	2			○						
	●	給食経営管理論Ⅱ	2				○					
	●	給食経営管理実習Ⅰ	1				◎					
	●	給食経営管理実習Ⅱ	1					◎				
	●	総合演習Ⅰ	1					○				
	●	総合演習Ⅱ	1						○			
	●	栄養学特別演習	1						○			
		多職種連携論	1					○				
		実践栄養学A	1						◇			
		実践栄養学B	1						◇			
	●	臨地実習Ⅰ	1					▽	▽	▽	▽	*
	●	臨地実習Ⅱ	3					▽	▽	▽	▽	*
	●	実践演習	1							○		
	●	健康栄養学演習Ⅰ	1							○		
	●	健康栄養学演習Ⅱ	1							○		
	●	健康栄養学演習Ⅲ	1								○	
	●	健康栄養学演習Ⅳ	1								○	
	●	特別演習Ⅰ	1							○		
	●	特別演習Ⅱ	1							○		
	●	特別演習Ⅲ	1								○	
	●	特別演習Ⅳ	1								○	
		栄養学演習Ⅰ	1							○		
		栄養学演習Ⅱ	1								○	
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

医療科学科

2025年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　125～126　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	12単位	112単位	124単位
医療科専門基礎科目			
救急救命士専門科目			
臨床工学専門科目			
スポーツサイエンス専門科目			
共通専門科目			
合計	12単位	112単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　医療科学科（2025年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

125～126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		心理学	2	○								
		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
		社会福祉原論Ⅱ	2		○							
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2		○							
		自己啓発	2	○								
		人間関係論	2		○							
		国際情報	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		
		国際リハビリテーション	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		ボランティア論	2		○							
		会計学	2				○					
		コンピュータ概論	2		○							
		地域福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
医療科専門基礎科目		統計基礎	2		○							
		AIとデータサイエンスⅠ	2				○					
		AIとデータサイエンスⅡ	2					○				
		医療・コンピュータサイエンス	2						○			
		機械学習基礎・ディープラーニング応用	2						○			
		栄養学	2				○					
		障がい者スポーツⅠ	1	▽								
		災害・危機管理学演習	2			□	□					
		応急処置指導学演習	2					□	□			
		救急救命士教養基礎演習	2	□	□							
		救急救命士教養演習	2			□	□					
		人体の構造・機能Ⅰ	2	○								
		人体の構造・機能Ⅱ	2		○							
		基礎医学実験	1			○						
		解剖学	2	○								
		生理学	2		○							
		微生物学	1			◇						
		公衆衛生学	2	○								
		公衆衛生	1	◇								
		公衆衛生概論	2		○							
		医療総論	1	◇								
		チーム医療概論	1		◇							
		病理学	2				○					
		病理学総論	2		○							
		生化学	1		◇							
		生化学Ⅰ	1		◇							
		生化学Ⅱ	1		◇							
		薬理学	1				◇					
		薬の科学	2						○			
		数学入門演習	1	○								
		基礎物理演習	1	○								
		免疫学	2				○					
		基礎数学Ⅰ	2		○							
		基礎数学Ⅱ	1			◇						
		基礎数学演習	1		○							
		応用数学	2				○					
		応用数学演習	1				○					
		電気工学Ⅰ	2	○								
		電気工学演習Ⅰ	1	○								
		電気工学Ⅱ	2		○							
		電気工学演習Ⅱ	1		○							
		電気・電子工学実験	1				○					
		電子工学	2			○						
		電子工学演習	1			○						
		情報工学Ⅰ	2	○								
		情報工学演習Ⅰ	1	○								
		情報工学Ⅱ	2		○							
		情報工学演習Ⅱ	1		○							
		医療情報学	2			○						
		プログラミング演習	2						◎			
		機械工学基礎演習	1		○							
		機械工学	2				○					
		医用機械工学演習	1				○					
		医用機器学概論	2	○								
		医用工学概論	2		○							
		応用物理学	1		◇							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
医療科専門基礎科目		生体物性工学	2					○				
		医用材料工学	2						○			
		計測工学	2					○				
		制御工学	1					◇				
		制御工学演習	1					○				
		医療科学総論Ⅰ	2			○						
		医療科学総論Ⅱ	2			○						
		医療科学総論Ⅲ	2				○					
		医療科学総論Ⅳ	1				◇					
		スポーツサイエンス概論	2	○								
		スポーツサイエンス各論	2			○						
		健康と運動	2			○						
		運動学	2				○					
		スポーツバイオメカニクス(投・走・跳)	2				○					
		運動処方	2						○			
		体育・スポーツ施設管理論	2					▽				
		スポーツ文化論	2	○								
		発達と教育の心理学	2		○							
		スポーツ倫理	2			○						
		スポーツ情報論	2			○						
		スポーツ経営・管理学	2				○					
		スポーツマネジメント論	2						○			
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		コーチング論	2					○				
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							*
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		体育実技(武道)	1		▽							
救急救命士専門科目		救急医療概論Ⅰ	2	○								
		救急医療概論Ⅱ	2			○						
		病院前救護Ⅰ	2	○								
		病院前救護Ⅱ	2		○							
		救急処置総論	2		○							
		救急処置各論Ⅰ	2			○						
		救急処置各論Ⅱ	2				○					
		疾病総論Ⅰ	2			○						
		疾病総論Ⅱ	2			○						
		疾病救急各論Ⅰ	2					○				
		疾病救急各論Ⅱ	2						○			
		救急病態学	2				○					
		救急症候学Ⅰ	2					○				
		救急症候学Ⅱ	2						○			
		外傷学総論	2					○				
		外傷学各論Ⅰ	2						○			
		外傷学各論Ⅱ	2						○			
		小児・産婦人科学概論	2					○				
		精神医学概論	1						◇			
		中毒・環境障害	2					○				
		看護学概論	1			○						
		放射線医学	1					◇				
		救急救命実習Ⅰ	4	▽	▽							
		救急救命実習Ⅱ	3			○						
		救急救命実習Ⅲ	4				○					
		救急救命実習Ⅳ	3					○				
		救急救命実習Ⅴ	3							○		
		救急用自動車同乗実習	3					▽	▽			*
		臨床実習(救急救命)	5					▽	▽			*
		救急救命研究Ⅰ	2					○				
		救急救命研究Ⅱ	2						○			
		救急救命研究Ⅲ	2							▽	▽	
		特別総合演習Ⅰ(救急救命)	2							▽		
		特別総合演習Ⅱ(救急救命)	2								▽	
		特別セミナーⅠ	2			○						
		特別セミナーⅡ	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
臨床工学専門科目		生体機能代行装置学Ⅰ	2			○						
		生体機能代行装置学Ⅱ	2			○						
		生体機能代行装置学Ⅲ	2				○					
		生体機能代行装置学Ⅳ	2					○				
		生体機能代行装置学Ⅴ	1					◇				
		生体機能代行装置学実習Ⅰ	1					○				
		生体機能代行装置学実習Ⅱ	1						○			
		生体機能代行装置学実習Ⅲ	1						○			
		医用治療機器学Ⅰ	2			○						
		医用治療機器学Ⅱ	1				◇					
		医用治療機器学実習	1					○				
		生体計測装置学Ⅰ	2			○						
		生体計測装置学Ⅱ	1				◇					
		生体計測装置学実習	1					○				
		臨床支援技術学	2					○				
		医療安全管理学	2					○				
		医療安全管理学実習	1						○			
		医療関係法規Ⅰ	1						◇			
		医療関係法規Ⅱ	1						◇			
		医療情報システム	2					○				
		臨床実習前後演習	1							▽	▽	
		臨床実習(臨床工学)	6							▽	▽	*
		特別総合実習Ⅰ	2				◎					
		特別総合実習Ⅱ	2						◎			
		特別総合演習Ⅰ(臨床工学)	2							▽		
		特別総合演習Ⅱ(臨床工学)	2								▽	
スポーツサイエンス専門科目		運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅰ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅱ	2			○						
		高齢者・競技者の生理学	2								○	
		発育・発達論	2						○			
		スポーツ医学入門	2		○							
		スポーツ医学(外科系)	1			○						
		スポーツ医学(内科系)	1					○				
		スポーツ栄養学	2					○				
		スポーツ栄養学各論	2						○			
		スポーツ心理学	2		○							
		スポーツデータサイエンス	1						○			
		健康心理学	2					○				
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ科学概論	1		○							
		スポーツ科学演習	2				○					
		キャンプ実習	1	▽	▽							*
		体育演習Ⅰ	1	○								
		体育演習Ⅱ	1				○					
		体育演習Ⅲ	1					○				
		体育演習Ⅳ	1						○			
		コンディショニング演習Ⅰ	1			○						
		コンディショニング演習Ⅱ	1				○					
		リコンディショニング演習Ⅰ	2				◎					
		リコンディショニング演習Ⅱ	1					○				
		トレーニング科学論	1			○						
		トレーニング科学演習	2				○					
		検査・測定と評価	2			○						
		健康運動指導演習Ⅰ	1			○						
		健康運動指導演習Ⅱ	1				○					
		スポーツ指導論	2						○			
		スポーツ指導実習	1							▽	▽	*
		スポーツメンタルトレーニング	2							○		
共通専門科目		多職種連携論	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

医療科学科

2023年度～2024年度入学生（学籍番号上3ケタ　123～124　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	12単位	112単位	124単位
医療科専門基礎科目			
救急救命士専門科目			
臨床工学専門科目			
共通専門科目			
合計	12単位	112単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　医療科学科（2023年度～2024年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123～124

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	現代英語ＩＡ	1	○								
	●	現代英語ＩＢ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		心理学	2	○								
		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
		社会福祉原論Ⅱ	2		○							
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2		○							
		自己啓発	2	○								
		人間関係論	2		○							
		国際情報	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		
		国際リハビリテーション	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		ボランティア論	2		○							
		会計学	2				○					
		コンピュータ概論	2		○							
		地域福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
医療科専門基礎科目		統計基礎	2		○							
		AIとデータサイエンスⅠ	2				○					
		AIとデータサイエンスⅡ	2					○				
		医療・コンピュータサイエンス	2						○			
		機械学習基礎・ディープラーニング応用	2						○			
		災害・危機管理学演習	2			□	□					
		応急処置指導学演習	2					□	□			
		救急救命士教養基礎演習	2	□	□							
		救急救命士教養演習	2			□	□					
		人体の構造・機能Ⅰ	2	○								
		人体の構造・機能Ⅱ	2		○							
		基礎医学実験	1			○						
		解剖学	2	○								
		生理学	2		○							
		微生物学	1			◇						
		公衆衛生学	2	○								
		公衆衛生概論	1	◇								
		医療総論	1	◇								
		チーム医療概論	1		◇							
		病理学	2				○					
		病理学総論	2		○							
		生化学	1		◇							
		生化学Ⅰ	1		◇							
		生化学Ⅱ	1		◇							
		薬理学	1				◇					
		薬の科学	2						○			
		数学入門演習	1	○								
		基礎物理演習	1	○								
		免疫学	2				○					
		基礎数学Ⅰ	2		○							
		基礎数学Ⅱ	1			◇						
		基礎数学演習	1		○							
		応用数学	2				○					
		応用数学演習	1				○					
		電気工学Ⅰ	2	○								
		電気工学演習Ⅰ	1	○								
		電気工学Ⅱ	2		○							
		電気工学演習Ⅱ	1		○							
		電気・電子工学実験	1				○					
		電子工学	2			○						
		電子工学演習	1			○						
		情報工学Ⅰ	2	○								
		情報工学演習Ⅰ	1	○								
		情報工学Ⅱ	2		○							
		情報工学演習Ⅱ	1		○							
		医療情報学	2			○						
		プログラミング演習	2						◎			
		機械工学基礎演習	1		○							
		機械工学	2				○					
		医用機械工学演習	1				○					
		医用機器学概論	2	○								
		医用工学概論	2		○							
		応用物理学	1		◇							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
医療科専門基礎科目		生体物性工学	2					○				
		医用材料工学	2						○			
		計測工学	2					○				
		制御工学	1					◇				
		制御工学演習	1					○				
		医療科学総論Ⅰ	2			○						
		医療科学総論Ⅱ	2			○						
		医療科学総論Ⅲ	2				○					
		医療科学総論Ⅳ	1				◇					
救急救命士専門科目		救急医療概論Ⅰ	2	○								
		救急医療概論Ⅱ	2			○						
		病院前救護Ⅰ	2	○								
		病院前救護Ⅱ	2		○							
		救急処置総論	2		○							
		救急処置各論Ⅰ	2			○						
		救急処置各論Ⅱ	2				○					
		疾病総論Ⅰ	2			○						
		疾病総論Ⅱ	2			○						
		疾病救急各論Ⅰ	2					○				
		疾病救急各論Ⅱ	2						○			
		救急病態学	2				○					
		救急症候学Ⅰ	2					○				
		救急症候学Ⅱ	2						○			
		外傷学総論	2					○				
		外傷学各論Ⅰ	2						○			
		外傷学各論Ⅱ	2						○			
		小児・産婦人科学概論	2					○				
		精神医学概論	1						◇			
		中毒・環境障害	2					○				
		看護学概論	1			○						
		放射線医学	1					◇				
		救急救命実習Ⅰ	4	▽	▽							
		救急救命実習Ⅱ	3			○						
		救急救命実習Ⅲ	4				○					
		救急救命実習Ⅳ	3					○				
		救急救命実習Ⅴ	3							○		
		救急用自動車同乗実習	3					▽	▽			*
		臨床実習(救急救命)	5					▽	▽			*
		救急救命研究Ⅰ	2					○				
		救急救命研究Ⅱ	2						○			
		救急救命研究Ⅲ	2							▽	▽	
		特別総合演習Ⅰ(救急救命)	2							▽		
		特別総合演習Ⅱ(救急救命)	2								▽	
		特別セミナーⅠ	2			○						
		特別セミナーⅡ	2				○					
臨床工学専門科目		生体機能代行装置学Ⅰ	2			○						
		生体機能代行装置学Ⅱ	2			○						
		生体機能代行装置学Ⅲ	2				○					
		生体機能代行装置学Ⅳ	2					○				
		生体機能代行装置学Ⅴ	1					◇				
		生体機能代行装置学実習Ⅰ	1					○				
		生体機能代行装置学実習Ⅱ	1						○			
		生体機能代行装置学実習Ⅲ	1						○			
		医用治療機器学Ⅰ	2			○						
		医用治療機器学Ⅱ	1				◇					
		医用治療機器学実習	1					○				
		生体計測装置学Ⅰ	2			○						
		生体計測装置学Ⅱ	1				◇					
		生体計測装置学実習	1					○				
		臨床支援技術学	2					○				
		医療安全管理学	2					○				
		医療安全管理学実習	1						○			
		医療関係法規Ⅰ	1						◇			
		医療関係法規Ⅱ	1						◇			
		医療情報システム	2					○				
		臨床実習前後演習	1							▽	▽	
		臨床実習(臨床工学)	6							▽	▽	*
		特別総合実習Ⅰ	2				◎					
		特別総合実習Ⅱ	2						◎			
		特別総合演習Ⅰ(臨床工学)	2							▽		
		特別総合演習Ⅱ(臨床工学)	2								▽	
共通専門科目		多職種連携論	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	

健康メディカル学部

医療科学科

2019年度～2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　119～122　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

	必修	選択	卒業単位（合計）
Ⅰ群		112単位	124単位
Ⅱ群			
Ⅲ群			
Ⅳ群	2単位		
Ⅴ群			
Ⅵ群			
Ⅶ群	10単位		
専門基礎			
専門			
合計	12単位	112単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康ﾒﾃﾞｨｶﾙ学部　医療科学科（2019年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

119～122

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
学部共通科目	Ⅰ群		会計学	2				○					
			簿記入門	2	○								
			法学	2		○							
			民法・商法	2	○								
			経済学	2	○								
			経営・経済法	2		○							
			心理学	2	○								
			社会学	2		○							
	Ⅱ群		自然環境情報	2	○								
			都市環境情報	2	○								
			地球環境情報	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			地域生涯学習論	2		○							
	Ⅲ群		人間・思想・生活	2		○							
			人間社会と法	2	○								
			日本国憲法	2		○							
			企業と倫理	2		○							
			生活と倫理	2		○							
			人間関係論	2		○							
			自己啓発	2	○								
			ボランティア論	2		○							
			ライフサイエンス	2	○								
			キャリアプラン	2					◇	◇			
	Ⅳ群		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎								
			コンピュータ演習Ⅱ	2		◎							
	Ⅴ群		国際情報(政治)	2		○							
			国際情報(経済)	2		○							
	Ⅵ群		社会福祉原論Ⅰ	2	○								
			社会福祉原論Ⅱ	2		○							
			社会保障	2	○								
			公的扶助	2			○						
			地域福祉	2		○							
			児童福祉	2		○							
			老人福祉	2	○								
			障害福祉	2		○							
			多職種連携論	1					○				
	Ⅶ群	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	現代英語ⅠA	1	○								
		●	現代英語ⅠB	1		○							
			TOEICⅠ	2		○							
			TOEICⅡ	2				○					
			TOEICⅢ	2						○			
			TOEICⅣ	2								○	
			TOEIC基礎Ⅰ	2	○								
			TOEIC基礎Ⅱ	2			○						
			TOEIC基礎Ⅲ	2					○				
			TOEIC基礎Ⅳ	2							○		
			異文化コミュニケーション	2		○							
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
医療科学科専門科目	専門基礎		人体の構造Ⅰ	2	○								
			人体の構造Ⅱ	2		○							
			人体の機能Ⅰ	2	○								
			人体の機能Ⅱ	2		○							
			人体の構造・機能Ⅰ	2	○								
			人体の構造・機能Ⅱ	2		○							
			人体の構造・機能(実習)	2			◎						
			数学入門演習	1	○								
			基礎物理演習	1	○								
			統計基礎	2		○							
			公衆衛生概論	2	○								
			医学総論	2	○								
			臨床生理学	2		○							
			病理学総論	2				○					
			生化学	2		○							
			臨床化学	2	○								
			薬の科学	2						○			
			免疫学	2				○					
			看護概論	2		○							
			基礎数学	2		○							
			基礎数学演習	1		○							
			応用数学	2			○						
			応用数学演習	1			○						
			電気数学	2				○					
			臨床工学演習Ⅰ	2							◎		
			臨床工学演習Ⅱ	2								◎	
			電気工学Ⅰ	2	○								
			電気工学演習Ⅰ	1	○								
			電気工学Ⅱ	2		○							
			電気工学演習Ⅱ	1		○							
			電気工学実験	2			◎						
			電子工学	2			○						
			電子工学演習	1			○						
			情報工学Ⅰ	2	○								
			情報工学演習Ⅰ	1	○								
			情報工学Ⅱ	2		○							
			情報工学演習Ⅱ	1		○							
			電子情報工学実験	2				◎					
			医療情報システムⅠ	2					○				
			医療情報システムⅡ	2						○			
			プログラミング演習	2						◎			
			機械工学基礎	2		○							
			機械工学基礎演習	1		○							
			医用機械工学	2			○						
			医用機械工学演習	1			○						
			医用機器学入門	2	○								
			医用工学	2				○					
			生体物性工学	2					○				
			生体材料工学	2					○				
			計測工学Ⅰ	2					○				
			計測工学Ⅱ	2						○			
			制御工学	2						○			
			制御工学演習	1						○			
			臨床医学内科系Ⅰ	2			○						
			臨床医学内科系Ⅱ	2			○						
			臨床医学内科系Ⅲ	2			○						
			臨床医学内科系Ⅳ	2				○					
			臨床医学外科系	2				○					
			医療関係法規	2						○			
			救急救命士教養基礎演習	2	□	□							
			救急救命士教養演習	2			□	□					
	専門		救急医学概論Ⅰ	2	○								
			救急医学概論Ⅱ	2			○						
			救急医学概論Ⅲ	2				○					
			救急処置総論	2		○							
			救急処置各論Ⅰ	2			○						
			救急処置各論Ⅱ	2				○					
			疾病総論Ⅰ	2			○						
			疾病総論Ⅱ	2				○					
			疾病救急各論Ⅰ	2					○				
			疾病救急各論Ⅱ	2						○			

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
医療科学科専門科目	専門		救急病態学Ⅰ	2			○						
			救急病態学Ⅱ	2				○					
			救急症候学Ⅰ	2					○				
			救急症候学Ⅱ	2						○			
			外傷学総論	2					○				
			外傷学各論Ⅰ	2						○			
			外傷学各論Ⅱ	2						○			
			小児科学概論	1					○				
			産婦人科学概論	1					○				
			精神医学概論	1						○			
			中毒・環境障害	2					○				
			看護学概論	1			○						
			医療制度概論	1		○							
			救急救命実習Ⅰ	4	▽								
			救急救命実習Ⅱ	3			○						
			救急救命実習Ⅲ	4				○					
			救急救命実習Ⅳ	3					○				
			救急用自動車同乗実習	5					▽	▽			*
			臨床実習(救急救命)	6					▽	▽			*
			救急救命研究Ⅰ	2					○				
			救急救命研究Ⅱ	2						○			
			救急救命研究Ⅲ	2								▽	
			特別総合演習Ⅰ	2							○		
			特別総合演習Ⅱ	2								○	
			災害・危機管理学演習	2					□	□			
			応急処置指導学演習	2					□	□			
			特別セミナーⅠ	2			○						
			特別セミナーⅡ	2				○					
			放射線工学概論	2					○				
			生体機能代行装置学Ⅰ	2			○						
			生体機能代行装置学Ⅱ	2			○						
			生体機能代行装置学Ⅲ	2				○					
			生体機能代行装置学Ⅳ	2					○				
			生体機能代行装置学Ⅴ	2						○			
			生体機能代行装置学実習Ⅰ	1					○				
			生体機能代行装置学実習Ⅱ	1						○			
			生体機能代行装置学実習Ⅲ	1						○			
			医用治療機器学Ⅰ	2			○						
			医用治療機器学Ⅱ	2				○					
			医用治療機器学実習	2					□	□			
			生体計測装置学Ⅰ	2			○						
			生体計測装置学Ⅱ	2				○					
			生体計測装置学実習	2					◎				
			医用機器安全管理学Ⅰ	2					○				
			医用機器安全管理学Ⅱ	2						○			
			医用機器安全管理学実習	1					○				
			臨床実習(臨床工学)	4							▽	▽	*
			波動工学	2					○				
			生体モデリング	2					○				
			センサ工学概論	2					○				
			卒業研究	4							□	□	

ヒューマンケア学部

看護学科

2023年度～2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　323～326　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	卒業単位（合計）
教養科目	16単位	7単位	124単位
専門基礎科目	27単位	2単位	
専門科目	72単位		
保健師課程　※1（卒業要件単位数に含めない）			
助産師課程　※2（卒業要件単位数に含めない）			
合計	115単位	9単位	124単位

◎選択必修について

『教養科目』の必修科目以外の科目から合計7単位、『専門基礎科目』の必修科目以外の科目から合計2単位以上習得すること。

※1　保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。
※2　助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　看護学科 （2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

323～326

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
『教養科目』の必修科目以外の科目から合計7単位、『専門基礎科目』の必修科目以外の科目から合計2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠ	1					▽				
	●	アドバンスセミナーⅡ	1								▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
	●	心理学	2	○								
		発達心理学	2	○								
		命とこころ	2	○								
	●	論理学	2	○								
		教育原理	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
	●	日本国憲法	2		○							
		社会学	2		○							
		ボランティア論	2		○							
		地球環境と防災	2	○								
		ライフサイエンス	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		就職支援A	2	○								
		就職支援B	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体構造学	1	○								
	●	人体生理学	2	□	□							
	●	生化学	1	○								
	●	微生物・免疫学	1		○							
	●	病因病態学	2		○							
		疾病の歴史	2		○							
	●	臨床医学Ⅰ	1	○								
	●	臨床医学Ⅱ	1		○							
	●	臨床医学Ⅲ	1			○						
	●	臨床医学Ⅳ	1		○							
	●	精神医学	1			◇						
	●	リハビリテーション学	1		○							
	●	栄養学	1	○								
	●	薬の科学	1			○						

区分		授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
専門基礎科目		●	臨床薬剤学	1								○	
		●	公衆衛生学	2	○								
		●	疫学Ⅰ	1			◇						
		●	保健統計学	1			○						
		●	保健情報リテラシー	1				◇					
		●	社会福祉	1	○								
			保健医療福祉行政論Ⅰ	2			○						
		●	保健医療社会学	1	○								
		●	関係法規	1		○							
		●	臨床心理学	2		○							
		●	社会保障	1			○						
			地域福祉	2	○								
			児童福祉	2		○							
専門科目	基礎看護学	●	看護学概論	1	○								
		●	ヘルスアセスメントⅠ	1		○							
		●	ヘルスアセスメントⅡ	1			○						
		●	看護倫理と医療安全	1					○				
		●	基礎看護学実践Ⅰ	2	□	□							
		●	基礎看護学実践Ⅱ	2			◎						
		●	基礎看護学実践Ⅲ	1			○						
		●	基礎看護学実践Ⅳ	2				◎					
	地域・在宅看護論	●	地域・在宅看護概論	1			○						
		●	地域・在宅看護論実践Ⅰ	2				◎					
		●	地域・在宅看護論実践Ⅱ	2					◎				
		●	地域・在宅看護論実践Ⅲ	1							▽	▽	
	成人看護学	●	成人看護学概論	1		◇							
		●	成人看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	成人看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	成人看護学実践Ⅲ	1			○						
		●	成人看護学実践Ⅳ	1				○					
		●	成人看護学実践Ⅴ	1					▽				
		●	成人看護学実践Ⅵ	1					○				
	老年看護学	●	老年看護学概論	1		○							
		●	老年看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	老年看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	老年看護学実践Ⅲ	1					○				
	小児看護学	●	小児看護学概論	1		○							
		●	小児看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	小児看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	小児看護学実践Ⅲ	1					○				
	母性看護学	●	母性看護学概論	1		◇							
		●	母性看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	母性看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	母性看護学実践Ⅲ	1					▽				
	精神看護学	●	精神看護学概論	1		○							
		●	精神看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	精神看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	精神看護学実践Ⅲ	1					○				
	看護の統合と実践	●	看護研究	1					○				
		●	卒業研究	2						▽	▽	▽	
		●	応用看護論	1							▽		
		●	看護管理学	1							▽	▽	
		●	災害看護学	1					◇				
		●	国際看護学	1					◇				
		●	特別総合演習	2								▽	
	臨地実習	●	基礎看護学実習Ⅰ	1		▽							*
		●	基礎看護学実習Ⅱ	2				▽					*
		●	地域・在宅看護論実習	3						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅰ	3						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅱ	2						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅲ	3						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅳ	1						▽	▽		
		●	小児看護学実習	2						▽	▽		*
		●	母性看護学実習	2						▽	▽		*
		●	精神看護学実習	2						▽	▽		*
		●	統合実習	2							▽		*

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保健師課程		公衆衛生看護学概論	1				◇					
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	2				○					
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	2				○					
		公衆衛生看護活動論Ⅲ	2					○				
		公衆衛生看護活動論Ⅳ	2					○				
		公衆衛生看護管理論	2					○				
		疫学Ⅱ	1				◇					
		保健医療福祉行政論Ⅱ	2							▽		
		公衆衛生看護学実習	5							▽		*
助産師課程		基礎助産学概論Ⅰ	2				○					
		基礎助産学概論Ⅱ	2				○					
		基礎助産学概論Ⅲ	2				○					
		助産診断・技術学Ⅰ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅱ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅲ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅳ	2							◎		
		地域母子保健	2					○				
		助産管理	2					○				
		助産学実習	11							▽		*

ヒューマンケア学部

看護学科

2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　322　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	卒業単位（合計）
教養科目	16単位	7単位	124単位
専門基礎科目	27単位	2単位	
専門科目	72単位		
保健師課程　※1（卒業要件単位数に含めない）			
助産師課程　※2（卒業要件単位数に含めない）			
合計	115単位	9単位	124単位

◎選択必修について

『教養科目』の必修科目以外の科目から合計7単位、『専門基礎科目』の必修科目以外の科目から合計2単位以上習得すること。

※1　保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。
※2　助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　看護学科　（2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

322

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
『教養科目』の必修科目以外の科目から合計7単位、『専門基礎科目』の必修科目以外の科目から合計2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩ	1					▽				
	●	アドバンスセミナーⅡ	1								▽	
	●	基礎医療英語Ｉ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
		国際コミュニケーションＩ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
	●	心理学	2	○								
		発達心理学	2	○								
		命とこころ	2	○								
	●	論理学	2	○								
		教育原理	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
	●	日本国憲法	2		○							
		社会学	2		○							
		ボランティア論	2		○							
		地球環境と防災	2	○								
		ライフサイエンス	2	○								
		データサイエンス入門	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		コンピュータ実践演習Ｉ	1			○						
		コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
		レクリエーション論	2	○								
		レクリエーション実技Ｉ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		就職支援A	2	○								
		就職支援B	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		
専門基礎科目	●	人体構造学	1	○								
	●	人体生理学	2	□	□							
	●	生化学	1	○								
	●	微生物・免疫学	1		○							
	●	病因病態学	2		○							
		疾病の歴史	2		○							
	●	臨床医学Ｉ	1	○								
	●	臨床医学Ⅱ	1		○							
	●	臨床医学Ⅲ	1			○						
	●	臨床医学Ⅳ	1		○							
	●	精神医学	1			◇						
	●	リハビリテーション学	1		○							
	●	栄養学	1	○								
	●	薬の科学	1			○						

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
専門基礎科目		●	臨床薬剤学	1								○	
		●	公衆衛生学	2	○								
		●	疫学Ⅰ	1			◇						
		●	保健統計学	1			○						
		●	保健情報リテラシー	1				◇					
		●	社会福祉	1	○								
			保健医療福祉行政論Ⅰ	2			○						
		●	保健医療社会学	1	○								
		●	関係法規	1		○							
		●	臨床心理学	2		○							
		●	社会保障	1			○						
			地域福祉	2	○								
			児童福祉	2		○							
専門科目	基礎看護学	●	看護学概論	1	○								
		●	ヘルスアセスメントⅠ	1		○							
		●	ヘルスアセスメントⅡ	1			○						
		●	看護倫理と医療安全	1					○				
		●	基礎看護学実践Ⅰ	2	□	□							
		●	基礎看護学実践Ⅱ	2			◎						
		●	基礎看護学実践Ⅲ	1			○						
		●	基礎看護学実践Ⅳ	2				◎					
	地域・在宅看護論	●	地域・在宅看護概論	1			○						
		●	地域・在宅看護論実践Ⅰ	2				◎					
		●	地域・在宅看護論実践Ⅱ	2					◎				
		●	地域・在宅看護論実践Ⅲ	1							▽	▽	
	成人看護学	●	成人看護学概論	1		◇							
		●	成人看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	成人看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	成人看護学実践Ⅲ	1			○						
		●	成人看護学実践Ⅳ	1				○					
		●	成人看護学実践Ⅴ	1					▽				
		●	成人看護学実践Ⅵ	1					○				
	老年看護学	●	老年看護学概論	1		○							
		●	老年看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	老年看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	老年看護学実践Ⅲ	1					○				
	小児看護学	●	小児看護学概論	1		○							
		●	小児看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	小児看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	小児看護学実践Ⅲ	1					○				
	母性看護学	●	母性看護学概論	1		◇							
		●	母性看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	母性看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	母性看護学実践Ⅲ	1					▽				
	精神看護学	●	精神看護学概論	1		○							
		●	精神看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	精神看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	精神看護学実践Ⅲ	1					○				
	看護の統合と実践	●	看護研究	1					○				
		●	卒業研究	2						▽	▽	▽	
		●	応用看護論	1							▽		
		●	看護管理学	1							▽	▽	
		●	災害看護学	1					◇				
		●	国際看護学	1					◇				
		●	特別総合演習	2								▽	
	臨地実習	●	基礎看護学実習Ⅰ	1		▽							*
		●	基礎看護学実習Ⅱ	2				▽					*
		●	地域・在宅看護論実習	3						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅰ	3						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅱ	2						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅲ	3						▽	▽		*
		●	成人・老年看護学実習Ⅳ	1						▽	▽		
		●	小児看護学実習	2						▽	▽		*
		●	母性看護学実習	2						▽	▽		*
		●	精神看護学実習	2						▽	▽		*
		●	統合実習	2							▽		*

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保健師課程		公衆衛生看護学概論	1				◇					
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	2				○					
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	2				○					
		公衆衛生看護活動論Ⅲ	2					○				
		公衆衛生看護活動論Ⅳ	2					○				
		公衆衛生看護管理論	2					○				
		疫学Ⅱ	1				◇					
		保健医療福祉行政論Ⅱ	2							▽		
		公衆衛生看護学実習	5							▽		*
助産師課程		基礎助産学概論Ⅰ	2				○					
		基礎助産学概論Ⅱ	2				○					
		基礎助産学概論Ⅲ	2				○					
		助産診断・技術学Ⅰ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅱ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅲ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅳ	2							◎		
		地域母子保健	2					○				
		助産管理	2					○				
		助産学実習	11							▽		*

ヒューマンケア学部

看護学科

2021年度入学生（学籍番号上3ケタ　321　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	卒業単位（合計）
人間と生活・社会の理解	6単位	7単位	124単位
科学的思考の基盤	10単位		
人体の構造と機能・疾病と回復	15単位	2単位	
健康支援と社会保障制度	12単位		
基礎看護学	12単位		
専門分野Ⅰ　臨地実習	3単位		
成人看護学	7単位		
高齢者看護学	4単位		
小児看護学	4単位		
母性看護学	4単位		
精神看護学	4単位		
専門分野Ⅱ　臨地実習	16単位		
在宅看護学	5単位		
看護の統合と実践	9単位		
統合分野　臨地実習	4単位		
保健師課程　※1（卒業要件単位数に含めない）			
助産師課程　※2（卒業要件単位数に含めない）			
合 計	115単位	9単位	124単位

◎選択必修について

「人間と生活・社会の理解」および「科学的思考の基盤」の必修科目以外の科目から合計7単位、「人体の構造と機能・疾病と回復」および「健康支援と社会保障制度」の必修科目以外の科目から合計2単位以上修得すること。

※1　保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。

※2　助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　看護学科（2021年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

321

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『基礎分野』の科目群から7単位以上、『専門基礎分野』の科目群から2単位以上修得すること。(必修科目を含まない)
また、『保健師課程』、『助産師課程』は卒業要件単位数に含めない。

課程別修得科目について

保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。
助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考(*印は学外実習・研修)
基礎分野	人間と生活・社会の理解	●	日本国憲法	2		○							
		●	心理学	2		○							
			発達心理学	2	○								
			社会学	2		○							
			生涯学習論	2	○								
			地域生涯学習論	2		○							
			メディアと教育	2		○							
			生活と倫理	2		○							
			自己啓発	2	○								
			ボランティア論	2		○							
			オフィスコミュニケーション	2	○								
			ライフサイエンス	2	○								
		●	論理学	2	○								
			教育原理	2		○							
			キャリアプラン	2					◇	◇			
			都市環境情報	2	○								
			スポーツ文化論	2	○								
			レクリエーション論	2	○								
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
	科学的思考の基盤		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎								
			コンピュータ演習Ⅱ	2		◎							
		●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠ	1					▽				
		●	アドバンスセミナーⅡ	1								▽	
		●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
		●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
専門基礎分野	人体の構造と機能・疾病と回復	●	人体構造学	1	○								
		●	人体生理学	2	□	□							
		●	生化学	1	○								
		●	微生物・免疫学	1		○							
		●	疾病の科学	1		○							
			疾病の歴史	2		○							
		●	臨床医学Ⅰ	1		○							
		●	臨床医学Ⅱ	1		○							

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
専門基礎分野	人体の構造と機能・疾病と回復	●	臨床医学Ⅲ	1			○						
		●	精神医学	1			○						
		●	小児科学	1			○						
		●	周産期医学	1		○							
		●	リハビリテーション学	1		○							
		●	薬の科学	1			○						
		●	栄養学	1	○								
	健康支援と社会保障制度	●	公衆衛生学	1	○								
		●	疫学Ⅰ	1			○						
		●	保健統計学	1			○						
		●	保健情報リテラシー	1				○					
		●	社会福祉	1	○								
		●	保健医療社会学	1	○								
		●	保健医療福祉行政論	2				○					
		●	関係法規	1		○							
		●	臨床心理学	2	○								
			精神保健学	2	○								
		●	社会保障	1			○						
			地域福祉	2	○								
			児童福祉	2		○							
専門分野Ⅰ	基礎看護学	●	看護学概論	1	○								
		●	ヘルスアセスメントⅠ	1		○							
		●	ヘルスアセスメントⅡ	1			○						
		●	看護倫理と医療安全	1					○				
		●	看護管理学	1								○	
		●	基礎看護学実践Ⅰ	2		◎							生活行動援助技術
		●	基礎看護学実践Ⅱ	2			◎						医療援助技術
		●	基礎看護学実践Ⅲ	1				○					実践的看護技術
		●	基礎看護学実践Ⅳ	2				◎					基礎看護過程
	臨地実習	●	基礎看護学実習Ⅰ	1		▽							*
		●	基礎看護学実習Ⅱ	2				▽					*
専門分野Ⅱ	成人看護学	●	成人看護学概論	1		◇							
		●	成人看護学実践Ⅰ	1			○						クリティカルケア看護
		●	成人看護学実践Ⅱ	1				○					リハビリテーション看護
		●	成人看護学実践Ⅲ	1			○						慢性期看護
		●	成人看護学実践Ⅳ	1				○					がん看護
		●	成人看護学実践Ⅴ	1					▽				成人看護学技術演習
		●	成人看護学実践Ⅵ	1					○				成人看護過程
	高齢者看護学	●	高齢者看護学概論	1		○							
		●	高齢者看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	高齢者看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	高齢者看護学実践Ⅲ	1					○				高齢者看護過程
	小児看護学	●	小児看護学概論	1		○							
		●	小児看護学実践Ⅰ	1			○						小児看護学技術
		●	小児看護学実践Ⅱ	1				○					小児看護学実践
		●	小児看護学実践Ⅲ	1					○				小児看護過程
	母性看護学	●	母性看護学概論	1		○							
		●	母性看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	母性看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	母性看護学実践Ⅲ	1			▽	▽					
	精神看護学	●	精神看護学概論	1		○							
		●	精神看護学実践Ⅰ	1			○						
		●	精神看護学実践Ⅱ	1				○					
		●	精神看護学実践Ⅲ	1					○				
	臨地実習	●	成人看護学実習Ⅰ	3						▽	▽		*
		●	成人看護学実習Ⅱ	3						▽	▽		*
		●	高齢者看護学実習	4						▽	▽		*
		●	小児看護学実習	2						▽	▽		*
		●	母性看護学実習	2						▽	▽		*
		●	精神看護学実習	2						▽	▽		*

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
統合分野	在宅看護学	●	在宅看護学概論	1			○						
		●	在宅看護学実践Ⅰ	2				◎					
		●	在宅看護学実践Ⅱ	1					○				
		●	在宅看護学実践Ⅲ	1							▽	▽	地域包括ケア演習
	看護の統合と実践	●	看護研究	1					○				
		●	卒業研究	2						▽	▽	▽	
		●	応用看護論	1							▽		
		●	看護臨床薬剤学	1								○	
		●	災害看護学	1					◇				
		●	国際看護学	1					◇				
		●	特別総合演習	2								▽	
	臨地実習	●	在宅看護学実習	2						▽	▽		*
		●	統合実習	2							▽		*
選択分野	保健師課程		公衆衛生看護学概論	1				◇					
			公衆衛生看護活動論Ⅰ	2				○					
			公衆衛生看護活動論Ⅱ	2					○				
			公衆衛生看護活動論Ⅲ	2					○				
			公衆衛生看護活動論Ⅳ	2					○				
			公衆衛生看護管理論	2					○				
			疫学Ⅱ	1				◇					
			公衆衛生看護学実習	5							▽		*
	助産師課程		基礎助産学概論Ⅰ	2				○					
			基礎助産学概論Ⅱ	2				○					
			基礎助産学概論Ⅲ	2				○					
			助産診断・技術学Ⅰ	2					○				
			助産診断・技術学Ⅱ	2					○				
			助産診断・技術学Ⅲ	2						▽	▽		
			地域母子保健	1					◇				
			助産管理	2					○				
			助産学実習	11							▽		*

ヒューマンケア学部

柔道整復学科

2024年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　124～126　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	12単位	2単位	4単位	124単位
専門基礎科目	42単位			
専門科目	64単位			
合 計	118単位	2単位	4単位	124単位

◎選択必修について

「教養科目」の必修科目以外から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　柔道整復学科（2024年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

124～126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『教養科目』のなかから2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		日本国憲法	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		地域生涯学習論	2		○							
		メディアと教育	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	身体の構造Ⅰ	2	○								
	●	身体の構造Ⅱ	2		○							
	●	身体の構造Ⅲ	2			○						
	●	身体の構造Ⅳ	2					○				
	●	身体の機能Ⅰ	2	○								
	●	身体の機能Ⅱ	2		○							
	●	身体の機能Ⅲ	2			○						
	●	高齢者・競技者の生理学	2								○	
	●	疾病の科学	2					○				
	●	一般臨床医学Ⅰ	1				○					
	●	一般臨床医学Ⅱ	1					○				
	●	一般臨床医学Ⅲ	1						○			
	●	衛生学	2	○								
	●	公衆衛生概論	2		○							
	●	柔道	2				◎					
	●	運動学	2				○					
		薬の知識	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目		健康と運動	2			○						
		学校保健	2		○							
		保健体育概論	2	○								
	●	関係法規	1							○		
	●	職業倫理職場管理学	2								○	
	●	リハビリテーション医学	2				○					
	●	外科学	2					○				
	●	整形外科学Ⅰ	1				○					
	●	整形外科学Ⅱ	1						○			
		リハビリテーション概論	2	○								
		徒手療法	2						○			
	●	臨床柔道整復治療学	2					○				
		アロマセラピーⅠ	2			○						
		アロマセラピーⅡ	2				○					
		臨床心理学	2		○							
		教育相談	2			○						
		精神保健学Ⅰ	2	○								
		精神保健学Ⅱ	2		○							
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		スポーツ経営・管理学	2		○							
	●	社会保障	2					○				
		発達心理学	2		○							
専門科目		スポーツ指導論	2					○				
		スポーツ心理学	2		○							
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ科学概論	1		○							
		トレーニング科学論	1			○						
		トレーニング科学演習	2				○					
		スポーツ医学入門	2		○							
		スポーツ栄養学	2					○				
		スポーツ医学(内科系)	1					○				
		検査・測定と評価	2			○						
		コンディショニング演習Ⅰ	1			○						
		医療統計学	2				○					
	●	基礎柔道整復総論Ⅰ	1	○								
	●	基礎柔道整復総論Ⅱ	1	○								
	●	基礎柔道整復総論Ⅲ	1		○							
	●	基礎柔道整復総論Ⅳ	1		○							
	●	基礎柔道整復総論Ⅴ	1			○						
	●	基礎柔道整復総論Ⅵ	1				○					
	●	柔道整復応用演習Ⅰ	1							○		
	●	柔道整復応用演習Ⅱ	1							○		
	●	柔道整復応用演習Ⅲ	1								○	
	●	柔道整復応用演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復各論Ⅰ	1			○						
	●	臨床柔道整復各論Ⅱ	1			○						
	●	臨床柔道整復各論Ⅲ	1				○					
	●	臨床柔道整復各論Ⅳ	1				○					
	●	臨床柔道整復各論Ⅴ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅵ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅶ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅷ	1						○			
	●	臨床柔道整復各論Ⅸ	1						○			
	●	臨床柔道整復各論Ⅹ	1						○			
	●	物理療法概論	1					○				
	●	臨床柔道整復評価学	2						○			
	●	柔道整復総合演習Ⅰ	1							○		
	●	柔道整復総合演習Ⅱ	1							○		
	●	柔道整復総合演習Ⅲ	1								○	
	●	柔道整復総合演習Ⅳ	1								○	

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	臨床柔道整復演習Ⅰ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅱ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅲ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅴ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅵ	1								○	
	●	柔道セラピー研究法	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	特別総合演習	2							□	□	
	●	基礎整復技術実習Ⅰ	2	◎								
	●	基礎整復技術実習Ⅱ	2		◎							
	●	基礎整復技術実習Ⅲ	2			◎						
	●	基礎整復技術実習Ⅳ	2			◎						
	●	臨床整復技術実習Ⅰ	2				◎					
	●	臨床整復技術実習Ⅱ	2				◎					
	●	臨床整復技術実習Ⅲ	2					◎				
	●	臨床整復技術実習Ⅳ	2					◎				
	●	臨床整復技術実習Ⅴ	2						◎			
	●	臨床整復技術実習Ⅵ	2						◎			
	●	臨床整復技術実習Ⅶ	2							◎		
	●	臨床整復技術実習Ⅷ	2								◎	
	●	基礎臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	基礎臨床実習Ⅱ	1			▽	▽					*
	●	応用臨床実習Ⅰ	1					▽	▽			*
	●	応用臨床実習Ⅱ	1							▽	▽	*

ヒューマンケア学部

柔道整復学科

2023年度入学生(学籍番号上3ケタ　123　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類		必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
基礎科目	人間と生活		2単位	4単位	124単位
	情報	2単位			
	コミュニケーション	10単位			
専門基礎科目		42単位			
専門科目		64単位			
合 計		118単位	2単位	4単位	124単位

◎選択必修について

「人間と生活」から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　柔道整復学科（2023年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『人間と生活』のなかから2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
基礎科目	人間と生活		法学	2		○							
			日本国憲法	2		○							
			人間社会と法	2	○								
			社会学	2		○							
			会計学	2				○					
			経済学	2	○								
			簿記入門	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			地域生涯学習論	2		○							
			メディアと教育	2		○							
			企業と倫理	2		○							
			生活と倫理	2		○							
			人間関係論	2		○							
			自己啓発	2	○								
			ボランティア論	2		○							
			ライフサイエンス	2	○								
			キャリアプラン	2					◇	◇			
			自然環境情報	2	○								
			都市環境情報	2	○								
			地球環境情報	2	○								
			保健体育概論	2	○								
			スポーツ文化論	2	○								
			レクリエーション論	2		○							
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
			薬の知識	2		○							
			SDGs概論	2	○								
			SDGs各論A	2		▽							
			SDGs各論B	2			▽	▽					
			SDGs各論C	2			▽	▽					
			SDGs演習	2					▽	▽			
	情報		コンピュータ概論	2		○							
		●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
	コミュニケーション	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
		●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
			TOEIC基礎Ⅰ	2	○								
			TOEIC基礎Ⅱ	2			○						
			TOEIC基礎Ⅲ	2					○				
			TOEIC基礎Ⅳ	2							○		
			TOEICⅠ	2		○							
			TOEICⅡ	2				○					
			TOEICⅢ	2						○			
			TOEICⅣ	2								○	
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
専門基礎科目	●	身体の構造Ⅰ	2	○								
	●	身体の構造Ⅱ	2		○							
	●	身体の構造Ⅲ	2			○						
	●	身体の構造Ⅳ	2					○				
	●	身体の機能Ⅰ	2	○								
	●	身体の機能Ⅱ	2		○							
	●	身体の機能Ⅲ	2			○						
	●	高齢者・競技者の生理学	2								○	
	●	疾病の科学	2					○				
	●	一般臨床医学Ⅰ	1				○					
	●	一般臨床医学Ⅱ	1					○				
	●	一般臨床医学Ⅲ	1						○			
	●	衛生学	2	○								
	●	公衆衛生概論	2		○							
	●	柔道	2				◎					
	●	運動学	2				○					
		健康と運動	2			○						
		学校保健	2		○							
	●	関係法規	1							○		
	●	職業倫理職場管理学	2								○	
	●	リハビリテーション医学	2				○					
	●	外科学	2					○				
	●	整形外科学Ⅰ	1				○					
	●	整形外科学Ⅱ	1						○			
		リハビリテーション概論	2	○								
		徒手療法	2						○			
	●	臨床柔道整復治療学	2					○				
		アロマセラピーⅠ	2			○						
		アロマセラピーⅡ	2				○					
		心理学	2	○								
		臨床心理学	2		○							
		教育相談	2			○						
		精神保健学Ⅰ	2	○								
		精神保健学Ⅱ	2		○							
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(体つくり運動)	1		○							
		スポーツ経営・管理学	2		○							
	●	社会保障	2					○				
		公的扶助	2	○								
		地域福祉	2		○							
		児童福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		障害福祉	2		○							
		発達心理学	2		○							
専門科目		スポーツ指導論	2					○				
		スポーツ心理学	2		○							
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ科学概論	1		○							
		トレーニング科学論	1			○						
		スポーツ科学演習	1				○					
		スポーツ医学入門	2		○							
		スポーツ栄養学Ⅰ	1					○				
		スポーツ医学(内科系)	1					○				
		検査・測定と評価演習Ⅰ	1			○						
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2			◎						
		医療統計学	2				○					
	●	基礎柔道整復総論Ⅰ	1	○								
	●	基礎柔道整復総論Ⅱ	1	○								
	●	基礎柔道整復総論Ⅲ	1		○							
	●	基礎柔道整復総論Ⅳ	1		○							
	●	基礎柔道整復総論Ⅴ	1			○						
	●	基礎柔道整復総論Ⅵ	1				○					

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	柔道整復応用演習Ⅰ	1							○		
	●	柔道整復応用演習Ⅱ	1							○		
	●	柔道整復応用演習Ⅲ	1								○	
	●	柔道整復応用演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復各論Ⅰ	1			○						
	●	臨床柔道整復各論Ⅱ	1			○						
	●	臨床柔道整復各論Ⅲ	1				○					
	●	臨床柔道整復各論Ⅳ	1				○					
	●	臨床柔道整復各論Ⅴ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅵ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅶ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅷ	1						○			
	●	臨床柔道整復各論Ⅸ	1						○			
	●	臨床柔道整復各論Ⅹ	1						○			
	●	物理療法概論	1					○				
	●	臨床柔道整復評価学	2						○			
	●	柔道整復総合演習Ⅰ	1							○		
	●	柔道整復総合演習Ⅱ	1							○		
	●	柔道整復総合演習Ⅲ	1								○	
	●	柔道整復総合演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅰ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅱ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅲ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅴ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅵ	1								○	
	●	柔道セラピー研究法	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	特別総合演習	2							□	□	
	●	基礎整復技術実習Ⅰ	2	◎								
	●	基礎整復技術実習Ⅱ	2		◎							
	●	基礎整復技術実習Ⅲ	2			◎						
	●	基礎整復技術実習Ⅳ	2			◎						
	●	臨床整復技術実習Ⅰ	2				◎					
	●	臨床整復技術実習Ⅱ	2				◎					
	●	臨床整復技術実習Ⅲ	2					◎				
	●	臨床整復技術実習Ⅳ	2					◎				
	●	臨床整復技術実習Ⅴ	2						◎			
	●	臨床整復技術実習Ⅵ	2						◎			
	●	臨床整復技術実習Ⅶ	2							◎		
	●	臨床整復技術実習Ⅷ	2								◎	
	●	基礎臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	基礎臨床実習Ⅱ	1			▽	▽					*
	●	応用臨床実習Ⅰ	1					▽	▽			*
	●	応用臨床実習Ⅱ	1							▽	▽	*

ヒューマンケア学部

柔道整復学科

2019年度～2022年度入学生(学籍番号上3ケタ　119～122　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類		必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
基礎科目	人間と生活		2単位	4単位	124単位
	情報	2単位			
	コミュニケーション	10単位			
専門基礎科目		42単位			
専門科目		64単位			
合 計		118単位	2単位	4単位	124単位

◎選択必修について

「人間と生活」から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　柔道整復学科（2019年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

119～122

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『人間と生活』のなかから2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
基礎科目	人間と生活		法学	2		○							
			日本国憲法	2		○							
			人間社会と法	2	○								
			社会学	2		○							
			会計学	2				○					
			経済学	2	○								
			簿記入門	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			地域生涯学習論	2		○							
			メディアと教育	2		○							
			企業と倫理	2		○							
			生活と倫理	2		○							
			人間関係論	2		○							
			自己啓発	2	○								
			ボランティア論	2		○							
			ライフサイエンス	2	○								
			キャリアプラン	2					◇	◇			
			自然環境情報	2	○								
			都市環境情報	2	○								
			地球環境情報	2	○								
			保健体育概論	2	○								
			スポーツ文化論	2	○								
			レクリエーション論	2		○							
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
			薬の知識	2		○							
	情報		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎								
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
	コミュニケーション	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
		●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
			TOEIC基礎Ⅰ	2	○								
			TOEIC基礎Ⅱ	2			○						
			TOEIC基礎Ⅲ	2					○				
			TOEIC基礎Ⅳ	2							○		
			TOEICⅠ	2		○							
			TOEICⅡ	2				○					
			TOEICⅢ	2						○			
			TOEICⅣ	2								○	
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
専門基礎科目	●	身体の構造Ⅰ	2	○								
	●	身体の構造Ⅱ	2		○							
	●	身体の構造Ⅲ	2			○						
	●	身体の構造Ⅳ	2					○				
	●	身体の機能Ⅰ	2	○								
	●	身体の機能Ⅱ	2		○							
	●	身体の機能Ⅲ	2			○						
	●	高齢者・競技者の生理学	2								○	
	●	疾病の科学	2					○				
	●	一般臨床医学Ⅰ	1				○					
	●	一般臨床医学Ⅱ	1					○				
	●	一般臨床医学Ⅲ	1						○			
	●	衛生学	2	○								
	●	公衆衛生概論	2		○							
	●	柔道	2				◎					
	●	運動学	2				○					
		健康と運動	2			○						
		学校保健	2		○							
	●	関係法規	1							○		
	●	職業倫理職場管理学	2								○	
	●	リハビリテーション医学	2				○					
	●	外科学	2					○				
	●	整形外科学Ⅰ	1				○					
	●	整形外科学Ⅱ	1						○			
		リハビリテーション概論	2	○								
		徒手療法	2						○			
	●	臨床柔道整復治療学	2					○				
		アロマセラピーⅠ	2			○						
		アロマセラピーⅡ	2				○					
		心理学	2	○								
		臨床心理学	2		○							
		教育相談	2			○						
		精神保健学Ⅰ	2	○								
		精神保健学Ⅱ	2		○							
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		体育実技（陸上競技）	1	▽	▽							
		体育実技（水泳）	1	▽	▽							
		体育実技（球技）	1	○								
		体育実技（器械運動）	1		○							
		体育実技（ダンス）	1	○								
		体育実技（体つくり運動）	1		○							
		スポーツ経営・管理学	2		○							
	●	社会保障	2					○				
		公的扶助	2	○								
		地域福祉	2		○							
		児童福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		障害福祉	2		○							
		発達心理学	2		○							
専門科目		スポーツ指導論	2						○			
		スポーツ心理学	2		○							
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ科学概論	1		○							
		トレーニング科学論	1			○						
		スポーツ科学演習	1				○					
		スポーツ医学入門	2		○							
		スポーツ栄養学Ⅰ	1					○				
		スポーツ医学（内科系）	1					○				
		検査・測定と評価演習Ⅰ	1			○						
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2			◎						
		医療統計学	2				○					
	●	基礎柔道整復総論Ⅰ	1	○								
	●	基礎柔道整復総論Ⅱ	1	○								
	●	基礎柔道整復総論Ⅲ	1		○							
	●	基礎柔道整復総論Ⅳ	1		○							
	●	基礎柔道整復総論Ⅴ	1			○						
	●	基礎柔道整復総論Ⅵ	1				○					

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	柔道整復応用演習Ⅰ	1							○		
	●	柔道整復応用演習Ⅱ	1							○		
	●	柔道整復応用演習Ⅲ	1								○	
	●	柔道整復応用演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復各論Ⅰ	1			○						
	●	臨床柔道整復各論Ⅱ	1			○						
	●	臨床柔道整復各論Ⅲ	1				○					
	●	臨床柔道整復各論Ⅳ	1				○					
	●	臨床柔道整復各論Ⅴ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅵ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅶ	1					○				
	●	臨床柔道整復各論Ⅷ	1						○			
	●	臨床柔道整復各論Ⅸ	1						○			
	●	臨床柔道整復各論Ⅹ	1						○			
	●	物理療法概論	1					○				
	●	臨床柔道整復評価学	2						○			
	●	柔道整復総合演習Ⅰ	1							○		
	●	柔道整復総合演習Ⅱ	1							○		
	●	柔道整復総合演習Ⅲ	1								○	
	●	柔道整復総合演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅰ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅱ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅲ	1							○		
	●	臨床柔道整復演習Ⅳ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅴ	1								○	
	●	臨床柔道整復演習Ⅵ	1								○	
	●	柔道セラピー研究法	1					○				
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	特別総合演習	2							□	□	
	●	基礎整復技術実習Ⅰ	2	◎								
	●	基礎整復技術実習Ⅱ	2		◎							
	●	基礎整復技術実習Ⅲ	2			◎						
	●	基礎整復技術実習Ⅳ	2			◎						
	●	臨床整復技術実習Ⅰ	2				◎					
	●	臨床整復技術実習Ⅱ	2				◎					
	●	臨床整復技術実習Ⅲ	2					◎				
	●	臨床整復技術実習Ⅳ	2					◎				
	●	臨床整復技術実習Ⅴ	2						◎			
	●	臨床整復技術実習Ⅵ	2						◎			
	●	臨床整復技術実習Ⅶ	2							◎		
	●	臨床整復技術実習Ⅷ	2								◎	
	●	基礎臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	基礎臨床実習Ⅱ	1			▽	▽					*
	●	応用臨床実習Ⅰ	1					▽	▽			*
	●	応用臨床実習Ⅱ	1							▽	▽	*

ヒューマンケア学部

鍼灸学科

2024年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　124～126　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	12単位	2単位	8単位	124単位
専門基礎科目	27単位			
専門科目	75単位			
合計	114単位	2単位	8単位	124単位

◎選択必修について

「教養科目」の必修科目以外から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　鍼灸学科　（2024年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

124～126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし『教養科目』の必修科目以外から2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2		◎							
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		教育原理	2		○							
		教育方法・ICT活用論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	身体の構造Ⅰ	2	○								
	●	身体の構造Ⅱ	2		○							
	●	身体の機能Ⅰ	2	○								
	●	身体の機能Ⅱ	2		○							
	●	疾病の科学	2			○						
		疾病の歴史	2		○							
	●	医学一般	2			○						
	●	臨床医学（内科系）	2				○					
	●	臨床医学（外科系）	1			◇						
	●	臨床医学（神経系）	2				○					
		薬の科学	2	○								
		栄養学	2		○							
	●	公衆衛生概論	2				○					
	●	運動学	2					○				

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
専門基礎科目	●	医療概論	2	○								
		保健医療社会学	2		○							
	●	リハビリテーション学	2						○			
	●	関係法規	2					○				
		アロマセラピーⅠ	2	○								
		アロマセラピーⅡ	2		○							
		臨床心理学	2		○							
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		スポーツ医学入門	2		○							
		体育実技（陸上競技）	1	▽	▽							*
		体育実技（水泳）	1	▽	▽							*
		体育実技（ダンス）	1	○								
		発達心理学	2		○							
専門科目		スポーツ心理学	2		○							
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ科学概論	1		○							
		トレーニング科学論	1			○						
		トレーニング科学演習	2				○					
		スポーツ医学(内科系)	1					○				
		スポーツ栄養学	2					○				
		検査・測定と評価	2			○						
		コンディショニング演習Ⅰ	1			○						
	●	形態機能学Ⅰ	2			○						
	●	形態機能学Ⅱ	2				○					
	●	形態機能学Ⅲ	2					○				
	●	形態機能学Ⅳ	2						○			
	●	体表解剖学	2			○						
		オステオパシー（骨）	2				○					
	●	東洋医学概論Ⅰ	2	○								
	●	東洋医学概論Ⅱ	2	○								
	●	東洋医学概論Ⅲ	2		○							
	●	東洋医学概論Ⅳ	2			○						
	●	鍼灸理論Ⅰ	2			○						
	●	鍼灸理論Ⅱ	2				○					
	●	基礎鍼灸セラピー実習	2	◎								
	●	臨床医学診断Ⅰ	2			○						
	●	臨床医学診断Ⅱ	2				○					
	●	臨床医学診断Ⅲ	2					○				
	●	臨床診断実習Ⅰ	2			◎						
	●	臨床診断実習Ⅱ	2				◎					
	●	経絡経穴Ⅰ	2		○							
	●	経絡経穴Ⅱ	2			○						
	●	鍼灸実習Ⅰ	2		◎							
	●	鍼灸実習Ⅱ	2			◎						
	●	鍼灸実習Ⅲ	2				◎					
	●	臨床鍼灸Ⅰ	2				○					
	●	臨床鍼灸Ⅱ	2					○				
	●	臨床鍼灸実習Ⅰ	2					◎				
	●	臨床鍼灸実習Ⅱ	2						◎			
	●	臨床鍼灸実習Ⅲ	1					▽	▽			
	●	社会鍼灸	2					▽	▽			
	●	臨床見学実習	1	▽	▽							*
	●	臨床鍼灸総合実習	3							▽	▽	
		卒業研究Ⅰ	2						▽			
		卒業研究Ⅱ	2							▽		
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅱ	4								◎	
	●	特別総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	特別総合演習Ⅱ	4								◎	

ヒューマンケア学部

鍼灸学科

2023年度入学生(学籍番号上3ケタ　123　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	12単位	2単位	8単位	124単位
専門基礎科目	27単位			
専門科目	75単位			
合計	114単位	2単位	8単位	124単位

◎選択必修について

「教養科目」の必修科目以外から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　鍼灸学科　（2023年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

123

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし『教養科目』の必修科目以外から2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2		◎							
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		教育原理	2		○							
		教育方法・ICT活用論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	身体の構造Ⅰ	2	○								
	●	身体の構造Ⅱ	2		○							
	●	身体の機能Ⅰ	2	○								
	●	身体の機能Ⅱ	2		○							
	●	疾病の科学	2			○						
		疾病の歴史	2		○							
	●	医学一般	2			○						
	●	臨床医学（内科系）	2				○					
	●	臨床医学（外科系）	1			◇						
	●	臨床医学（神経系）	2				○					
		薬の科学	2	○								
		栄養学	2		○							
	●	公衆衛生概論	2				○					
	●	運動学	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	●	医療概論	2	○								
		保健医療社会学	2		○							
	●	リハビリテーション学	2						○			
	●	関係法規	2					○				
		アロマセラピーⅠ	2	○								
		アロマセラピーⅡ	2		○							
		臨床心理学	2		○							
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		スポーツ医学入門	2		○							
		体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							*
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							*
		体育実技(ダンス)	1	○								
		発達心理学	2		○							
専門科目		スポーツ心理学	2		○							
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ科学概論	1		○							
		トレーニング科学論	1			○						
		スポーツ科学演習	1				○					
		スポーツ医学(内科系)	1					○				
		スポーツ栄養学Ⅰ	1					○				
		検査・測定と評価演習Ⅰ	1			○						
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2			◎						
	●	形態機能学Ⅰ	2			○						
	●	形態機能学Ⅱ	2				○					
	●	形態機能学Ⅲ	2					○				
	●	形態機能学Ⅳ	2						○			
	●	体表解剖学	2			○						
		オステオパシー(骨)	2				○					
	●	東洋医学概論Ⅰ	2	○								
	●	東洋医学概論Ⅱ	2	○								
	●	東洋医学概論Ⅲ	2		○							
	●	東洋医学概論Ⅳ	2			○						
	●	鍼灸理論Ⅰ	2			○						
	●	鍼灸理論Ⅱ	2				○					
	●	基礎鍼灸セラピー実習	2	◎								
	●	臨床医学診断Ⅰ	2			○						
	●	臨床医学診断Ⅱ	2				○					
	●	臨床医学診断Ⅲ	2					○				
	●	臨床診断実習Ⅰ	2			◎						
	●	臨床診断実習Ⅱ	2				◎					
	●	経絡経穴Ⅰ	2		○							
	●	経絡経穴Ⅱ	2			○						
	●	鍼灸実習Ⅰ	2		◎							
	●	鍼灸実習Ⅱ	2			◎						
	●	鍼灸実習Ⅲ	2				◎					
	●	臨床鍼灸Ⅰ	2				○					
	●	臨床鍼灸Ⅱ	2					○				
	●	臨床鍼灸実習Ⅰ	2					◎				
	●	臨床鍼灸実習Ⅱ	2						◎			
	●	臨床鍼灸実習Ⅲ	1					▽	▽			
	●	社会鍼灸	2					▽	▽			
	●	臨床見学実習	1	▽	▽							*
	●	臨床鍼灸総合実習	3							▽	▽	
		卒業研究Ⅰ	2						▽			
		卒業研究Ⅱ	2							▽		
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅱ	4								◎	
	●	特別総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	特別総合演習Ⅱ	4								◎	

ヒューマンケア学部

鍼灸学科

2022年度入学生(学籍番号上3ケタ　122　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	12単位	2単位	8単位	124単位
専門基礎科目	27単位			
専門科目	75単位			
合計	114単位	2単位	8単位	124単位

◎選択必修について

「教養科目」の必修科目以外から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　鍼灸学科　（2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

122

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし『教養科目』の必修科目以外から2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2		◎							
		TOEIC英語	2		○							
		読書ゼミナール	2	○								
		社会学	2		○							
		暮らしと法律	2	○								
		経営・経済学	2		○							
		簿記学	2	○								
		社会保障	2	○								
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		教育原理	2		○							
		教育方法・技術論	2	○								
		医療の歴史	2	○								
		こころと体の健康	2		○							
		人間関係論	2		○							
		異文化理解	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		国際リハビリテーション	2	○								
		統計基礎	2	○								
		自然環境と防災	2	○								
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		ボランティア論	2		○							
専門基礎科目	●	身体の構造Ⅰ	2	○								
	●	身体の構造Ⅱ	2		○							
	●	身体の機能Ⅰ	2	○								
	●	身体の機能Ⅱ	2		○							
	●	疾病の科学	2			○						
		疾病の歴史	2		○							
	●	医学一般	2			○						
	●	臨床医学（内科系）	2				○					
	●	臨床医学（外科系）	1			◇						
	●	臨床医学（神経系）	2				○					
		薬の科学	2	○								
		栄養学	2		○							
	●	公衆衛生概論	2				○					
	●	運動学	2					○				
	●	医療概論	2	○								
		保健医療社会学	2		○							
	●	リハビリテーション学	2						○			
	●	関係法規	2					○				

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目		アロマセラピーⅠ	2	○								
		アロマセラピーⅡ	2		○							
		臨床心理学	2		○							
		スポーツ文化論	2	○								
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		スポーツ医学入門	2		○							
		体育実技（陸上競技）	1	▽	▽							*
		体育実技（水泳）	1	▽	▽							*
		体育実技（ダンス）	1	○								
		発達心理学	2		○							
専門科目		スポーツ心理学	2		○							
		スポーツ社会学	2		○							
		スポーツ科学概論	1		○							
		トレーニング科学論	1			○						
		スポーツ科学演習	1				○					
		スポーツ医学(内科系)	1					○				
		スポーツ栄養学Ⅰ	1					○				
		検査・測定と評価演習Ⅰ	1			○						
		スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2			◎						
	●	形態機能学Ⅰ	2			○						
	●	形態機能学Ⅱ	2				○					
	●	形態機能学Ⅲ	2					○				
	●	形態機能学Ⅳ	2						○			
	●	体表解剖学	2			○						
		オステオパシー（骨）	2				○					
	●	東洋医学概論Ⅰ	2	○								
	●	東洋医学概論Ⅱ	2	○								
	●	東洋医学概論Ⅲ	2		○							
	●	東洋医学概論Ⅳ	2			○						
	●	鍼灸理論Ⅰ	2			○						
	●	鍼灸理論Ⅱ	2				○					
	●	基礎鍼灸セラピー実習	2	◎								
	●	臨床医学診断Ⅰ	2			○						
	●	臨床医学診断Ⅱ	2				○					
	●	臨床医学診断Ⅲ	2					○				
	●	臨床診断実習Ⅰ	2			◎						
	●	臨床診断実習Ⅱ	2				◎					
	●	経絡経穴Ⅰ	2		○							
	●	経絡経穴Ⅱ	2			○						
	●	鍼灸実習Ⅰ	2		◎							
	●	鍼灸実習Ⅱ	2			◎						
	●	鍼灸実習Ⅲ	2				◎					
	●	臨床鍼灸Ⅰ	2				○					
	●	臨床鍼灸Ⅱ	2					○				
	●	臨床鍼灸実習Ⅰ	2					◎				
	●	臨床鍼灸実習Ⅱ	2						◎			
	●	臨床鍼灸実習Ⅲ	1					▽	▽			
	●	社会鍼灸	2					▽	▽			
	●	臨床見学実習	1	▽	▽							*
	●	臨床鍼灸総合実習	3							▽	▽	
		卒業研究Ⅰ	2						▽			
		卒業研究Ⅱ	2							▽		
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅱ	4								◎	
	●	特別総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	特別総合演習Ⅱ	4								◎	

ヒューマンケア学部

鍼灸学科

2019年度～2021年度入学生(学籍番号上3ケタ　119～121　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類		必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
基礎科目	人間と生活		2単位	7単位	124単位
	情報	2単位			
	コミュニケーション	10単位			
専門基礎科目		30単位			
専門科目		73単位			
合 計		115単位	2単位	7単位	124単位

◎選択必修について

「人間と生活」から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

ヒューマンケア学部　鍼灸学科　（2019年度～2021年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

119～121

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『人間と生活』のなかから2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
基礎科目	人間と生活		法学	2		○							
			日本国憲法	2		○							
			人間社会と法	2	○								
			社会学	2		○							
			会計学	2				○					
			経済学	2	○								
			簿記入門	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			企業と倫理	2		○							
			生活と倫理	2		○							
			人間関係論	2		○							
			自己啓発	2	○								
			ボランティア論	2		○							
			ライフサイエンス	2	○								
			キャリアプラン	2					◇	◇			
			自然環境情報	2	○								
			都市環境情報	2	○								
			地球環境情報	2	○								
			スポーツ文化論	2	○								
			レクリエーション論	2		○							
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
	情報		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2		◎							
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
	コミュニケーション	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
		●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
			TOEIC基礎Ⅰ	2	○								
			TOEIC基礎Ⅱ	2			○						
			TOEIC基礎Ⅲ	2					○				
			TOEIC基礎Ⅳ	2							○		
			TOEICⅠ	2		○							
			TOEICⅡ	2				○					
			TOEICⅢ	2						○			
			TOEICⅣ	2								○	
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*

区分		●は必修科目		単位数	履修年次								備考
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
専門基礎・教養科目群	専門基礎科目	●	身体の構造Ⅰ	2	○								
		●	身体の構造Ⅱ	2		○							
		●	身体の機能Ⅰ	2	○								
		●	身体の機能Ⅱ	2		○							
		●	疾病の科学	2			○						
			疾病の歴史	2		○							
		●	医学一般Ⅰ	2			○						
		●	医学一般Ⅱ	2				○					
		●	臨床医学Ⅰ(内科系)	2				○					
		●	臨床医学Ⅱ(外科系)	2					○				
		●	臨床医学Ⅲ(神経系)	2						○			
			小児科学	2				○					
		●	リハビリテーション医学	2						○			
			薬の科学	2	○								
			栄養学	2		○							
		●	公衆衛生概論	2				○					
		●	運動学	2					○				
		●	医療概論	2	○								
			社会福祉	2		○							
			保健医療社会学	2		○							
			リハビリテーション概論	2	○								
		●	関係法規	2					○				
			アロマセラピーⅠ	2	○								
			アロマセラピーⅡ	2		○							
			心理学	2	○								
			臨床心理学	2		○							
			精神保健学Ⅰ	2	○								
			精神保健学Ⅱ	2		○							
			スポーツトレーニング入門	2	○								
			スポーツ医学入門	2		○							
			体育実技(陸上競技)	1	▽	▽							
			体育実技(水泳)	1	▽	▽							
			体育実技(ダンス)	1	○								
			社会保障	2	○								
			公的扶助	2			○						
			地域福祉	2		○							
			児童福祉	2		○							
			老人福祉	2	○								
			障害福祉	2		○							
			発達心理学	2		○							
	専門科目		スポーツ心理学	2		○							
			スポーツ社会学	2		○							
			スポーツ科学概論	1		○							
			トレーニング科学論	1			○						
			スポーツ科学演習	1				○					
			スポーツ医学(内科系)	1					○				
			スポーツ栄養学Ⅰ	1					○				
			検査・測定と評価演習Ⅰ	1			○						
			スポーツコンディショニング演習Ⅰ	2			◎						
		●	形態機能学Ⅰ	2			○						
		●	形態機能学Ⅱ	2				○					
		●	形態機能学Ⅲ	2					○				
		●	形態機能学Ⅳ	2						○			
			マイオケア(筋肉)	2			○						
			オステオパシー(骨)	2				○					
		●	東洋医学概論Ⅰ	2	○								
		●	東洋医学概論Ⅱ	2	○								
		●	東洋医学概論Ⅲ	2		○							
		●	東洋医学概論Ⅳ	2			○						
			伝統医療	2		○							
			医療統計学	2		○							
		●	鍼灸理論Ⅰ	2			○						
		●	鍼灸理論Ⅱ	2				○					
		●	基礎鍼灸セラピー実習	2	◎								

区分	●は必修科目		単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
専門科目	●	臨床医学診断Ⅰ	2			○						
	●	臨床医学診断Ⅱ	2				○					
	●	臨床医学診断Ⅲ	2					○				
	●	臨床診断実習Ⅰ	2			◎						
	●	臨床診断実習Ⅱ	2				◎					
	●	経絡経穴Ⅰ	2		○							
	●	経絡経穴Ⅱ	2			○						
	●	鍼灸実習Ⅰ	2		◎							
	●	鍼灸実習Ⅱ	2			◎						
	●	鍼灸実習Ⅲ	2				◎					
	●	臨床鍼灸Ⅰ	2				○					
	●	臨床鍼灸Ⅱ	2					○				
	●	臨床鍼灸実習Ⅰ	2					◎				
	●	臨床鍼灸実習Ⅱ	2						◎			
	●	臨床鍼灸実習Ⅲ	1					▽	▽			*
	●	社会鍼灸	2					▽	▽			
	●	臨床鍼灸総合実習	4							▽	▽	*
		卒業研究Ⅰ	2						▽			
		卒業研究Ⅱ	4							▽	▽	
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	鍼灸セラピー総合演習Ⅱ	4								◎	
	●	特別総合演習Ⅰ	4							◎		
	●	特別総合演習Ⅱ	4								◎	

薬学部

薬学科

2024年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　324～326　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計192単位以上です。

<table>
<tr><th>科目分類</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>卒業単位(合計)</th></tr>
<tr><td>一般教養系科目・薬学準備教育科目</td><td>2単位</td><td>6単位(※1)</td><td rowspan="14">7単位</td><td rowspan="14">192単位</td></tr>
<tr><td>語学科目</td><td>5単位</td><td></td></tr>
<tr><td>薬学準備教育科目</td><td>8単位</td><td></td></tr>
<tr><td>セミナー科目</td><td>9単位</td><td></td></tr>
<tr><td>倫理・法規・制度系科目</td><td>7単位</td><td></td></tr>
<tr><td>物理系科目</td><td>4単位</td><td></td></tr>
<tr><td>化学系科目</td><td>7単位</td><td></td></tr>
<tr><td>生物系科目</td><td>7単位</td><td></td></tr>
<tr><td>衛生薬学系科目</td><td>6単位</td><td></td></tr>
<tr><td>医療薬学系科目</td><td>23単位</td><td></td></tr>
<tr><td>アドバンス科目</td><td></td><td>4単位(※2)</td></tr>
<tr><td>薬学臨床系科目</td><td>46単位</td><td rowspan="2">14単位(※3)</td></tr>
<tr><td>薬学基礎実習・薬学研究・総合科目</td><td>37単位</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>161単位</td><td>24単位</td><td>7単位</td><td>192単位</td></tr>
</table>

◎選択必修について

※1　一般教養系科目の選択必修科目から6単位以上を修得すること。
（6単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）
ただし、「公衆衛生学」、「保健医療福祉行政論」、「公衆衛生看護管理論」は、
薬剤師・保健師連携コースの学生のみ選択可能であり、同コースの履修者は同3科目を含め
6単位以上修得すること。

※2　アドバンス科目の選択必修科目から、4単位以上を修得すること。
（4単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）

※3　薬学臨床系科目・薬学基礎実習・薬学研究・総合科目から14単位以上を修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

薬学部　薬学科（6年制）（2024年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

324～326

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

192単位以上を選択必修（必修科目を含む）
ただし、一般教養系科目の選択必修科目から6単位以上を、アドバンス科目の選択必修科目から
4単位以上、薬学臨床系科目・薬学基礎実習・薬学研究・総合科目の選択必修科目から14単位を修得すること。

履修年次の読み方

○は週1回または週2回の授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目 ※は選択必修科目		単位数	履修年次												備考
					1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
教養系科目	一般教養系科目		日本国憲法	2		○											
			心理学	2	○												
			発達心理学	2		○											
			社会学	2		○											
			生涯学習論	2	○												
			地域生涯学習論	2		○											
			ボランティア論	2		○											
			くらしと経済	2		○											
			就職支援A	2	○												
			就職支援B	2		○											
			地球環境と防災	2	○												
			レクリエーション論	2	○												
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○												
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○											
		●	情報リテラシー演習・DS概論	2	○												
			国際コミュニケーションⅠ	4		○											英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4		○											フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4		○											ドイツ語
			ホリデー留学	4		▽		▽		▽		▽					学外実習・研修
			SDGs概論	2	○												
			SDGs各論A	2		▽											
			SDGs各論B	2				▽									
			SDGs各論C	2				▽									
			SDGs演習	2						▽							
		※	人間社会と医療	2	○												※印の内6単位選択必修
		※	生活と倫理	2		○											
		※	疾病の歴史	2		○											
		※	精神保健学Ⅰ	2	○												
		※	精神保健学Ⅱ	2		○											
		※	公衆衛生学	2	○												薬剤師・保健師連携コース
		※	保健医療福祉行政論	2			○										薬剤師・保健師連携コース
		※	公衆衛生看護管理論	2					○								薬剤師・保健師連携コース
	語学科目	●	英語Ⅰ	1		○											
		●	英語Ⅱ	1				▽									
		●	英語Ⅲ	1						▽							
		●	医療英語Ⅰ	1							○						
		●	医療英語Ⅱ	1								○					
	薬学準備教育科目	●	薬学概論	1	○												
		●	物理学基礎	1	○												
		●	化学基礎	1	○												
		●	生物学基礎	1	○												
		●	数学基礎	1	○												
		●	英語基礎	1	○												
		●	アカデミックスキル	1	○												
		●	薬学数学	1		○											
		※	物理学基礎演習	1	○												指名された学生
		※	化学基礎演習	1	○												指名された学生
		※	数学基礎演習	1	○												指名された学生
薬学専門科目	セミナー科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	▽												
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		▽											
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			▽										
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				▽									
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					▽								
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						▽							
		●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽						
		●	アドバンスセミナーⅢ	1									▽				
		●	アドバンスセミナーⅣ	1											▽		
	倫理・法規・制度系科目	●	命とこころ	1	○												
		●	医療心理学	1		○											
		●	医療コミュニケーション	1			○										
		●	社会保障論	1						○							
		●	医療倫理	1							○						
		●	薬事関係法規	1							○						
		●	地域医療	1								○					
	物理系科目	●	薬品分析化学Ⅰ	1		○											
		●	薬品分析化学Ⅱ	1			○										
		●	薬品物理化学Ⅰ	1			○										
		●	薬品物理化学Ⅱ	1				○									

区分			授業科目 ●は必修科目 ※は選択必修科目	単位数	履修年次												備考
					1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
薬学専門科目	化学系科目	●	有機化学Ⅰ	1		○											
		●	有機化学Ⅱ	1			○										
		●	有機化学Ⅲ	1				○									
		●	医薬品化学Ⅰ	1					○								
		●	医薬品化学Ⅱ	1						○							
			医薬品合成化学	1						○							
		●	薬用植物学・生薬学	1		○											
		●	天然物化学	1					○								
	生物系科目	●	解剖生理学Ⅰ	1		○											
		●	解剖生理学Ⅱ	1			○										
		●	生化学Ⅰ	1		○											
		●	生化学Ⅱ	1			○										
		●	生化学Ⅲ	1				○									
		●	微生物学	1			○										
		●	免疫学	1				○									
	衛生薬学系科目	●	栄養薬学	1				○									
		●	衛生薬学Ⅰ	1					○								
		●	衛生薬学Ⅱ	1					○								
		●	衛生薬学Ⅲ	1						○							
		●	衛生薬学演習	2							▽						
	医療薬学系科目	●	医療統計学	1			○										
		●	基礎病態生理学	1			○										
		●	薬理学Ⅰ	1			○										
		●	薬理学Ⅱ	1				○									
		●	薬理学Ⅲ	1					○								
		●	薬理学Ⅳ	1						○							
		●	漢方薬	1						○							
		●	薬物治療学Ⅰ	1					○								
		●	薬物治療学Ⅱ	1						○							
		●	薬物治療学Ⅲ	1						○							
		●	薬物治療学Ⅳ	1							○						
		●	医薬品の有害作用	1							○						
		●	物理薬剤学	1				○									
		●	製剤学	1					○								
		●	生物薬剤学	1				○									
		●	薬物動態解析	1					○								
		●	応用薬剤学	1							○						
		●	調剤学Ⅰ	1						○							
		●	調剤学Ⅱ	1							○						
		●	医薬品情報学	1					○								
		●	デジタル医療	1								○					
		●	セルフメディケーション	1							○						
		●	サプリメント	1								○					
			アロマテラピー	1				○									
薬学専門科目	薬学臨床系科目	●	多職種連携入門	1	○												
		●	アクティブラーニングⅠ	2		○											
		●	アクティブラーニングⅡ	2				○									
		●	症例解析演習Ⅰ	2					▽								
		●	症例解析演習Ⅱ	2						▽							
		●	症例解析演習Ⅲ	2							▽						
		●	症例解析演習Ⅳ	2								▽					
		●	症例解析演習Ⅴ	1											▽		
		●	臨床推論	2								▽					
		●	臨床実習Ⅰ	2						▽							
		●	臨床実習Ⅱ	8							▽						
		●	臨床実習Ⅲ	20									▽				
		※	アドバンス臨床実習	8									▽				薬学研究ⅢCを履修する学生
	薬学基礎実習・薬学研究	●	臨床基礎実習	1	○												
		●	基礎実習Ⅰ	2		○											
		●	基礎実習Ⅱ	2			○										
		●	基礎実習Ⅲ	2				○									
		●	基礎実習Ⅳ	2					○								
		●	薬学研究IA	2	▽												
		●	薬学研究IB	2			▽										
		●	薬学研究IC	2					▽								
		●	薬学研究Ⅱ	2							▽						
		※	薬学研究ⅢA	14										▽			
		※	薬学研究ⅢB	8										▽			総合演習ⅡBを履修する学生
		※	薬学研究ⅢC	6										▽			アドバンス臨床実習(研究)を履修学生
	アドバンス科目	※	医薬特別講義Ⅰ	2											▽		※印の内4単位選択必修
		※	医薬特別講義Ⅱ	2											▽		
		※	医薬特別講義Ⅲ	2											▽		
		※	医薬特別講義Ⅳ	2											▽		
	総合科目	●	総合演習Ⅰ	6							▽						
		●	総合演習ⅡA	4									▽				
		※	総合演習ⅡB	6									▽				薬学研究ⅢBを履修する学生
		●	総括講義Ⅰ	7											▽		
		●	総括講義Ⅱ	3												▽	

薬学部

薬学科

2023年度入学生(学籍番号上3ケタ　323　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計192単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
一般教養系科目	2単位	8単位 (※1)	7単位	192単位
語学科目	6単位			
薬学準備教育科目	8単位			
セミナー科目	9単位			
倫理・法規・制度系科目	5単位			
物理系科目	5単位			
化学系科目	10単位			
生物系科目	12単位			
衛生薬学系科目	6単位			
医療薬学系科目	23単位			
薬学臨床系科目	32単位			
薬学実習・卒業研究	30単位			
アドバンス科目	4単位	4単位 (※2)		
総合科目	21単位			
合計	173単位	12単位	7単位	192単位

◎選択必修について

※1　一般教養系科目の選択必修科目から、8単位以上を修得すること。
（8単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）
ただし、「公衆衛生学」、「保健医療福祉行政論」、「公衆衛生看護管理論」は、
薬剤師・保健師連携コースの学生のみ選択可能であり、同コースの履修者は同3科目を含め
8単位以上修得すること。

※2　アドバンス科目の選択必修科目から、4単位以上を修得すること。
（4単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

薬学部　薬学科（6年制）（2023年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

323

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

192単位以上を修得すること。（必修科目を含む）

ただし、『一般教養系科目』の選択必修科目から8単位以上を、『アドバンス科目』の選択必修科目から4単位以上を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。

☆は半期の半分で15回行う授業。（クオーター制対象科目）

□は通年で30回行う授業。

◇は半期で8回行う授業。

▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前 1Q	2年次 前 2Q	2年次 後 3Q	2年次 後 4Q	3年次 前 1Q	3年次 前 2Q	3年次 後 3Q	3年次 後 4Q	4年次 前 1Q	4年次 前 2Q	4年次 後 3Q	4年次 後 4Q	5年次 前	5年次 後	6年次 前	6年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養系科目	一般教養系科目	日本国憲法	2		○																	
		心理学	2	○																		
		発達心理学	2		○																	
		社会学	2		○																	
		生涯学習論	2	○																		
		地域生涯学習論	2		○																	
		ボランティア論	2		○																	
		くらしと経済	2		○																	
		就職支援A	2	○																		
		就職支援B	2		○																	
		地球環境と防災	2	○																		
		レクリエーション論	2	○																		
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○																		
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○																	
		● 情報リテラシー演習・DS概論	2	◎																		
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□																	英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□																	フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□																	ドイツ語
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽		▽		▽		▽		▽		▽						*
		SDGs概論	2	○																		
		SDGs各論A	2		▽																	
		SDGs各論B	2			▽	▽	▽	▽													
		SDGs各論C	2			▽	▽	▽	▽													
		SDGs演習	2							▽	▽	▽	▽									
		※ 化学基礎演習	1		◇																	
		※ 物理学基礎演習	1		◇																	
		※ 分析化学基礎演習	1		◇																	
		※ 生物学基礎演習	1		◇																	
		※ 人間社会と医療	2	○																		
		※ 命とこころ	2	○																		
		※ 生活と倫理	2		○																	
		※ 疾病の歴史	2		○																	※印の内8単位選択必修
		※ 精神保健学Ⅰ	2	○																		
		※ 精神保健学Ⅱ	2		○																	
		※ 公衆衛生学	2	○																		薬剤師・保健師連携コース
		※ 保健医療福祉行政論	2			○																薬剤師・保健師連携コース
		※ 公衆衛生看護管理論	2							○												薬剤師・保健師連携コース
	語学科目	● 英語ⅠA	1	○																		
		● 英語ⅠB	1		○																	
		● 英語ⅡA	1			○																
		● 英語ⅡB	1					○														
		● 英語Ⅲ	1							○												
		● 英語Ⅳ	1											○								
	薬学準備教育科目	● 科学数学	1	○																		
		● 薬学数学	1		○																	
		● 薬学系化学入門	1	○																		
		● 薬学系物理学入門	1	○																		
		● 看護学入門	1	○																		
		● 薬学系分析化学入門	1	○																		
		● 生物学入門（人体）	1	○																		
		● 生物学入門（細胞）	1	○																		
薬学専門科目	セミナー科目	● フレッシュセミナーⅠA	1	○																		
		● フレッシュセミナーⅠB	1		○																	
		● フレッシュセミナーⅡA	1			○																
		● フレッシュセミナーⅡB	1					○														
		● アドバンスセミナーⅠA	1							○												
		● アドバンスセミナーⅠB	1									○										
		● アドバンスセミナーⅡ	1											▽		▽						
		● アドバンスセミナーⅢ	1															▽	▽			
		● アドバンスセミナーⅣ	1																	▽	▽	
	倫理・法規・制度系科目	● 医療倫理入門	1	○																		
		● 薬学概論	1	○																		
		● 社会保障論	1							☆												
		● 薬事関係法規	1									○										
		● 地域医療と法制度	1											○								
	物理系科目	● 薬品物理化学Ⅰ	1				☆															
		● 薬品物理化学Ⅱ	1					☆														
		● 薬品分析化学Ⅰ	1		○																	
		● 薬品分析化学Ⅱ	1			☆																
		● 日本薬局方	1												☆							
	化学系科目	● 基礎化学	1		○																	
		● 基礎有機化学	1		○																	
		● 有機化学Ⅰ	1				☆															
		● 有機化学Ⅱ	1					☆														
		● 有機化学Ⅲ	1							☆												
		● 生体有機化学	1									☆										
		● 有機構造解析	1						☆													
		● 医薬化学	1											☆								
		● 薬用植物学	1					☆														
		● 生薬学	1								☆											

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前 1Q	2年次 前 2Q	2年次 後 3Q	2年次 後 4Q	3年次 前 1Q	3年次 前 2Q	3年次 後 3Q	3年次 後 4Q	4年次 前 1Q	4年次 前 2Q	4年次 後 3Q	4年次 後 4Q	5年次 前	5年次 後	6年次 前	6年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
薬学専門科目	生物系科目	●	人体の構造・機能	1		○																
		●	生体の機能調節	1			☆															
		●	細胞生物学	1					☆													
		●	生体分子の化学	1		○																
		●	微生物学	1					☆													
		●	遺伝子の構造・機能	1			☆															
		●	タンパク質の構造・機能	1		○																
		●	代謝とエネルギー産生	1				☆														
		●	生理活性物質とシグナル伝達	1				☆														
		●	感染症と化学療法	1										☆								
		●	免疫学	1								☆										
		●	バイオテクノロジー	1												○						
	衛生薬学系科目	●	公衆衛生と健康	1					☆													
		●	栄養と健康	1			○															
		●	食品と健康	1						☆												
		●	化学物質と健康	1								☆										
		●	生活環境と健康Ⅰ	1							☆											
		●	生活環境と健康Ⅱ	1									☆									
	医療薬学系科目	●	生物統計学	1		○																
		●	病態生理学Ⅰ	1					○													
		●	病態生理学Ⅱ	1						○												
		●	薬理学Ⅰ	1				☆														
		●	薬理学Ⅱ	1					☆													
		●	薬理学Ⅲ	1						☆												
		●	薬理学Ⅳ	1								☆										
		●	薬物治療学Ⅰ	1						☆												
		●	薬物治療学Ⅱ	1							☆											
		●	薬物治療学Ⅲ	1									☆									
		●	薬物治療学Ⅳ	1											☆							
		●	物理薬剤学	1						☆												
		●	医薬品の安全性	1									☆									
		●	臨床検査学	1											☆							
		●	医薬品情報学	1										○								
		●	生物薬剤学	1							☆											
		●	薬物動態解析	1								☆										
		●	製剤学	1							☆											
		●	応用製剤学	1									☆									
		●	漢方薬	1									☆									
		●	セルフメディケーション	1												○						
		●	臨床薬物治療総合演習	2																▽	▽	
	薬学臨床系科目	●	調剤学	1								○										
		●	病院薬学	1										○								
		●	医療薬学	1										☆								
		●	処方解析	1										○								
		●	薬学臨床実習Ⅰ	8										▽		▽						
		●	薬学臨床実習Ⅱ	20														▽	▽			*
	薬学実習・卒業研究	●	薬学基礎実習	2		◎																
		●	化学系実習Ⅰ	2			◎															
		●	化学系実習Ⅱ	2						◎												
		●	生物系実習Ⅰ	2			◎															
		●	生物系実習Ⅱ	2						◎												
		●	卒業研究	20											▽		▽	▽	▽	▽	▽	
	アドバンス科目	●	病態治療統合講義Ⅰ	1											○							
		●	病態治療統合講義Ⅱ	1											○							
		●	病態治療統合講義Ⅲ	1												○						
		●	実践薬学	1																▽	▽	
			アロマセラピー	1					○													
			医薬品合成化学	1								○										
			サプリメント	1								○										
		※	医薬特別講義Ⅰ	2																▽	▽	※印の内4単位選択必修
		※	医薬特別講義Ⅱ	2																▽	▽	
		※	医薬特別講義Ⅲ	2																▽	▽	
		※	医薬特別講義Ⅳ	2																▽	▽	
	総合科目	●	基礎薬学総合演習	7												▽						
		●	薬学総括講義	14																▽	▽	

薬学部

薬学科

2022年度入学生(学籍番号上3ケタ　322　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計192単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
一般教養系科目	2単位	8単位 (※1)	7単位	192単位
語学科目	6単位			
薬学準備教育科目	8単位			
セミナー科目	9単位			
倫理・法規・制度系科目	5単位			
物理系科目	5単位			
化学系科目	10単位			
生物系科目	12単位			
衛生薬学系科目	6単位			
医療薬学系科目	23単位			
薬学臨床系科目	32単位			
薬学実習・卒業研究	30単位			
アドバンス科目	4単位	4単位 (※2)		
総合科目	21単位			
合計	173単位	12単位	7単位	192単位

◎選択必修について

※1　一般教養系科目の選択必修科目から、8単位以上を修得すること。
（8単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）
ただし、「公衆衛生学」、「保健医療福祉行政論」、「公衆衛生看護管理論」は、
薬剤師・保健師連携コースの学生のみ選択可能であり、同コースの履修者は同3科目を含め
8単位以上修得すること。

※2　アドバンス科目の選択必修科目から、4単位以上を修得すること。
（4単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

薬学部　薬学科（6年制）（2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

322

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

192単位以上を修得すること。（必修科目を含む）

ただし、『一般教養系科目』の選択必修科目から8単位以上を、『アドバンス科目』の選択必修科目から4単位以上を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。

☆は半期の半分で15回行う授業。（クオーター制対象科目）

□は通年で30回行う授業。

◇は半期で8回行う授業。

▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前 1Q	2年次 前 2Q	2年次 後 3Q	2年次 後 4Q	3年次 前 1Q	3年次 前 2Q	3年次 後 3Q	3年次 後 4Q	4年次 前 1Q	4年次 前 2Q	4年次 後 3Q	4年次 後 4Q	5年次 前	5年次 後	6年次 前	6年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養系科目	一般教養系科目		日本国憲法	2		○																
			心理学	2	○																	
			発達心理学	2		○																
			社会学	2		○																
			生涯学習論	2	○																	
			地域生涯学習論	2		○																
			ボランティア論	2		○																
			くらしと経済	2		○																
			就職支援A	2	○																	
			就職支援B	2		○																
			地球環境と防災	2	○																	
			レクリエーション論	2	○																	
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○																	
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○																
		●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎																	
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□																英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□																フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□																ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽		▽		▽		▽		▽		▽					*
		※	化学基礎演習	1		◇																
		※	物理学基礎演習	1		◇																
		※	分析化学基礎演習	1		◇																
		※	生物学基礎演習	1		◇																
		※	人間社会と医療	2	○																	
		※	命とこころ	2	○																	
		※	生活と倫理	2		○																※印の内8単位選択必修
		※	疾病の歴史	2		○																
		※	精神保健学Ⅰ	2	○																	
		※	精神保健学Ⅱ	2		○																
		※	公衆衛生学	2	○																	薬剤師・保健師連携コース
		※	保健医療福祉行政論	2			○															薬剤師・保健師連携コース
		※	公衆衛生看護管理論	2						○												薬剤師・保健師連携コース
	語学科目	●	英語ＩＡ	1	○																	
		●	英語ＩＢ	1		○																
		●	英語ⅡＡ	1			○															
		●	英語ⅡＢ	1				○														
		●	英語Ⅲ	1						○												
		●	英語Ⅳ	1										○								
	薬学準備教育科目	●	科学数学	1	○																	
		●	薬学数学	1		○																
		●	薬学系化学入門	1	○																	
		●	薬学系物理学入門	1	○																	
		●	看護学入門	1	○																	
		●	薬学系分析化学入門	1	○																	
		●	生物学入門（人体）	1	○																	
		●	生物学入門（細胞）	1	○																	
薬学専門科目	セミナー科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○																	
		●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○																
		●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○															
		●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○														
		●	アドバンスセミナーＩＡ	1						○												
		●	アドバンスセミナーＩＢ	1								○										
		●	アドバンスセミナーⅡ	1											▽		▽					
		●	アドバンスセミナーⅢ	1														▽	▽			
		●	アドバンスセミナーⅣ	1																▽	▽	
	倫理・法規・制度系科目	●	医療倫理入門	1	○																	
		●	薬学概論	1	○																	
		●	社会保障論	1						☆												
		●	薬事関係法規	1								○										
		●	地域医療と法制度	1											○							
	物理系科目	●	薬品物理化学Ⅰ	1				☆														
		●	薬品物理化学Ⅱ	1					☆													
		●	薬品分析化学Ⅰ	1		○																
		●	薬品分析化学Ⅱ	1			☆															
		●	日本薬局方	1											☆							
	化学系科目	●	基礎化学	1		○																
		●	基礎有機化学	1		○																
		●	有機化学Ⅰ	1				☆														
		●	有機化学Ⅱ	1					☆													
		●	有機化学Ⅲ	1						☆												
		●	生体有機化学	1								☆										
		●	有機構造解析	1					☆													
		●	医薬化学	1										☆								
		●	薬用植物学	1					☆													
		●	生薬学	1							☆											

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前 1Q	2年次 前 2Q	2年次 後 3Q	2年次 後 4Q	3年次 前 1Q	3年次 前 2Q	3年次 後 3Q	3年次 後 4Q	4年次 前 1Q	4年次 前 2Q	4年次 後 3Q	4年次 後 4Q	5年次 前	5年次 後	6年次 前	6年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
薬学専門科目	生物系科目	●	人体の構造・機能	1		○																
		●	生体の機能調節	1			☆															
		●	細胞生物学	1					☆													
		●	生体分子の化学	1		○																
		●	微生物学	1					☆													
		●	遺伝子の構造・機能	1			☆															
		●	タンパク質の構造・機能	1		○																
		●	代謝とエネルギー産生	1				☆														
		●	生理活性物質とシグナル伝達	1				☆														
		●	感染症と化学療法	1										☆								
		●	免疫学	1								☆										
		●	バイオテクノロジー	1												○						
	衛生薬学系科目	●	公衆衛生と健康	1					☆													
		●	栄養と健康	1			○															
		●	食品と健康	1						☆												
		●	化学物質と健康	1								☆										
		●	生活環境と健康Ⅰ	1							☆											
		●	生活環境と健康Ⅱ	1									☆									
	医療薬学系科目	●	生物統計学	1		○																
		●	病態生理学Ⅰ	1					○													
		●	病態生理学Ⅱ	1						○												
		●	薬理学Ⅰ	1				☆														
		●	薬理学Ⅱ	1					☆													
		●	薬理学Ⅲ	1						☆												
		●	薬理学Ⅳ	1								☆										
		●	薬物治療学Ⅰ	1						☆												
		●	薬物治療学Ⅱ	1							☆											
		●	薬物治療学Ⅲ	1									☆									
		●	薬物治療学Ⅳ	1											☆							
		●	物理薬剤学	1						☆												
		●	医薬品の安全性	1									☆									
		●	臨床検査学	1											☆							
		●	医薬品情報学	1										○								
		●	生物薬剤学	1							☆											
		●	薬物動態解析	1								☆										
		●	製剤学	1							☆											
		●	応用製剤学	1									☆									
		●	漢方薬	1									☆									
		●	セルフメディケーション	1												○						
		●	臨床薬物治療総合演習	2																▽	▽	
	薬学臨床系科目	●	調剤学	1								○										
		●	病院薬学	1										○								
		●	医療薬学	1										☆								
		●	処方解析	1										○								
		●	薬学臨床実習Ⅰ	8										▽		▽						
		●	薬学臨床実習Ⅱ	20														▽	▽			*
	薬学実習・卒業研究	●	薬学基礎実習	2		◎																
		●	化学系実習Ⅰ	2			◎															
		●	化学系実習Ⅱ	2						◎												
		●	生物系実習Ⅰ	2			◎															
		●	生物系実習Ⅱ	2						◎												
		●	卒業研究	20											▽		▽	▽	▽	▽	▽	
	アドバンス科目	●	病態治療統合講義Ⅰ	1											○							
		●	病態治療統合講義Ⅱ	1											○							
		●	病態治療統合講義Ⅲ	1												○						
		●	実践薬学	1																▽	▽	
			アロマセラピー	1					○													
			医薬品合成化学	1								○										
			サプリメント	1								○										
		※	医薬特別講義Ⅰ	2																▽	▽	※印の内4単位選択必修
		※	医薬特別講義Ⅱ	2																▽	▽	
		※	医薬特別講義Ⅲ	2																▽	▽	
		※	医薬特別講義Ⅳ	2																▽	▽	
	総合科目	●	基礎薬学総合演習	7												▽						
		●	薬学総括講義	14																▽	▽	

薬学部

薬学科

2019年度～2021年度入学生(学籍番号上3ケタ　319～321　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計192単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
一般教養系科目	2単位	8単位 (※1)	7単位	192単位
語学科目	6単位			
薬学準備教育科目	8単位			
セミナー科目	9単位			
倫理・法規・制度系科目	5単位			
物理系科目	5単位			
化学系科目	10単位			
生物系科目	12単位			
衛生薬学系科目	6単位			
医療薬学系科目	23単位			
薬学臨床系科目	32単位			
薬学実習・卒業研究	30単位			
アドバンス科目	4単位	4単位 (※2)		
総合科目	21単位			
合計	173単位	12単位	7単位	192単位

◎選択必修について

※1　一般教養系科目の選択必修科目から、8単位以上を修得すること。
（8単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）
ただし、「公衆衛生学」、「保健医療福祉行政論」、「公衆衛生看護管理論」は、
薬剤師・保健師連携コースの学生のみ選択可能であり、同コースの履修者は同3科目を含め
8単位以上修得すること。

※2　アドバンス科目の選択必修科目から、4単位以上を修得すること。
（4単位以上を超えて修得した単位については、選択科目として卒業要件に含まれる。）

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

薬学部　薬学科（6年制）（2019年度～2021年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

319～321

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

192単位以上を修得すること。（必修科目を含む）

ただし、『一般教養系科目』の選択必修科目から8単位以上を、『アドバンス科目』の選択必修科目から4単位以上を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。

☆は半期の半分で15回行う授業。（クオーター制対象科目）

□は通年で30回行う授業。

◇は半期で8回行う授業。

▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前 1Q	2年次 前 2Q	2年次 後 3Q	2年次 後 4Q	3年次 前 1Q	3年次 前 2Q	3年次 後 3Q	3年次 後 4Q	4年次 前 1Q	4年次 前 2Q	4年次 後 3Q	4年次 後 4Q	5年次 前	5年次 後	6年次 前	6年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養系科目	一般教養系科目		日本国憲法	2		○																
			心理学	2	○																	
			発達心理学	2		○																
			社会学	2		○																
			生涯学習論	2	○																	
			地域生涯学習論	2		○																
			自己啓発	2	○																	
			ボランティア論	2		○																
			オフィスコミュニケーション	2	○																	
			経営学	2		○																
			経済学	2		○																
			キャリアプラン	2						◇		◇										
			都市環境情報	2	○																	
			スポーツ文化論	2	○																	
			レクリエーション論	2	○																	
			レクリエーション実技Ⅰ	1	○																	
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○																
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎																	
			コンピュータ演習Ⅱ	2		◎																
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□																英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□																フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□																ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽		▽		▽		▽		▽		▽					*
		※	人間社会と医療	2	○																	※印の内8単位選択必修
		※	命とこころ	2	○																	
		※	生活と倫理	2		○																
		※	疾病の歴史	2		○																
		※	精神保健学Ⅰ	2	○																	
		※	精神保健学Ⅱ	2		○																
		※	公衆衛生学	2	○																	薬剤師・保健師連携コース
		※	保健医療福祉行政論	2				○														薬剤師・保健師連携コース
		※	公衆衛生看護管理論	2						○												薬剤師・保健師連携コース
	語学科目	●	英語ＩＡ	1	○																	
		●	英語ＩＢ	1		○																
		●	英語ⅡＡ	1			○															
		●	英語ⅡＢ	1				○														
		●	英語Ⅲ	1						○												
		●	英語Ⅳ	1											○							
	薬学準備教育科目	●	科学数学	1	○																	
		●	薬学数学	1		○																
		●	化学系薬学概論	1	○																	
		●	物理系薬学概論	1	○																	
		●	看護学入門	1	○																	
		●	分析化学概論	1	○																	
		●	生物系薬学概論Ⅰ	1	○																	
		●	生物系薬学概論Ⅱ	1		○																
薬学専門科目	セミナー科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○																	
		●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○																
		●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○															
		●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○														
		●	アドバンスセミナーＩＡ	1						○												
		●	アドバンスセミナーＩＢ	1								○										
		●	アドバンスセミナーⅡ	1											▽		▽					
		●	アドバンスセミナーⅢ	1														▽	▽			
		●	アドバンスセミナーⅣ	1																▽	▽	
	倫理・法規・制度系科目	●	医療倫理入門	1	○																	
		●	薬学入門	1	○																	
		●	社会保障論	1						☆												
		●	薬事関係法規	1								○										
		●	地域医療と法制度	1											○							
	物理系科目	●	薬品物理化学Ⅰ	1				☆														
		●	薬品物理化学Ⅱ	1					☆													
		●	薬品分析化学Ⅰ	1		○																
		●	薬品分析化学Ⅱ	1			☆															
		●	日本薬局方	1											☆							
	化学系科目	●	基礎化学	1		○																
		●	基礎有機化学	1		○																
		●	有機化学Ⅰ	1				☆														
		●	有機化学Ⅱ	1					☆													
		●	有機化学Ⅲ	1						☆												
		●	生体有機化学	1								☆										
		●	有機構造解析	1					☆													
		●	医薬化学	1										☆								
		●	薬用植物学	1					☆													
		●	生薬学	1							☆											

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次																備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次				3年次				4年次				5年次		6年次	
				前	後	前		後		前		後		前		後		前	後	前	後
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
薬学専門科目	生物系科目	● 人体の構造・機能	1		○																
		● 生体の機能調節	1			☆															
		● 細胞生物学	1						☆												
		● 生体分子の化学	1		○																
		● 微生物学	1						☆												
		● 遺伝子の構造・機能	1			☆															
		● タンパク質の構造・機能	1		○																
		● 代謝とエネルギー産生	1					☆													
		● 生理活性物質とシグナル伝達	1				☆														
		● 感染症と化学療法	1											☆							
		● 免疫学	1									☆									
		● バイオテクノロジー	1														○				
	衛生薬学系科目	● 公衆衛生と健康	1						☆												
		● 栄養と健康	1			○															
		● 食品と健康	1							☆											
		● 化学物質と健康	1									☆									
		● 生活環境と健康Ⅰ	1								☆										
		● 生活環境と健康Ⅱ	1										☆								
	医療薬学系科目	● 生物統計学	1		○																
		● 病態生理学Ⅰ	1					○													
		● 病態生理学Ⅱ	1							○											
		● 薬理学Ⅰ	1				☆														
		● 薬理学Ⅱ	1					☆													
		● 薬理学Ⅲ	1						☆												
		● 薬理学Ⅳ	1									☆									
		● 薬物治療学Ⅰ	1							☆											
		● 薬物治療学Ⅱ	1								☆										
		● 薬物治療学Ⅲ	1										☆								
		● 薬物治療学Ⅳ	1												☆						
		● 物理薬剤学	1							☆											
		● 医薬品の安全性	1										☆								
		● 臨床検査学	1												☆						
		● 医薬品情報学	1												○						
		● 生物薬剤学	1								☆										
		● 薬物動態解析	1									☆									
		● 製剤学	1								☆										
		● 応用製剤学	1										☆								
		● 漢方薬	1										☆								
		● セルフメディケーション	1														○				
		● 臨床薬物治療総合演習	2																	▽	▽
	薬学臨床系科目	● 調剤学	1									○									
		● 病院薬学	1												○						
		● 医療薬学	1											☆							
		● 処方解析	1												○						
		● 薬学臨床実習Ⅰ	8												▽		▽				
		● 薬学臨床実習Ⅱ	20															▽	▽			*
	薬学実習・卒業研究	● 薬学基礎実習	2		◎																
		● 化学系実習Ⅰ	2			◎															
		● 化学系実習Ⅱ	2							◎											
		● 生物系実習Ⅰ	2			◎															
		● 生物系実習Ⅱ	2							◎											
		● 卒業研究	20												▽		▽	▽	▽	▽	▽	
	アドバンス科目	● 病態治療統合講義Ⅰ	1												○						
		● 病態治療統合講義Ⅱ	1												○						
		● 病態治療統合講義Ⅲ	1														○				
		● 実践薬学	1																	▽	▽
		アロマセラピー	1					○													
		医薬品合成化学	1									○									
		サプリメント	1									○									
		※ 医薬特別講義Ⅰ	2																	▽	▽	※印の内4単位選択必修
		※ 医薬特別講義Ⅱ	2																	▽	▽	
		※ 医薬特別講義Ⅲ	2																	▽	▽	
		※ 医薬特別講義Ⅳ	2																	▽	▽	
	総合科目	● 基礎薬学総合演習	7														▽					
		● 薬学総括講義	14																	▽	▽	

共創学部

デジタル共創学科

2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　126　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	32単位	―	44単位	124単位
専門基礎科目	26単位	―		
専門科目	14単位	8単位		
合計	72単位	8単位	44単位	124単位

◎選択必修について

選択必修科目は※1～※4より2グループ(4科目8単位)選択すること。

◎選択科目について

専門基礎科目、専門科目から、24単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

共創学部　デジタル共創学科（2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

126

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

必修科目72単位、選択必修科目から8単位、選択科目から44単位以上を修得し、
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
選択必修科目は※1～※4より2グループ(4科目8単位)選択すること。
選択科目は24単位以上を専門基礎科目、専門科目から修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	● フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	● フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	● フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	● フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	● アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	● アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	● アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	● アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	● 英語ＩＡ	1	○								
	● 英語ＩＢ	1		○							
	● 英語ⅡＡ	1			○						
	● 英語ⅡＢ	1				○					
	● 共創リテラシー(健康医療)	1	○								
	● 共創リテラシー(スポーツ)	1	○								
	● 共創リテラシー(ビジネス)	1		○							
	● 共創リテラシー(メディア)	1		○							
	● 情報リテラシー演習	1	○								
	● データサイエンス概論	1	○								
	● コンピュータ実践演習Ⅰ	1			○						
	● コンピュータ実践演習Ⅱ	1				○					
	医療・コンピュータサイエンス	2						○			
	TOEIC英語	2		○							
	自然環境と防災	2	○								
	社会学	2		○							
	暮らしと法律	2	○								
	日本国憲法	2		○							
	経営・経済学	2		○							
	企業と倫理	2		○							
	簿記学	2	○								
	会計学	2				○					
	医療の歴史	2	○								
	心理学	2	○								
	こころと体の健康	2		○							
	自己啓発	2	○								
	人間関係論	2		○							
	国際情報	2		○							
	異文化理解	2		○							
	ホリデー留学	2	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
	国際リハビリテーション	2	○								
	生涯学習論	2	○								
	地域生涯学習論	2		○							
	ボランティア論	2		○							
	社会保障	2	○								
	地域福祉	2		○							
	老人福祉	2	○								
	レクリエーション論	2		○							
	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
	レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
	● キャリアデザインＩＡ	2	○								
	● キャリアデザインＩＢ	2		○							
	● キャリアデザインⅡＡ	2			○						
	● キャリアデザインⅡＢ	2				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	●	キャリアデザインⅢA	2					○				
	●	キャリアデザインⅢB	2						○			
		インターンシップ	2					▽	▽			*
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	デジタル共創概論Ⅰ	2	○								
	●	デジタル共創概論Ⅱ	2		○							
	●	情報数学	2	○								
	●	経営数学	2		○							
		自然科学入門Ⅰ	1	○								
		自然科学入門Ⅱ	1		○							
	●	情報処理入門Ⅰ	2	○								
	●	情報処理入門Ⅱ	2		○							
	●	情報システム入門Ⅰ	2	○								
	●	情報システム入門Ⅱ	2		○							
	●	プログラミング入門Ⅰ	2	◎								
	●	プログラミング入門Ⅱ	2		◎							
	●	経営情報入門Ⅰ	2	○								
	●	経営情報入門Ⅱ	2		○							
	●	データサイエンス入門	2		○							
専門科目	●	デジタル共創基礎演習Ⅰ	1			○						
	●	デジタル共創基礎演習Ⅱ	1				○					
	●	共創リテラシー演習(健康医療)	1			○						
	●	共創リテラシー演習(スポーツ)	1			○						
	●	共創リテラシー演習(ビジネス)	1				○					
	●	共創リテラシー演習(メディア)	1				○					
		自然科学Ⅰ	1			○						
		自然科学Ⅱ	1				○					
		情報処理Ⅰ	2			○						
		情報処理Ⅱ	2				○					
		情報システムⅠ	2			○						
		情報システムⅡ	2				○					
		経営情報Ⅰ	2			○						
		経営情報Ⅱ	2				○					
		データサイエンス	2			○						
		データエンジニアリング	2				○					
		機械学習入門Ⅰ	2			○						
		機械学習入門Ⅱ	2				○					
		応用プログラミングⅠ	2			○						
		応用プログラミングⅡ	2				○					
		ネットワーク演習	2			○						
		データベース実習	2				○					
		統計学Ⅰ	2		○							
		統計学Ⅱ	2			○						
		健康医療情報システムⅠ	2					○				※1
		健康医療情報システムⅡ	2						○			※1
		スポーツとイノベーションⅠ	2					○				※2
		スポーツとイノベーションⅡ	2						○			※2
		ビジネスデジタルソリューションⅠ	2					○				※3
		ビジネスデジタルソリューションⅡ	2						○			※3
		デジタルマルチメディアⅠ	2					○				※4
		デジタルマルチメディアⅡ	2						○			※4
	●	デジタル共創ゼミナールⅠ	2					○				
	●	デジタル共創ゼミナールⅡ	2						○			
	●	デジタル共創ゼミナールⅢ	2							○		
	●	デジタル共創ゼミナールⅣ	2								○	
		卒業研究	4							▽	▽	

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

リハビリテーション学科理学療法コース

2023年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　223～226　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	17単位	6単位	124単位
専門基礎科目	37単位		
専門科目	64単位		
合 計	118単位	6単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　リハビリテーション学科理学療法コース（2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

223～226

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		予防と介護	2				○					
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
	●	統計基礎	2		○							
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
	●	教育原理	2	○								
	●	教育方法・ICT活用論	2			○						
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		障がい者スポーツ	1	▽								
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造・機能（実習）	2			◎						
	●	運動学Ⅰ	2	○								
	●	運動学Ⅱ	2		○							
	●	運動学（実習）	1			○						
	●	病因病態学	1			◇						
	●	臨床医学Ⅰ（内科系）	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ（神経系）	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2			○						
	●	リハビリテーション概論	2	○								
	●	精神医学	2			○						
	●	人間発達学	1		◇							
	●	多職種連携の理解	1							◇		
	●	リハビリテーションと薬	1				◇					
	●	リハビリテーションと栄養	1				◇					
	●	リハビリテーションと救急救命	1	◇								
	●	画像評価学	1					◇				
	●	臨床心理学	2		○							
	●	地域包括ケアシステム論	1							◇		

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	基礎理学療法学	2	○								
	●	基礎理学療法学実習	1		○							
	●	職業倫理職場管理学	2							○		
	●	理学療法評価学Ⅰ	2		○							
	●	理学療法評価学Ⅱ	2			○						
	●	理学療法評価学実習Ⅰ	1			○						
	●	理学療法評価学実習Ⅱ	1				○					
	●	理学療法治療学Ⅰ(運動系)	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅰ(運動系)	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅱ(中枢神経系)	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅱ(中枢神経系)	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅲ(内部障害系)	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅲ(内部障害系)	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅳ(小児・神経系)	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅳ(小児・神経系)	1					○				
	●	予防理学療法学	1							◇		
	●	物理療法学	2		○							
	●	物理療法学実習	1			○						
	●	日常生活活動技術学	2			○						
	●	日常生活活動技術学実習	1				○					
	●	義肢装具学	2			○						
	●	義肢装具学実習	1				○					
	●	運動療法技術学	2			○						
	●	徒手療法学	1					◇				
	●	地域理学療法学Ⅰ(高齢者)	1					◇				
	●	地域理学療法学Ⅱ(身障・難病・小児)	1					◇				
	●	臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	4					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅲ	6					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	8							▽	▽	*
	●	理学療法研究方法論	2					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅰ	1					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅱ	1						○			
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1					○				
	●	特別総合演習Ⅰ	1							○		
	●	特別総合演習Ⅱ	1								○	
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

リハビリテーション学科理学療法コース

2021年度～2022年度入学生(学籍番号上3ケタ　221～222　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	17単位	6単位	124単位
専門基礎科目	37単位		
専門科目	64単位		
合 計	118単位	6単位	124単位

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　リハビリテーション学科理学療法コース（2021年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

221～222

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		予防と介護	2				○					
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
	●	統計基礎	2		○							
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
	●	教育原理	2	○								
	●	教育方法・技術論	2			○						
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		障がい者スポーツ	1	▽								
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造・機能（実習）	2			◎						
	●	運動学Ⅰ	2	○								
	●	運動学Ⅱ	2		○							
	●	運動学（実習）	1			○						
	●	病因病態学	1			◇						
	●	臨床医学Ⅰ（内科系）	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ（神経系）	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2			○						
	●	リハビリテーション概論	2	○								
	●	精神医学	2			○						
	●	人間発達学	1		◇							
	●	多職種連携の理解	1							◇		
	●	リハビリテーションと薬	1				◇					
	●	リハビリテーションと栄養	1				◇					
	●	リハビリテーションと救急救命	1	◇								
	●	画像評価学	1					◇				
	●	臨床心理学	2		○							
	●	地域包括ケアシステム論	1							◇		

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	基礎理学療法学	2	○								
	●	基礎理学療法学実習	1		○							
	●	職業倫理職場管理学	2							○		
	●	理学療法評価学Ⅰ	2		○							
	●	理学療法評価学Ⅱ	2			○						
	●	理学療法評価学実習Ⅰ	1			○						
	●	理学療法評価学実習Ⅱ	1				○					
	●	理学療法治療学Ⅰ（運動系）	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅰ（運動系）	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅱ（中枢神経系）	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅱ（中枢神経系）	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅲ（内部障害系）	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅲ（内部障害系）	1					○				
	●	理学療法治療学Ⅳ（小児・神経系）	2				○					
	●	理学療法治療学実習Ⅳ（小児・神経系）	1					○				
	●	予防理学療法学	1							◇		
	●	物理療法学	2		○							
	●	物理療法学実習	1			○						
	●	日常生活活動技術学	2			○						
	●	日常生活活動技術学実習	1				○					
	●	義肢装具学	2			○						
	●	義肢装具学実習	1				○					
	●	運動療法技術学	2			○						
	●	徒手療法学	1					◇				
	●	地域理学療法学Ⅰ（高齢者）	1					◇				
	●	地域理学療法学Ⅱ（身障・難病・小児）	1					◇				
	●	臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	4					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅲ	6					▽	▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	8							▽	▽	*
	●	理学療法研究方法論	2					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅰ	1					○				
	●	理学療法研究方法論実習Ⅱ	1						○			
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1					○				
	●	特別総合演習Ⅰ	1							○		
	●	特別総合演習Ⅱ	1								○	

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

リハビリテーション学科作業療法コース

2023年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　223～226　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	17単位		2単位	124単位
専門基礎科目	37単位			
専門科目	67単位	1単位		
合 計	121単位	1単位	2単位	124単位

◎選択必修について

「身体障害作業療法学特論」、「高齢期作業療法学特論」、「精神障害作業療法学特論」、「発達障害作業療法学特論」の選択必修科目の中から1単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療スポーツ学部　リハビリテーション学科作業療法コース（2023年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

223～226

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『専門』の選択必修科目（※）の中から1単位以上修得すること。

履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2		◎							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		予防と介護	2				○					
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
	●	統計基礎	2			○						
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
	●	教育原理	2	○								
	●	教育方法・ICT活用論	2			○						
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		障がい者スポーツ	1	▽								
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造・機能（実習）	2				◎					
	●	病因病態学	1			◇						
	●	運動学実習	2	□	□							
		運動学基礎	2			○						
	●	臨床運動学実習	1				○					
	●	臨床医学Ⅰ（内科系）	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ（神経系）	2			○						
	●	精神医学	2	○								
	●	精神障害論	2		○							
	●	リハビリテーション概論	2		○							
	●	リハビリテーション医学	2					○				
	●	リハビリテーションと栄養	1				◇					
	●	リハビリテーションと薬	1				◇					
	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	臨床心理学	2		○							
	●	保健医療福祉学	2				○					
	●	人間発達学	1		◇							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	作業療法概論	2	○								
	●	基礎作業療法学実習	2	□	□							
	●	基礎作業療法学	2		○							
	●	作業療法理論	2			○						
	●	作業療法研究法	2				○					
	●	職業倫理・管理学	2						○			
	●	作業療法評価学総論	1		◇							
	●	作業療法評価学各論	2			○						
	●	作業療法評価学実習Ⅰ	2				◎					
	●	作業療法評価学実習Ⅱ	1				○					
	●	身体障害作業療法治療学	2				○					
	●	身体障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	精神障害作業療法治療学	2					○				
	●	精神障害作業療法治療学実習	1						○			
	●	発達障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	高齢期作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	高次脳機能障害作業療法学実習	1				○					
	●	日常生活活動技術学	2		○							
	●	日常生活活動技術学実習	1					○				
	●	生活環境学	2			○						
	●	職業関連技術学	2					○				
	●	地域作業療法学実習	1						○			
	●	地域作業療法学	2					○				
	●	義肢学・装具学	2					○				
	※	身体障害作業療法学特論	1					○				
	※	高齢期作業療法学特論	1					○				
	※	精神障害作業療法学特論	1					○				
	※	発達障害作業療法学特論	1					○				
	●	臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	1				▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	3						▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	3						▽			*
	●	臨床実習Ⅴ	7							▽		*
	●	臨床実習Ⅵ	7							▽		*
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1					▽	▽			
	●	特別総合演習	2							□	□	
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

リハビリテーション学科作業療法コース

2021年度～2022年度入学生(学籍番号上3ケタ　221～222　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	17単位		2単位	124単位
専門基礎科目	37単位			
専門科目	67単位	1単位		
合 計	121単位	1単位	2単位	124単位

◎選択必修について

「身体障害作業療法学特論」、「高齢期作業療法学特論」、「精神障害作業療法学特論」、「発達障害作業療法学特論」の選択必修科目の中から1単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療スポーツ学部　リハビリテーション学科作業療法コース（2021年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

221～222

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『専門』の選択必修科目（※）の中から1単位以上修得すること。

履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡ	1							▽	▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2		◎							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		予防と介護	2				○					
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
	●	統計基礎	2			○						
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
	●	教育原理	2	○								
	●	教育方法・技術論	2			○						
		レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		障がい者スポーツ	1	▽								
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造・機能（実習）	2				◎					
	●	病因病態学	1			◇						
	●	運動学実習	2	□	□							
		運動学基礎	2			○						
	●	臨床運動学実習	1				○					
	●	臨床医学Ⅰ（内科系）	2			○						
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	2				○					
	●	臨床医学Ⅲ（神経系）	2			○						
	●	精神医学	2	○								
	●	精神障害論	2		○							
	●	リハビリテーション概論	2		○							
	●	リハビリテーション医学	2					○				
	●	リハビリテーションと栄養	1				◇					
	●	リハビリテーションと薬	1				◇					
	●	リハビリテーションと救急救命	1					◇				
	●	画像評価学	1					◇				
	●	臨床心理学	2		○							
	●	保健医療福祉学	2				○					
	●	人間発達学	1		◇							

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	作業療法概論	2	○								
	●	基礎作業療法学実習	2	□	□							
	●	基礎作業療法学	2		○							
	●	作業療法理論	2			○						
	●	作業療法研究法	2				○					
	●	職業倫理・管理学	2						○			
	●	作業療法評価学総論	1		◇							
	●	作業療法評価学各論	2			○						
	●	作業療法評価学実習Ⅰ	2				◎					
	●	作業療法評価学実習Ⅱ	1				○					
	●	身体障害作業療法治療学	2				○					
	●	身体障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	精神障害作業療法治療学	2					○				
	●	精神障害作業療法治療学実習	1						○			
	●	発達障害作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	高齢期作業療法治療学実習	2					□	□			
	●	高次脳機能障害作業療法学実習	1				○					
	●	日常生活活動技術学	2		○							
	●	日常生活活動技術学実習	1					○				
	●	生活環境学	2			○						
	●	職業関連技術学	2					○				
	●	地域作業療法学実習	1						○			
	●	地域作業療法学	2					○				
	●	義肢学・装具学	2					○				
	※	身体障害作業療法学特論	1					○				
	※	高齢期作業療法学特論	1					○				
	※	精神障害作業療法学特論	1					○				
	※	発達障害作業療法学特論	1					○				
	●	臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	臨床実習Ⅱ	1				▽					*
	●	臨床実習Ⅲ	3						▽			*
	●	臨床実習Ⅳ	3						▽			*
	●	臨床実習Ⅴ	7							▽		*
	●	臨床実習Ⅵ	7							▽		*
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	臨床技能演習	1					▽	▽			
	●	特別総合演習	2							□	□	

健康医療スポーツ学部

柔道整復学科

2024年度～2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　224～226　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	卒業単位(合計)
教養科目	13単位	4単位	124単位
専門基礎科目	46単位	5単位	
専門科目	56単位		
合 計	115単位	9単位	124単位

◎選択必修について

『教養科目』から4単位以上、『専門基礎科目』、『専門科目』から5単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　柔道整復学科（2024年度～2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

224～226

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『教養科目』から4単位以上、
『専門基礎科目』『専門科目』から5単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
		レクリエーション論	2		○							
	●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		予防と介護	2						○			
		会計学	2			○						
		法学	2	○								
		民法・商法	2	○								
		社会学	2	○								
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2	○								
		生活と倫理	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		心理学	2	○								
		臨床心理学	2		○							
		老年心理学	2		○							
		生命倫理	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		自己啓発	2		○							
		地域福祉	2	○								
		児童福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		障害福祉	2		○							
		オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
		オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造Ⅲ	2			○						
	●	人体の機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能Ⅲ	2			○						
	●	疾病の科学Ⅰ	2				○					
	●	疾病の科学Ⅱ	2					○				
	●	運動学	2				○					
	●	内科学Ⅰ	2					○				
	●	内科学Ⅱ	2						○			
	●	外科学概論	2						○			
	●	整形外科学Ⅰ	2					○				
	●	整形外科学Ⅱ	2						○			
	●	公衆衛生学Ⅰ	2	○								
	●	公衆衛生学Ⅱ	2		○							
	●	医学史・職業倫理	2		○							
	●	関係法規・社会保障制度	2					○				
	●	リハビリテーション概論	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2						○			
	●	柔道実技	2	□	□							
	●	高齢者・競技者の生理学	2				○					
	●	柔道整復術の適応	2							○		
		体育実技（ダンス）	1	○								
		体育実技（陸上競技）	1		○							
		体育実技（水泳）	1	▽	▽							
		画像診断学	2						○			
		教育相談	2			○						
		スポーツ医学	2	○								
		スポーツ生理学Ⅰ	2	○								
		スポーツ生理学Ⅱ	2				○					
専門科目		スポーツ心理学	2	○								
		検査・測定と評価	2			○						
		スポーツ栄養学	2		○							
		トレーニング科学演習	1		○							
		バイオメカニクス	2			○						
	●	柔道整復学Ⅰ	2	○								
	●	柔道整復学Ⅱ	2	○								
	●	柔道整復学Ⅲ	2		○							
	●	柔道整復学Ⅳ	2					○				
	●	臨床柔道整復学Ⅰ	1			○						
	●	臨床柔道整復学Ⅱ	1			○						
	●	臨床柔道整復学Ⅲ	1			○						
	●	臨床柔道整復学Ⅳ	1				○					
	●	臨床柔道整復学Ⅴ	1				○					
	●	臨床柔道整復学Ⅵ	1				○					
	●	臨床柔道整復学Ⅷ	1					○				
	●	臨床柔道整復学Ⅷ	1						○			
	●	柔道整復学実技Ⅰ	2	◎								
	●	柔道整復学実技Ⅱ	2		◎							
	●	柔道整復学実技Ⅲ	2			◎						
	●	柔道整復学実技Ⅳ	2			◎						
	●	柔道整復学実技Ⅴ	2				◎					
	●	柔道整復学実技Ⅵ	2					◎				
	●	柔道整復学実技Ⅶ	2						◎			
	●	柔道整復学実技Ⅷ	2						◎			
	●	柔道整復学実技Ⅸ	2							◎		
	●	柔道整復学実技Ⅹ	2								◎	
	●	柔道整復術適応の臨床判定	2							○		
	●	柔道整復臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	柔道整復臨床実習Ⅱ	1			▽	▽					*
	●	柔道整復臨床実習Ⅲ	1			▽	▽					*
	●	柔道整復臨床実習Ⅳ	1					▽	▽			*
		柔道整復学セミナーⅠ	1					○				
		柔道整復学セミナーⅡ	2						◎			
		柔道整復学セミナーⅢ	2							□	□	
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	柔道整復学演習Ⅰ	2							◎		
	●	柔道整復学演習Ⅱ	2							◎		
	●	柔道整復学演習Ⅲ	2							◎		
	●	柔道整復学演習Ⅳ	2								◎	
	●	柔道整復学演習Ⅴ	2								◎	
	●	柔道整復学演習Ⅵ	2								◎	
	●	特別総合演習	2							□	□	
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				

健康医療スポーツ学部

柔道整復学科

2023年度入学生(学籍番号上3ケタ　223　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	卒業単位(合計)
教養科目	13単位	4単位	124単位
専門基礎科目	46単位	5単位	
専門科目	56単位		
合 計	115単位	9単位	124単位

◎選択必修について

『教養科目』から4単位以上、『専門基礎科目』、『専門科目』から5単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　柔道整復学科（2023年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

223

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)
ただし、『教養科目』から4単位以上、
『専門基礎科目』『専門科目』から5単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
		レクリエーション論	2		○							
	●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		予防と介護	2						○			
		会計学	2			○						
		法学	2	○								
		民法・商法	2	○								
		社会学	2	○								
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2	○								
		生活と倫理	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		心理学	2	○								
		臨床心理学	2		○							
		老年心理学	2		○							
		生命倫理	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		自己啓発	2		○							
		地域福祉	2	○								
		児童福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		障害福祉	2		○							
		オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
		オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
専門基礎科目	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
	●	人体の構造Ⅱ	2		○							
	●	人体の構造Ⅲ	2			○						
	●	人体の機能Ⅰ	2	○								
	●	人体の機能Ⅱ	2		○							
	●	人体の機能Ⅲ	2			○						
	●	疾病の科学Ⅰ	2				○					
	●	疾病の科学Ⅱ	2					○				
	●	運動学	2				○					
	●	内科学Ⅰ	2					○				
	●	内科学Ⅱ	2						○			
	●	外科学概論	2						○			
	●	整形外科学Ⅰ	2					○				
	●	整形外科学Ⅱ	2						○			
	●	公衆衛生学Ⅰ	2	○								
	●	公衆衛生学Ⅱ	2		○							
	●	医学史・職業倫理	2		○							
	●	関係法規・社会保障制度	2					○				
	●	リハビリテーション概論	2			○						
	●	リハビリテーション医学	2						○			
	●	柔道実技	2	□	□							
	●	高齢者・競技者の生理学	2				○					
	●	柔道整復術の適応	2							○		
		体育実技（ダンス）	1	○								
		体育実技（陸上競技）	1		○							
		体育実技（水泳）	1	▽	▽							
		画像診断学	2						○			
		教育相談	2			○						
		スポーツ医学	2	○								
		スポーツ生理学	2	○								
		スポーツコンディショニング	2	○								
専門科目		スポーツ心理学	2	○								
		検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
		スポーツ栄養学	2				○					
		トレーニング科学演習	2				○					
		バイオメカニクス	2					○				
	●	柔道整復学Ⅰ	2	○								
	●	柔道整復学Ⅱ	2	○								
	●	柔道整復学Ⅲ	2		○							
	●	柔道整復学Ⅳ	2					○				
	●	臨床柔道整復学Ⅰ	1			○						
	●	臨床柔道整復学Ⅱ	1			○						
	●	臨床柔道整復学Ⅲ	1			○						
	●	臨床柔道整復学Ⅳ	1				○					
	●	臨床柔道整復学Ⅴ	1				○					
	●	臨床柔道整復学Ⅵ	1				○					
	●	臨床柔道整復学Ⅶ	1					○				
	●	臨床柔道整復学Ⅷ	1						○			
	●	柔道整復学実技Ⅰ	2	◎								
	●	柔道整復学実技Ⅱ	2		◎							
	●	柔道整復学実技Ⅲ	2			◎						
	●	柔道整復学実技Ⅳ	2			◎						
	●	柔道整復学実技Ⅴ	2				◎					
	●	柔道整復学実技Ⅵ	2					◎				
	●	柔道整復学実技Ⅶ	2						◎			
	●	柔道整復学実技Ⅷ	2						◎			
	●	柔道整復学実技Ⅸ	2							◎		
	●	柔道整復学実技Ⅹ	2								◎	
	●	柔道整復術適応の臨床判定	2							○		
	●	柔道整復臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	柔道整復臨床実習Ⅱ	1			▽	▽					*
	●	柔道整復臨床実習Ⅲ	1			▽	▽					*
	●	柔道整復臨床実習Ⅳ	1					▽	▽			*
		柔道整復学セミナーⅠ	1					○				
		柔道整復学セミナーⅡ	2						◎			
		柔道整復学セミナーⅢ	2							□	□	
		卒業研究	4							▽	▽	
	●	柔道整復学演習Ⅰ	2							◎		
	●	柔道整復学演習Ⅱ	2							◎		
	●	柔道整復学演習Ⅲ	2							◎		
	●	柔道整復学演習Ⅳ	2								◎	
	●	柔道整復学演習Ⅴ	2								◎	
	●	柔道整復学演習Ⅵ	2								◎	
	●	特別総合演習	2							□	□	
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				

健康医療スポーツ学部

柔道整復学科

2019年度～2022年度入学生(学籍番号上3ケタ 219～222 対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
経営と社会		2単位	3単位	124単位
情報と社会	2単位			
人間と福祉		2単位		
コミュニケーション	10単位			
レクリエーション	1単位			
専門基礎	46単位			
選択専門基礎		2単位		
専門	56単位			
合 計	115単位	6単位	3単位	124単位

◎選択必修について

『経営と社会』、『人間と福祉』、『選択専門基礎』の各科目群からそれぞれ2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　柔道整復学科（2019年度～2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

219～222

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

ただし、『経営と社会』、『人間と福祉』、『選択専門基礎』の各科目群からそれぞれ2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。

□は通年で30回行う授業。

◇は半期で8回行う授業。

▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
学部共通科目	経営と社会		会計学	2			○						
			法学	2	○								
			民法・商法	2	○								
			社会学	2	○								
			日本国憲法	2		○							
			企業と倫理	2	○								
			生活と倫理	2		○							
	情報と社会		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2	◎								
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
	人間と福祉		心理学	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			人間関係論	2	○								
			自己啓発	2		○							
			ボランティア論	2		○							
			社会福祉原論Ⅰ	2	○								
			社会福祉原論Ⅱ	2		○							
			社会保障	2	○								
			公的扶助	2			○						
			地域福祉	2	○								
			児童福祉	2		○							
			老人福祉	2	○								
			障害福祉	2		○							
	コミュニケーション	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
		●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
			ビジネスコミュニケーションⅠ	2	○								
			ビジネスコミュニケーションⅡ	2		○							
			オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
			オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
			異文化コミュニケーション	2	○								
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
	レクリエーション		レクリエーション論	2		○							
		●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目群	専門基礎	●	人体の構造Ⅰ	2	○								
		●	人体の構造Ⅱ	2		○							
		●	人体の構造Ⅲ	2			○						
		●	人体の機能Ⅰ	2	○								
		●	人体の機能Ⅱ	2		○							
		●	人体の機能Ⅲ	2			○						
		●	疾病の科学Ⅰ	2				○					
		●	疾病の科学Ⅱ	2					○				
		●	運動学	2				○					
		●	内科学Ⅰ	2					○				
		●	内科学Ⅱ	2						○			
		●	外科学概論	2						○			
		●	整形外科学Ⅰ	2					○				
		●	整形外科学Ⅱ	2						○			
		●	公衆衛生学Ⅰ	2	○								
		●	公衆衛生学Ⅱ	2		○							
		●	医学史・職業倫理	2		○							
		●	関係法規・社会保障制度	2					○				
		●	リハビリテーション概論	2			○						
		●	リハビリテーション医学	2						○			
		●	柔道実技	2	□	□							
		●	高齢者・競技者の生理学	2				○					
		●	柔道整復術の適応	2							○		
	選択専門基礎		体育実技（ダンス）	1	○								
			体育実技（陸上競技）	1		○							
			体育実技（水泳）	1	▽	▽							
			栄養学	2		○							
			予防と介護	2						○			
			画像診断学	2						○			
			臨床心理学Ⅰ	2		○							
			臨床心理学Ⅱ	2		○							
			老年心理学	2		○							
			発達心理学	2		○							
			教育相談	2			○						
			バイオエシックス	2	○								
			アロマセラピーⅠ	2	○								
			アロマセラピーⅡ	2		○							
			スポーツ医学	2	○								
			スポーツ生理学	2	○								
			健康とスポーツ	2		○							
			スポーツコンディショニング	2	○								
専門科目群	専門		スポーツ心理学	2	○								
			検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
			スポーツ栄養学	2				○					
			トレーニング科学演習	2				○					
			バイオメカニクス	2					○				
		●	柔道整復学Ⅰ	2	○								
		●	柔道整復学Ⅱ	2	○								
		●	柔道整復学Ⅲ	2		○							
		●	柔道整復学Ⅳ	2					○				
		●	臨床柔道整復学Ⅰ	1			○						
		●	臨床柔道整復学Ⅱ	1			○						
		●	臨床柔道整復学Ⅲ	1			○						
		●	臨床柔道整復学Ⅳ	1				○					
		●	臨床柔道整復学Ⅴ	1				○					
		●	臨床柔道整復学Ⅵ	1				○					
		●	臨床柔道整復学Ⅶ	1					○				
		●	臨床柔道整復学Ⅷ	1						○			

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考（*印は学外実習・研修）
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目群	専門	●	柔道整復学実技Ⅰ	2	◎								
		●	柔道整復学実技Ⅱ	2		◎							
		●	柔道整復学実技Ⅲ	2			◎						
		●	柔道整復学実技Ⅳ	2			◎						
		●	柔道整復学実技Ⅴ	2				◎					
		●	柔道整復学実技Ⅵ	2					◎				
		●	柔道整復学実技Ⅶ	2						◎			
		●	柔道整復学実技Ⅷ	2						◎			
		●	柔道整復学実技Ⅸ	2							◎		
		●	柔道整復学実技Ⅹ	2								◎	
		●	柔道整復術適応の臨床判定	2							○		
		●	柔道整復臨床実習Ⅰ	1	▽	▽							*
		●	柔道整復臨床実習Ⅱ	1			▽	▽					*
		●	柔道整復臨床実習Ⅲ	1			▽	▽					*
		●	柔道整復臨床実習Ⅳ	1					▽	▽			*
			柔道整復学セミナーⅠ	1					○				
			柔道整復学セミナーⅡ	2					□	□			
			柔道整復学セミナーⅢ	2							□	□	
			卒業研究	4							▽	▽	
		●	柔道整復学演習Ⅰ	2							◎		
		●	柔道整復学演習Ⅱ	2							◎		
		●	柔道整復学演習Ⅲ	2							◎		
		●	柔道整復学演習Ⅳ	2								◎	
		●	柔道整復学演習Ⅴ	2								◎	
		●	柔道整復学演習Ⅵ	2								◎	
		●	特別総合演習	2							□	□	

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

医療ｽﾎﾟｰﾂ学科

2026年度入学生(学籍番号上3ケタ　226　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	13単位	4単位	101単位	124単位
専門基礎科目		2単位		
救急救命士専門科目		4単位		
トレーナー専門科目				
動物医療専門科目				
共通専門科目				
合 計	13単位	10単位	101単位	124単位

◎選択必修について

『教養科目』から4単位以上、『専門基礎科目』から2単位以上、『専門科目」のうち各コースが指定する科目から4単位以上(動物医療コースは「動物医療とその展望」を必ず選択必修科目に含むこと)、を修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　医療ｽﾎﾟｰﾂ学科（2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

226

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『教養科目』から4単位以上、『専門基礎科目』から2単位以上、『専門科目」のうち各コースが指定する科目から4単位以上（動物医療コースは「動物医療とその展望」を必ず選択必修科目に含むこと）、を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目 ●は必修科目、「専門科目」▲は選択必修科目	単位数	履修年次								備考 （*印は学外実習・研修）
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2		◎							
		心理学	2	○								
		人間関係論	2		○							
		コミュニケーション論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		自己啓発	2		○							
		日本国憲法	2	○								
		社会保障	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		社会学	2	○								
		統計基礎	2		○							
		からだのしくみ	2	○								
		健康とスポーツ	2		○							
		レクリエーション論	2		○							
	●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		障がい者スポーツ	1	▽								
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分		授業科目 ●は必修科目、「専門科目」▲は選択必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目		人体の構造Ⅰ	2	○								
		人体の構造Ⅱ	2		○							
		人体の機能Ⅰ	2	○								
		人体の機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅰ	2	○								
		スポーツ社会学	2	○								
		トレーニング科学	2			○						
		スポーツ医学入門	2		○							
		画像診断学	2						○			
		スポーツ心理学	2	○								
		スポーツ指導論	2			○						
		スポーツ栄養学	2		○							
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		スポーツ倫理	2			○						
		コーチング論	2					○				
		スポーツ指導実習	1							▽	▽	
		体育実技(体つくり運動)	1	○								
		体育実技(陸上競技)	1		○							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(武道)	1		○							
		保健体育概論	2		○							
		総合実技Ⅰ	1					○				
		総合実技Ⅱ	1						○			
		スポーツ経営・管理学	2		○							
		スポーツマネジメント論	2						○			
		体育・スポーツ施設管理論	2					○				
		公衆衛生学	2	○								
		学校保健	2		○							
		精神保健学Ⅰ	2	○								
		精神保健学Ⅱ	2		○							
		生命倫理・動物福祉	2	○								
		動物形態機能学Ⅰ	2	○								
		動物形態機能学Ⅱ	2		○							
		動物形態機能学演習Ⅰ	1	○								
		動物形態機能学演習Ⅱ	1		○							
		動物形態機能学実習	1		○							
		動物繁殖学	2				○					
		動物行動学	2				○					
		動物栄養学Ⅰ	2					○				
		動物栄養学Ⅱ	2						○			
		比較動物学Ⅰ	2	○								
		比較動物学Ⅱ	2		○							
		動物看護関連法規	1				◇					
		動物愛護・適正飼養関連法規	1	◇								
		動物看護学概論	2	○								
		動物病理学	2			○						
		動物薬理学Ⅰ	2			○						
		動物薬理学Ⅱ	2				○					
		動物感染症学Ⅰ	2			○						
		動物感染症学Ⅱ	2				○					
		動物感染症学Ⅲ	2				○					
		公衆衛生学Ⅰ	2	○								
		公衆衛生学Ⅱ	2		○							

区分		授業科目 ●は必修科目、「専門科目」▲は選択必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
救急救命士専門科目	▲	救急医療概論Ⅰ	2	○								
		救急医療概論Ⅱ	4					◎				
	▲	救急処置学各論Ⅰ	4		◎							
		救急処置学各論Ⅱ	2			○						
		疾病救急Ⅰ	2			○						
		疾病救急Ⅱ	2				○					
		疾病救急Ⅲ	4				◎					
		救急症候学Ⅰ	4			◎						
		救急症候学Ⅱ	4			◎						
		救急症候学Ⅲ	4				◎					
		救急症候学Ⅳ	4						◎			
		小児概論	1					◇				
		特殊病態学	1						◇			
		精神医学	1						◇			
		環境障害	2						○			
		救急看護	1						○			
		救急救命実習Ⅰ	3	▽	▽							
		救急救命実習Ⅱ	3		○							
		救急救命実習Ⅲ	4			○						
		救急救命実習Ⅳ	3				○					
		救急用自動車同乗実習	5					▽	▽			*
		臨床実習	6					▽	▽			*
		救急救命総合実習	1							▽	▽	
		救急救命研究	4					□	□			
	▲	危険物概論	2	○								
		病院前救急医療研究	2		○							
	▲	消防設備論	2	○								
	▲	無線概論	2		○							
	▲	公務員セミナー	2				○					
	▲	社会科学	2					○				
	▲	防災・減災概論	2						○			
	▲	日本の防衛	2					○				
トレーナー専門科目	▲	アスレティックトレーナーの役割	2	○								
		トレーニング科学演習	1		○							
		バイオメカニクス	2			○						
		スポーツ生理学Ⅱ	2				○					
	▲	アスリートのメンタルマネジメント	2				○					
	▲	人体の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		人体の解剖と機能Ⅱ	2		○							
	▲	スポーツ医学(外科系)	2		○							
	▲	スポーツ医学(内科系)	2		○							
		検査・測定と評価	2			○						
		コンディショニング実習Ⅰ	1	○								
		コンディショニング実習Ⅱ	1			○						
		コンディショニング実習Ⅲ	1				○					
		リコンディショニングⅠ	2				○					
		リコンディショニングⅡ	2					○				
		リコンディショニングⅢ	2					○				
		救急対応Ⅰ	1		○							
		救急対応Ⅱ	2				○					
		アスレティックトレーニングⅠ	2			○						
		アスレティックトレーニングⅡ	2				○					
		アスレティックトレーニングⅢ	2					○				
		アスレティックトレーナー現場実習入門	1		○							
		アスレティックトレーナー現場実習	1					○				*
		トレーニング実技Ⅰ	2					○				
		トレーニング実技Ⅱ	2						○			
		スポーツ現場実習	1					◇	◇			*

区分		授業科目 ●は必修科目、「専門科目」▲は選択必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
トレーナー専門科目		アスレティックトレーナー総論Ⅰ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅱ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅲ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅳ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅴ	2							○		
		アスレティックトレーナー総論Ⅵ	2								○	
動物医療専門科目		動物内科看護学Ⅰ	2		○							
		動物内科看護学Ⅱ	2			○						
		動物内科看護学Ⅲ	2				○					
		動物外科看護学Ⅰ	2					○				
		動物外科看護学Ⅱ	2						○			
		動物臨床看護学総論	2			○						
		動物臨床看護学各論Ⅰ	2					○				
		動物臨床看護学各論Ⅱ	2					○				
		動物臨床看護学各論Ⅲ	2						○			
		動物臨床看護学各論Ⅳ	2						○			
		動物臨床検査学	2				○					
		動物医療コミュニケーション	2					○				
		愛玩動物学Ⅰ	2	○								
		愛玩動物学Ⅱ	2		○							
		人と動物の関係学	2		○							
		適正飼養指導論	2	○								
		適正飼養指導論演習	1	○								
		動物生活環境学	2							○		
		ペット関連産業概論	2							○		
		動物内科看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物内科看護学実習Ⅱ	1					○				
		動物内科看護学実習Ⅲ	1						○			
		動物内科看護学実習Ⅳ	1						○			
		動物臨床検査学実習Ⅰ	1			○						
		動物臨床検査学実習Ⅱ	1				○					
		動物外科看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物外科看護学実習Ⅱ	1						○			
		動物外科看護学実習Ⅲ	1						○			
		動物臨床看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物臨床看護学実習Ⅱ	1						○			
		動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	1			○						
		動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	1				○					
		動物看護総合実習	4							▽	▽	*
		グルーミング	1				○					
	▲	動物看護のための比較看護Ⅰ	1			◇						
	▲	動物看護のための比較看護Ⅱ	1						◇			
	▲	動物とリハビリテーションⅠ	1				◇					
	▲	動物とリハビリテーションⅡ	1					◇				
	▲	動物医療とその展望	1								○	
		動物医療研究Ⅰ	1							▽	▽	
		動物医療研究Ⅱ	1							▽	▽	
共通専門科目		学校ボランティアⅠ	2	▽	▽							*
		学校ボランティアⅡ	2			▽	▽					*
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		キャンプ実習	1	▽	▽							*
		特別総合演習	2							□	□	
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

医療ｽﾎﾟｰﾂ学科

2024年度～2025年度入学生（学籍番号上3ケタ　224～225　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	13単位	4単位	105単位	124単位
専門基礎科目		2単位		
救急救命士専門科目				
トレーナー専門科目				
動物医療専門科目				
共通専門科目				
合 計	13単位	6単位	105単位	124単位

◎選択必修について

『教養科目』から4単位以上、、『専門基礎科目』から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　医療ｽﾎﾟｰﾂ学科（2024年度～2025年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

224～225

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『教養科目』から4単位以上、『専門基礎科目』から2単位以上修得すること。
履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	授業科目 ●は必修科目		単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
	●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2		◎							
		ホリデー留学	2	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
		レクリエーション論	2		○							
	●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		予防と介護	2				○					
		会計学	2			○						
		法学	2	○								
		民法・商法	2	○								
		社会学	2	○								
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2	○								
		生活と倫理	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		心理学	2	○								
		臨床心理学	2		○							
		老年心理学	2		○							
		生命倫理	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		自己啓発	2		○							
		地域福祉	2	○								
		児童福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		障害福祉	2		○							
		オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
		オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目		人体の構造Ⅰ	2	○								
		人体の構造Ⅱ	2		○							
		人体の機能Ⅰ	2	○								
		人体の機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ生理学Ⅰ	2	○								
		スポーツ社会学	2	○								
		トレーニング科学	2			○						
		スポーツ医学入門	2		○							
		画像診断学	2						○			
		スポーツ心理学	2	○								
		スポーツ指導論	2			○						
		スポーツ栄養学	2		○							
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		スポーツ倫理	2			○						
		コーチング論	2					○				
		スポーツ指導実習	1							▽	▽	
		体育実技(体つくり運動)	1	○								
		体育実技(陸上競技)	1		○							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(武道)	1		○							
		保健体育概論	2		○							
		総合実技Ⅰ	1					○				
		総合実技Ⅱ	1						○			
		スポーツ経営・管理学	2		○							
		スポーツマネジメント論	2						○			
		体育・スポーツ施設管理論	2					○				
		公衆衛生学	2	○								
		学校保健	2		○							
		精神保健学Ⅰ	2	○								
		精神保健学Ⅱ	2		○							
		生命倫理・動物福祉	2	○								
		動物形態機能学Ⅰ	2	○								
		動物形態機能学Ⅱ	2		○							
		動物形態機能学演習Ⅰ	1	○								
		動物形態機能学演習Ⅱ	1		○							
		動物形態機能学実習	1		○							
		動物繁殖学	2				○					
		動物行動学	2				○					
		動物栄養学Ⅰ	2					○				
		動物栄養学Ⅱ	2						○			
		比較動物学Ⅰ	2	○								
		比較動物学Ⅱ	2		○							
		動物看護関連法規	1				▽					
		動物愛護・適正飼養関連法規	1	◇								
		動物看護学概論	2	○								
		動物病理学	2			○						
		動物薬理学Ⅰ	2			○						
		動物薬理学Ⅱ	2				○					
		動物感染症学Ⅰ	2			○						
		動物感染症学Ⅱ	2				○					
		動物感染症学Ⅲ	2				○					
		公衆衛生学Ⅰ	2	○								
		公衆衛生学Ⅱ	2		○							
救急救命士専門科目		救急医療概論Ⅰ	2	○								
		救急医療概論Ⅱ	4					◎				
		救急処置学各論Ⅰ	4		◎							
		救急処置学各論Ⅱ	2			○						
		疾病救急Ⅰ	2			○						
		疾病救急Ⅱ	2				○					
		疾病救急Ⅲ	4				◎					
		救急症候学Ⅰ	4			◎						
		救急症候学Ⅱ	4			◎						
		救急症候学Ⅲ	4				◎					
		救急症候学Ⅳ	4						◎			
		小児概論	1					◇				
		特殊病態学	1						◇			
		精神医学	1						◇			
		環境障害	2						○			
		救急看護	1						○			
		救急救命実習Ⅰ	3	▽	▽							
		救急救命実習Ⅱ	3		○							
		救急救命実習Ⅲ	4			○						
		救急救命実習Ⅳ	3				○					
		救急用自動車同乗実習	5					▽	▽			*
		臨床実習	6					▽	▽			*
		救急救命総合実習	1							▽	▽	
		救急救命研究	4					□	□			
		危険物概論	2	○								
		病院前救急医療研究	2		○							
		消防設備論	2	○								
		無線概論	2		○							
		公務員セミナー	2				○					
		社会科学	2					○				
		防災・減災概論	2						○			
		日本の防衛	2					○				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
トレーナー専門科目		アスレティックトレーナーの役割	2	○								
		トレーニング科学演習	1		○							
		バイオメカニクス	2			○						
		スポーツ生理学Ⅱ	2				○					
		アスリートのメンタルマネジメント	2				○					
		人体の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		人体の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ医学(外科系)	2		○							
		スポーツ医学(内科系)	2		○							
		検査・測定と評価	2			○						
		コンディショニング実習Ⅰ	1	○								
		コンディショニング実習Ⅱ	1			○						
		コンディショニング実習Ⅲ	1				○					
		リコンディショニングⅠ	2				○					
		リコンディショニングⅡ	2					○				
		リコンディショニングⅢ	2					○				
		救急対応Ⅰ	1		○							
		救急対応Ⅱ	2				○					
		アスレティックトレーニングⅠ	2			○						
		アスレティックトレーニングⅡ	2				○					
		アスレティックトレーニングⅢ	2					○				
		アスレティックトレーナー現場実習入門	1		○							
		アスレティックトレーナー現場実習	1					○				*
		トレーニング実技Ⅰ	2					○				
		トレーニング実技Ⅱ	2						○			
		スポーツ現場実習	1					◇	◇			*
		アスレティックトレーナー総論Ⅰ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅱ	1					○				
		アスレティックトレーナー総論Ⅲ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅳ	1						○			
		アスレティックトレーナー総論Ⅴ	2							○		
		アスレティックトレーナー総論Ⅵ	2								○	
動物医療専門科目		動物内科看護学Ⅰ	2		○							
		動物内科看護学Ⅱ	2			○						
		動物内科看護学Ⅲ	2				○					
		動物外科看護学Ⅰ	2					○				
		動物外科看護学Ⅱ	2						○			
		動物臨床看護学総論	2			○						
		動物臨床看護学各論Ⅰ	2					○				
		動物臨床看護学各論Ⅱ	2					○				
		動物臨床看護学各論Ⅲ	2						○			
		動物臨床看護学各論Ⅳ	2						○			
		動物臨床検査学	2				○					
		動物医療コミュニケーション	2					○				
		愛玩動物学Ⅰ	2	○								
		愛玩動物学Ⅱ	2		○							
		人と動物の関係学	2		○							
		適正飼養指導論	2	○								
		適正飼養指導論演習	1	○								
		動物生活環境学	2							○		
		ペット関連産業概論	2							○		
		動物内科看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物内科看護学実習Ⅱ	1					○				
		動物内科看護学実習Ⅲ	1						○			
		動物内科看護学実習Ⅳ	1						○			
		動物臨床検査学実習Ⅰ	1			○						
		動物臨床検査学実習Ⅱ	1				○					
		動物外科看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物外科看護学実習Ⅱ	1						○			
		動物外科看護学実習Ⅲ	1						○			
		動物臨床看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物臨床看護学実習Ⅱ	1						○			
		動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	1			○						
		動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	1				○					
		動物看護総合実習	4							▽	▽	*
		アニマルセラピーⅠ	1	▽	▽							
		アニマルセラピーⅡ	1	▽	▽							
		アニマルセラピー実習	1	▽	▽							
		トリミングⅠ	1		○							
		トリミングⅡ	1		○							
		トリミングⅢ	1			○						
		トリミングⅣ	1				○					
		トリミングⅤ	1					○				
		動物訓練実習Ⅰ	1			○						
		動物訓練実習Ⅱ	1				○					
		動物医療研究Ⅰ	1							▽	▽	
		動物医療研究Ⅱ	1							▽	▽	
共通専門科目		学校ボランティアⅠ	2	▽	▽							*
		学校ボランティアⅡ	2			▽	▽					*
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		キャンプ実習	1	▽	▽							*
		特別総合演習	2							□	□	
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

医療ｽﾎﾟｰﾂ学科

2023年度入学生(学籍番号上3ケタ　223　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
教養科目	13単位	4単位	105単位	124単位
専門基礎科目		2単位		
救急救命士専門科目				
トレーナー専門科目				
動物医療専門科目				
共通専門科目				
合 計	13単位	6単位	105単位	124単位

◎選択必修について

『教養科目』から4単位以上、、『専門基礎科目』から2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　医療ｽﾎﾟｰﾂ学科（2023年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

223

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
ただし、『教養科目』から4単位以上、『専門基礎科目』から2単位以上修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩＡ	1					○				
	●	アドバンスセミナーＩＢ	1						○			
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							○		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								○	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2		◎							
		ホリデー留学	2	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		人間関係論	2	○								
		コミュニケーション論	2		○							
		異文化理解	2	○								
		社会福祉原論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2			○						
		ボランティア論	2		○							
		レクリエーション論	2		○							
	●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		健康とスポーツ	2		○							
		予防と介護	2				○					
		会計学	2			○						
		法学	2	○								
		民法・商法	2	○								
		社会学	2	○								
		日本国憲法	2		○							
		企業と倫理	2	○								
		生活と倫理	2		○							
		コンピュータ概論	2		○							
		心理学	2	○								
		臨床心理学	2		○							
		老年心理学	2		○							
		生命倫理	2	○								
		生涯学習論	2	○								
		自己啓発	2		○							
		地域福祉	2	○								
		児童福祉	2		○							
		老人福祉	2	○								
		障害福祉	2		○							
		オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
		オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
		国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
		国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
		国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目		人体の構造Ⅰ	2	○								
		人体の構造Ⅱ	2		○							
		人体の機能Ⅰ	2	○								
		人体の機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ生理学	2	○								
		スポーツ社会学	2		○							
		トレーニング科学	2			○						
		スポーツコンディショニング	2			○						
		スポーツ医学入門	2		○							
		画像診断学	2						○			
		スポーツ心理学	2	○								
		スポーツ指導論	2				○					
		スポーツ栄養学	2				○					
		スポーツトレーニング入門	2	○								
		スポーツ倫理	2			○						
		コーチング論	2					○				
		スポーツ指導実習	1							▽	▽	
		体育実技(体つくり運動)	1	○								
		体育実技(陸上競技)	1		○							
		体育実技(水泳)	1	▽	▽							
		体育実技(球技)	1	○								
		体育実技(器械運動)	1		○							
		体育実技(ダンス)	1	○								
		体育実技(武道)	1		○							
		保健体育概論	2		○							
		総合実技Ⅰ	1					○				
		総合実技Ⅱ	1						○			
		スポーツ経営・管理学	2		○							
		スポーツマネジメント論	2						○			
		体育・スポーツ施設管理論	2					○				
		公衆衛生学	2	○								
		学校保健	2		○							
		精神保健学Ⅰ	2	○								
		精神保健学Ⅱ	2		○							
		生命倫理・動物福祉	2	○								
		動物形態機能学Ⅰ	2	○								
		動物形態機能学Ⅱ	2		○							
		動物形態機能学演習Ⅰ	1	○								
		動物形態機能学演習Ⅱ	1		○							
		動物形態機能学実習	1		○							
		動物繁殖学	2				○					
		動物行動学	2				○					
		動物栄養学Ⅰ	2					○				
		動物栄養学Ⅱ	2						○			
		比較動物学Ⅰ	2	○								
		比較動物学Ⅱ	2		○							
		動物看護関連法規	1				▽					
		動物愛護・適正飼養関連法規	1	◇								
		動物看護学概論	2	○								
		動物病理学	2			○						
		動物薬理学Ⅰ	2			○						
		動物薬理学Ⅱ	2				○					
		動物感染症学Ⅰ	2			○						
		動物感染症学Ⅱ	2				○					
		動物感染症学Ⅲ	2				○					
		公衆衛生学Ⅰ	2	○								
		公衆衛生学Ⅱ	2		○							
救急救命士専門科目		救急医療概論Ⅰ	2	○								
		救急医療概論Ⅱ	4					◎				
		救急処置学各論Ⅰ	4		◎							
		救急処置学各論Ⅱ	2			○						
		疾病救急Ⅰ	2			○						
		疾病救急Ⅱ	2				○					
		疾病救急Ⅲ	4				◎					
		救急症候学Ⅰ	4			◎						
		救急症候学Ⅱ	4			◎						
		救急症候学Ⅲ	4				◎					
		救急症候学Ⅳ	4						◎			
		小児概論	1					○				
		特殊病態学	1						○			
		精神医学	1						◇			
		環境障害	2						○			
		救急看護	1						○			
		救急救命実習Ⅰ	3	▽	▽							
		救急救命実習Ⅱ	3		○							
		救急救命実習Ⅲ	4			○						
		救急救命実習Ⅳ	3				○					
		救急用自動車同乗実習	6					▽	▽			*
		臨床実習	6					▽	▽			*
		救急救命総合実習	1							▽	▽	
		救急救命研究	4					□	□			

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
トレーナー専門科目		アスレティックトレーナーの役割	2		○							
		トレーニング科学演習	2				○					
		バイオメカニクス	2					○				
		運動生理学	2				○					
		アスリートのメンタルマネジメント	2						○			
		運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
		運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ	2			○						
		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ	2				○					
		健康管理とスポーツ医学	2			○						
		検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
		検査・測定と評価Ⅱ	2				○					
		予防とコンディショニングⅠ	3					◎				
		予防とコンディショニングⅡ	2						○			
		アスレティックリハビリテーションⅠ	3						◎			
		アスレティックリハビリテーションⅡ	2							○		
		救急処置	2				○					
		スポーツと食事	2					○				
		トレーニング実技Ⅰ	2					○				
		トレーニング実技Ⅱ	2						○			
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1			◇	◇					*
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	2					□	□			*
		アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	2							□	□	*
		スポーツ現場実習	1					◇	◇			*
		アスレティックトレーナー特講Ⅰ	2							○		
		アスレティックトレーナー特講Ⅱ	2								○	
動物医療専門科目		動物内科看護学Ⅰ	2		○							
		動物内科看護学Ⅱ	2			○						
		動物内科看護学Ⅲ	2				○					
		動物外科看護学Ⅰ	2					○				
		動物外科看護学Ⅱ	2						○			
		動物臨床看護学総論	2			○						
		動物臨床看護学各論Ⅰ	2					○				
		動物臨床看護学各論Ⅱ	2					○				
		動物臨床看護学各論Ⅲ	2						○			
		動物臨床看護学各論Ⅳ	2						○			
		動物臨床検査学	2				○					
		動物医療コミュニケーション	2					○				
		愛玩動物学Ⅰ	2	○								
		愛玩動物学Ⅱ	2		○							
		人と動物の関係学	2		○							
		適正飼養指導論	2	○								
		適正飼養指導論演習	1	○								
		動物生活環境学	2							○		
		ペット関連産業概論	2							○		
		動物内科看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物内科看護学実習Ⅱ	1					○				
		動物内科看護学実習Ⅲ	1						○			
		動物内科看護学実習Ⅳ	1						○			
		動物臨床検査学実習Ⅰ	1			○						
		動物臨床検査学実習Ⅱ	1				○					
		動物外科看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物外科看護学実習Ⅱ	1						○			
		動物外科看護学実習Ⅲ	1						○			
		動物臨床看護学実習Ⅰ	1					○				
		動物臨床看護学実習Ⅱ	1						○			
		動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	1			○						
		動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	1				○					
		動物看護総合実習	4							▽	▽	*
		アニマルセラピーⅠ	1	▽	▽							
		アニマルセラピーⅡ	1	▽	▽							
		アニマルセラピー実習	1	▽	▽							
		トリミングⅠ	1		○							
		トリミングⅡ	1		○							
		トリミングⅢ	1			○						
		トリミングⅣ	1				○					
		トリミングⅤ	1					○				
		動物訓練実習Ⅰ	1			○						
		動物訓練実習Ⅱ	1				○					
		動物医療研究Ⅰ	1							▽	▽	
		動物医療研究Ⅱ	1							▽	▽	
共通専門科目		学校ボランティアⅠ	2	▽	▽							*
		学校ボランティアⅡ	2			▽	▽					*
		インターンシップⅠ	2				○					
		インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
		デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
		キャリアプラン	2					◇	◇			
		キャンプ実習	1	▽	▽							*
		特別総合演習	2							□	□	
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

医療ｽﾎﾟｰﾂ学科

2022年度入学生(学籍番号上3ケタ　222　対象)

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位(合計)
経営と社会		2単位	105単位	124単位
情報と社会	2単位			
人間と福祉		2単位		
コミュニケーション	10単位			
レクリエーション	1単位			
専門基礎				
選択専門基礎		2単位		
専門				
キャリア形成				
合 計	13単位	6単位	105単位	124単位

◎選択必修について

『経営と社会』、『人間と福祉』、『選択専門基礎』の各科目群からそれぞれ2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　医療ｽﾎﾟｰﾂ学科（2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

222

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）

ただし、『経営と社会』『人間と福祉』『選択専門基礎』の各科目群より、2単位以上を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
学部共通科目	経営と社会		会計学	2			○						
			法学	2	○								
			民法・商法	2	○								
			社会学	2	○								
			日本国憲法	2		○							
			企業と倫理	2	○								
			生活と倫理	2		○							
	情報と社会		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2		◎							
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
	人間と福祉		心理学	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			人間関係論	2	○								
			自己啓発	2		○							
			ボランティア論	2		○							
			社会福祉原論Ⅰ	2	○								
			社会福祉原論Ⅱ	2		○							
			社会保障	2	○								
			公的扶助	2			○						
			地域福祉	2	○								
			児童福祉	2		○							
			老人福祉	2	○								
			障害福祉	2		○							
	コミュニケーション	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
		●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
			ビジネスコミュニケーションⅠ	2	○								
			ビジネスコミュニケーションⅡ	2		○							
			オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
			オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
			異文化コミュニケーション	2	○								
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
	レクリエーション		レクリエーション論	2		○							
		●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目群	専門基礎		人体の構造Ⅰ	2	○								
			人体の構造Ⅱ	2		○							
			人体の機能Ⅰ	2	○								
			人体の機能Ⅱ	2		○							
			スポーツ社会学	2		○							
			トレーニング科学	2			○						
			スポーツ医学入門	2		○							
			スポーツ心理学	2	○								
			スポーツ指導論	2				○					
			スポーツ栄養学	2				○					
			スポーツトレーニング入門	2	○								
			スポーツ倫理	2			○						
			コーチング論	2					○				
			スポーツ指導実習	1							▽	▽	*
			体育実技(体つくり運動)	1	○								
			体育実技(陸上競技)	1		○							
			体育実技(水泳)	1	▽	▽							
			体育実技(球技)	1	○								
			体育実技(器械運動)	1		○							
			体育実技(ダンス)	1	○								
			体育実技(武道)	1		○							
			保健体育概論	2		○							
			総合実技Ⅰ	1					○				
			総合実技Ⅱ	1						○			
			スポーツ経営・管理学	2		○							
			スポーツマネジメント論	2						○			
			体育・スポーツ施設管理論	2					○				
			公衆衛生学	2	○								
			学校保健	2		○							
			精神保健学Ⅰ	2	○								
			精神保健学Ⅱ	2		○							
			生命倫理・動物福祉	2	○								
			動物形態機能学Ⅰ	2	○								
			動物形態機能学Ⅱ	2		○							
			動物形態機能学演習Ⅰ	1	○								
			動物形態機能学演習Ⅱ	1		○							
			動物形態機能学実習	1		○							
			動物繁殖学	2				○					
			動物行動学	2				○					
			動物栄養学Ⅰ	2					○				
			動物栄養学Ⅱ	2						○			
			比較動物学Ⅰ	2	○								
			比較動物学Ⅱ	2		○							
			動物看護関連法規	1				▽					
			動物愛護・適正飼養関連法規	1	◇								
			動物看護学概論	2	○								
			動物病理学	2			○						
			動物薬理学Ⅰ	2			○						
			動物薬理学Ⅱ	2				○					
			動物感染症学Ⅰ	2			○						
			動物感染症学Ⅱ	2				○					
			動物感染症学Ⅲ	2				○					
			公衆衛生学Ⅰ	2	○								
			公衆衛生学Ⅱ	2		○							
	選択専門基礎		栄養学	2		○							
			予防と介護	2				○					
			画像診断学	2						○			
			臨床心理学Ⅰ	2		○							
			臨床心理学Ⅱ	2		○							
			老年心理学	2		○							
			発達心理学	2		○							
			バイオエシックス	2	○								
			アロマセラピーⅠ	2	○								
			アロマセラピーⅡ	2		○							
			スポーツ医学	2					○				
			スポーツ生理学	2	○								
			健康とスポーツ	2		○							
			スポーツコンディショニング	2			○						

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目群	専門		救急医療概論Ⅰ	2	○								
			救急医療概論Ⅱ	4					◎				
			救急処置学各論Ⅰ	4		◎							
			救急処置学各論Ⅱ	2			○						
			疾病救急Ⅰ	2			○						
			疾病救急Ⅱ	2				○					
			疾病救急Ⅲ	4				◎					
			救急症候学Ⅰ	4			◎						
			救急症候学Ⅱ	4			◎						
			救急症候学Ⅲ	4				◎					
			救急症候学Ⅳ	4						◎			
			小児概論	1					○				
			特殊病態学	1						○			
			精神医学	1						◇			
			環境障害	2						○			
			救急看護	1						○			
			救急救命実習Ⅰ	3	▽	▽							
			救急救命実習Ⅱ	3		○							
			救急救命実習Ⅲ	4			○						
			救急救命実習Ⅳ	3				○					
			救急用自動車同乗実習	6					▽	▽			*
			臨床実習	6					▽	▽			*
			救急救命総合実習	1							▽	▽	
			救急救命研究	4					□	□			
			特別総合演習	2							□	□	
			アスレティックトレーナーの役割	2		○							
			トレーニング科学演習	2				○					
			バイオメカニクス	2					○				
			運動生理学	2				○					
			アスリートのメンタルマネジメント	2						○			
			運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
			運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
			スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ	2			○						
			スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ	2				○					
			健康管理とスポーツ医学	2			○						
			検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
			検査・測定と評価Ⅱ	2				○					
			予防とコンディショニングⅠ	3					◎				
			予防とコンディショニングⅡ	2						○			
			アスレティックリハビリテーションⅠ	3						◎			
			アスレティックリハビリテーションⅡ	2							○		
			救急処置	2				○					
			スポーツと食事	2					○				
			トレーニング実技Ⅰ	2					○				
			トレーニング実技Ⅱ	2						○			
			アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1			◇	◇					*
			アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	2					□	□			*
			アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	2							□	□	*
			スポーツ現場実習	1					◇	◇			*
			アスレティックトレーナー特講Ⅰ	2							○		
			アスレティックトレーナー特講Ⅱ	2								○	
			動物内科看護学Ⅰ	2		○							
			動物内科看護学Ⅱ	2			○						
			動物内科看護学Ⅲ	2				○					
			動物外科看護学Ⅰ	2					○				
			動物外科看護学Ⅱ	2						○			
			動物臨床看護学総論	2			○						
			動物臨床看護学各論Ⅰ	2					○				
			動物臨床看護学各論Ⅱ	2					○				
			動物臨床看護学各論Ⅲ	2						○			
			動物臨床看護学各論Ⅳ	2						○			
			動物臨床検査学	2				○					
			動物医療コミュニケーション	2					○				
			愛玩動物学Ⅰ	2	○								
			愛玩動物学Ⅱ	2		○							
			人と動物の関係学	2		○							
			適正飼養指導論	2	○								
			適正飼養指導論演習	1	○								
			動物生活環境学	2							○		
			ペット関連産業概論	2							○		

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目群	専門		動物内科看護学実習Ⅰ	1					○				
			動物内科看護学実習Ⅱ	1					○				
			動物内科看護学実習Ⅲ	1						○			
			動物内科看護学実習Ⅳ	1						○			
			動物臨床検査学実習Ⅰ	1			○						
			動物臨床検査学実習Ⅱ	1				○					
			動物外科看護学実習Ⅰ	1					○				
			動物外科看護学実習Ⅱ	1						○			
			動物外科看護学実習Ⅲ	1						○			
			動物臨床看護学実習Ⅰ	1					○				
			動物臨床看護学実習Ⅱ	1						○			
			動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	1			○						
			動物愛護・適正飼養実習Ⅱ	1				○					
			動物看護総合実習	4							▽	▽	*
			アニマルセラピーⅠ	1	▽	▽							
			アニマルセラピーⅡ	1	▽	▽							
			アニマルセラピー実習	1	▽	▽							
			トリミングⅠ	1		○							
			トリミングⅡ	1		○							
			トリミングⅢ	1			○						
			トリミングⅣ	1				○					
			トリミングⅤ	1					○				
			動物訓練実習Ⅰ	1			○						
			動物訓練実習Ⅱ	1				○					
			動物医療研究Ⅰ	1							▽	▽	
			動物医療研究Ⅱ	1							▽	▽	
			特別総合演習	2							□	□	
	キャリア形成		学校ボランティアⅠ	2	▽	▽							*
			学校ボランティアⅡ	2			▽	▽					*
			インターンシップⅠ	2				○					
			インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
			デンバー研修	2			▽	▽	▽	▽			*
			キャリアプラン	2					◇	◇			
			キャンプ実習	1	▽	▽							*

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部

医療ｽﾎﾟｰﾂ学科

2019年度～2021年度入学生（学籍番号上3ケタ　219～221　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択必修	選択	卒業単位（合計）
経営と社会		2単位	105単位	124単位
情報と社会	2単位			
人間と福祉		2単位		
コミュニケーション	10単位			
レクリエーション	1単位			
専門基礎				
選択専門基礎		2単位		
専門				
キャリア形成				
合 計	13単位	6単位	105単位	124単位

◎選択必修について

『経営と社会』、『人間と福祉』、『選択専門基礎』の各科目群からそれぞれ2単位以上修得すること。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　医療ｽﾎﾟｰﾂ学科（2019年度～2021年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

219～221

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）

ただし、『経営と社会』『人間と福祉』『選択専門基礎』の各科目群より、2単位以上を修得すること。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
学部共通科目	経営と社会		会計学	2			○						
			法学	2	○								
			民法・商法	2	○								
			社会学	2	○								
			日本国憲法	2		○							
			企業と倫理	2	○								
			生活と倫理	2		○							
	情報と社会		コンピュータ概論	2		○							
		●	コンピュータ演習Ⅰ	2		◎							
			コンピュータ演習Ⅱ	2				◎					
	人間と福祉		心理学	2	○								
			生涯学習論	2	○								
			人間関係論	2	○								
			自己啓発	2		○							
			ボランティア論	2		○							
			社会福祉原論Ⅰ	2	○								
			社会福祉原論Ⅱ	2		○							
			社会保障	2	○								
			公的扶助	2			○						
			地域福祉	2	○								
			児童福祉	2		○							
			老人福祉	2	○								
			障害福祉	2		○							
	コミュニケーション	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
		●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
		●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
		●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
		●	アドバンスセミナーⅠA	1					○				
		●	アドバンスセミナーⅠB	1						○			
		●	アドバンスセミナーⅡA	1							○		
		●	アドバンスセミナーⅡB	1								○	
		●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
		●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
			ビジネスコミュニケーションⅠ	2	○								
			ビジネスコミュニケーションⅡ	2		○							
			オフィスコミュニケーションⅠ	2	○								
			オフィスコミュニケーションⅡ	2		○							
			異文化コミュニケーション	2	○								
			国際コミュニケーションⅠ	4	□	□							英会話
			国際コミュニケーションⅡ	4	□	□							フランス語
			国際コミュニケーションⅢ	4	□	□							ドイツ語
			ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
	レクリエーション		レクリエーション論	2		○							
		●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
			レクリエーション実技Ⅱ	1		○							

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目群	専門基礎		人体の構造Ⅰ	2	○								
			人体の構造Ⅱ	2		○							
			人体の機能Ⅰ	2	○								
			人体の機能Ⅱ	2		○							
			スポーツ社会学	2		○							
			トレーニング科学	2			○						
			スポーツ医学入門	2		○							
			スポーツ心理学	2	○								
			スポーツ指導論	2				○					
			スポーツ栄養学	2				○					
			スポーツトレーニング入門	2	○								
			スポーツ倫理	2			○						
			コーチング論	2					○				
			スポーツ指導実習	1							▽	▽	*
			体育実技(体つくり運動)	1	○								
			体育実技(陸上競技)	1		○							
			体育実技(水泳)	1	▽	▽							
			体育実技(球技)	1	○								
			体育実技(器械運動)	1		○							
			体育実技(ダンス)	1	○								
			体育実技(武道)	1		○							
			保健体育概論	2		○							
			総合実技Ⅰ	1					○				
			総合実技Ⅱ	1						○			
			スポーツ経営・管理学	2		○							
			スポーツマネジメント論	2					○				
			体育・スポーツ施設管理論	2						○			
			公衆衛生学	2	○								
			学校保健	2		○							
			精神保健学Ⅰ	2	○								
			精神保健学Ⅱ	2		○							
	選択専門基礎		栄養学	2		○							
			予防と介護	2				○					
			画像診断学	2						○			
			臨床心理学Ⅰ	2		○							
			臨床心理学Ⅱ	2		○							
			老年心理学	2		○							
			発達心理学	2		○							
			バイオエシックス	2	○								
			アロマセラピーⅠ	2	○								
			アロマセラピーⅡ	2		○							
			スポーツ医学	2					○				
			スポーツ生理学	2	○								
			健康とスポーツ	2		○							
			スポーツコンディショニング	2			○						
専門科目群	専門		救急医療概論Ⅰ	2	○								
			救急医療概論Ⅱ	4					◎				
			救急処置学各論Ⅰ	4		◎							
			救急処置学各論Ⅱ	2			○						
			疾病救急Ⅰ	2			○						
			疾病救急Ⅱ	2				○					
			疾病救急Ⅲ	4				◎					
			救急症候学Ⅰ	4			◎						
			救急症候学Ⅱ	4			◎						
			救急症候学Ⅲ	4				◎					
			救急症候学Ⅳ	4						◎			
			小児概論	1					○				
			特殊病態学	1						○			
			精神医学	1						○			
			環境障害	2						○			
			救急看護	1						○			
			救急救命実習Ⅰ	3	▽	▽							
			救急救命実習Ⅱ	3		○							
			救急救命実習Ⅲ	4			○						
			救急救命実習Ⅳ	3				○					
			救急用自動車同乗実習	6					▽	▽			*

区分			授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目群	専門		臨床実習	6					▽	▽			*
			救急救命総合実習	1							▽	▽	
			救急救命研究	4					□	□			
			特別総合演習	2							□	□	
			アスレティックトレーナーの役割	2		○							
			トレーニング科学演習	2				○					
			バイオメカニクス	2					○				
			運動生理学	2				○					
			アスリートのメンタルマネジメント	2						○			
			運動器の解剖と機能Ⅰ	2	○								
			運動器の解剖と機能Ⅱ	2		○							
			スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ	2			○						
			スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ	2				○					
			健康管理とスポーツ医学	2			○						
			検査・測定と評価Ⅰ	2			○						
			検査・測定と評価Ⅱ	2				○					
			予防とコンディショニングⅠ	3					◎				
			予防とコンディショニングⅡ	2						○			
			アスレティックリハビリテーションⅠ	3						◎			
			アスレティックリハビリテーションⅡ	2							○		
			救急処置	2				○					
			スポーツと食事	2					○				
			トレーニング実技Ⅰ	2					○				
			トレーニング実技Ⅱ	2						○			
			アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1			◇	◇					*
			アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	2					□	□			*
			アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	2							□	□	*
			スポーツ現場実習	1					◇	◇			*
			アスレティックトレーナー特講Ⅰ	2							○		
			アスレティックトレーナー特講Ⅱ	2								○	
	キャリア形成		学校ボランティアⅠ	2	▽	▽							*
			学校ボランティアⅡ	2			▽	▽					*
			インターンシップⅠ	2				○					
			インターンシップⅡ	2					▽	▽			*
			海外研修	2			▽	▽	▽	▽			*
			キャリアプラン	2					◇	◇			
			キャンプ実習	1	▽	▽							*
			スキー実習	1	▽	▽							*

健康医療スポーツ学部

看護学科

2026年度入学生（学籍番号上3ケタ　226　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	19単位	6単位	124単位
専門基礎科目	27単位		
専門科目	72単位		
保健師課程※1 （卒業要件単位数に含めない）			
助産師課程※2 （卒業要件単位数に含めない）			
合 計	118単位	6単位	124単位

◎課程別修得科目について

※1　保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。

※2　助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　看護学科　（2026年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

226

[履修にあたっての注意事項]
卒業要件
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む)

履修年次の読み方
○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考 (*印は学外実習・研修)
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーＩ	1					▽				
	●	アドバンスセミナーⅡＡ	1							▽		
	●	アドバンスセミナーⅡＢ	1								▽	
	●	基礎医療英語Ｉ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
	●	心理学	2	○								
	●	人間関係論	2		○							
		コミュニケーション論	2		○							
		生涯学習論	2	○								
		自己啓発	2		○							
	●	日本国憲法	2	○								
		社会保障	2	○								
		ボランティア論	2		○							
		社会学	2	○								
		統計基礎	2		○							
		からだのしくみ	2	○								
		健康とスポーツ	2		○							
	●	レクリエーション論	2		○							
		レクリエーション実技Ｉ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		障がい者スポーツ	1	▽								
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造	2	○								
	●	人体の機能Ｉ	1	○								
	●	人体の機能Ⅱ	1	○								
	●	生化学	1	○								
	●	臨床栄養学	1					○				
	●	薬物治療学	1			○						
	●	微生物・感染・免疫学	1		○							
	●	病因病態学	2		○							
	●	臨床医学Ｉ(内科系・小児)	1		○							
	●	臨床医学Ⅱ(外科系)	1			○						
	●	臨床医学Ⅲ(運動・神経・感覚器)	1			○						
	●	臨床医学Ⅳ(女性・周産期医学)	1			○						
	●	精神医学	1		◇							
	●	リハビリテーション論	1					◇				
	●	看護と福祉	2	○								
	●	保健医療福祉行政論	2			○						
	●	保健医療社会学	1	○								
	●	関係法規	1		○							
	●	公衆衛生学	1		○							
	●	疫学	2			○						
	●	保健統計学Ｉ	1			○						
	●	保健統計学Ⅱ	1				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	看護学概論	2	○								
	●	看護理論・看護過程展開論	2			◎						
	●	ヘルスアセスメント	1			○						
	●	基礎看護技術Ⅰ	2	◎								
	●	基礎看護技術Ⅱ	2		◎							
	●	基礎看護技術Ⅲ	2				◎					
	●	地域看護学概論	1		◇							
	●	在宅看護学概論	1			◇						
	●	在宅看護学方法論	2				○					
	●	在宅看護学演習	1					○				
	●	家族看護学	1			◇						
	●	精神看護学概論	1		◇							
	●	精神看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	精神看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	精神看護学演習	1					○				
	●	成人看護学概論	1		◇							
	●	成人看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	成人看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	成人看護学方法論Ⅲ	1			○						
	●	成人看護学方法論Ⅳ	1				○					
	●	成人看護技術	1					○				
	●	老年看護学概論	1		◇							
	●	老年看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	老年看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	老年看護学演習	1					○				
	●	母性看護学概論	1		◇							
	●	母性看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	母性看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	母性看護技術	1					○				
	●	小児看護学概論	1		◇							
	●	小児看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	小児看護学方法論Ⅱ	1				◇					
	●	小児看護技術	1					◇				
	●	健康教育・学習学	1		◇							
	●	助産学概論	1					◇				
	●	看護管理・医療安全	1					○				
	●	看護倫理学	1					◇				
	●	国際看護学	1							▽		
	●	災害看護学	1					◇				
	●	看護研究	1							▽		
	●	卒業研究	1							▽	▽	
	●	特別総合演習	2								▽	
	●	基礎看護学実習Ⅰ	1		▽							*
	●	基礎看護学実習Ⅱ	2				▽					*
	●	成人・老年看護学実習Ⅰ	3						▽	▽		*
	●	成人・老年看護学実習Ⅱ	3						▽	▽		*
	●	成人・老年看護学実習Ⅲ	4						▽	▽		*
	●	小児看護学実習	2						▽	▽		*
	●	母性看護学実習	2						▽	▽		*
	●	精神看護学実習	2						▽	▽		*
	●	在宅看護学実習	2						▽	▽		*
	●	統合実習	2							▽	▽	*
		チーム医療論	1			▽						
		チーム医療演習	1					▽				

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保健師課程		公衆衛生看護学概論	1							▽		
		公衆衛生看護活動展開論	2							▽		
		公衆衛生看護管理論	2							▽		
		学校保健論	2							▽		
		産業保健論	2							▽		
		公衆衛生看護学実習	5							▽	▽	*
助産師課程		基礎助産学	2							▽		
		助産診断・技術学Ⅰ	2							▽		
		助産診断・技術学Ⅱ	2							▽		
		助産診断・技術学Ⅲ	2							▽		
		助産診断・技術学Ⅳ	2							▽		
		助産診断技術演習Ⅰ	2							▽		
		助産診断技術演習Ⅱ	1							▽		
		地域母子保健	1							▽		
		助産管理	1							▽		
		助産学実習	7							▽	▽	*

健康医療スポーツ学部

看護学科

2023年度～2025年度入学生（学籍番号上3ケタ　223～225　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	6単位	124単位
専門基礎科目	26単位		
専門科目	74単位		
保健師課程※1 （卒業要件単位数に含めない）			
助産師課程※2 （卒業要件単位数に含めない）			
合 計	118単位	6単位	124単位

◎課程別修得科目について

※1　保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。

※2　助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　看護学科　（2023年度～2025年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

223～225

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分		授業科目	単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
		●は必修科目		前	後	前	後	前	後	前	後	（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠ	1					▽				
	●	アドバンスセミナーⅡ	1								▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	情報リテラシー演習・DS概論	2	◎								
	●	日本国憲法	2	○								
	●	心理学	2	○								
	●	人間関係論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
	●	レクリエーション論	2		○							
		コミュニケーション論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2	○								
		からだのしくみ	2	○								
		健康とスポーツ	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
		SDGs概論	2	○								
		SDGs各論A	2		▽							
		SDGs各論B	2			▽	▽					
		SDGs各論C	2			▽	▽					
		SDGs演習	2					▽	▽			
専門基礎科目	●	人体の構造	2	○								
	●	人体の機能Ⅰ	1	○								
	●	人体の機能Ⅱ	1	○								
	●	生化学	1	○								
	●	臨床栄養学	1					○				
	●	薬物治療学	1					○				
	●	微生物・感染・免疫学	1		○							
	●	病因病態学	2		○							
	●	臨床医学Ⅰ（内科系・小児）	1		○							
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	1			○						
	●	臨床医学Ⅲ（運動・神経・感覚器）	1			○						
	●	臨床医学Ⅳ（女性・周産期医学）	1			○						
	●	精神医学	1		◇							
	●	リハビリテーション論	1					◇				
	●	看護と福祉	2	○								
	●	保健医療福祉行政論	2			○						
	●	保健医療社会学	1	○								
	●	関係法規	1		○							
	●	公衆衛生学	1		○							
	●	疫学Ⅰ	1			○						
	●	保健統計学Ⅰ	1			○						
	●	保健統計学Ⅱ	1				○					

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	●	看護学概論	2	○								
	●	看護理論・看護過程展開論	2			◎						
	●	ヘルスアセスメント	1			○						
	●	基礎看護技術Ⅰ	2	◎								
	●	基礎看護技術Ⅱ	2		◎							
	●	基礎看護技術Ⅲ	2				◎					
	●	地域看護学概論	1		◇							
	●	在宅看護学	1			◇						
	●	在宅看護学方法論Ⅰ	1				◇					
	●	在宅看護学方法論Ⅱ	1					◇				
	●	在宅看護学演習	1					○				
	●	家族看護学	1			◇						
	●	精神看護学概論	1		◇							
	●	精神看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	精神看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	精神看護学演習	1					○				
	●	成人看護学概論	1		◇							
	●	成人看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	成人看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	成人看護学方法論Ⅲ	1			○						
	●	成人看護学方法論Ⅳ	1				○					
	●	成人看護学方法論Ⅴ	1			○						
	●	成人看護技術Ⅰ	1					○				
	●	成人看護技術Ⅱ	1					▽				
	●	老年看護学概論	1		◇							
	●	老年看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	老年看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	老年看護学演習	1					○				
	●	母性看護学概論	1		◇							
	●	母性看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	母性看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	母性看護技術	1					○				
	●	小児看護学概論	1		◇							
	●	小児看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	小児看護学方法論Ⅱ	1				◇					
	●	小児看護技術	1					◇				
	●	健康教育・学習学	1		◇							
	●	看護管理・医療安全	1					○				
	●	看護倫理学	1					◇				
		国際看護学	1							▽		
		災害看護学	1							▽		
	●	看護研究	2					○				
	●	卒業研究	3						▽	▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅰ	1							▽		
	●	特別総合演習Ⅱ	1								▽	
	●	基礎看護学実習Ⅰ	1		▽							*
	●	基礎看護学実習Ⅱ	2				▽					*
	●	成人・老年看護学実習Ⅰ	3						▽	▽		*
	●	成人・老年看護学実習Ⅱ	3						▽	▽		*
	●	成人・老年看護学実習Ⅲ	4						▽	▽		*
	●	小児看護学実習	2						▽	▽		*
	●	母性看護学実習	2						▽	▽		*
	●	精神看護学実習	2						▽	▽		*
	●	在宅看護学実習	2						▽	▽		*
	●	統合実習	2							▽	▽	*
		チーム医療論	1			◇						
		チーム医療演習	1					▽				
保健師課程		公衆衛生看護学概論	1				◇					
		公衆衛生看護活動展開論	2					○				
		公衆衛生看護管理論	2					○				
		学校保健論	2				○					
		産業保健論	2				○					
		疫学Ⅱ	1				○					
		公衆衛生看護学実習	5							▽	▽	*

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
助産師課程		助産学概論	1				◇					
		基礎助産学	2				○					
		助産診断・技術学Ⅰ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅱ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅲ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅳ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅴ	2					○				
		地域母子保健	1					◇				
		助産管理	1					◇				
		助産学実習	7							▽	▽	*

健康医療スポーツ学部

看護学科

2022年度入学生（学籍番号上3ケタ　222　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	6単位	124単位
専門基礎科目	26単位		
専門科目	74単位		
保健師課程※1 （卒業要件単位数に含めない）			
助産師課程※2 （卒業要件単位数に含めない）			
合 計	118単位	6単位	124単位

◎課程別修得科目について

※1　保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。

※2　助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　看護学科　（2022年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

222

［履修にあたっての注意事項］

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーＩＡ	1	○								
	●	フレッシュセミナーＩＢ	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡＡ	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡＢ	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠ	1					▽				
	●	アドバンスセミナーⅡ	1								▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
	●	日本国憲法	2	○								
	●	心理学	2	○								
	●	人間関係論	2		○							
		レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
		レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
	●	レクリエーション論	2		○							
		コミュニケーション論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2	○								
		からだのしくみ	2	○								
		健康とスポーツ	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
専門基礎科目	●	人体の構造	2	○								
	●	人体の機能Ⅰ	1	○								
	●	人体の機能Ⅱ	1	○								
	●	生化学	1	○								
	●	臨床栄養学	1					○				
	●	薬物治療学	1					○				
	●	微生物・感染・免疫学	1		○							
	●	病因病態学	2		○							
	●	臨床医学Ⅰ（内科系・小児）	1		○							
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	1			○						
	●	臨床医学Ⅲ（運動・神経・感覚器）	1			○						
	●	臨床医学Ⅳ（女性・周産期医学）	1			○						
	●	精神医学	1		◇							
	●	リハビリテーション論	1					◇				
	●	看護と福祉	2	○								
	●	保健医療福祉行政論	2			○						
	●	保健医療社会学	1	○								
	●	関係法規	1		○							
	●	公衆衛生学	1		○							
	●	疫学Ⅰ	1			○						
	●	保健統計学Ⅰ	1			○						
	●	保健統計学Ⅱ	1				○					

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	(*印は学外実習・研修)
専門科目	●	看護学概論	2	○								
	●	看護理論・看護過程展開論	2			◎						
	●	ヘルスアセスメント	1			○						
	●	基礎看護技術Ⅰ	2	◎								
	●	基礎看護技術Ⅱ	2		◎							
	●	基礎看護技術Ⅲ	2				◎					
	●	地域看護学概論	1		◇							
	●	在宅看護学	1			◇						
	●	在宅看護学方法論Ⅰ	1				◇					
	●	在宅看護学方法論Ⅱ	1					◇				
	●	在宅看護学演習	1					○				
	●	家族看護学	1			◇						
	●	精神看護学概論	1		◇							
	●	精神看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	精神看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	精神看護学演習	1					○				
	●	成人看護学概論	1		◇							
	●	成人看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	成人看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	成人看護学方法論Ⅲ	1			○						
	●	成人看護学方法論Ⅳ	1				○					
	●	成人看護学方法論Ⅴ	1			○						
	●	成人看護技術Ⅰ	1					○				
	●	成人看護技術Ⅱ	1					▽				
	●	老年看護学概論	1		◇							
	●	老年看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	老年看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	老年看護学演習	1					○				
	●	母性看護学概論	1		◇							
	●	母性看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	母性看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	母性看護技術	1					○				
	●	小児看護学概論	1		◇							
	●	小児看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	小児看護学方法論Ⅱ	1				◇					
	●	小児看護技術	1					◇				
	●	健康教育・学習学	1		◇							
	●	看護管理・医療安全	1					○				
	●	看護倫理学	1					◇				
		国際看護学	1							▽		
		災害看護学	1							▽		
	●	看護研究	2					○				
	●	卒業研究	3						▽	▽	▽	
	●	特別総合演習Ⅰ	1							▽		
	●	特別総合演習Ⅱ	1								▽	
	●	基礎看護学実習Ⅰ	1		▽							*
	●	基礎看護学実習Ⅱ	2				▽					*
	●	成人・老年看護学実習Ⅰ	3						▽	▽		*
	●	成人・老年看護学実習Ⅱ	3						▽	▽		*
	●	成人・老年看護学実習Ⅲ	4						▽	▽		*
	●	小児看護学実習	2						▽	▽		*
	●	母性看護学実習	2						▽	▽		*
	●	精神看護学実習	2						▽	▽		*
	●	在宅看護学実習	2						▽	▽		*
	●	統合実習	2							▽	▽	*
保健師課程		公衆衛生看護学概論	1				◇					
		公衆衛生看護活動展開論	2					○				
		公衆衛生看護管理論	2					○				
		学校保健論	2				○					
		産業保健論	2				○					
		疫学Ⅱ	1				○					
		公衆衛生看護学実習	5							▽	▽	*

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
助産師課程		助産学概論	1				◇					
		基礎助産学	2				○					
		助産診断・技術学Ⅰ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅱ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅲ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅳ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅴ	2					○				
		地域母子保健	1					◇				
		助産管理	1					◇				
		助産学実習	7							▽	▽	*

健康医療スポーツ学部

看護学科

2021年度入学生（学籍番号上3ケタ　221　対象）

●卒業に必要な単位数は下の表のとおり修得し、合計124単位以上です。

科目分類	必修	選択	卒業単位（合計）
教養科目	18単位	8単位	124単位
専門基礎科目	24単位		
専門科目	74単位		
保健師課程※1 （卒業要件単位数に含めない）			
助産師課程※2 （卒業要件単位数に含めない）			
合 計	116単位	8単位	124単位

◎課程別修得科目について

※1　保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。

※2　助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

教養科目の履修について

本学で学ぶ皆さんには、建学の精神にもあるように、専門的な知識・技術だけでなく、幅広い教養を身につけることが求められています。教養科目の中には、専門科目を学ぶときに役立つ基礎知識や一般常識などが身につく科目もあります。この教養科目の履修については、各学科・コースの新学期のガイダンスやセミナーにおいて具体的な指導があります。その内容を踏まえながら、各自でしっかりと履修計画を立ててください。

健康医療ｽﾎﾟｰﾂ学部　看護学科（2021年度入学生）

下記の学籍番号上3ケタの方が対象です。

221

[履修にあたっての注意事項]

卒業要件

124単位以上を修得すること。（必修科目を含む）
『保健師課程』、『助産師課程』は卒業要件単位数に含めない。

課程別修得科目について

保健師課程は、卒業要件単位数及び『保健師課程』の全科目を修得することで、保健師国家試験受験資格を得る。
助産師課程は、卒業要件単位数及び『助産師課程』の全科目を修得することで、助産師国家試験受験資格を得る。

履修年次の読み方

○は半期で15回、◎は半期で30回が原則の授業。
□は通年で30回行う授業。
◇は半期で8回行う授業。
▽は集中で行う授業。

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
教養科目	●	フレッシュセミナーⅠA	1	○								
	●	フレッシュセミナーⅠB	1		○							
	●	フレッシュセミナーⅡA	1			○						
	●	フレッシュセミナーⅡB	1				○					
	●	アドバンスセミナーⅠ	1					▽				
	●	アドバンスセミナーⅡ	1								▽	
	●	基礎医療英語Ⅰ	1	○								
	●	基礎医療英語Ⅱ	1		○							
	●	コンピュータ演習	2	◎								
	●	日本国憲法	2	○								
	●	心理学	2	○								
	●	人間関係論	2		○							
	●	レクリエーション実技Ⅰ	1	○								
	●	レクリエーション実技Ⅱ	1		○							
		レクリエーション論	2		○							
		コミュニケーション論	2		○							
		社会保障	2	○								
		生涯福祉	2	○								
		からだのしくみ	2	○								
		健康とスポーツ	2		○							
		ホリデー留学	4	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽		*
専門基礎科目	●	人体の構造	1	○								
	●	人体の機能Ⅰ	1	○								
	●	人体の機能Ⅱ	1	○								
	●	生化学	1	○								
	●	臨床栄養学	1				○					
	●	薬物治療学	1				○					
	●	微生物・感染・免疫学	1		○							
	●	病因病態学	1		○							総論
	●	臨床医学Ⅰ（内科系）	1		○							内科総論
	●	臨床医学Ⅱ（外科系）	1			○						外科総論
	●	臨床医学Ⅲ（運動・神経・感覚器）	1			○						運動・神経・感覚器
	●	臨床医学Ⅳ（女性・小児）	1			○						女性・小児
	●	周産期医学	1		◇							
	●	精神医学	1		◇							
	●	リハビリテーション論	1					◇				
	●	看護と福祉	1	○								
	●	保健医療社会学	1	○								
	●	保健医療福祉行政論	2				○					
	●	関係法規	1		○							
	●	公衆衛生学	1				○					
	●	疫学Ⅰ	1			○						
	●	保健統計学Ⅰ	1			○						
	●	保健統計学Ⅱ	1				○					

区分	●は必修科目	授業科目	単位数	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後	備考（*印は学外実習・研修）
専門科目	●	看護学概論	1	○								
	●	看護理論・看護過程展開論	2			◎						
	●	ヘルスアセスメント	1				○					
	●	基礎看護技術Ⅰ	2	◎								
	●	基礎看護技術Ⅱ	2		◎							
	●	基礎看護技術Ⅲ	2			◎						
	●	成人看護学概論	1		○							
	●	成人看護学方法論Ⅰ	1			○						急性期・周手術期
	●	成人看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	成人看護学方法論Ⅲ	1			○						慢性・終末期
	●	成人看護学方法論Ⅳ	1				○					
	●	成人看護学方法論Ⅴ	1				○					回復期・リハビリテーション
	●	成人看護技術Ⅰ	1					○				
	●	成人看護技術Ⅱ	1					○				
	●	老年看護学概論	1		○							
	●	老年看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	老年看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	老年看護学演習	1					○				
	●	精神看護学概論	1		○							
	●	精神看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	精神看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	精神看護学演習	1					○				
	●	母性看護学概論	1		○							
	●	母性看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	母性看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	母性看護技術	1				○					
	●	小児看護学概論	1		○							
	●	小児看護学方法論Ⅰ	1			○						
	●	小児看護学方法論Ⅱ	1				○					
	●	小児看護技術	1					○				
	●	在宅看護論	1			○						
	●	在宅看護方法論Ⅰ	1				○					
	●	在宅看護方法論Ⅱ	1					○				
	●	在宅看護論演習	1					○				
	●	生と死を考える	1					◇				死の哲学・終末期・緩和ケア
	●	人間と社会と看護	1					○				災害医療含む
	●	看護管理・医療安全	1					○				
	●	看護倫理学	1					○				バイオエッシクス含む
	●	国際看護学	1							▽		看護政策論含む
	●	災害看護学	1					◇				
	●	看護研究	2					○				
	●	卒業研究	3						▽	▽	▽	
	●	特別総合演習	2							▽	▽	
	●	基礎看護学実習Ⅰ	1	▽	▽							*
	●	基礎看護学実習Ⅱ	2				▽					*
	●	成人看護学実習Ⅰ	3						▽	▽		*
	●	成人看護学実習Ⅱ	3						▽	▽		*
	●	老年看護学実習Ⅰ	1						▽			*
	●	老年看護学実習Ⅱ	3						▽	▽		*
	●	小児看護学実習	2						▽	▽		*
	●	母性看護学実習	2						▽	▽		*
	●	精神看護学実習	2						▽	▽		*
	●	在宅看護論実習	2						▽	▽		*
	●	統合実習	2							▽	▽	*

区分		授業科目 ●は必修科目	単位数	履修年次								備考 (*印は学外実習・研修)
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
保健師課程		公衆衛生看護学概論	2				○					
		公衆衛生看護活動展開論	2					○				
		公衆衛生看護管理論	2					○				
		家族看護学	2				○					
		学校保健論	2				○					
		産業保健論	2				○					
		健康教育・学習学	2					○				
		疫学Ⅱ	1				○					
		公衆衛生看護学実習	5							▽	▽	*
助産師課程		基礎助産学Ⅰ	1				○					
		基礎助産学Ⅱ	1				○					
		基礎助産学Ⅲ	2				○					
		助産診断・技術学Ⅰ	2				○					
		助産診断・技術学Ⅱ	2				○					
		助産診断・技術学Ⅲ	2					○				
		助産診断・技術学Ⅳ	2					○				
		地域母子保健	1					◇				
		助産管理	2					○				
		助産学実習	11							▽	▽	*